

**令和7年度**

**墨田区介護予防・日常生活圏域二一ズ調査**

**墨田区在宅介護実態調査 報告書**

**令和8年3月**

**墨 田 区**



# 目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
(1) 調査内容	3
(2) 回収結果	3
3. 在宅介護実態調査	4
(1) 調査内容	4
(2) 回収結果	4
4. 報告書を利用するにあたって	5
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7
1. 基本属性	9
(1) 記入者	9
(2) 性別	10
(3) 年齢	11
(4) 圏域	11
(5) 要支援認定の状況	12
2. 家族や生活状況について	13
(1) 家族構成	13
(2) 介護・介助の状況	14
(3) 生活の状況	18
3. からだを動かすことについて	20
(1) 運動器機能リスク該当者	20
(2) 転倒リスク該当者	21
(3) 閉じこもりリスク該当者	24
(4) 外出の状況	26
4. 食べることについて	34
(1) 低栄養について	34
(2) 口腔機能について	36
(3) 歯の状況	38
(4) 孤食の状況	42

5. 毎日の生活について.....	44
(1) 認知症リスク該当者.....	44
(2) 手段的日常生活動作（IADL）.....	47
(3) 知的能動性の状況.....	48
(4) 社会的役割の状況.....	49
(5) 老研式活動能力指標を用いた総合評価.....	50
(6) 趣味や生きがいについて.....	51
(7) スマートフォン（スマホ）やパソコンの利用について.....	55
(8) 収入と介護保険サービス・介護保険料.....	61
6. 地域での活動について.....	64
(1) 地域活動への参加状況.....	64
(2) 地域活動への参加時間・場所.....	73
(3) 地域活動へ参加していない理由.....	75
(4) 地域づくりへの参加意向.....	76
7. 就労について.....	79
(1) 就労状態.....	79
(2) 仕事を引退してからの期間.....	80
8. たすけあいについて.....	81
(1) 情緒的支援者.....	81
(2) 手段的支援者.....	83
(3) 家族や友人・知人以外の相談相手.....	85
(4) 友人・知人.....	86
(5) 孤独・孤立感.....	89
9. 健康について.....	92
(1) 主観的健康観.....	92
(2) 主観的幸福感.....	93
(3) うつリスク該当者.....	95
(4) 飲酒と喫煙の状況.....	96
(5) 現在治療中、または後遺症のある病気.....	98
10. 認知症について.....	101
(1) 本人または家族の認知症の有無.....	101
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度.....	103
(3) 認知症の症状のある人にとっての地域の住みやすさ.....	104
(4) 成年後見制度の認知度.....	105
(5) 誰かに自分の思いを伝えることができているか.....	106
(6) 地域で役割を果たしているか.....	108
(7) 認知症でも自分らしく暮らし続けられるか.....	110
(8) 在宅生活で自分の意思が尊重され、望む生活が継続できているか.....	112

11. 住まいについて.....	114
(1) 住まいや住環境で困っていること.....	114
(2) 関心のある区の高齢者の住まい支援.....	116
12. 地域のつながりについて.....	117
(1) 地域のつながり.....	117
(2) 地域活動や支え合い活動への参加状況.....	119
13. 地域で受けている手助けについて.....	123
(1) 地域で問題だと感じていること.....	123
(2) 現在受けている手助け.....	125
(3) 受けたいと思う手助け.....	127
(4) 高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度.....	129
(5) 地域で助け合える関係性の有無.....	130
14. 今後の生活について.....	131
(1) 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬剤師」の有無.....	131
(2) 「救急医療情報キット」配布の認知度.....	134
(3) 聞き取りにくさ.....	135
(4) 在宅医療の認知度.....	136
(5) 介護予防教室や活動への参加頻度.....	142
(6) 今後介護が必要になった際の生活場所.....	149
(7) 人生の最終段階に受けたい医療やケアの相談状況.....	154
(8) 人生会議の認知度.....	155

### 第3章 在宅介護実態調査 ..... 157

1. 基本属性.....	159
(1) 調査票の記入者.....	159
(2) 本人の性別.....	159
(3) 本人の年齢.....	160
(4) 本人の居住圏域.....	160
(5) 要支援・要介護認定の状況.....	160
(6) 世帯類型（A票・問1）.....	161
2. 本人の介護等の状況.....	162
(1) 受けている介護の頻度（A票・問2）.....	162
(2) 主な介護者.....	164
(3) サービスの利用状況等.....	169
(4) 認知症や人生の最終段階で受けたい医療やケア.....	178
(5) 介護保険サービスと介護保険料の考え方.....	187

3. 主な介護者の介護の継続性.....	189
(1) 就労の有無及び現在の勤務形態 (B票・問1) .....	189
(2) 働き方の調整等の実施状況 (B票・問2) .....	190
(3) 仕事と介護の両立に有効な勤め先からの支援策 (B票・問3) .....	191
(4) 働きながらの介護の継続見込 (B票・問4) .....	192
(5) 主な介護者が不安に感じる介護等 (B票・問5) .....	193
(6) 在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の利用状況 (B票・問6) .....	194
<b>第4章 自由回答のまとめ .....</b>	<b>195</b>
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	197
2. 在宅介護実態調査.....	203
<b>資 料 使用した調査票 .....</b>	<b>211</b>
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	213
2. 在宅介護実態調査.....	221

# 第1章

## 調査の概要



## 1. 調査の目的

本調査は、令和8年度に策定を予定している「墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画」（仮称）の策定にあたり、基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### (1) 調査内容

#### ①調査対象

65歳以上の高齢者のうち、要介護認定を受けていない区民の方

#### ②調査人数

4,000人（日常生活圏域あたり500人×8圏域）

※ 日常生活圏域あたり調査対象者数

（単位：人）

認定なし	要支援1	要支援2	合計
470	15	15	500

#### ③抽出方法

65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない高齢者は、住民基本台帳から無作為抽出した。  
要支援認定者は、介護保険台帳から無作為抽出した。

#### ④調査方法

郵送配布・郵送回収又はインターネット回答（礼状形式の督促1回実施）

#### ⑤調査時期

令和7年10月8日（水）～10月31日（金）

#### ⑥調査項目

調査項目は、厚生労働省が提示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月版）」における必須項目及びオプション項目から65問を選択し、これに墨田区の独自調査項目を46問加えた。

厚生労働省項目 (65問(オプション項目含む))	区独自調査項目 (46問)
<input type="checkbox"/> 家族や生活状況について	<input type="checkbox"/> からだを動かすことについて
<input type="checkbox"/> からだを動かすことについて	<input type="checkbox"/> 毎日の生活について
<input type="checkbox"/> 食べることについて	<input type="checkbox"/> 地域での活動について
<input type="checkbox"/> 毎日の生活について	<input type="checkbox"/> たすけあいについて
<input type="checkbox"/> 地域での活動について	<input type="checkbox"/> 健康について
<input type="checkbox"/> 就労について	<input type="checkbox"/> 認知症について
<input type="checkbox"/> たすけあいについて	<input type="checkbox"/> お住まいについて
<input type="checkbox"/> 健康について	<input type="checkbox"/> 地域のつながりについて
<input type="checkbox"/> 認知症について	<input type="checkbox"/> お住まいの地域での手助けについて
	<input type="checkbox"/> 今後の生活について

### (2) 回収結果

回収結果は、以下のとおりである。

#### ■回収結果

配布数 A	有効回収数 B	有効回収率 C(B/A)
4,000	2,592	64.8%

有効回収数のうちインターネット回答数 329件

### 3. 在宅介護実態調査

#### (1) 調査内容

##### ①調査対象

要支援・要介護認定を受けている区民のうち、在宅で生活しており、かつ、令和7年4月以降に更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方

##### ②調査人数

1,200 人

##### ③抽出方法

介護保険課が保有する認定情報を用いて調査対象者要件に該当する方を1,200人抽出

##### ④調査方法

郵送配布・郵送回収又はインターネット回答（礼状形式の督促1回実施）

##### ⑤調査時期

令和7年10月8日（水）～10月31日（金）

##### ⑥調査項目

調査項目は、厚生労働省が提示した「在宅介護実態調査実施のための手引き（令和7年8月版）」を参考に設定した。厚生労働省の示す基本調査項目及びオプション調査項目から19問を選択し、これに墨田区の独自調査項目を13問加えた。

厚生労働省項目 (19問 (オプション項目含む))	区独自調査項目 (13問)
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 世帯類型について</li><li>○ 家族等の介護の有無について</li><li>○ 介護保険以外の支援・サービスの利用状況について</li><li>○ 施設等への入所・入居の検討状況について</li><li>○ 介護者の就労制約の可否に係る意識について</li><li>○ 介護者が不安に感じている介護について</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 介護サービスの満足度について</li><li>○ 認知症施策推進基本計画の指標に関する内容について</li><li>○ 終末期のケアについて</li><li>○ 耳の聞こえについて</li><li>○ 収入状況について</li><li>○ 介護保険サービスと介護保険料について</li><li>○ 介護負担の軽減のために利用するサービスについて</li></ul>

#### (2) 回収結果

回収結果は、以下のとおりである。

##### ■回収結果

配布数 A	有効回収数 B	有効回収率 C (B/A)
1,200	754	62.8%

有効回収数のうちインターネット回答数 127 件

#### 4. 報告書を利用するにあたって

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査における図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はn、回答事業所数を100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の―は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 属性別のクロス集計結果は、回答者の属性が無回答の場合は除外して表示しているため、属性別の人数の合計が回答者の総数と一致しないことがある。
- 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている（無回答除く）。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 圏域別の分析にあたっては、次の高齢者支援総合センターの担当地区（日常生活圏域）とした。

#### ■高齢者支援総合センターの担当地区

高齢者支援総合センター名	担当地区(日常生活圏域)
みどり	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋
同愛	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋
なりひら	錦糸、太平、横川、業平
こうめ	向島、押上
むこうじま	東向島一、二、三、五、六丁目、京島
うめわか	堤通、墨田、東向島四丁目
ぶんか	文花、立花
八広はなみずき	八広、東墨田



## 第2章

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



# 1. 基本属性

## (1) 記入者

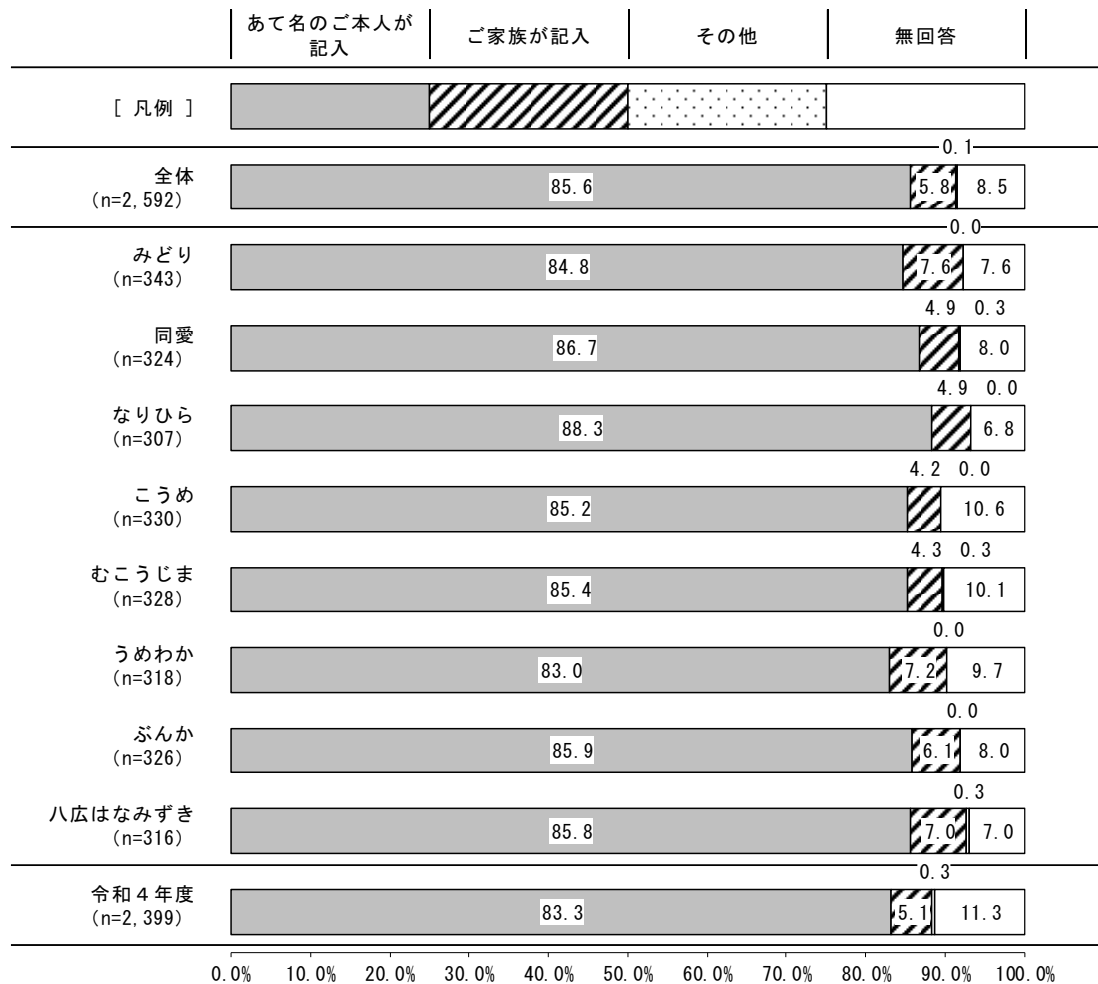
### 【全体】

○ 記入者について、「あて名のご本人が記入」が 85.6%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が 5.8%、「その他」が 0.1%となっています。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「あて名のご本人が記入」は、なりひら（88.3%）が最も多くなっています。

### 【記入者】



## (2) 性別

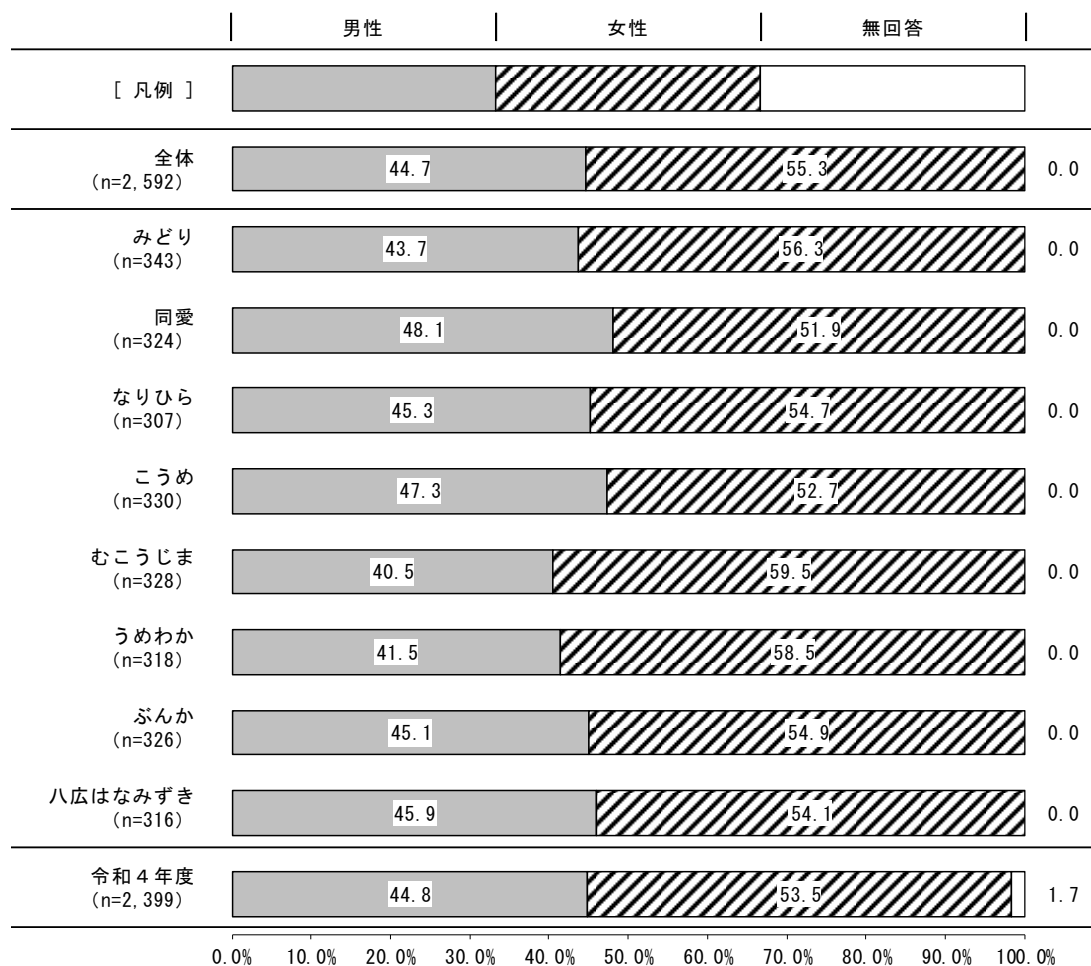
### 【全体】

○ 性別について、「男性」が44.7%、「女性」が55.3%となっています。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「男性」では、同愛（48.1%）、「女性」では、むこうじま（59.5%）が最も多くなっています。

### 【性別】



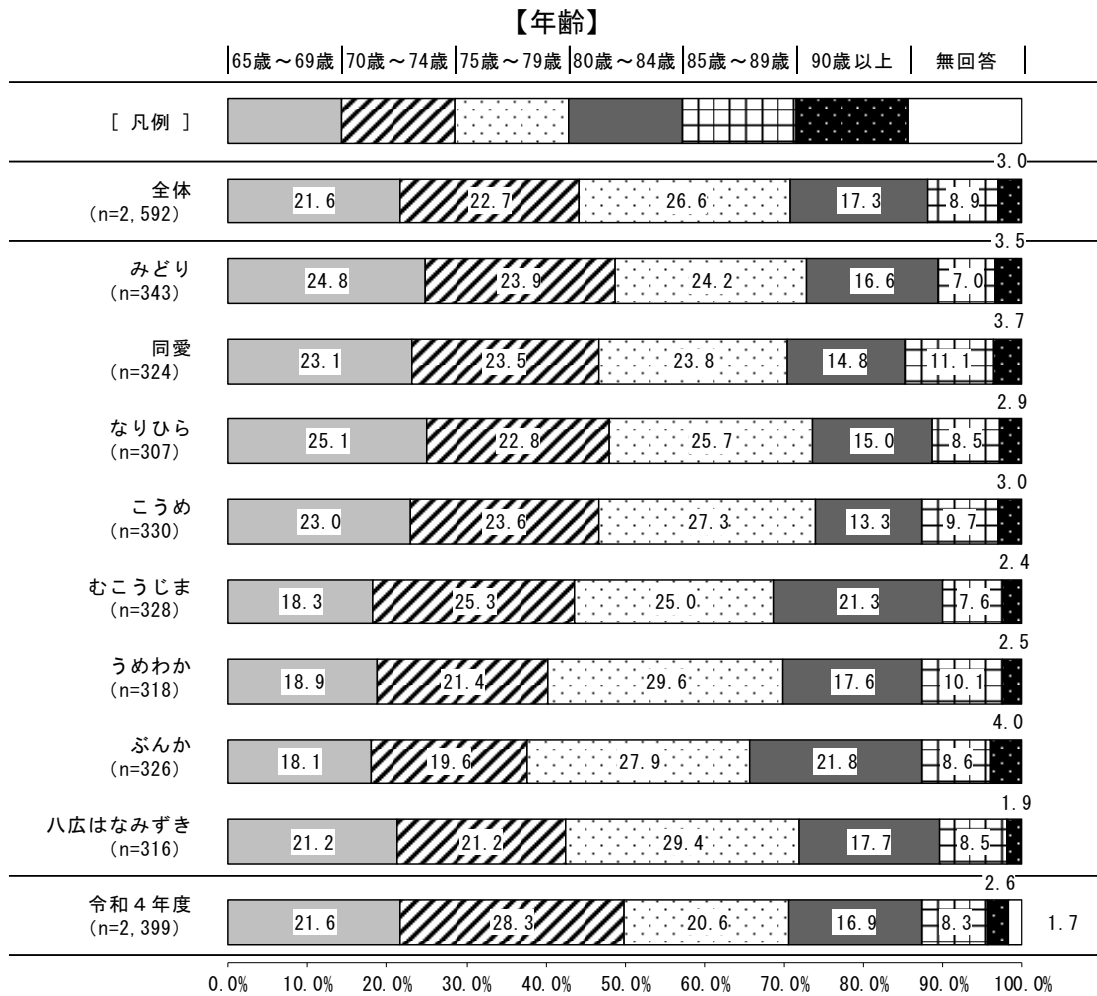
### (3) 年齢

**【全体】**

○ 年齢について、「75歳～79歳」が26.6%で最も多く、次いで「70歳～74歳」が22.7%、「65歳～69歳」が21.6%となっています。

**【圏域】**

○ 圏域別にみると、「75～79歳」では、うめわか(29.6%)が最も多くなっています。



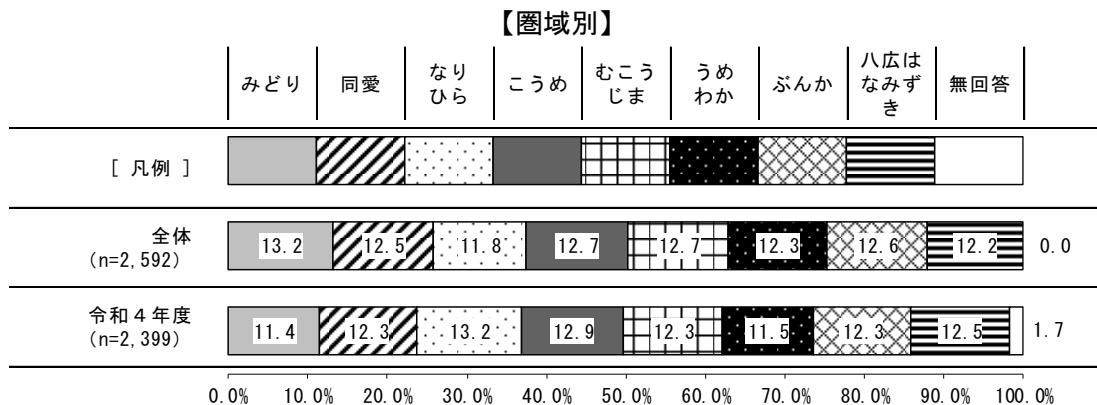
### (4) 圏域

**【全体】**

○ 圏域別について、「みどり」が13.2%で最も多く、次いで「こうめ」「むこうじま」が12.7%、「ぶんか」が12.6%となっています。

**【経年】**

○ 前回(令和4年度)と比較して、顕著な差はありませんでした。



## (5) 要支援認定の状況

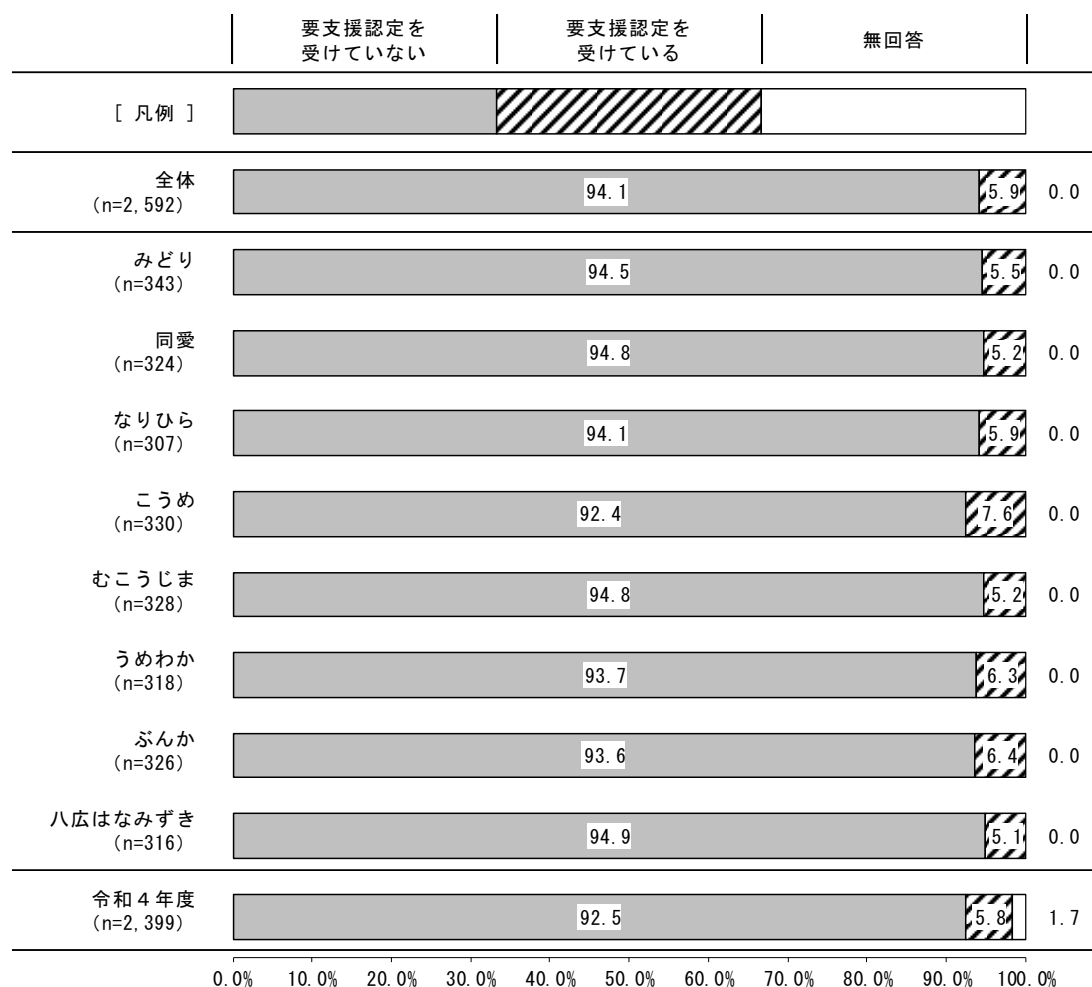
### 【全体】

- 要支援認定の状況について、「要支援認定を受けていない」が94.1%、「要支援認定を受けている」が5.9%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「要支援認定を受けている」では、こうめ（7.6%）が最も多く、八広はなみずき（5.1%）が最も少なくなっています。

【要支援認定状況】



## 2. 家族や生活状況について

### (1) 家族構成

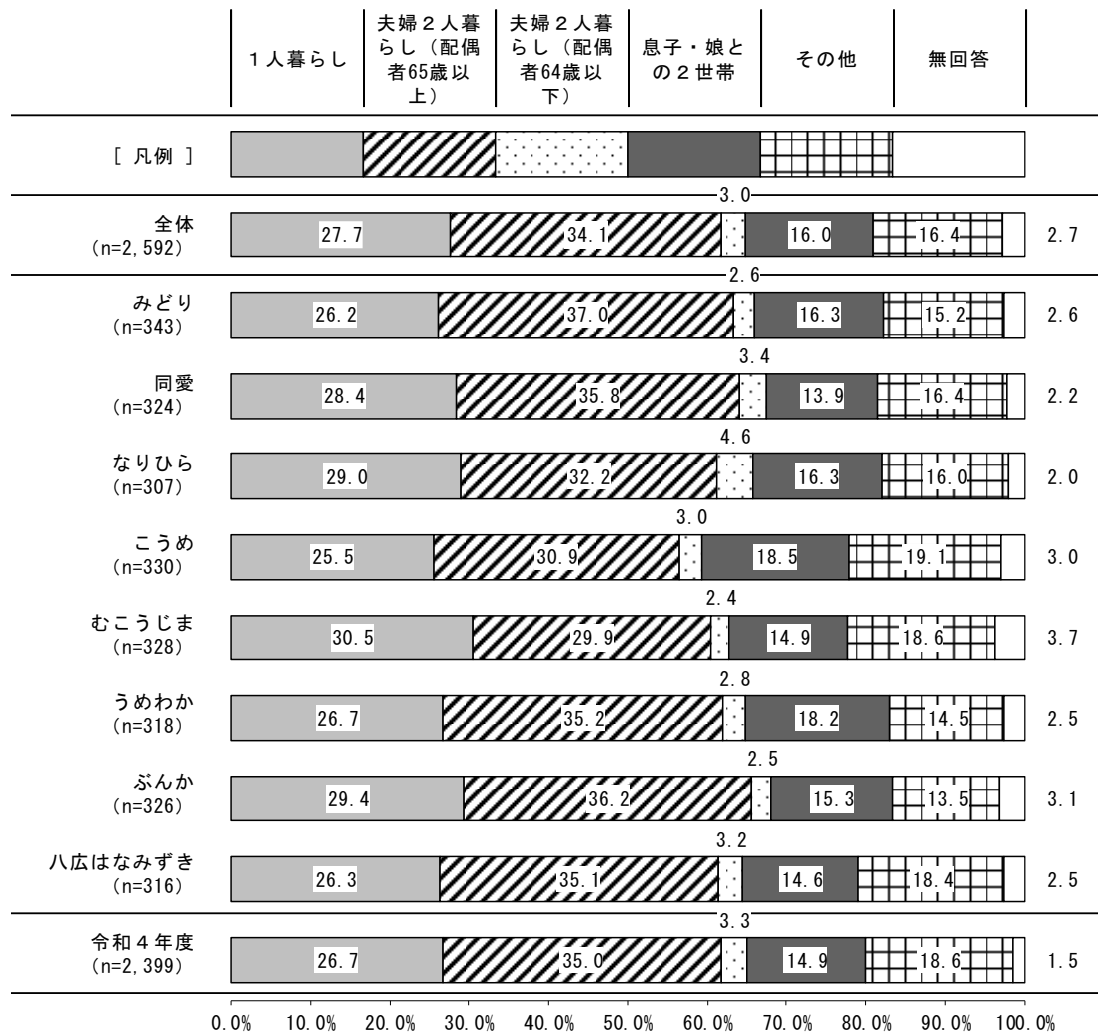
#### 【全体】

○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.1%で最も多く、次いで「1人暮らし」が27.7%、「その他」が16.4%となっています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、むこうじまは「1人暮らし」（30.5%）が最も多く、その他の圏域は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多くなっています。

#### 【家族構成】



## (2) 介護・介助の状況

### ①介護・介助の必要性

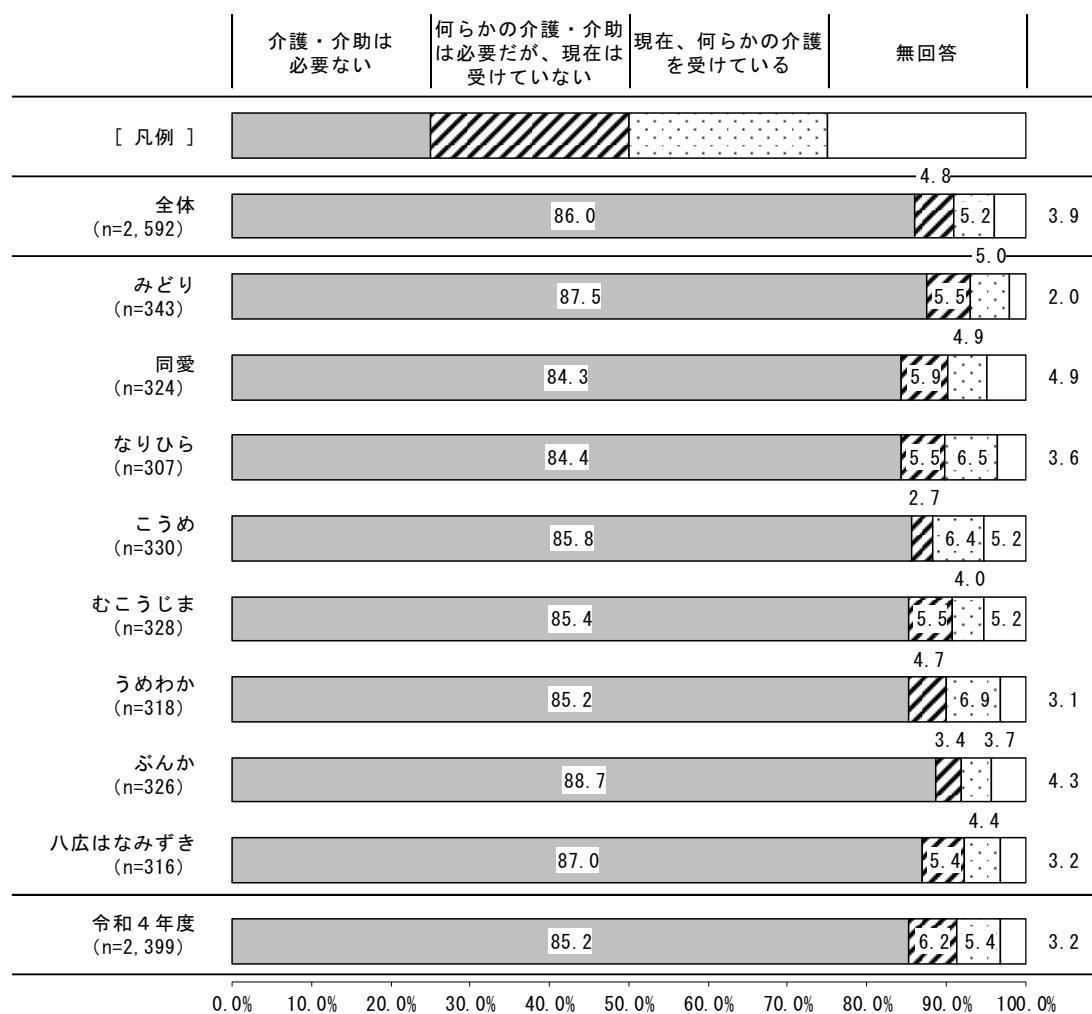
#### 【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 86.0%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が 5.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 4.8%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“介護・介助が必要である（「現在、何らかの介護を受けている」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の合計）”は、同愛（5.9%）が最も多くなっています。

### 【介護・介助の状況】



## ②介護・介助が必要になった主な原因

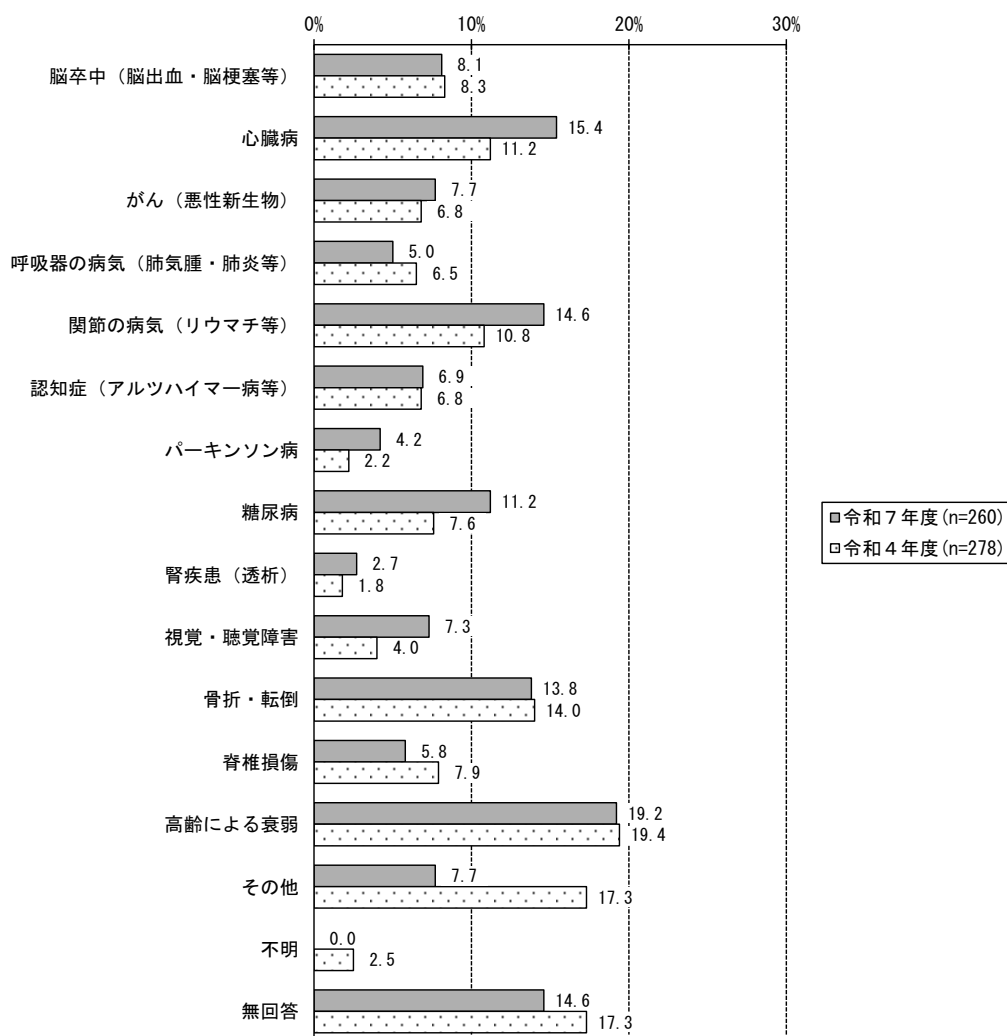
### 【全体】

- “介護・介助が必要である”と回答した人の介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が19.2%で最も多く、次いで「心臓病」が15.4%、「関節の病気（リウマチ等）」が14.6%となっています。

### 【性別】

- 性別にみると、男性では「心臓病」（21.0%）、「高齢による衰弱」（19.0%）、女性では「高齢による衰弱」（19.4%）、「関節の病気（リウマチ等）」（18.8%）の順となっている。

【介護・介助が必要になった主な原因】＜複数回答＞



【介護・介助が必要になった主な原因（性別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	（脳出血・脳梗塞等） 脳卒中	心臓病	（悪性新生物） がん	（肺気腫・肺炎等） 呼吸器の病気	（リウマチ等） 関節の病気	（アルツハイマー病等） 認知症	パーキンソン病	糖尿病
全体		260	8.1	15.4	7.7	5.0	14.6	6.9	4.2	11.2
性別	男性	100	13.0	21.0	8.0	6.0	8.0	8.0	5.0	17.0
	女性	160	5.0	11.9	7.5	4.4	18.8	6.3	3.8	7.5

		腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		2.7	7.3	13.8	5.8	19.2	7.7	-	14.6
性別	男性	3.0	8.0	13.0	8.0	19.0	5.0	-	12.0
	女性	2.5	6.9	14.4	4.4	19.4	9.4	-	16.3

### ③主な介護・介助者

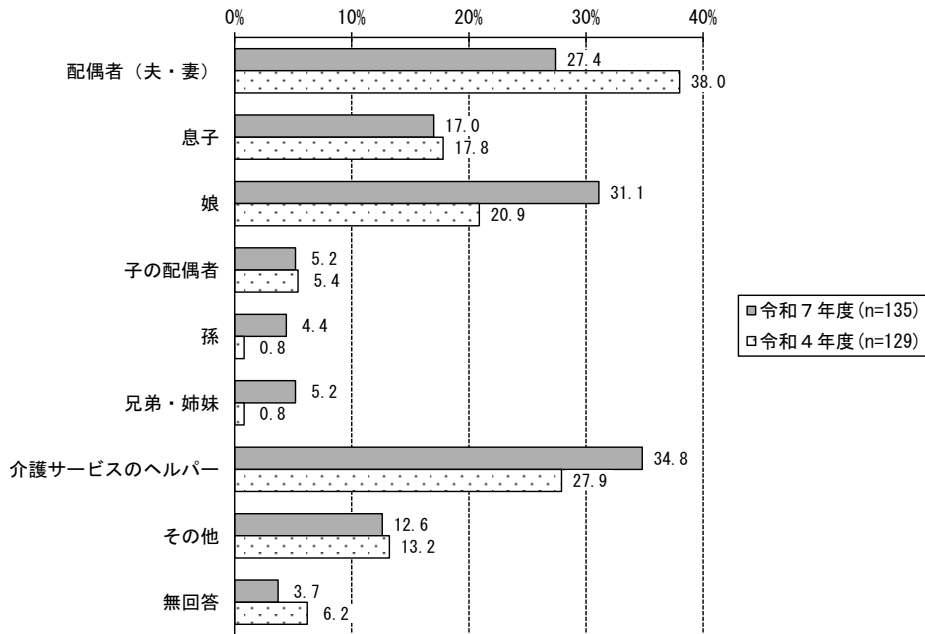
#### 【全体】

- 「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人の主な介護・介助者について、「介護サービスのヘルパー」が34.8%で最も多く、次いで「娘」が31.1%、「配偶者（夫・妻）」が27.4%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「配偶者（夫・妻）」（27.4%）が減少し、「娘」（31.1%）、「介護サービスのヘルパー」（34.8%）が増加しています。

【主な介護・介助者】＜複数回答＞



【主な介護・介助者（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数 (人)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	135	27.4	17.0	31.1	5.2	4.4	5.2	34.8	12.6	3.7
圏域	みどり	17	64.7	23.5	11.8	5.9	-	23.5	5.9	5.9
	同愛	16	18.8	18.8	37.5	6.3	12.5	18.8	25.0	-
	なりひら	20	10.0	10.0	30.0	10.0	5.0	35.0	20.0	10.0
	こうめ	21	14.3	9.5	28.6	4.8	9.5	38.1	9.5	9.5
	むこうじま	13	23.1	23.1	53.8	-	-	38.5	7.7	-
	うめわか	22	31.8	18.2	22.7	4.5	4.5	36.4	4.5	-
	ぶんか	12	41.7	16.7	41.7	8.3	-	33.3	25.0	-
	八広はなみずき	14	21.4	21.4	35.7	-	-	57.1	7.1	-

### (3) 生活の状況

#### ① 経済的な暮らし向きを感じ方

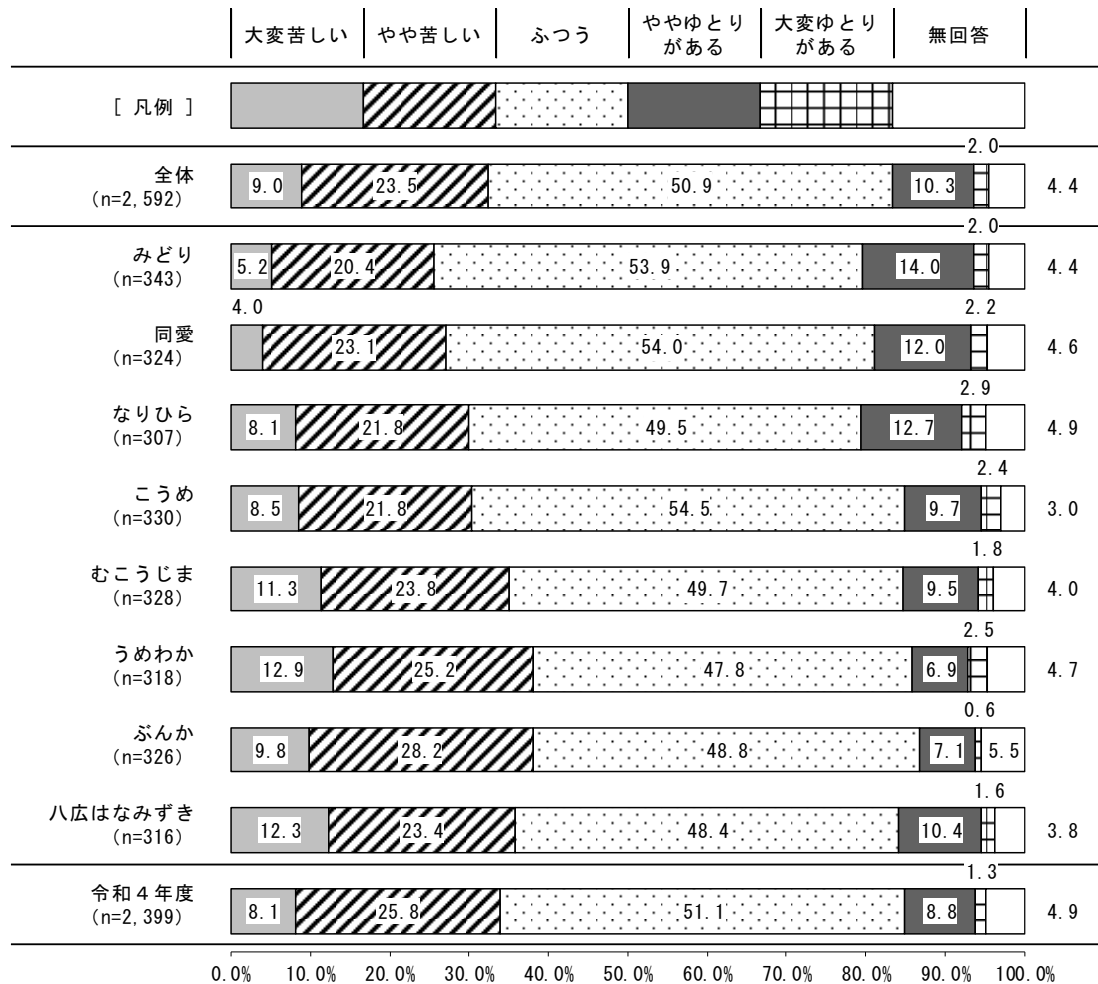
##### 【全体】

- 経済的な暮らし向きを感じ方について、「ふつう」が 50.9%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 23.5%、「ややゆとりがある」が 10.3%となっています。

##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

【経済的な暮らし向きを感じ方】



## ②住まいの形態

### 【全体】

○ 住まいの形態（居住形態）について、「持家（一戸建て）」が42.7%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が27.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が12.3%となっています。

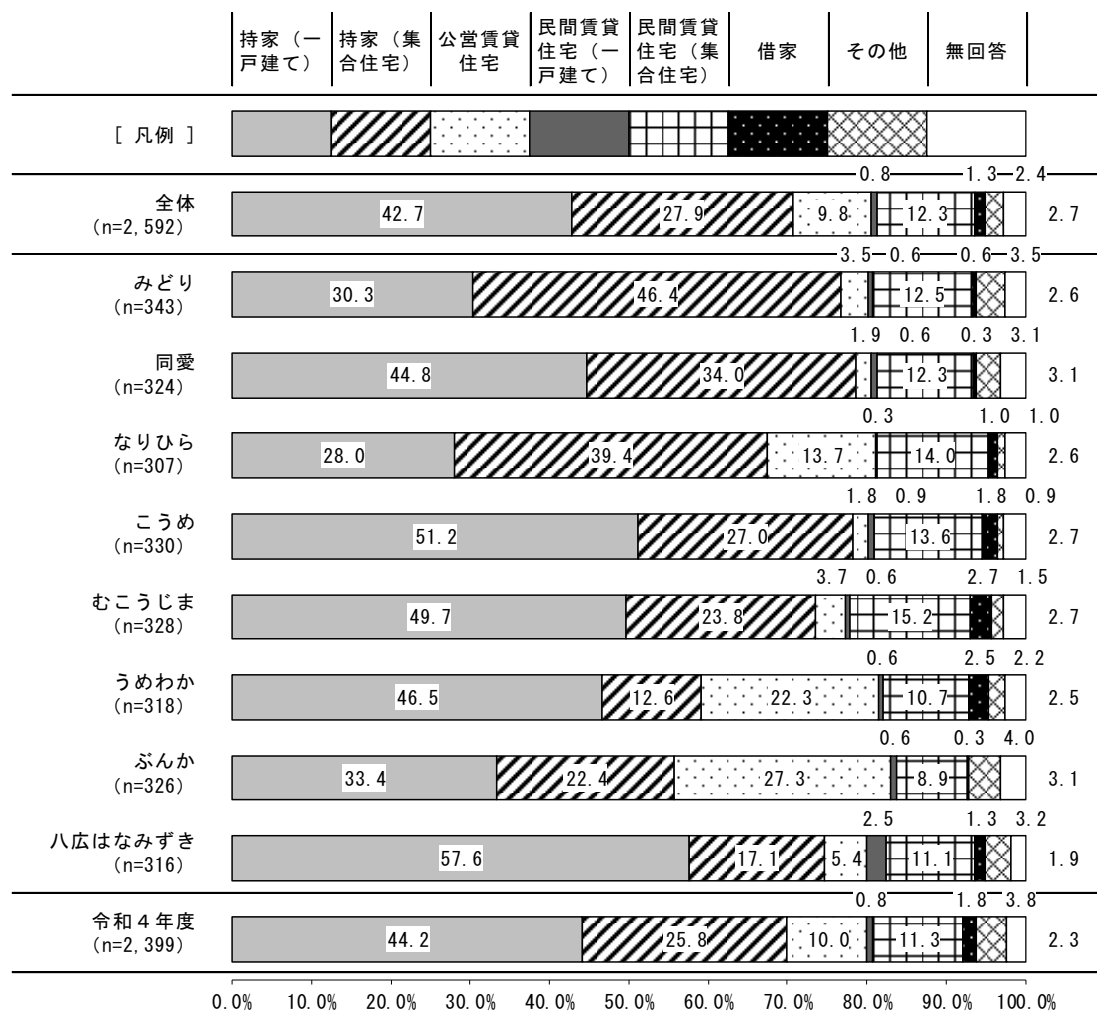
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「持家（一戸建て）」では、八広はなみずき（57.6%）が最も多くなっています。

### 【住まいの形態】



### 3. からだを動かすことについて

#### (1) 運動器機能リスク該当者

##### 【全体】

○ 運動器機能リスクについて、「該当（リスクがある人）」が 13.0%、「非該当」が 83.4%となっています。

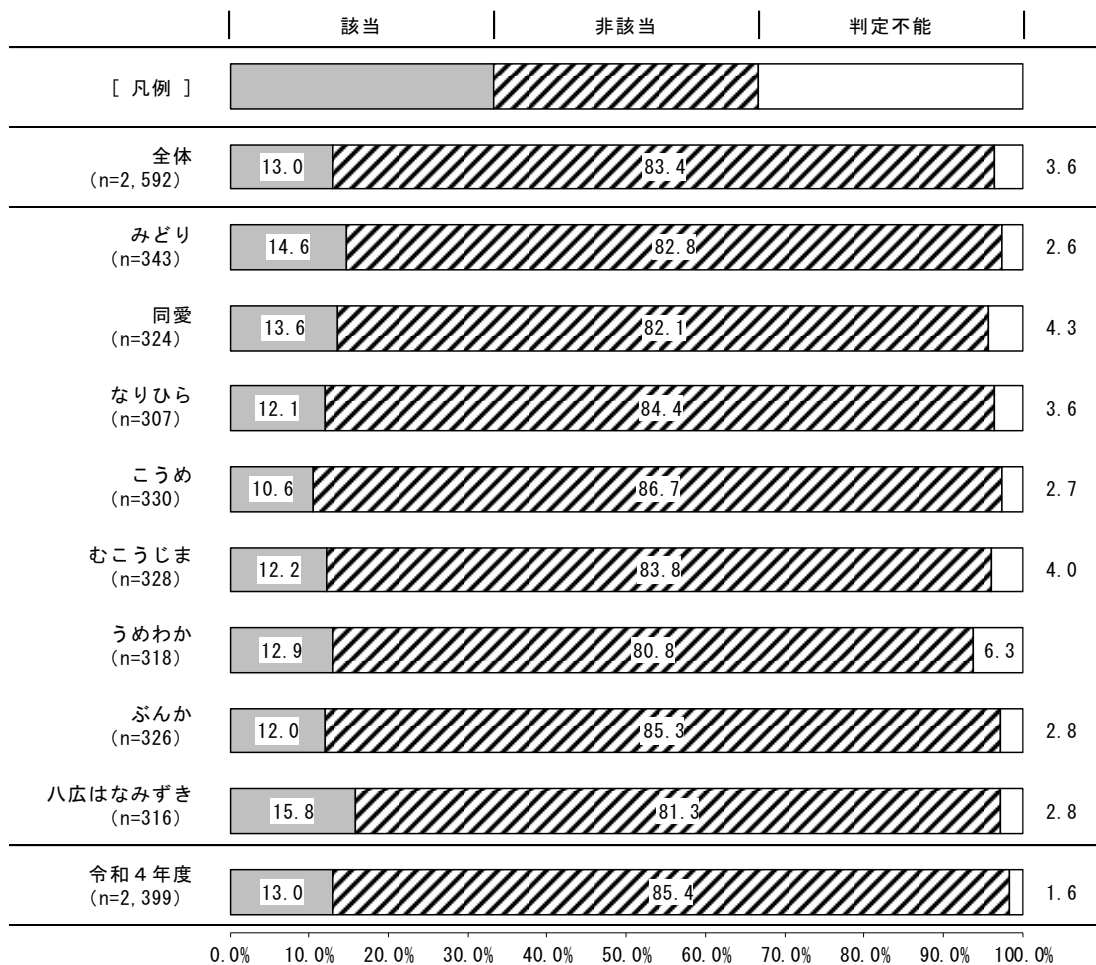
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「該当」は、八広はなみずき（15.8%）が最も多く、こうめ（10.6%）が最も少なくなっています。

【運動器機能リスク該当者】



「運動器機能リスク該当者」とは、調査票「第2 からだを動かすことについて」の以下の5つの設問のうち、3問以上、「→」の該当する選択肢を回答された方です。

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 → 3. できない
- (2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 → 3. できない
- (3) 15分くらい続けて歩いていますか。 → 3. できない
- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。 → 1. 何度もある、2. 1度ある
- (5) 転倒に対する不安は大きいですか。 → 1. とても不安である、2. やや不安である

## (2) 転倒リスク該当者

### ① 転倒リスク該当者

#### 【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当（リスクがある人）」が24.8%、「非該当」が72.0%となっています。

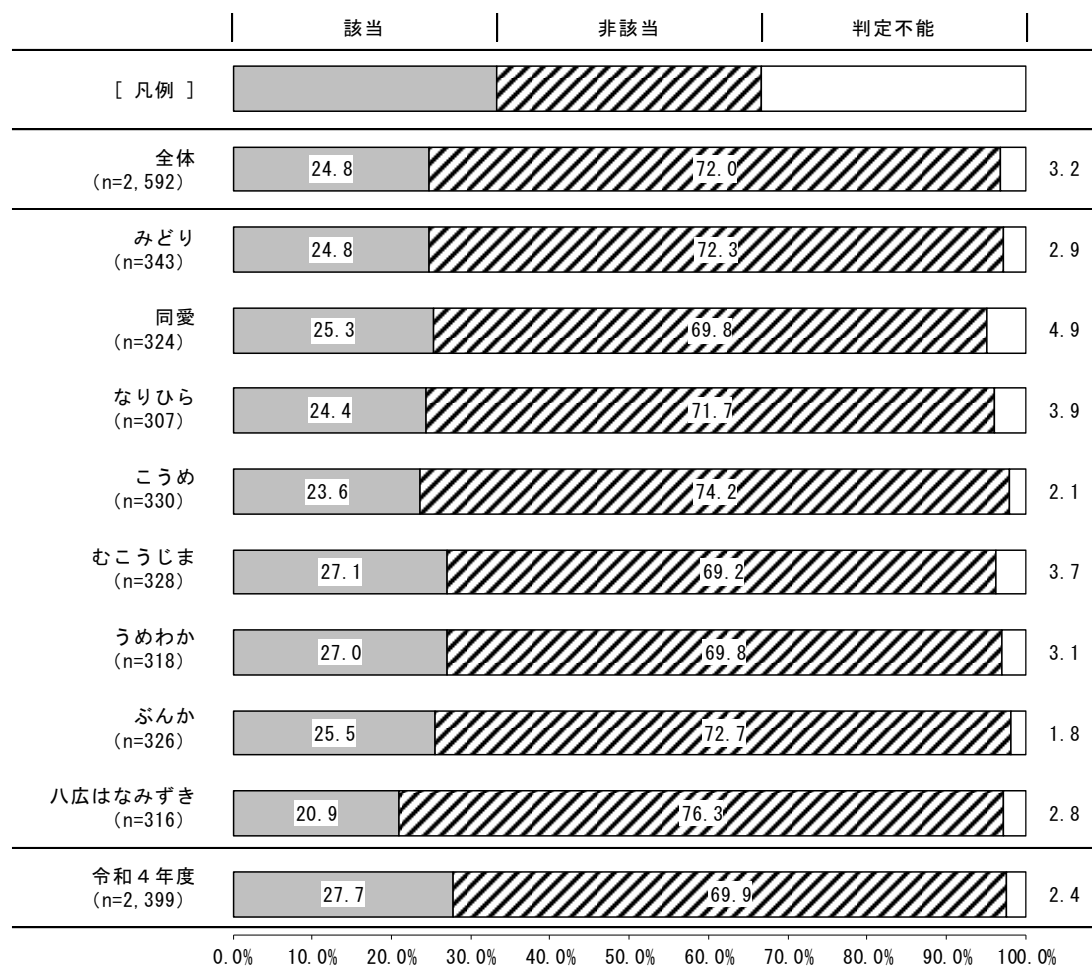
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「該当」は、むこうじま（27.1%）が最も多く、八広はなみずき（20.9%）が最も少なくなっています。

【転倒リスク該当者】



「転倒リスク該当者」とは、調査票「第2 からだを動かすことについて」の設問「(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか」で、「1. 何度もある」「2. 1度ある」と回答した方です。

## ②転倒場所

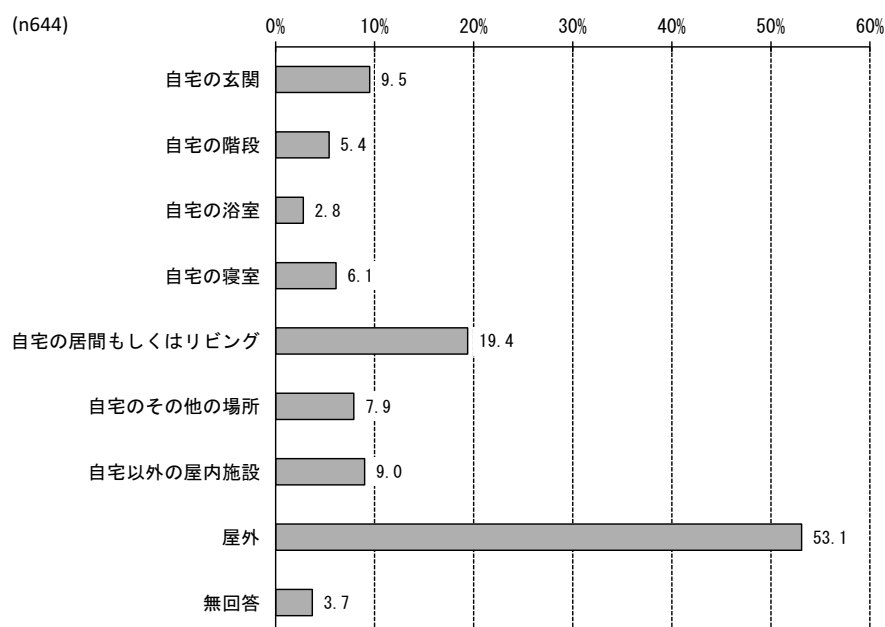
### 【全体】

- 転倒場所について、「屋外」が 53.1%で最も多く、次いで「自宅の居間もしくはリビング」が 19.4%、「自宅の玄関」が 9.5%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「屋外」が最も多くなっています。

【転倒場所】＜複数回答＞



【転倒場所（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	自宅の 玄関	自宅の 階段	自宅の 浴室	自宅の 寝室	自宅の 居間もしくは リビング	自宅の その他の 場所	自宅 以外の 屋内 施設	屋外	無 回答
全体		644	9.5	5.4	2.8	6.1	19.4	7.9	9.0	53.1	3.7
圏域	みどり	85	10.6	3.5	1.2	4.7	11.8	11.8	9.4	57.6	1.2
	同愛	82	15.9	11.0	2.4	3.7	14.6	11.0	7.3	48.8	3.7
	なりひら	75	2.7	5.3	2.7	6.7	14.7	5.3	13.3	61.3	1.3
	こうめ	78	7.7	7.7	2.6	6.4	25.6	5.1	10.3	47.4	2.6
	むこうじま	89	7.9	2.2	1.1	6.7	21.3	9.0	16.9	47.2	4.5
	うめわか	86	8.1	8.1	2.3	11.6	25.6	5.8	4.7	52.3	5.8
	ぶんか	83	10.8	2.4	8.4	6.0	21.7	6.0	4.8	53.0	3.6
	八広はなみずき	66	12.1	3.0	1.5	1.5	19.7	9.1	4.5	59.1	7.6

### ③転倒に対する不安

#### 【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が 39.0%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が 28.0%、「不安でない」が 14.6%となっています。

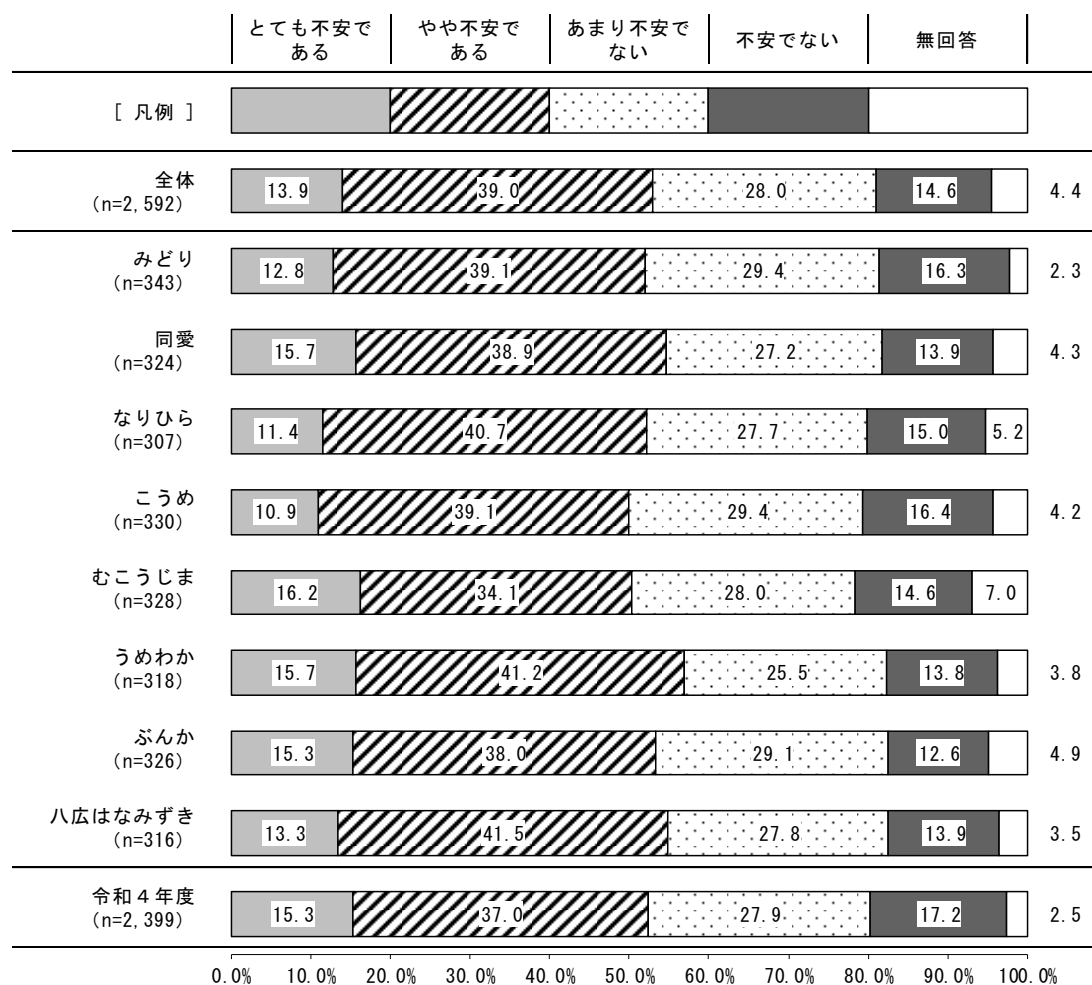
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、“転倒不安がある「とても不安である」「やや不安である」の合計”では、うめわか（56.9%）が最も多く、こうめ（50.0%）が最も少なくなっています。

#### 【転倒に対する不安】



### (3) 閉じこもりリスク該当者

#### ①閉じこもりリスク該当者

##### 【全体】

- 閉じこもりのリスクについて、「該当（リスクがある人）」が 12.2%、「非該当」が 84.1%となっています。

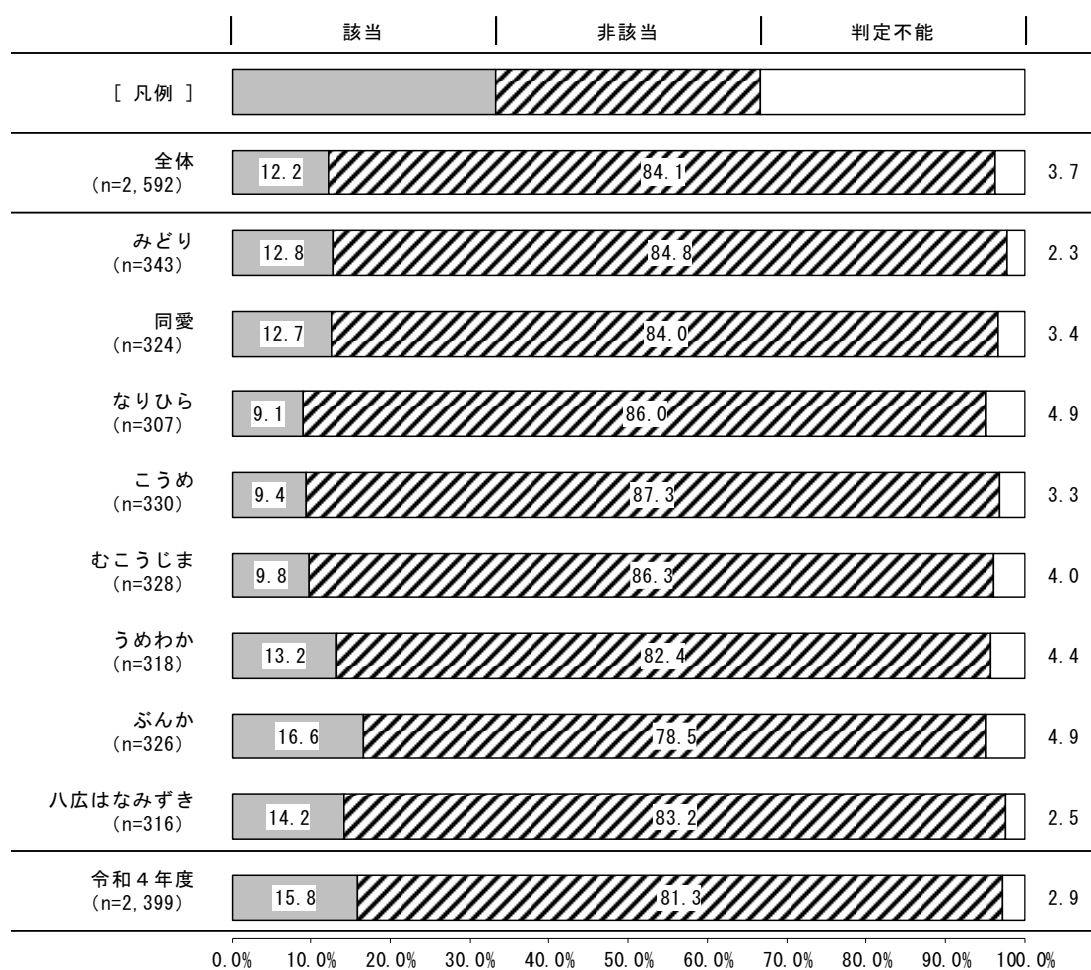
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「該当」（12.2%）が減少しています。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「該当」は、ぶんか（16.6%）が最も多く、なりひら（9.1%）が最も少なくなっています。

【閉じこもりのリスク】



「閉じこもりリスク該当者」とは、調査票「第2 からだを動かすことについて」の設問「(6)週に1回以上は外出していますか」で、「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」と回答した方です。

## ②昨年と比べた外出の頻度

### 【全体】

- 昨年度と比べた外出頻度の変化について、「減っていない」が 37.4%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が 32.2%、「減っている」が 23.3%となっています。

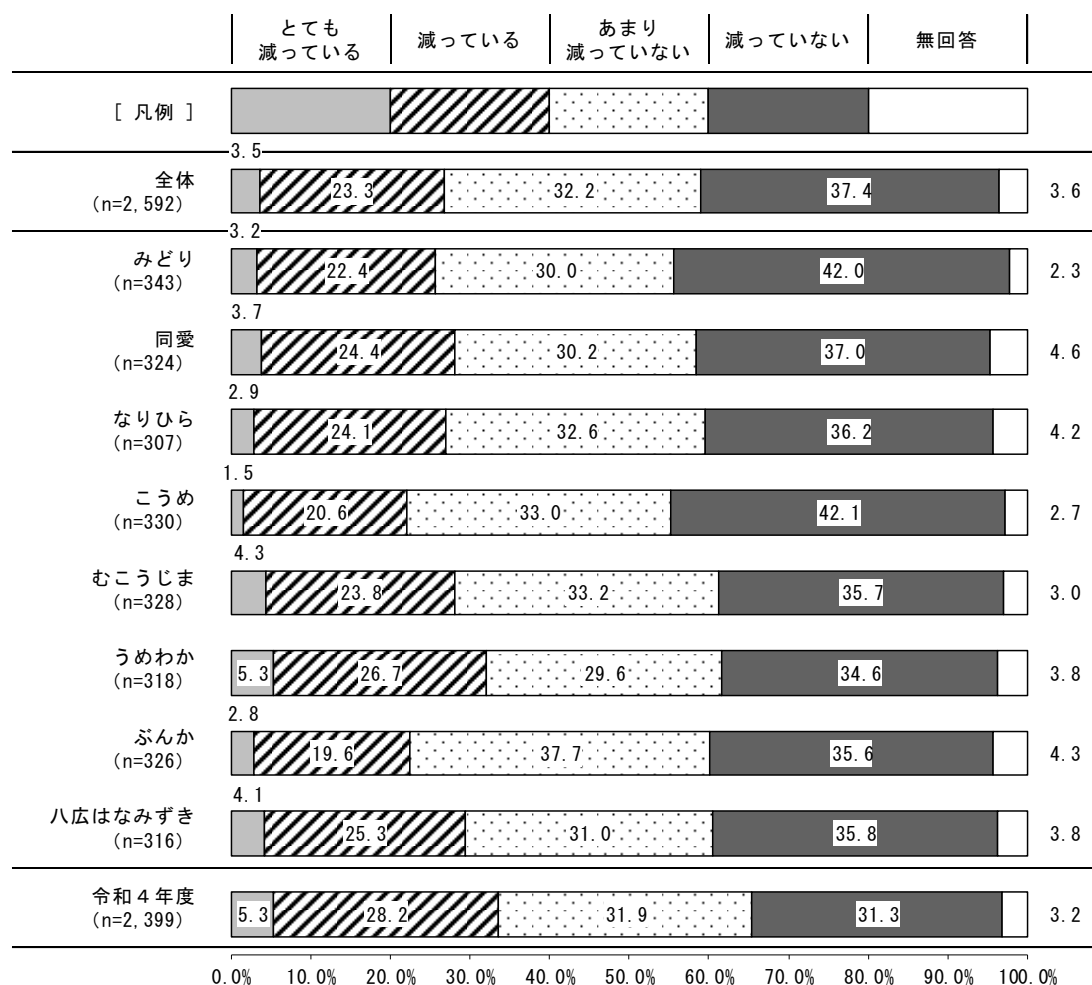
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「とても減っている」または「減っている」と回答した“外出が減っている”（26.8%）は前回（33.5%）より減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“外出が減っている”は、うめわか（32.0%）が最も多く、こうめ（22.1%）が最も少なくなっています。

【昨年と比べた外出の頻度】



## (4) 外出の状況

### ①外出の控え

#### 【全体】

- 外出の控えの有無について、「はい」が16.3%、「いいえ」が80.0%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、外出を控えている人（「はい」と回答）は、13.2ポイント減少しました。

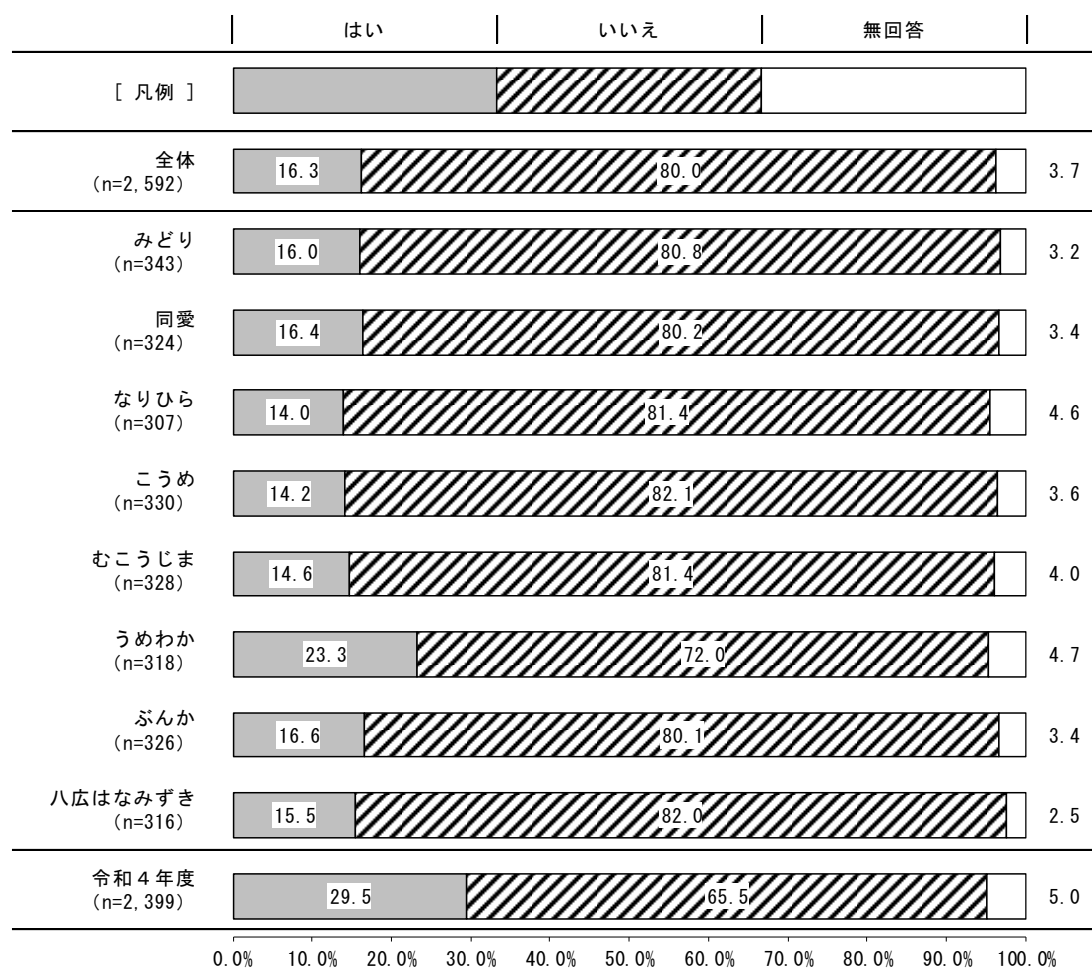
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、外出を控えている人（「はい」と回答）は、うめわか（23.3%）が最も多く、なりひら（14.0%）が最も少なくなっています。

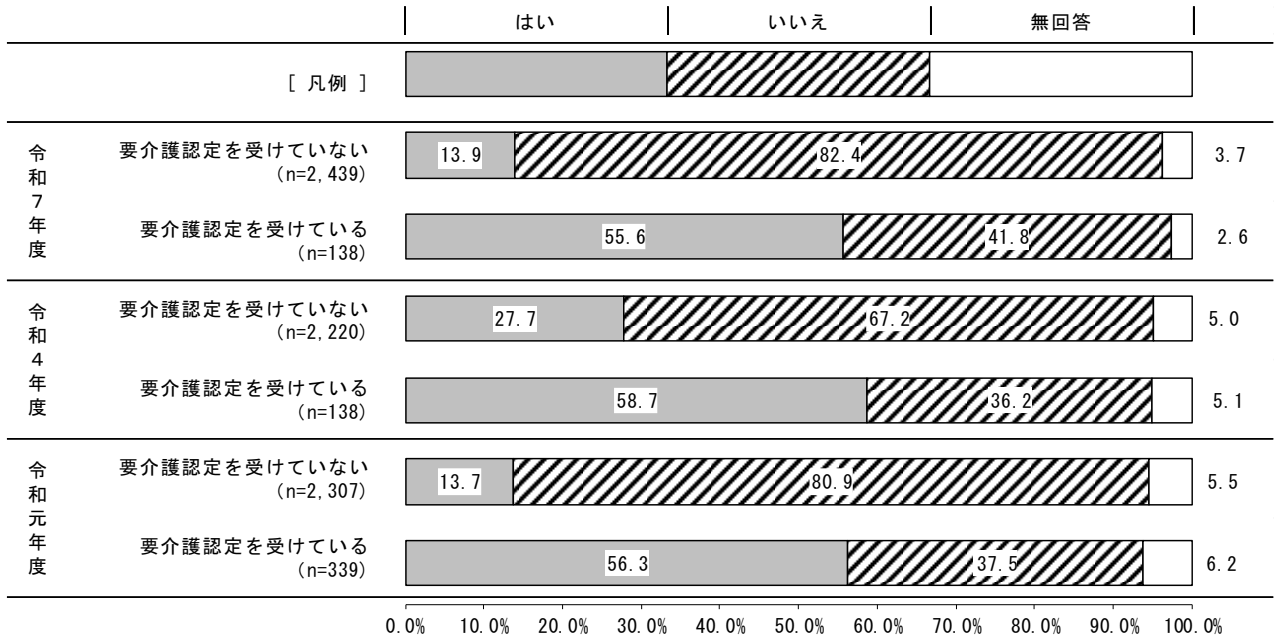
#### 【要支援認定の有無別】

- 要支援認定の有無別にみると、要支援認定を受けている人（55.6%）は受けていない人（13.9%）より、外出を控えている人（「はい」と回答）が41.7ポイント多くなっています。
- また、前回（令和4年度）と比べて、外出を控えている人（「はい」と回答）は、要支援認定を受けていない人で13.8ポイント減少し、受けている人で3.1ポイント減少しました。

【外出の控え】



【外出の控え（要支援認定の有無別）】



## ②外出を控えている理由

### 【全体】

- 外出を控えていると回答した人の外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 52.0%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」が 18.4%、「トイレの心配（失禁など）」が 18.0%となっています。

### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「足腰などの痛み」（52.0%）が 17.1 ポイント、「外での楽しみがない」（18.4%）が 8.1 ポイント増加し、前回はその約 8 割が新型コロナウイルス感染症リスク対策であった「その他」（15.8%）が 30.3 ポイント減少しています。

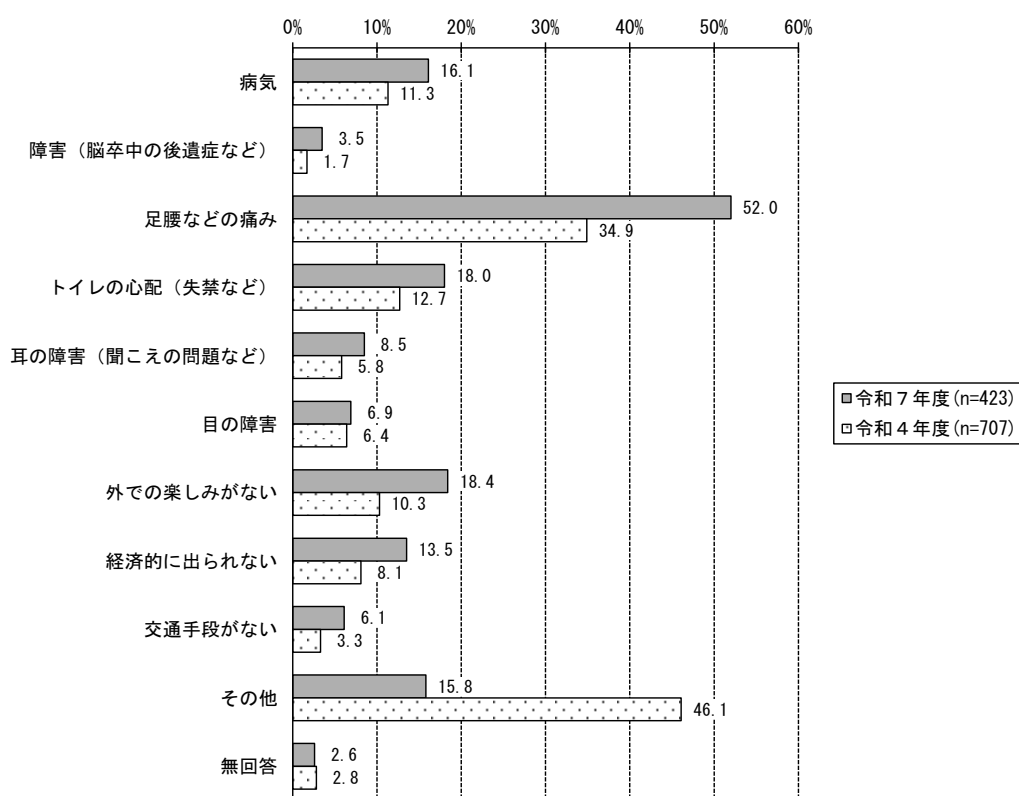
### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「足腰などの痛み」が最も多くなっています。

### 【要支援認定の有無別】

- 要支援認定の有無別にみると、要支援認定を受けている人は、受けていない人に比べて、「足腰などの痛み」（71.8%）が多く、その差は 24.8 ポイントとなっています。
- また、要支援認定を受けている人は「トイレの心配（失禁など）」（21.2%）が 2 番目に多く、受けていない人は「外での楽しみがない」（20.1%）が 2 番目に多くなっています。

【外出を控えている理由】＜複数回答＞



【外出を控えている理由（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	病気	（脳卒中の後遺症など） 障害	足腰などの痛み	トイレの心配 （失禁など）	（聞こえの問題など） 耳の障害	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	
全体	423	16.1	3.5	52.0	18.0	8.5	6.9	18.4	13.5	6.1	15.8	2.6	
圏域	みどり	55	12.7	3.6	49.1	16.4	12.7	10.9	18.2	18.2	1.8	10.9	5.5
	同愛	53	13.2	1.9	49.1	24.5	5.7	5.7	17.0	7.5	5.7	35.8	-
	なりひら	43	23.3	-	62.8	18.6	4.7	2.3	27.9	4.7	-	9.3	2.3
	こうめ	47	12.8	2.1	42.6	10.6	2.1	12.8	8.5	17.0	2.1	25.5	6.4
	むこうじま	48	14.6	6.3	58.3	20.8	8.3	10.4	20.8	14.6	6.3	14.6	-
	うめわか	74	12.2	5.4	55.4	17.6	9.5	4.1	17.6	13.5	16.2	9.5	1.4
	ぶんか	54	22.2	5.6	51.9	14.8	18.5	-	13.0	14.8	1.9	13.0	1.9
	八広はなみずき	49	20.4	2.0	46.9	20.4	4.1	10.2	26.5	16.3	10.2	10.2	4.1

【外出を控えている理由（要支援認定の有無別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	病気	（脳卒中の後遺症など） 障害	足腰などの痛み	トイレの心配 （失禁など）	（聞こえの問題など） 耳の障害	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	
全体	423	16.1	3.5	52.0	18.0	8.5	6.9	18.4	13.5	6.1	15.8	2.6	
要支援認定の有無	要支援認定を受けていない	338	16.6	2.4	47.0	17.2	8.0	5.0	20.1	15.1	5.0	16.9	3.0
	要支援認定を受けている	85	14.1	8.2	71.8	21.2	10.6	14.1	11.8	7.1	10.6	11.8	1.2

### ③外出する際の移動手段

#### 【全体】

- 外出する際の移動手段について、「徒歩」が 79.2%で最も多く、次いで「電車」が 61.7%、「路線バス」が 54.0%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

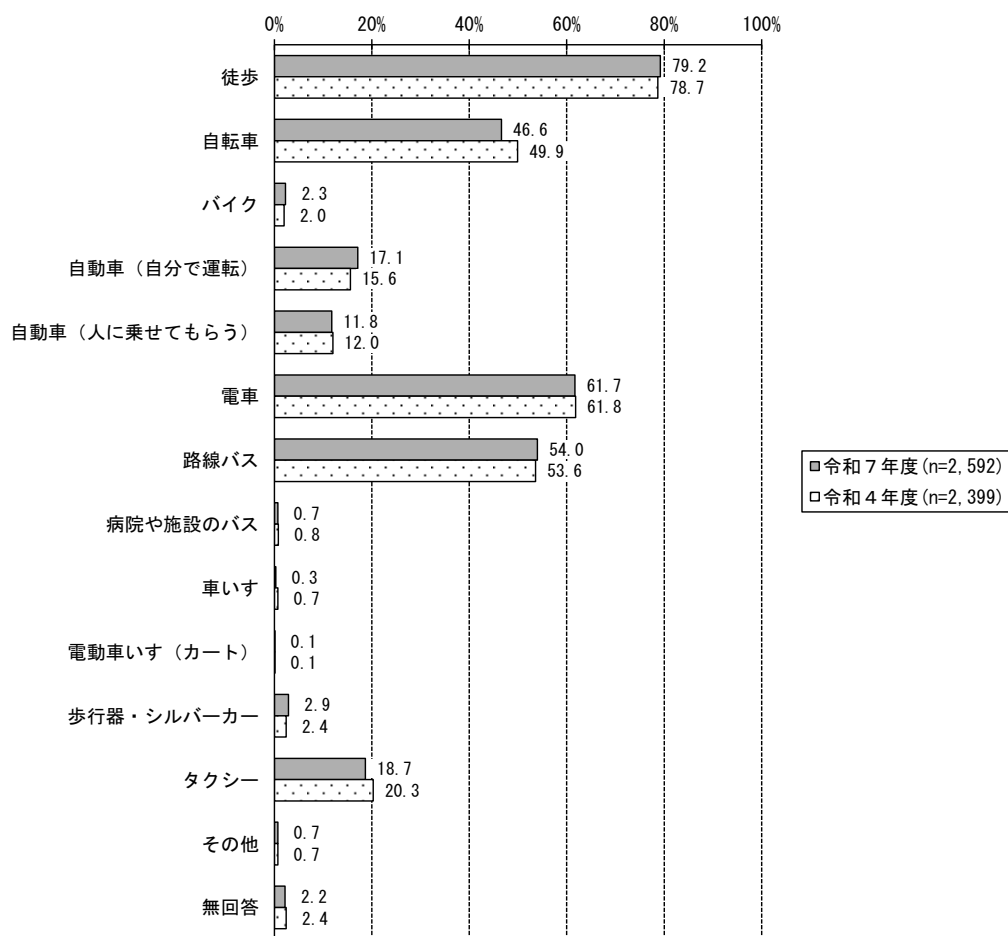
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「徒歩」が最も多くなっています。

#### 【要支援認定の有無別】

- 要支援認定の有無別にみると、要支援認定を受けていない人は、受けている人に比べて、「徒歩」(80.7%)が多く、その差は 25.8 ポイントとなっています。
- また、要支援認定を受けていない人は「電車」(64.0%)が2番目に多く、受けている人は「タクシー」(47.1%)が2番目に多くなっています。

【外出する際の移動手段】＜複数回答＞



【外出する際の移動手段（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車 （自分で運転）	自動車 （人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす （カート）	歩行器 ・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,592	79.2	46.6	2.3	17.1	11.8	61.7	54.0	0.7	0.3	0.1	2.9	18.7	0.7	2.2
圏域	みどり	343	84.3	44.6	0.9	13.4	13.7	68.2	53.1	0.6	0.3	0.3	2.0	25.9	0.9	2.3
	同愛	324	79.6	40.7	2.8	23.5	15.1	59.6	66.0	0.9	0.3	-	2.8	24.4	1.2	2.5
	なりひら	307	85.7	33.6	2.3	16.3	10.7	59.3	60.6	1.0	-	-	3.3	19.5	1.3	2.3
	こうめ	330	80.9	53.3	2.7	14.5	10.0	63.9	52.7	0.9	-	-	2.7	17.6	-	1.5
	むこうじま	328	85.4	42.1	1.5	17.7	11.3	65.2	47.6	0.3	-	-	2.7	16.2	0.6	1.8
	うめわか	318	68.6	55.3	3.5	14.2	11.9	65.7	43.4	0.6	0.9	-	3.5	15.7	0.3	1.9
	ぶんか	326	74.8	46.9	3.1	16.3	10.1	59.5	54.6	0.3	1.2	0.3	3.1	13.2	0.6	3.7
	八広はなみずき	316	73.7	55.7	1.6	20.9	11.7	51.6	54.4	0.6	-	-	3.5	16.5	0.9	1.3

【外出する際の移動手段（要支援有無別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	徒歩	自転車	バイク	自動車 （自分で運転）	自動車 （人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす （カート）	歩行器 ・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,592	79.2	46.6	2.3	17.1	11.8	61.7	54.0	0.7	0.3	0.1	2.9	18.7	0.7	2.2
要支援の有無	要支援認定を受けていない	2,439	80.7	48.7	2.4	18.0	11.1	64.0	54.9	0.3	0.1	0.0	1.1	16.9	0.6	2.2
	要支援認定を受けている	153	54.9	13.1	-	1.3	23.5	26.1	39.9	5.9	4.6	0.7	31.4	47.1	2.6	2.0

#### ④外出の目的

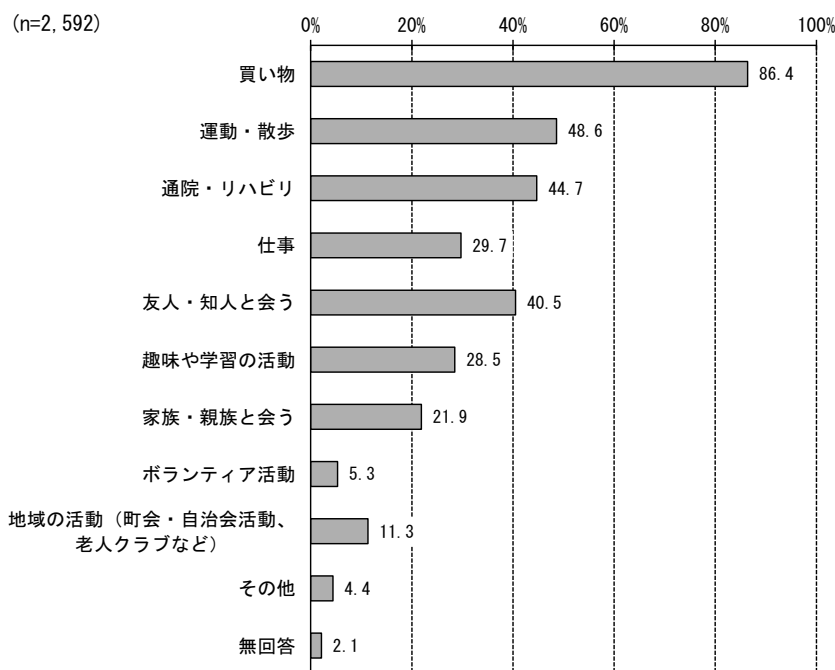
##### 【全体】

○ 外出の目的について、「買い物」が 86.4%で最も多く、次いで「運動・散歩」が 48.6%、「通院・リハビリ」が 44.7%となっています。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、全ての圏域で「買い物」が最も多くなっています。

【外出の目的】＜複数回答＞



【外出の目的 (圏域別)】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数 (人)	買い物	運動・散歩	通院・リハビリ	仕事	友人・知人と会う	趣味や学習の活動	家族・親族と会う	ボランティア活動	地域の活動 (町会・自治会活動、老人クラブなど)	その他	無回答	
全体	2,592	86.4	48.6	44.7	29.7	40.5	28.5	21.9	5.3	11.3	4.4	2.1	
圏域	みどり	343	88.0	49.0	44.6	29.4	45.5	32.9	25.4	4.4	9.9	6.4	2.6
	同愛	324	87.3	49.4	45.7	31.8	42.9	31.8	21.0	7.1	13.3	4.0	2.2
	なりひら	307	84.7	55.0	46.9	31.9	40.7	29.3	21.8	5.9	11.7	3.3	2.0
	こうめ	330	87.0	52.1	48.5	26.4	44.2	25.2	25.5	6.4	11.8	5.2	1.5
	むこうじま	328	87.5	50.0	42.7	28.7	40.9	29.0	24.4	3.7	9.8	3.4	2.4
	うめわか	318	84.3	45.9	46.5	29.9	36.5	28.6	20.1	5.7	10.4	3.1	1.9
	ぶんか	326	85.0	44.2	41.7	28.2	36.2	23.6	16.9	5.2	11.0	5.5	2.8
	八広はなみずき	316	87.0	43.0	41.1	31.6	37.0	27.8	19.6	4.4	12.3	3.8	1.3

### ⑤外出時に不安なこと

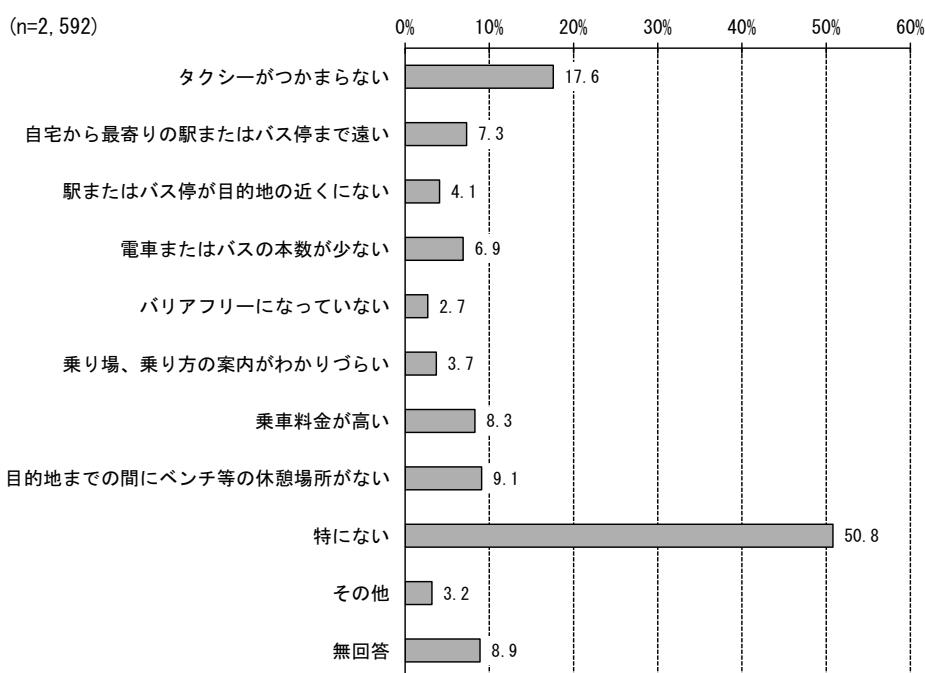
#### 【全体】

- 外出時に不安なことについて、「特にない」が 50.8%で最も多く、次いで「タクシーがつかまらない」が 17.6%、「目的地までの間にベンチ等の休憩場所がない」が 9.1%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、他の圏域と比べて、うめわか「タクシーがつかまらない」(21.1%)、「電車またはバスの本数が少ない」(13.5%)が、ぶんか「タクシーがつかまらない」(20.9%)、八広はなみずきは「自宅から最寄りの駅またはバス停まで遠い」(11.1%)が多くなっています。

【外出時に不安なこと】＜複数回答＞



【外出時に不便なこと（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数(人)	タクシーがつかまらない	自宅から最寄りの駅またはバス停まで遠い	駅またはバス停が目的地の近くにない	電車またはバスの本数が少ない	バリアフリーになっていない	乗り場、乗り方の案内がわかりづらい	乗車料金が高い	目的地までの間にベンチ等の休憩場所がない	特にない	その他	無回答	
全体	2,592	17.6	7.3	4.1	6.9	2.7	3.7	8.3	9.1	50.8	3.2	8.9	
圏域	みどり	343	16.0	4.7	4.4	7.9	1.2	4.4	7.0	10.8	55.7	3.8	5.5
	同愛	324	17.6	5.9	4.3	3.7	2.2	2.5	7.4	9.3	51.5	4.6	8.6
	なりひら	307	13.7	5.5	2.3	4.9	3.3	3.6	6.8	11.7	55.0	2.0	11.1
	こうめ	330	18.8	7.0	3.3	6.7	2.7	3.0	8.2	8.2	50.3	3.3	8.5
	むこうじま	328	16.8	7.0	4.6	6.4	2.7	3.4	8.2	8.8	54.3	2.1	11.0
	うめわか	318	21.1	9.1	6.0	13.5	4.4	5.0	9.7	8.5	40.9	3.8	8.8
	ぶんか	326	20.9	8.3	4.0	4.9	2.1	4.0	9.2	8.6	48.8	4.0	9.2
	八広はなみずき	316	15.5	11.1	3.5	7.3	3.2	3.8	9.8	7.3	50.0	2.2	8.5

#### 4. 食べることについて

##### (1) 低栄養について

###### ①栄養改善リスク該当者

###### 【全体】

○ 栄養改善のリスクについて、「該当（リスクがある人）」が 9.3%、「非該当」が 87.0%となっています。

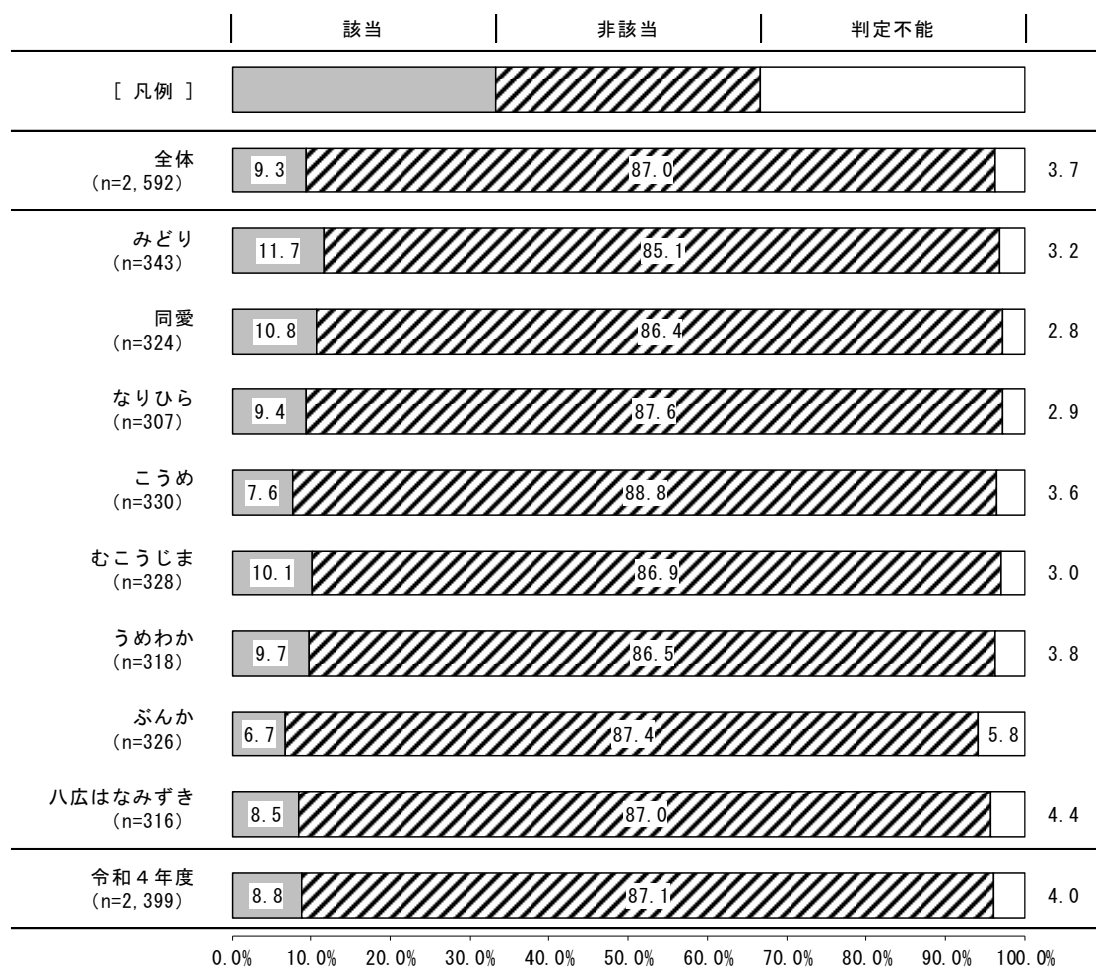
###### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

###### 【圏域】

○ 圏域別にみると、みどり（11.7%）が最も多く、ぶんか（6.7%）が最も少なくなっています。

【栄養改善リスク該当者】



「栄養改善リスク該当者」とは、調査票「第3 食べることについて」の「(1)身長・体重」で、BMI(体重(kg)÷{身長(cm)×身長(cm)})が18.5以下の方です。

## ②低栄養状態にある高齢者

### 【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当（リスクがある人）」が 1.5%、「非該当」が 90.7%となっています。

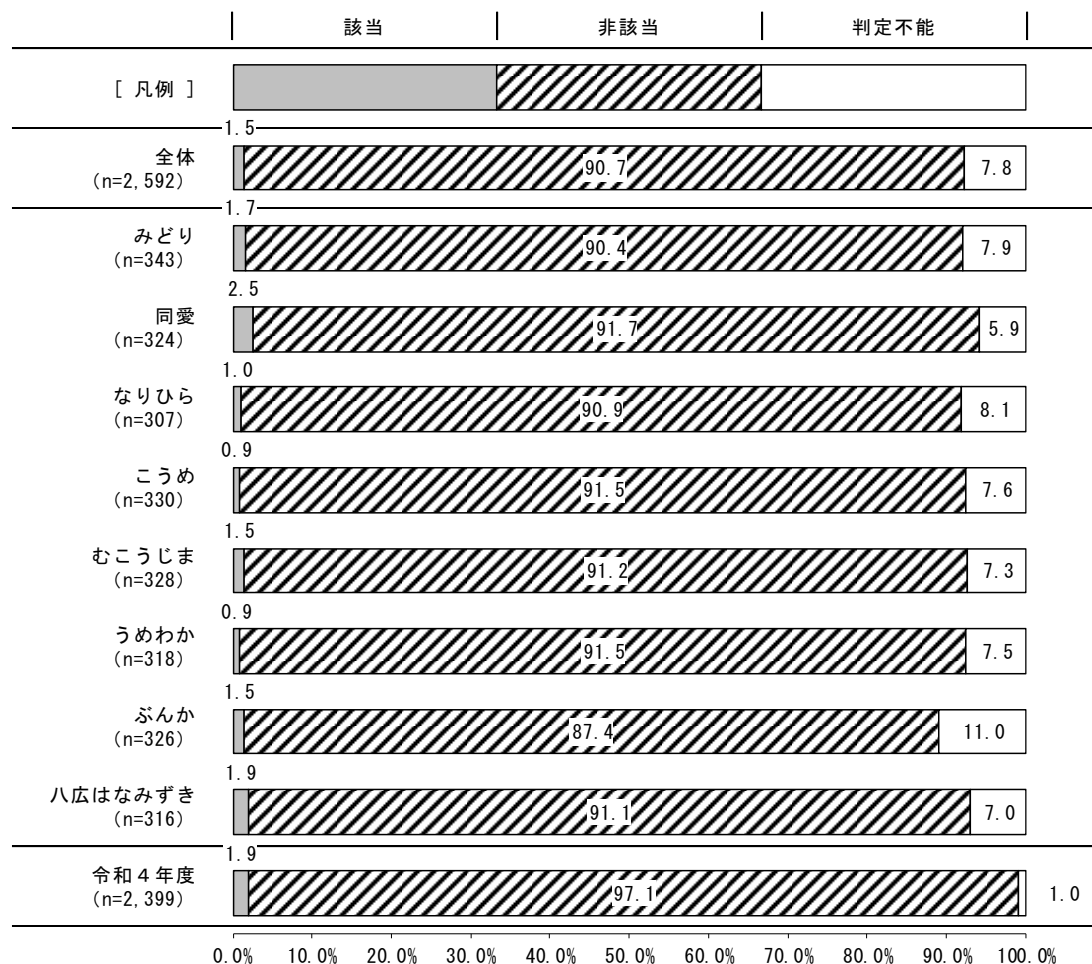
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、同愛（2.5%）が最も多く、こうめとうめわか（それぞれ0.9%）が最も少なくなっています。

【低栄養状態にある高齢者】



「低栄養状態にある高齢者」とは、調査票「第3 食べることについて」の「(1)身長・体重」で、BMI(体重(kg)÷{身長(cm)×身長(cm)})が18.5以下で、かつ「(7)6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか・」で「はい」と回答した方です。

## (2) 口腔機能について

### ①咀嚼機能リスク該当者

#### 【全体】

- 咀嚼機能リスク該当者について、「該当（リスクがある人）」が 29.4%、「非該当」が 68.5%となっています。

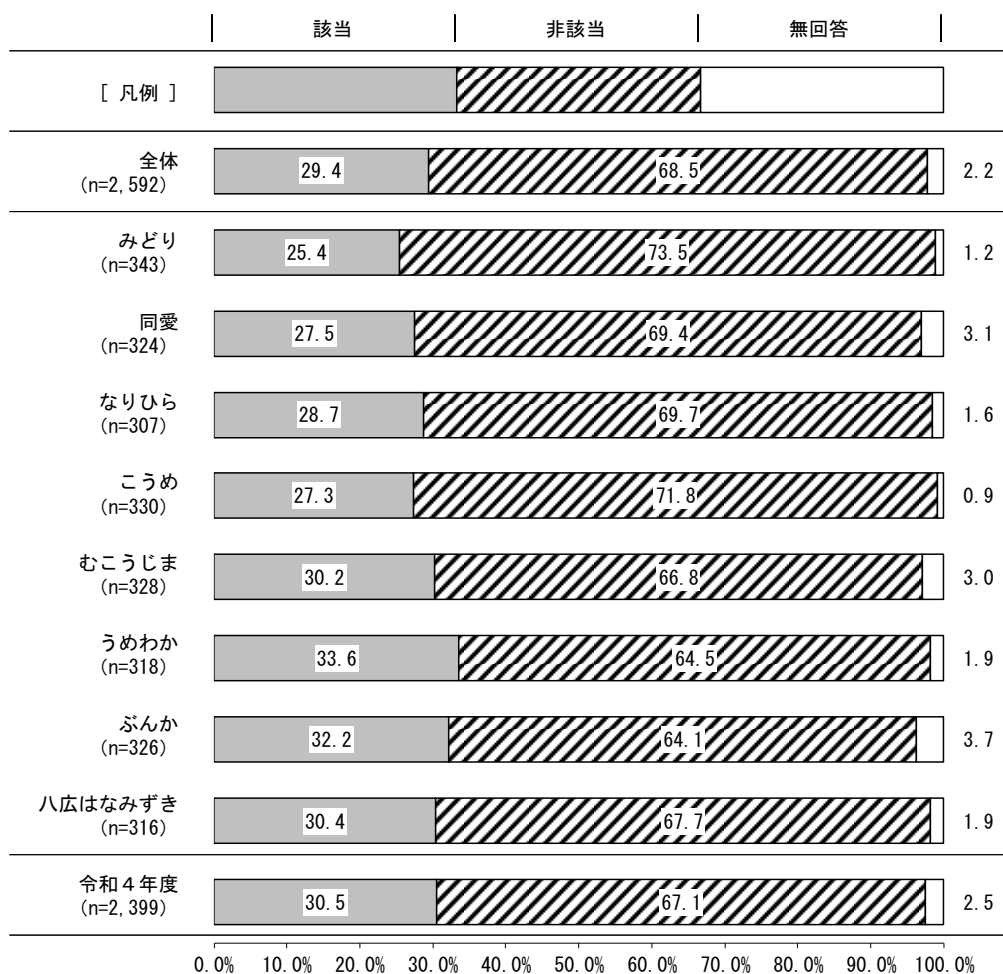
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、うめわか（33.6%）が最も多く、みどり（25.4%）が最も少なくなっています。

#### 【咀嚼（そしゃく）機能リスク該当者】



「咀嚼機能リスク該当者」とは、調査票「第3 食べることについて」の「(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。」で、「1. はい」と回答した方です。

## ②口腔機能の低下している高齢者

### 【全体】

○ 口腔機能の低下している高齢者について、「該当（低下している人）」が 23.1%、「非該当」が 74.8%となっています。

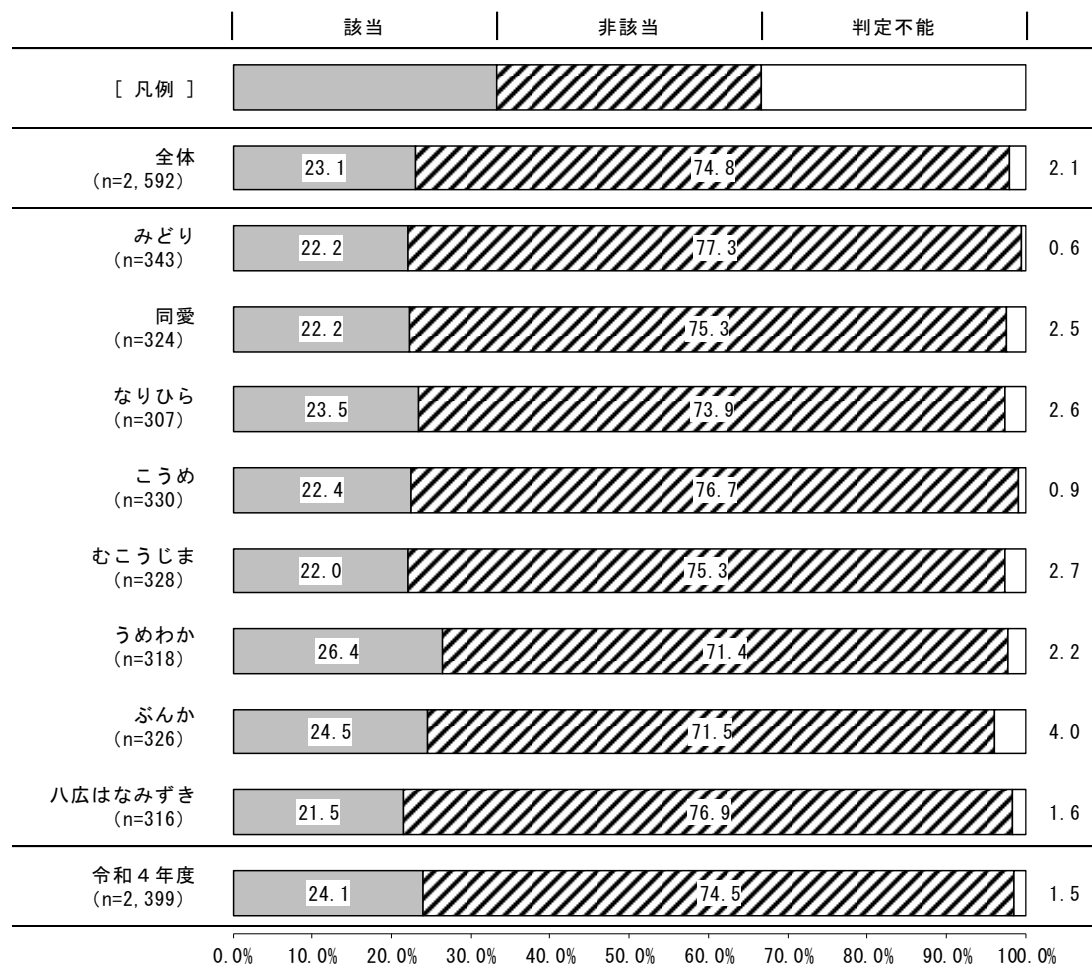
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「該当（リスクがある人）」は、うめわか（26.4%）が、「非該当」はみどり（77.3%）が最も多くなっています。

【口腔機能の低下している高齢者】



「口腔機能の低下している高齢者」とは、調査票「第3 食べることについて」の以下の3つの設問のうち、2問以上、「→」の該当する選択肢を回答した方です。

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 → 1. はい

(3)お茶や汁物等でむせることがありますか。 → 1. はい

(4)口の渇きが気になりますか。 → 1. はい

### (3) 歯の状況

#### ①歯磨きの状況

##### 【全体】

○ 歯磨きを毎日している人について、「はい」が90.4%、「いいえ」が8.4%となっています。

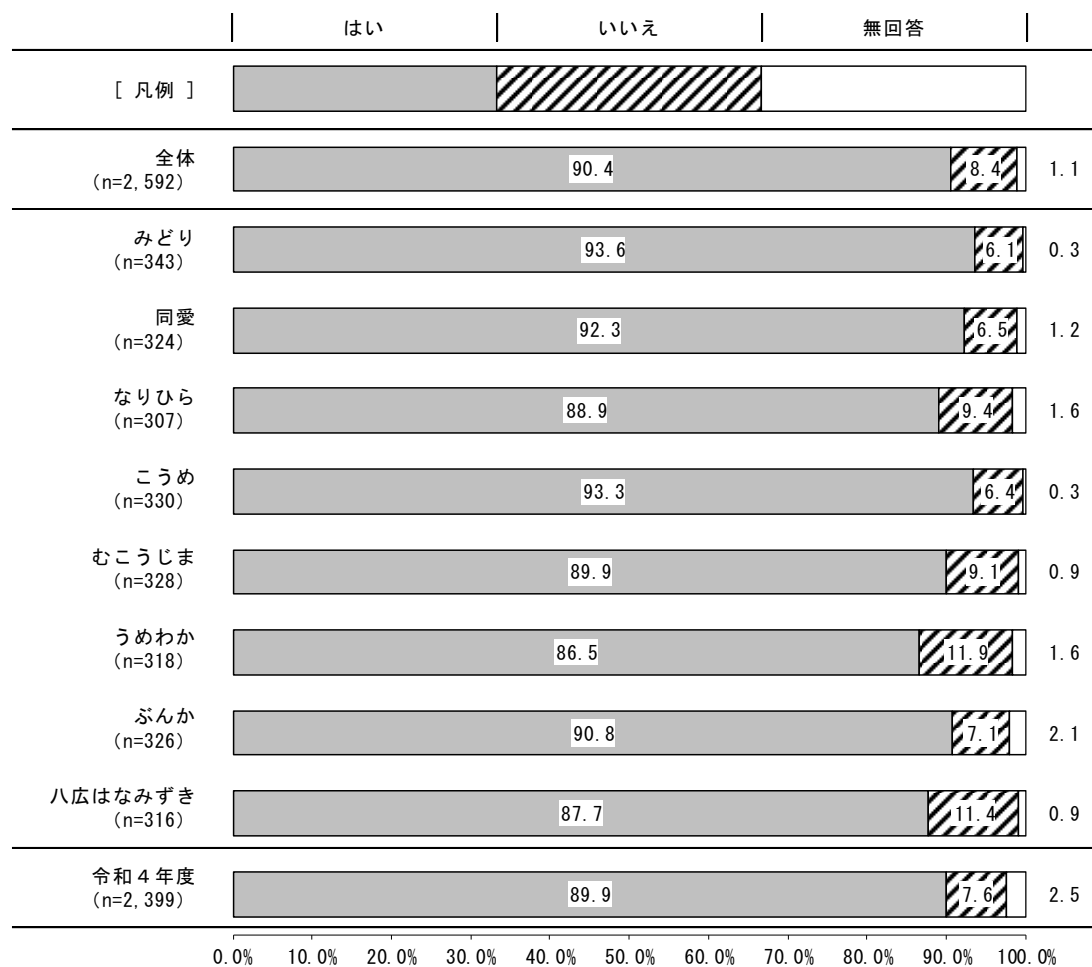
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、歯磨きを毎日している人（「はい」と回答）は、みどり（93.6%）が最も多く、うめわか（86.5%）が最も少なくなっています。

【歯磨きの状況】



## ②入れ歯の有無と歯数

### 【全体】

- 入れ歯の有無と歯数について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.7%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.9%となっています。

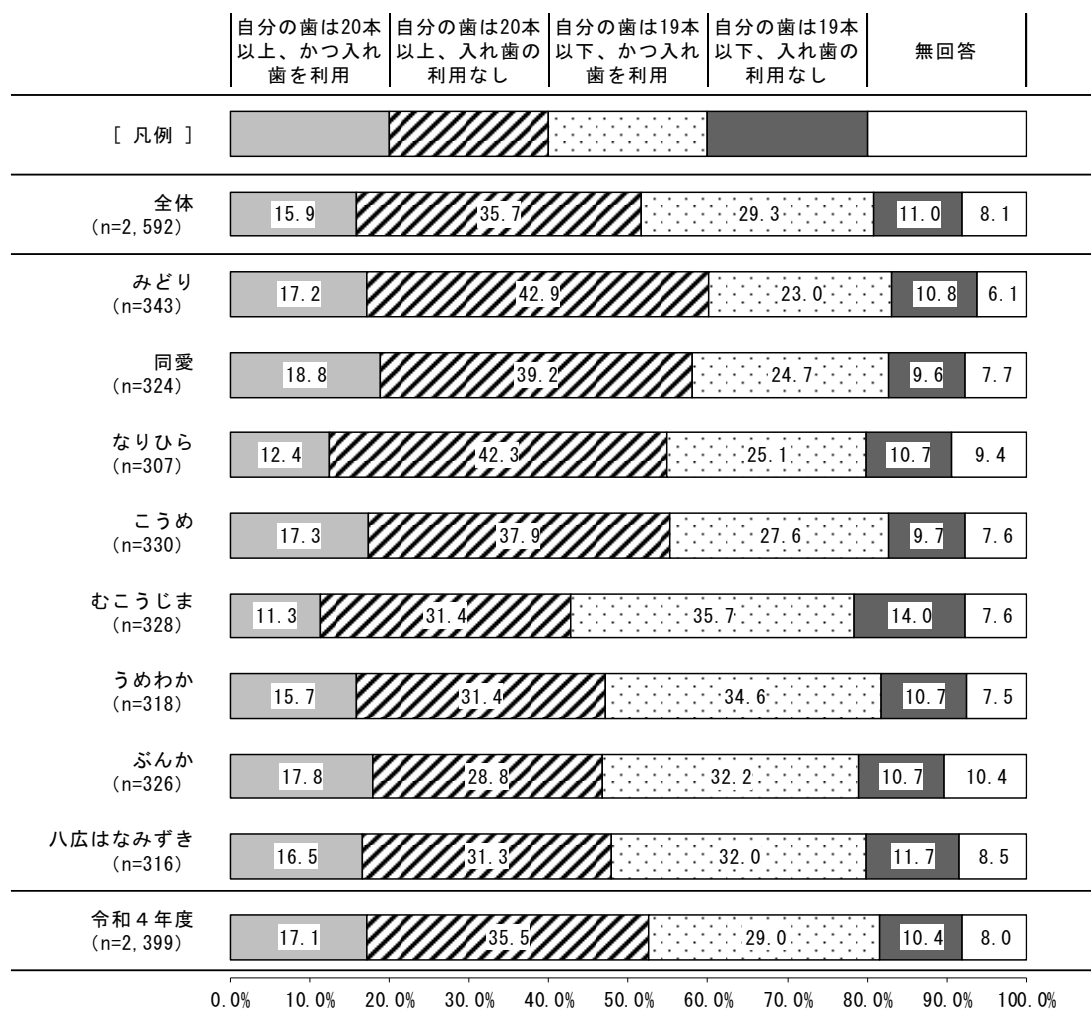
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」では、みどり（42.9%）が最も多く、ぶんか（28.8%）が最も少なくなっています。

### 【入れ歯の有無と歯数】



### ③噛み合わせと入れ歯の手入れの状況

#### ア. 噛み合わせの良さ

##### 【全体】

○ 噛み合わせの良さについて、「はい（良い）」が 61.6%、「いいえ（悪い）」が 12.3%となっています。

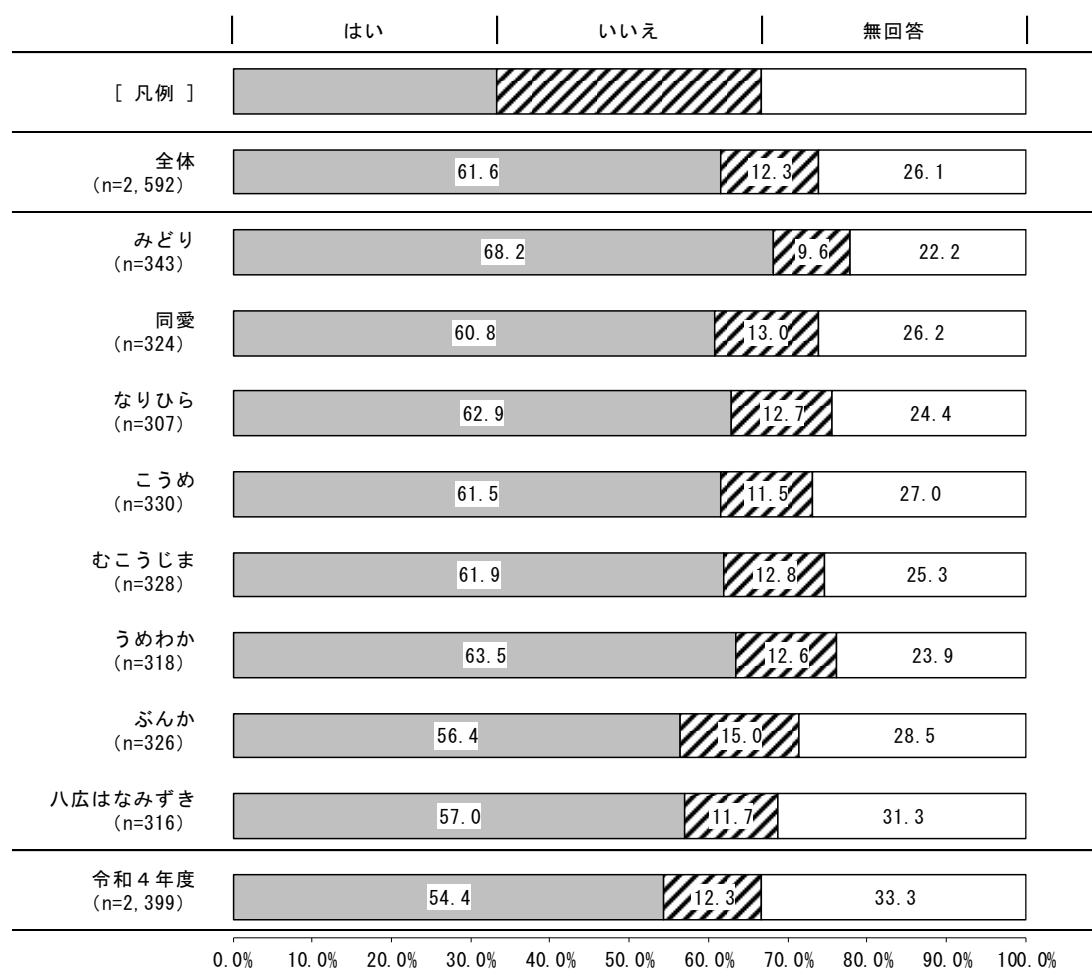
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較すると、「はい（良い）」が 7.2ポイント増加しています。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「はい（良い）」は、みどり（68.2%）が最も多く、ぶんか（56.4%）が最も少なくなっています。

【噛み合わせの良さ】



## イ. 入れ歯の手入れの状況

### 【全体】

- 毎日入れ歯の手入れをしている人について、「はい（手入れをしている）」が 79.4%、「いいえ（手入れをしていない）」が 5.6%となっています。

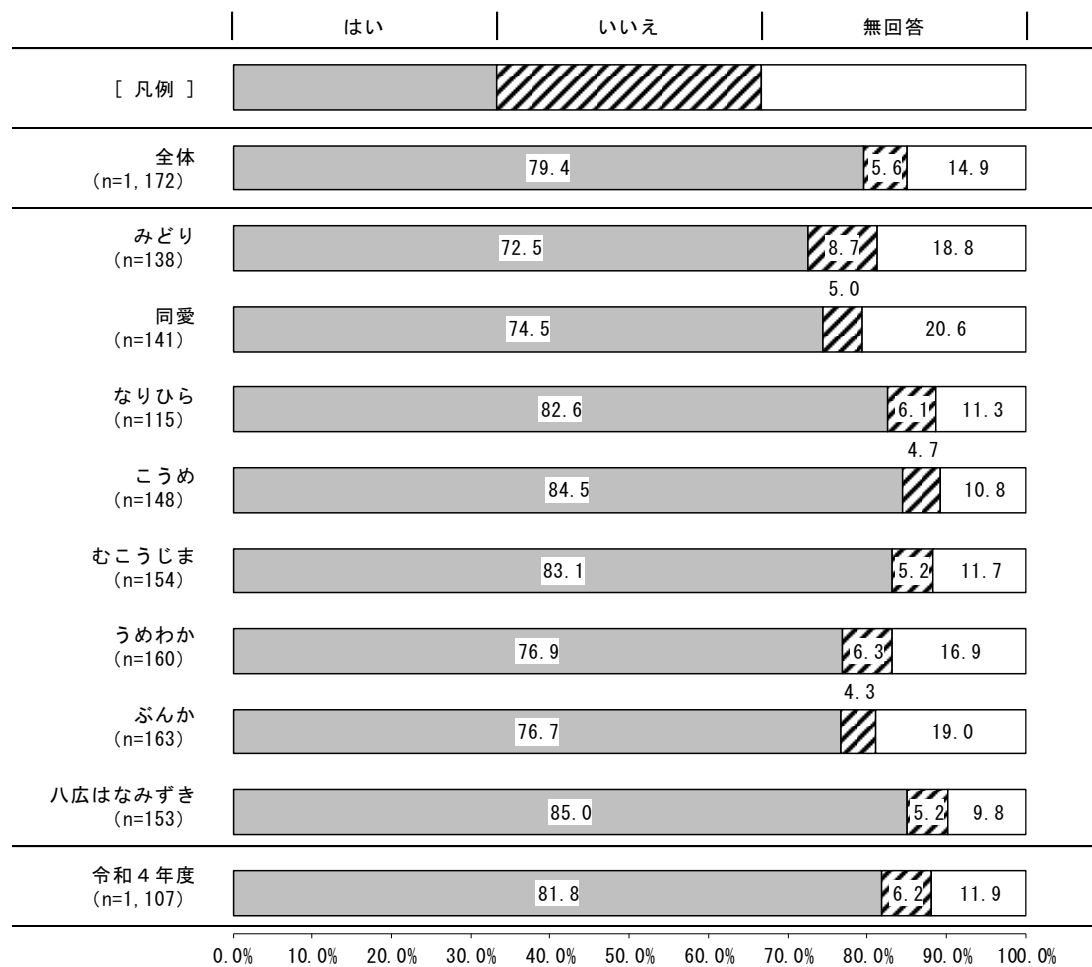
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「はい（手入れをしている）」は、八広はなみずき（85.0%）が最も多く、みどり（72.5%）が最も少なくなっています。

【入れ歯の手入れの状況】



#### (4) 孤食の状況

##### 【全体】

- 誰かと食事をとる機会について、「毎日ある」が 51.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 17.8%、「ほとんどない」が 10.0%となっています。

##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

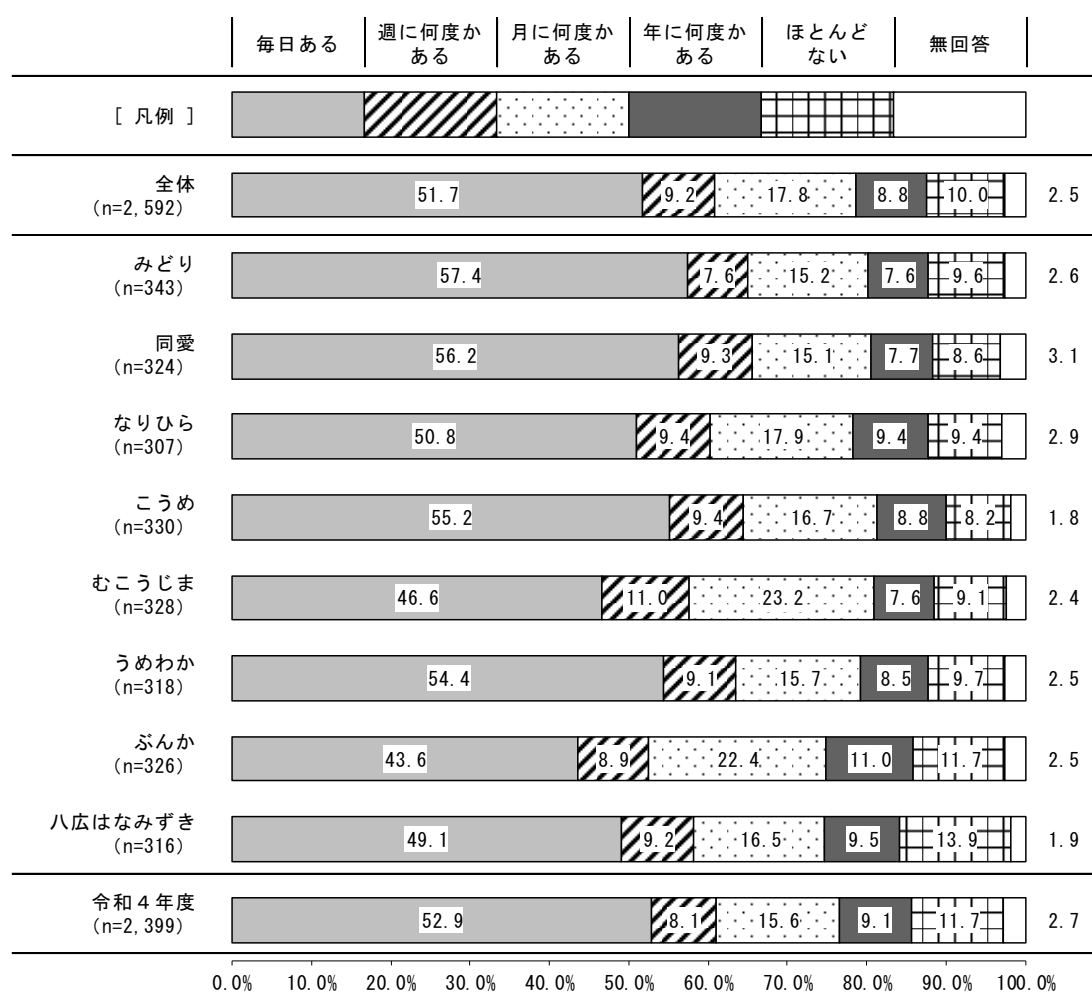
##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」を合わせた“食事をとる機会がある”人は、こうめ（81.3%）が最も多く、「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向にある”人は、八広はなみずき（23.4%）が最も多くなっています。

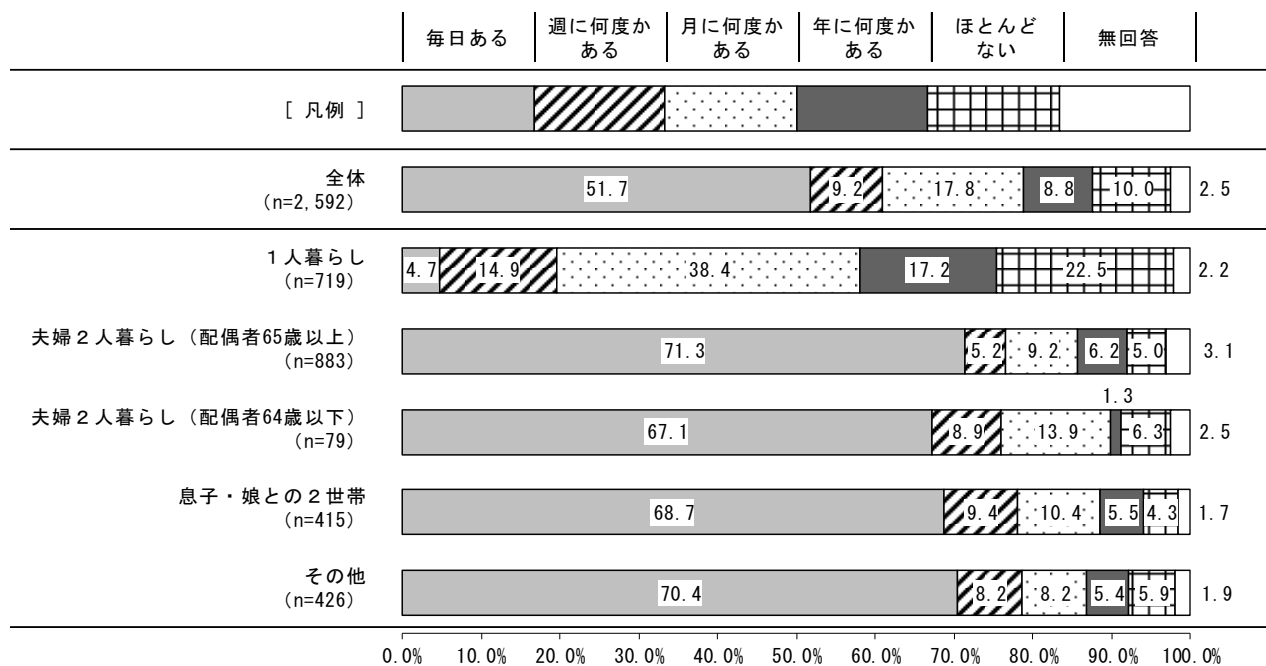
##### 【家族構成別】

- 家族構成別にみると、1人暮らしでは、「月に何度かある」（38.4%）が最も多く、1人暮らしで“孤食傾向にある”人は 39.7%となっており、前回（45.6%）と比べて 5.9 ポイント少なくなっています。

【食事をとる機会（孤食の状況）】



【食事をとむにする機会（孤食の状況）（家族構成別）】



## 5. 毎日の生活について

### (1) 認知症リスク該当者

#### ①認知症リスク該当者

##### 【全体】

○ 認知症リスク該当者について、「該当」が38.5%、「非該当」が57.8%となっています。

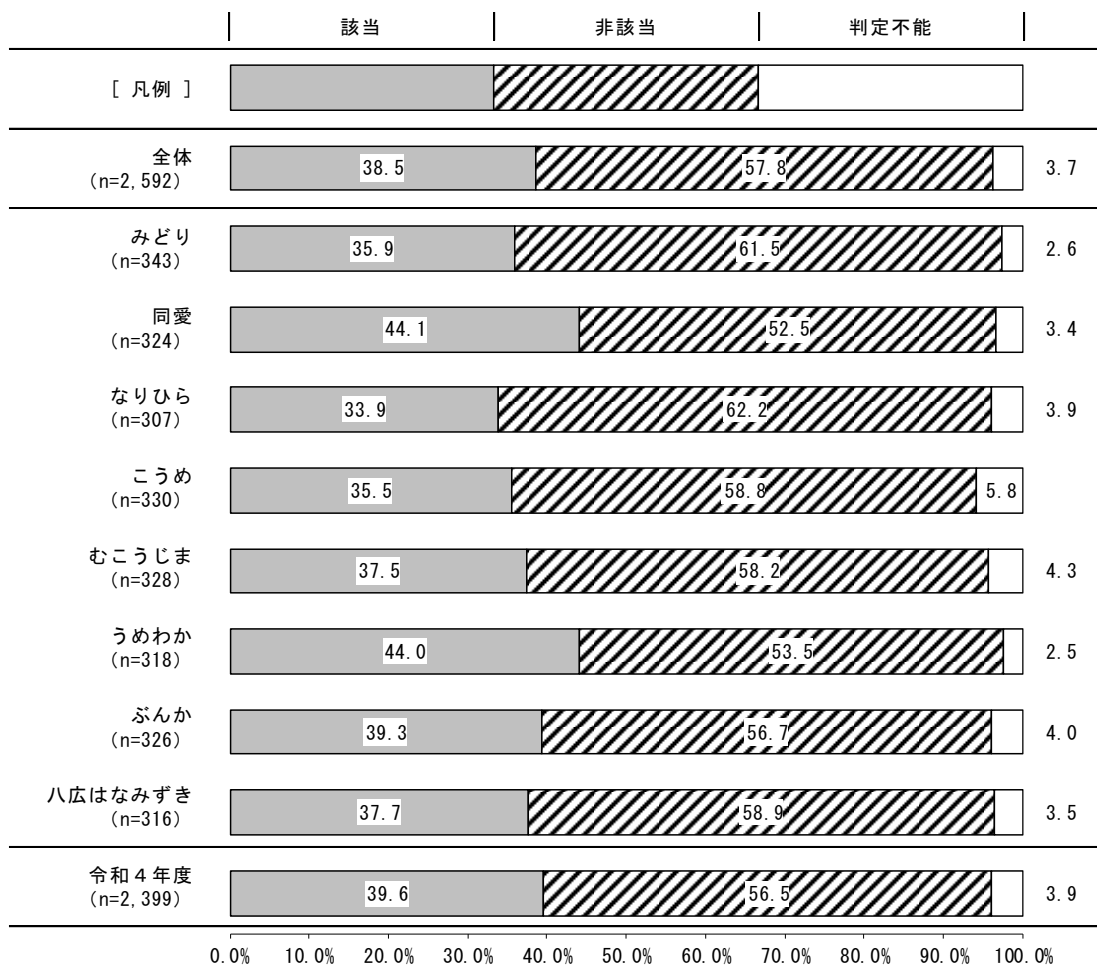
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「該当」は、同愛（44.1%）が最も多く、なりひら（33.9%）が最も少なくなっています。

【認知症リスク該当者】



「認知症リスク該当者」とは、調査票「第4 毎日の生活について」の「(1)物忘れが多いと感じますか」で、「1. はい」に該当する選択肢を回答した方です。

## ②自分で電話番号を調べて架電している

### 【全体】

- 自分で電話番号を調べて架電している人について、「はい（できる）」が 80.9%、「いいえ（できない）」が 16.7%となっています。

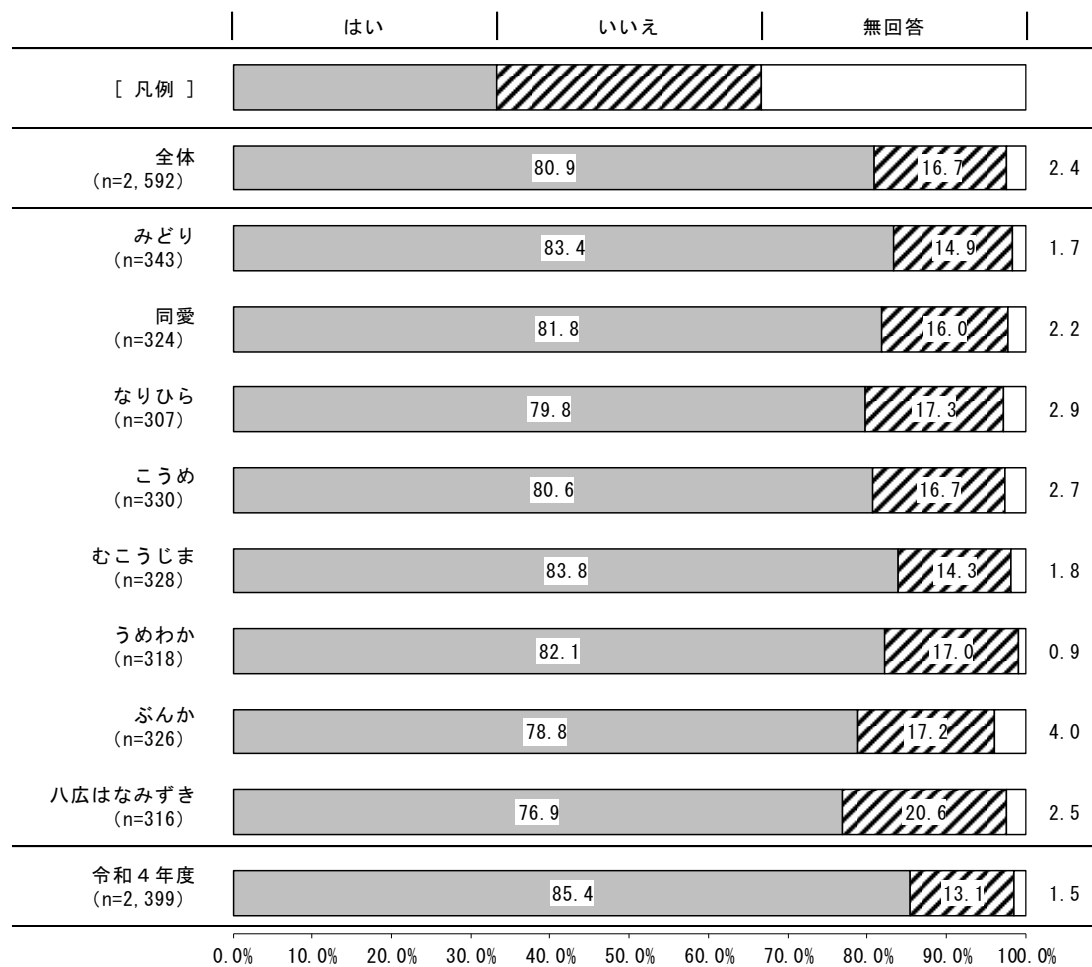
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「はい（できる）」（80.9%）が 4.5 ポイント減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、自分で電話番号を調べて架電している人（「はい」と回答）は、むこうじま（83.8%）が最も多く、八広はなみずき（76.9%）が最も少なくなっています。

【自分で電話番号を調べて架電している】



### ③今日が何月何日かわからないときがある

#### 【全体】

○ 今日が何月何日かわからないときがあるについて、「はい」が 21.2%、「いいえ」が 76.7%となっています。

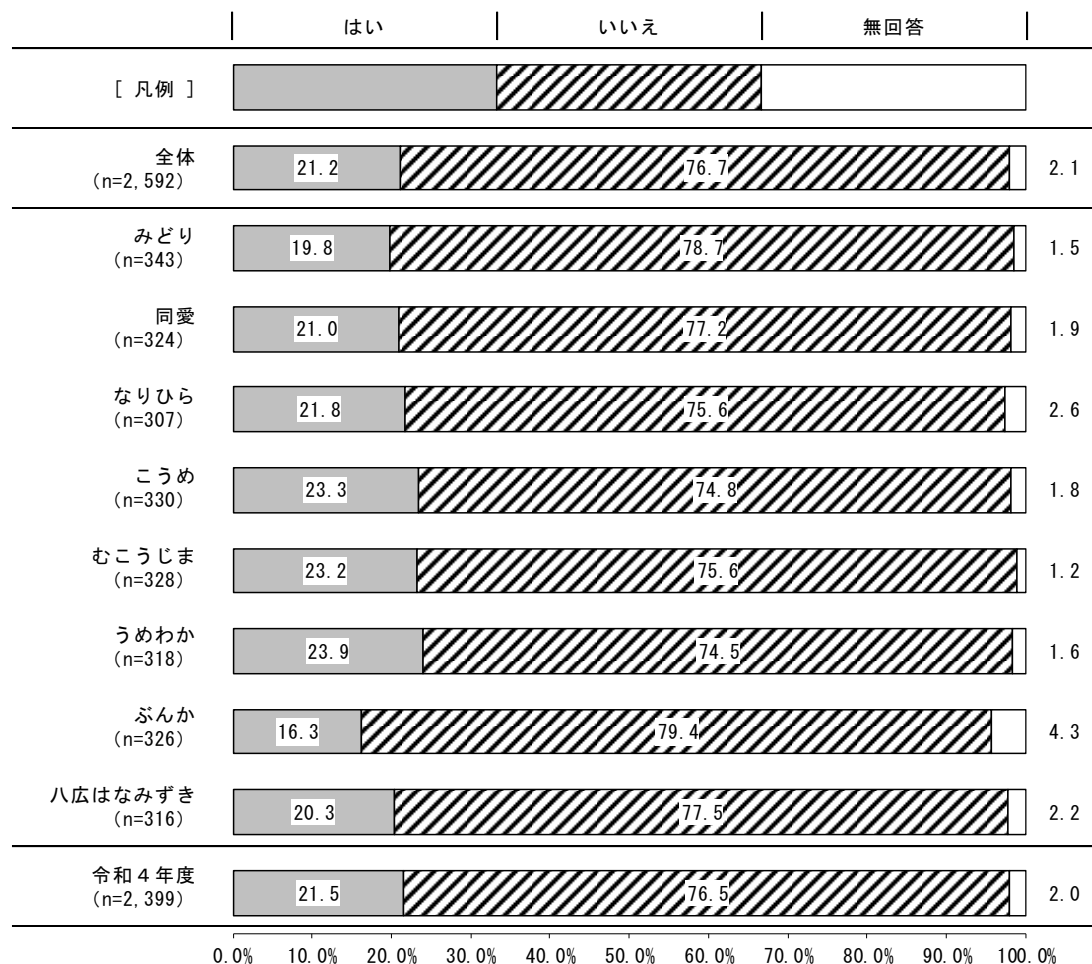
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、今日が何月何日かわからないときがある人（「はい」と回答）は、うめわか（23.9%）が最も多く、ぶんか（16.3%）が最も少なくなっています。

【今日が何月何日かわからないときがある】



## (2) 手段的日常生活動作 (IADL)

### 【全体】

- IADLについて、「5点 (高い)」が 88.2%で最も多く、次いで「4点 (やや低い)」が 4.9%、「3点以下 (低い)」が 4.1%となっています。

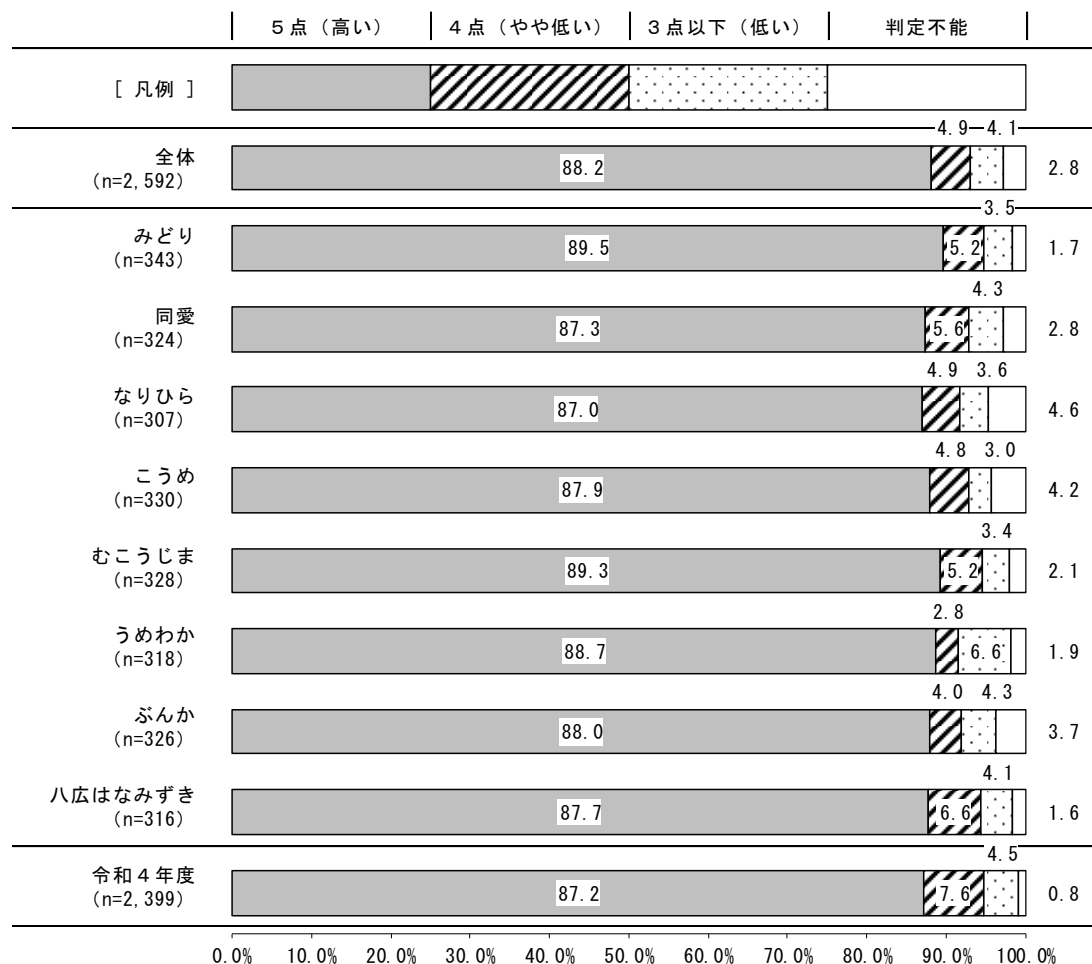
### 【経年】

- 前回 (令和4年度) と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、IADLが高い人は、みどり (89.5%) が最も多く、なりひら (87.0%) が最も少なくなっています。

### 【手段的日常生活動作】



「手段的日常生活動作 (IADL)」とは、調査票「第4 毎日の生活について」の以下の5つの設問に対し、「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」を選択している場合は1点、「できない」と回答した人を0点とし、5点が「高い」、4点が「やや低い」、0~3点が「低い」とした指標です。

- (4) バスや電車を使って1人で外出していますか。
- (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。
- (6) 自分で食事の用意をしていますか。
- (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。
- (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

### (3) 知的能動性の状況

#### 【全体】

○ 知的能動性の状況について、「4点（高い）」が42.6%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が30.3%、「2点以下（低い）」が23.1%となっています。

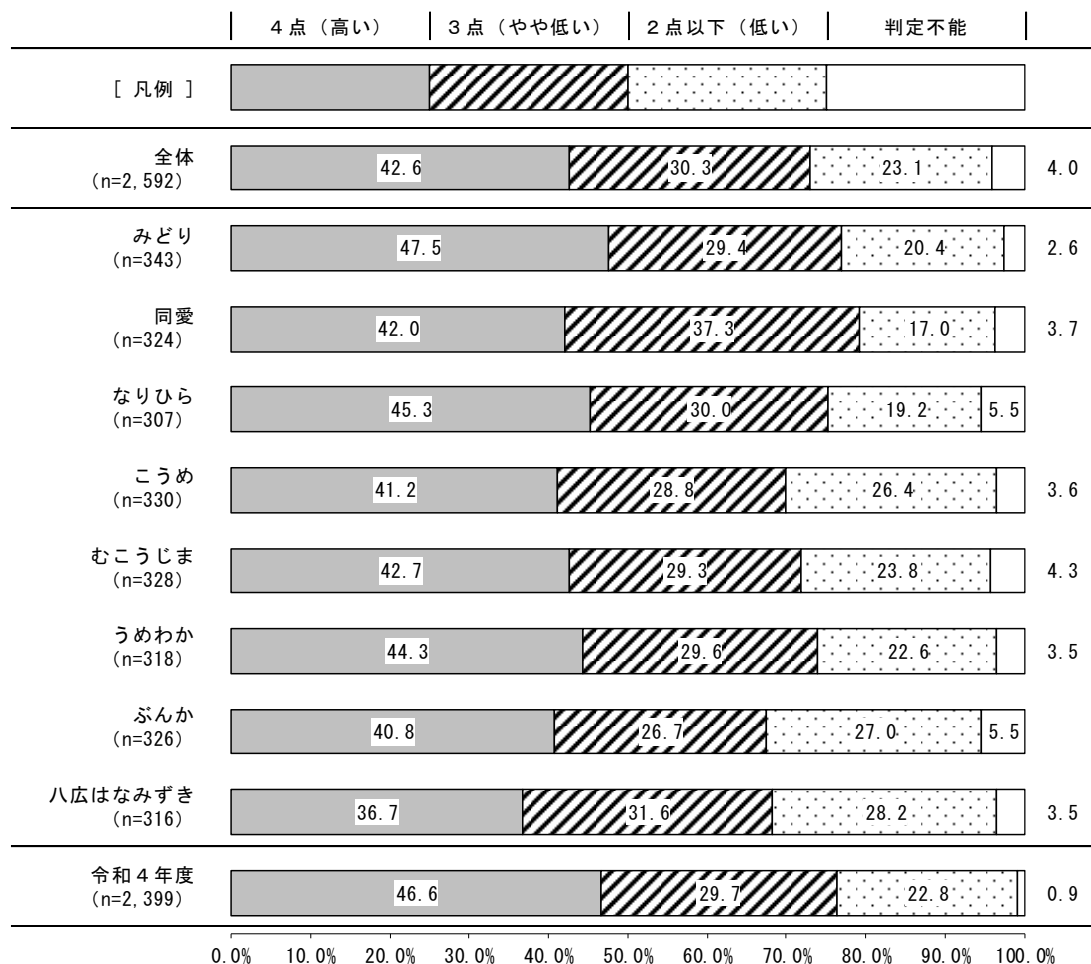
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較すると、「高い」が4.0ポイント減少しています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、知的能動性が高い人は、みどり（47.5%）が最も多く、八広はなみずき（36.7%）が最も少なくなっています。

【知的能動性の状況】



「知的能動性の状況」とは、調査票「第4 毎日の生活について」の以下の4つの設問に対し、「1. はい」を1点、「2. いいえ」を0点とし、4点が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」とした指標です。

- (9) 年金などの書類が書けますか
- (10) 新聞を読んでいますか
- (11) 本や雑誌を読んでいますか
- (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

#### (4) 社会的役割の状況

##### 【全体】

○ 社会的役割の状況について、「2点以下（低い）」が38.7%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が29.2%、「4点（高い）」が27.4%となっています。

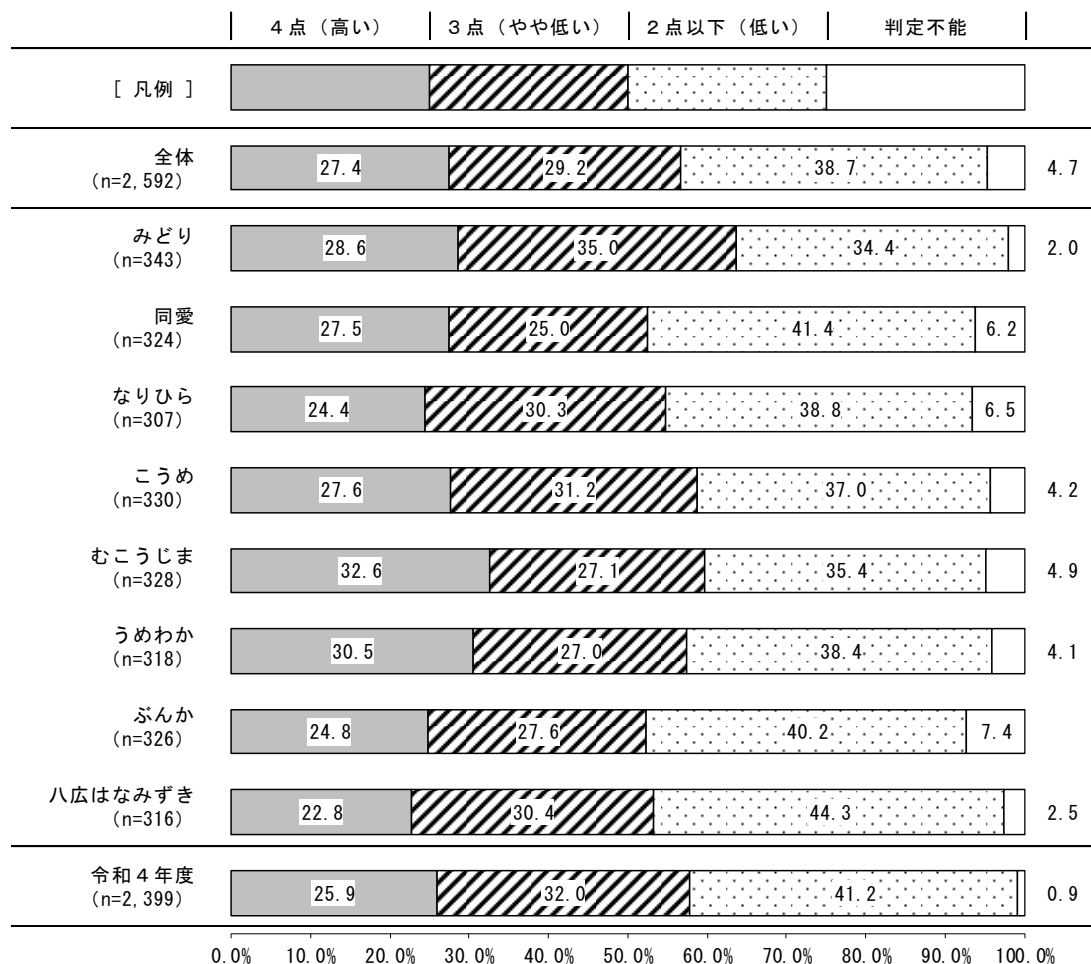
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、社会的役割の高い人は、むこうじま（32.6%）が最も多く、八広はなみずき（22.8%）が最も少なくなっています。

【社会的役割の状況】



「社会的役割の状況」とは、調査票「第4 毎日の生活について」の以下の4つの設問に対し、「1. はい」を1点、「2. いいえ」を0点とし、4点が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」とした指標です。

- (13) 友人の家を訪ねていますか
- (14) 家族や友人の相談にのっていますか
- (15) 病人を見舞うことができますか
- (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

## (5) 老研式活動能力指標を用いた総合評価

### 【全体】

- 老研式活動能力指標を用いた総合評価について、「高い（11点以上）」が53.8%で最も多く、次いで「やや低い（9～10点）」が24.8%となっています。

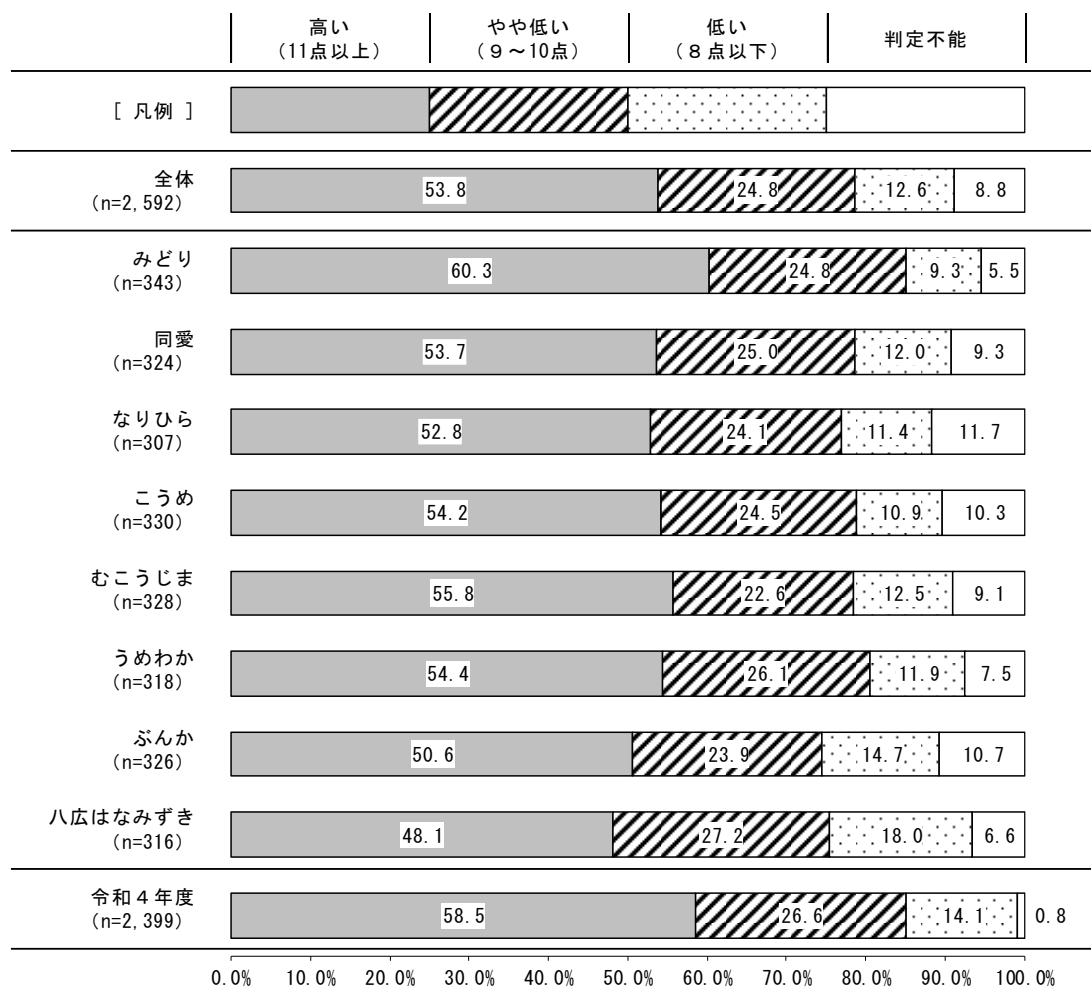
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「高い（11点以上）」が4.7ポイント減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、老研式活動能力指標を用いた総合評価が高い人は、みどり（60.3%）が最も多く、八広はなみずき（48.1%）が最も少なくなっています。

【老研式活動能力指標を用いた総合評価】



「老研式活動能力指標」とは、前述までの「(2) 手段的日常生活動作 (IADL)」、「(3) 知的能動性の状況」、「(4) 社会的役割の状況」の3つの評価項目の合計点 (13点満点) で評価し、11点以上が「高い」、9～10点が「やや低い」、8点以下が「低い」とした指標です。

## (6) 趣味や生きがいについて

### ①趣味の状況

#### 【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が68.4%、「思いつかない」が27.0%となっています。

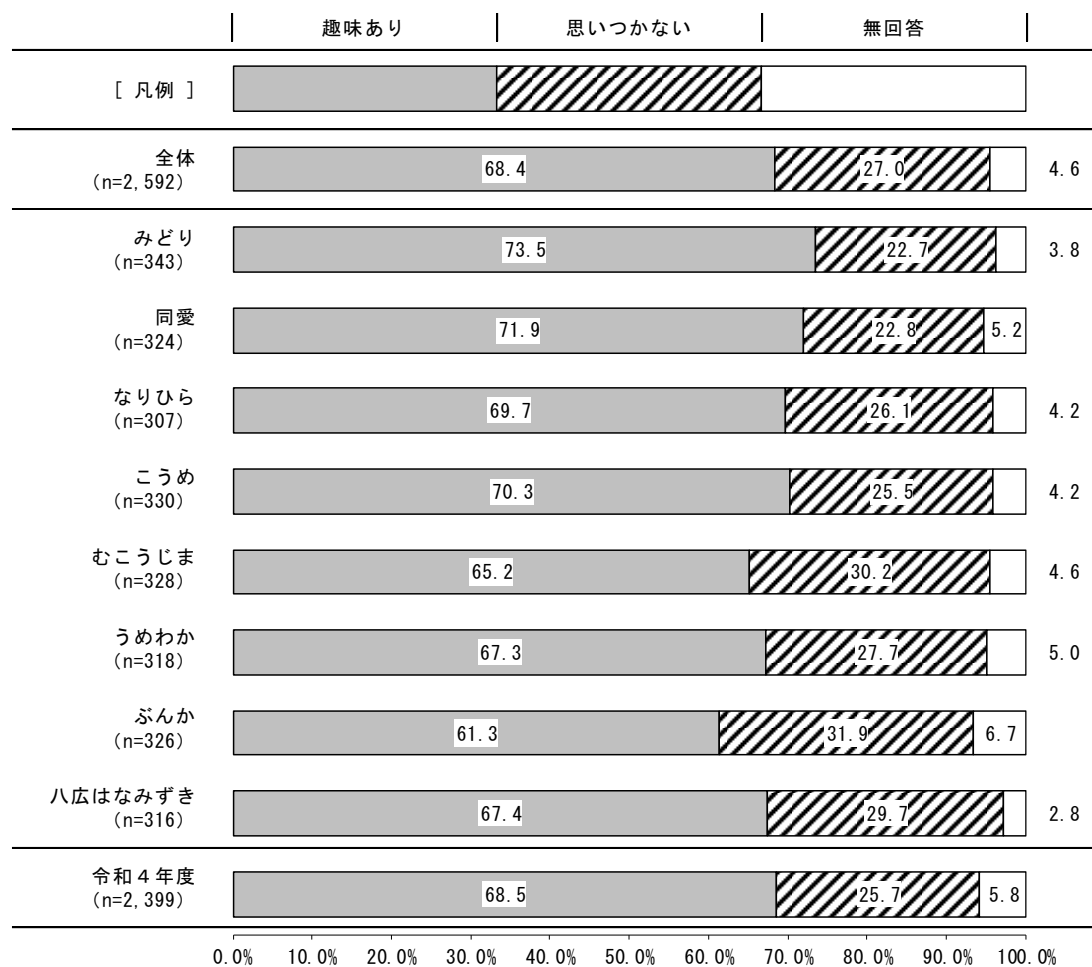
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「趣味あり」との回答は、みどり（73.5%）が最も多く、ぶんか（61.3%）が最も少なくなっています。

【趣味の状況】



## ②生きがいの状況

### 【全体】

○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 56.6%、「思いつかない」が 36.5%となっています。

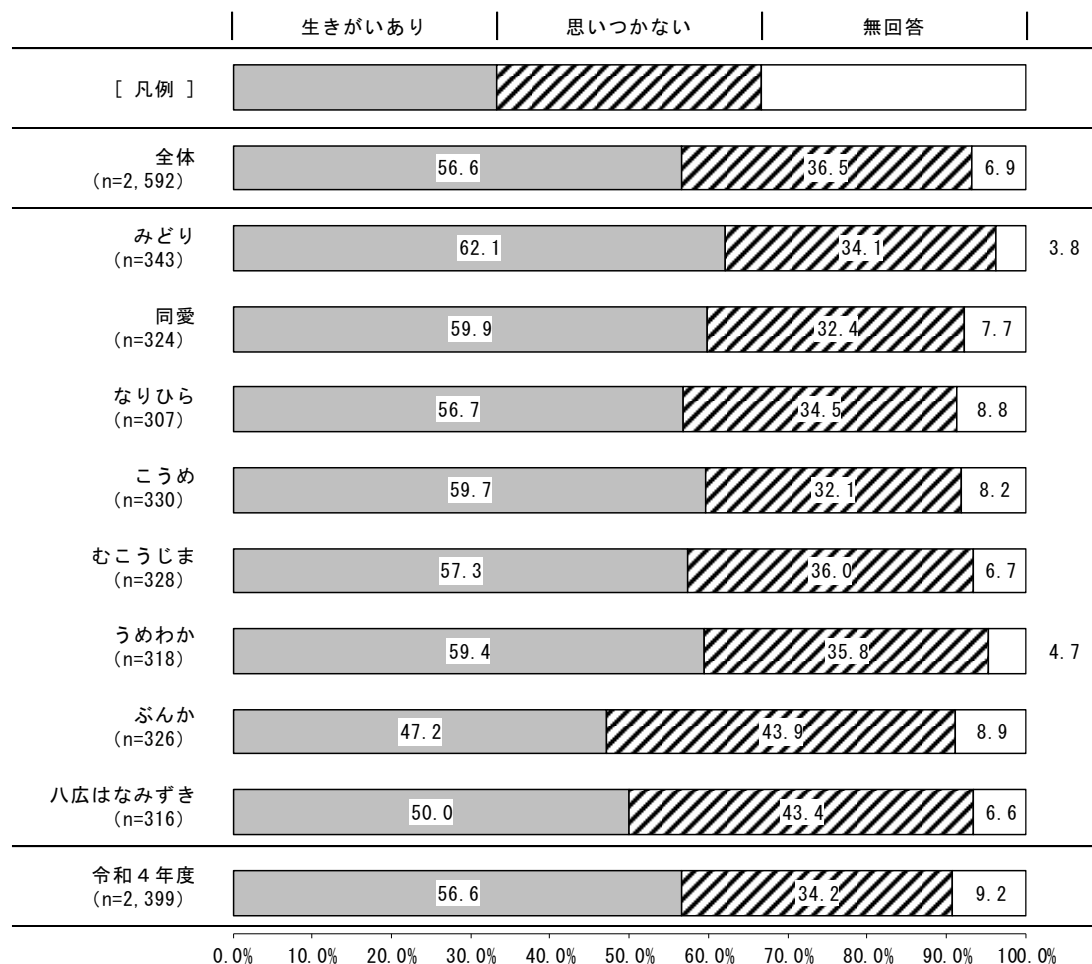
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「生きがいあり」との回答は、みどり（62.1%）が最も多く、ぶんか（47.2%）が最も少なくなっています。

【生きがいの状況】



### ③生きがいとしてやってみたいこと

#### 【全体】

- 生きがいとしてやってみたいことが「ある」人は 77.2%、「思いつかない」は 18.0%となっています。
- 生きがいとしてやってみたいことが「ある」人について、やってみたいことは「趣味やスポーツ、レジャー」が 46.0%で最も多く、次いで「友人との交流」が 33.3%、「健康づくり、介護予防」が 32.4%となっています。

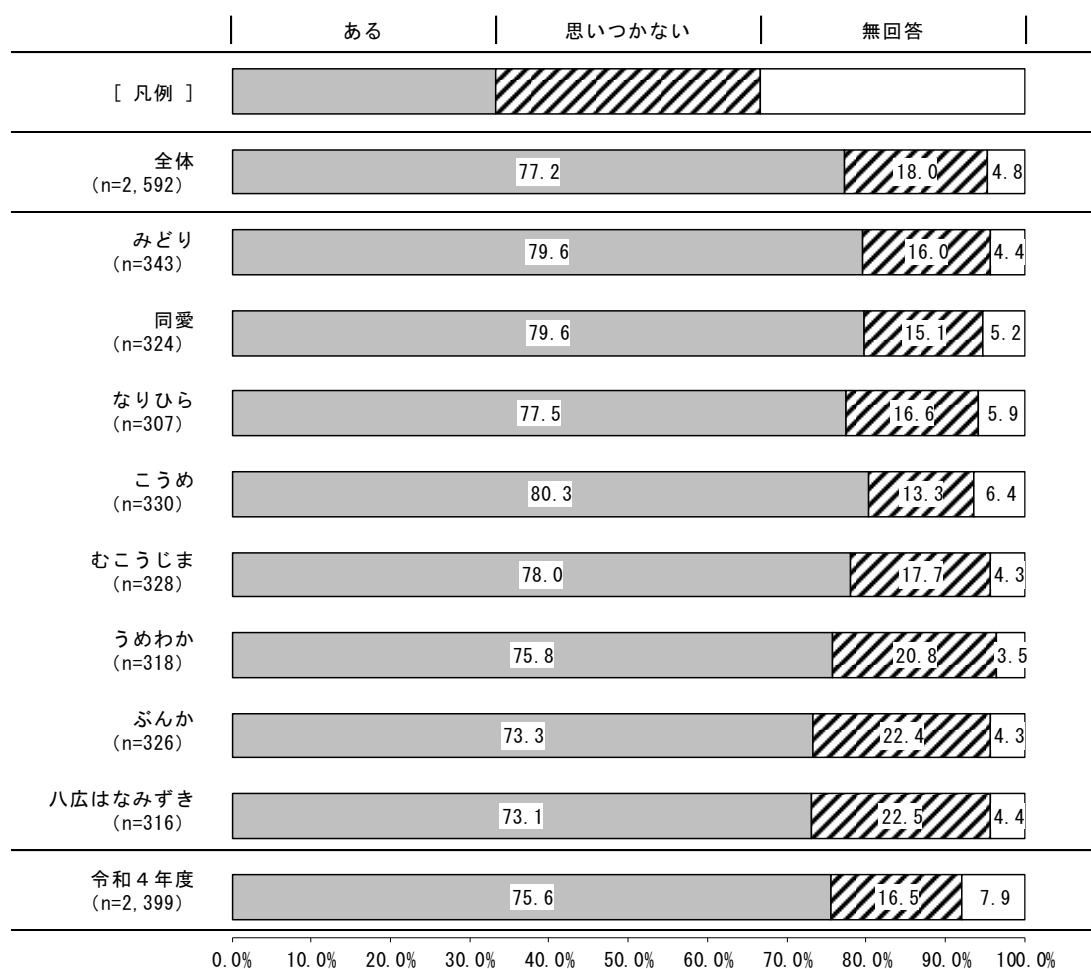
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、生きがいとしてやってみたいことが「ある」人は、こうめ（80.3%）が最も多く、八広はなみずき（73.1%）が最も少なくなっています。
- 全ての圏域で、やってみたいことの上位3項目は「趣味やスポーツ、レジャー」「友人との交流」「健康づくり、介護予防」となっています。

【生きがいとしてやってみたいことの有無】



【生きがいとしてやってみたいこと（圏域別）】

単位：％

		回答者数 (人)	趣味やスポーツ、 レジャー	家族やペット との交流	仕事、軽作業	勉強、生涯学習、 パソコン教室	友人との交流	健康づくり、 介護予防	ボランティア活動 社会貢献	その他	思いつかない ／特にない	無回答
全体		2,592	46.0	18.6	19.9	18.0	33.3	32.4	12.8	2.7	18.0	4.8
圏域	みどり	343	49.9	20.4	20.4	23.0	33.2	35.3	13.7	2.9	16.0	4.4
	同愛	324	47.5	20.7	22.5	21.6	39.8	35.8	16.0	2.8	15.1	5.2
	なりひら	307	48.5	17.6	22.5	19.9	30.6	40.1	13.7	2.3	16.6	5.9
	こうめ	330	48.5	16.7	18.8	17.3	35.8	29.4	11.5	2.7	13.3	6.4
	むこうじま	328	49.1	20.1	19.5	18.0	35.4	31.1	10.4	3.7	17.7	4.3
	うめわか	318	45.0	20.8	16.0	18.9	33.3	31.1	14.8	1.6	20.8	3.5
	ぶんか	326	38.7	15.6	17.5	12.6	28.2	27.9	11.0	2.1	22.4	4.3
	八広はなみずき	316	40.5	17.1	22.2	12.3	29.4	28.8	11.7	3.2	22.5	4.4
前回	令和4年度	1,814	54.4	22.8	26.1	23.9	46.2	31.3	18.1	-	-	0.6

※「その他」「思いつかない／特にない」は、今回の調査から追加

## (7) スマートフォン（スマホ）やパソコンの利用について

### ①スマホ、タブレット、パソコンの保有状況

#### 【全体】

- スマホ、タブレット、パソコンの保有状況について、いずれかを「持っている」が 84.5%、「持っていない」が 14.2%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「持っている」（84.5%）が、8.3ポイント増加しています。

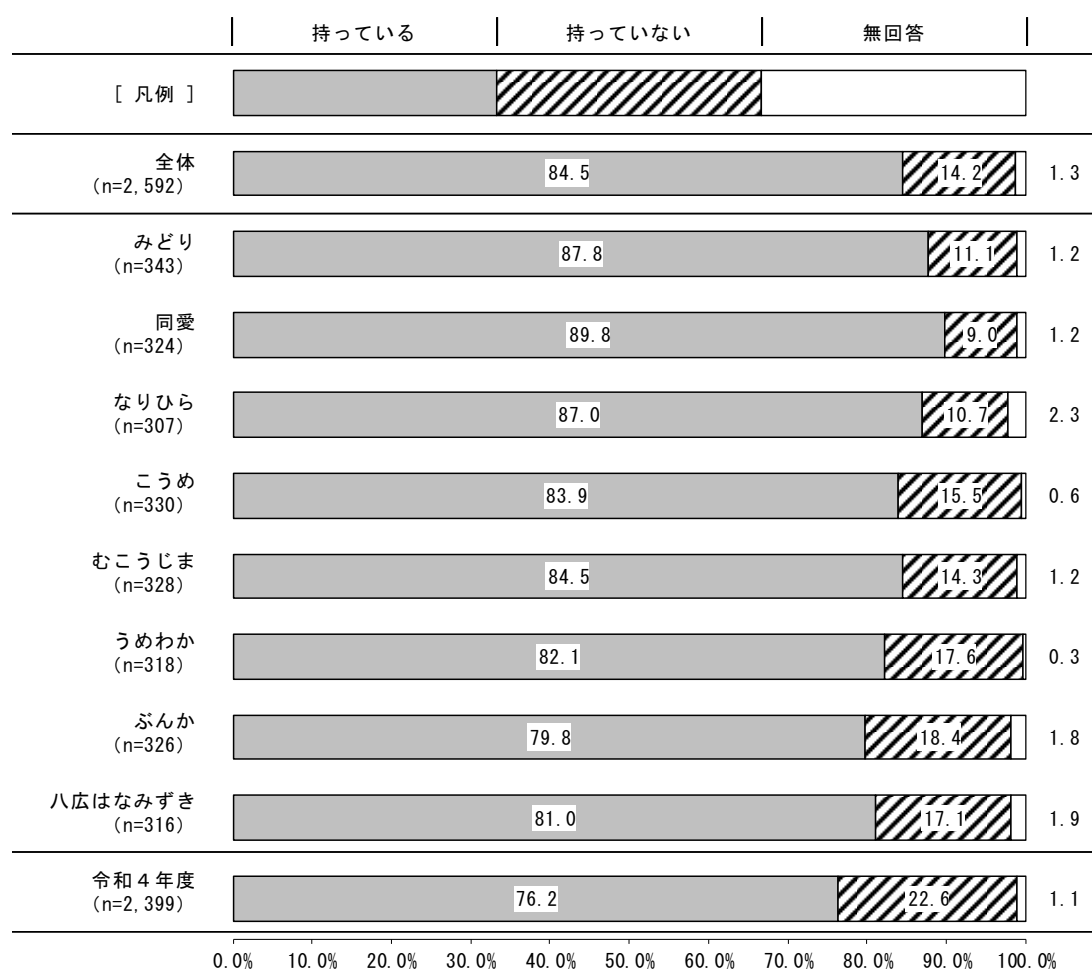
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「持っている」は、同愛（89.8%）が最も多く、ぶんか（79.8%）が最も少なくなっています。

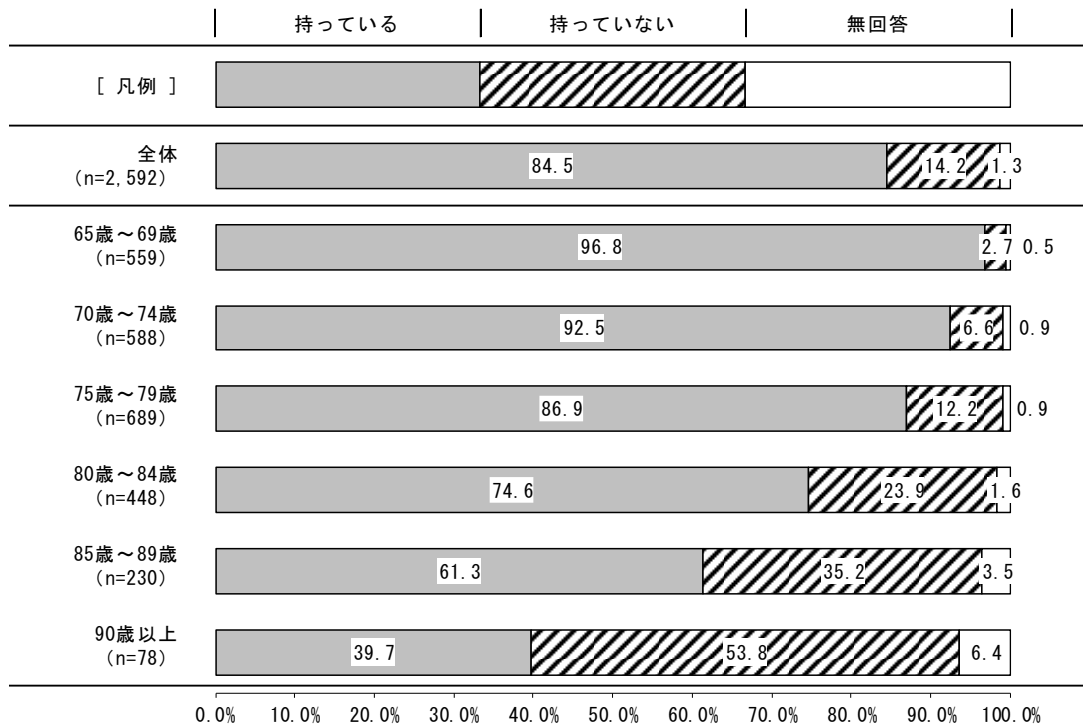
#### 【年齢】

- 年齢別にみると、65～69歳、70～74歳は9割以上で、79歳までは8割以上、89歳まででも6割以上が「持っている」と回答しています。

【スマホ、タブレット、パソコンの保有状況】



### 【スマホ、タブレット、パソコンの保有状況（年齢別）】



## ②スマホ、タブレット、パソコンの使用状況

### 【全体】

- いずれかを「持っている」人について使用目的は、「家族、友人等への電話連絡」が 88.8%で最も多く、次いで「家族、友人等へのメール連絡」が 75.8%、「カメラの利用」が 68.3%となっています。

### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「その他」を除く全ての項目で、前回よりも使用しているとの回答が多くなっています。

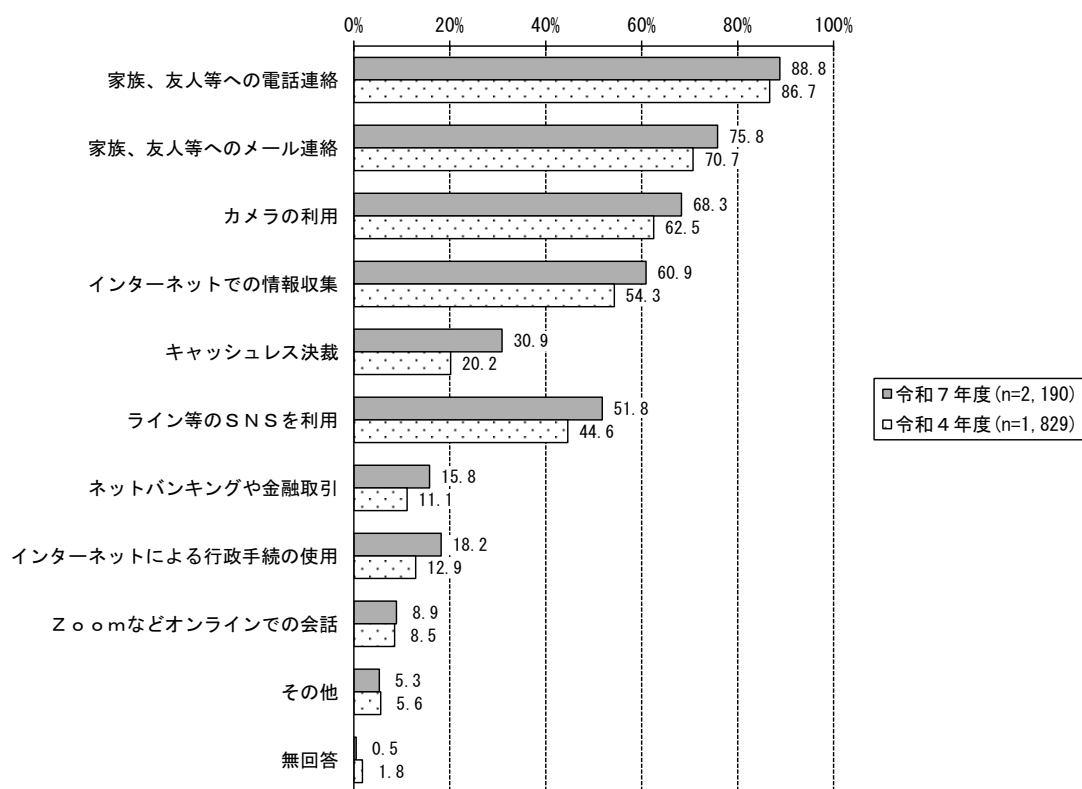
### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「家族、友人等への電話連絡」が最も多く、次いで「家族、友人等へのメール連絡」が多くなっています。

### 【年齢】

- 年齢別にみると、全ての年齢で「家族、友人等への電話連絡」が最も多く、次いで、65～69歳は「インターネットでの情報収集」、それ以外の年齢は「家族、友人等へのメール連絡」が多くなっています。

【スマホ、タブレット、パソコンの使用状況】＜複数回答＞



【スマホ、タブレット、パソコンの使用状況（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	家族、友人等への 電話連絡	家族、友人等への メール連絡	カメラの利用	インターネット での情報収集	キャッシュレス決済	SNSを利用	ネットバンキング や金融取引	インターネットによる 行政手続の使用	Zoomなど オンラインでの会話	その他	無回答
全 体		2,190	88.8	75.8	68.3	60.9	30.9	51.8	15.8	18.2	8.9	5.3	0.5
圏 域	みどり	301	90.0	79.7	69.1	66.1	33.9	57.8	20.9	22.3	13.3	6.0	-
	同愛	291	88.7	80.1	66.0	61.5	36.1	56.7	17.9	21.0	8.6	4.8	0.7
	なりひら	267	88.0	77.5	66.7	61.8	33.0	50.9	17.2	21.0	10.9	3.7	1.1
	こうめ	277	87.0	76.2	74.0	63.9	34.7	52.7	18.4	20.6	10.1	3.2	0.4
	むこうじま	277	86.6	74.4	71.1	61.7	33.9	49.5	13.7	17.7	8.7	7.2	1.1
	うめわか	261	87.7	71.3	67.8	56.7	24.5	53.6	11.5	13.4	8.0	7.3	0.4
	ぶんか	260	93.1	71.2	65.8	51.5	19.6	43.1	11.2	11.9	3.8	5.0	-
	八広はなみずき	256	89.1	75.0	65.6	62.5	29.7	48.4	14.5	16.8	7.4	4.7	-

【スマホ、タブレット、パソコンの使用状況（年齢別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	家族、友人等への 電話連絡	家族、友人等への メール連絡	カメラの利用	インターネット での情報収集	キャッシュレス決済	SNSを利用	ネットバンキング や金融取引	インターネットによる 行政手続の使用	Zoomなど オンラインでの会話	その他	無回答
全 体		2,190	88.8	75.8	68.3	60.9	30.9	51.8	15.8	18.2	8.9	5.3	0.5
年 齢	65歳～69歳	559	84.3	81.4	73.9	82.6	48.8	66.5	30.4	34.2	15.9	5.0	3.4
	70歳～74歳	588	81.6	74.5	68.0	64.6	35.0	54.3	16.5	18.9	8.8	5.3	7.1
	75歳～79歳	689	78.8	66.0	56.9	46.0	19.6	41.4	7.8	10.0	4.8	4.5	12.8
	80歳～84歳	448	69.6	50.4	47.5	30.1	11.8	27.9	4.7	5.4	4.2	4.0	24.1
	85歳～89歳	230	56.5	33.9	30.0	13.9	2.6	13.0	1.3	1.7	1.3	3.9	37.4
	90歳以上	78	38.5	14.1	12.8	10.3	3.8	3.8	1.3	-	-	-	57.7

### ③スマホ、タブレット、パソコンの使用方法が分からない時に必要な助け

#### 【全体】

- いずれかを「持っている」人について使用方法が分からない時に必要な助けは、「家族や知人の支援」が 62.9%で最も多く、次いで「相談先をまとめたリスト」が 19.2%、「行政主催の教室や講習会」が 16.8%となっています。

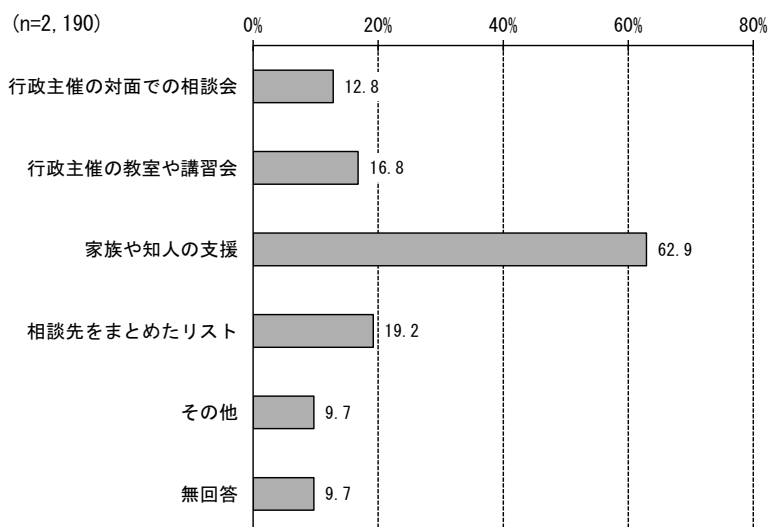
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「家族や知人の支援」が最も多く、次いで同愛は「行政主催の教室や講習会」、その他の圏域は「相談先をまとめたリスト」が多くなっています。

#### 【年齢】

- 年齢別にみると、全ての年齢で「家族や知人の支援」が最も多くなっています。

【使用方法が分からない時に必要な助け】＜複数回答＞



【使用方法が分からない時に必要な助け（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	行政主催の対面での相談会	行政主催の教室や講習会	家族や知人の支援	相談先をまとめたリスト	その他	無回答
全体		2,190	12.8	16.8	62.9	19.2	9.7	9.7
圏域	みどり	301	14.3	16.9	62.5	17.9	11.6	8.6
	同愛	291	11.7	17.5	65.6	16.8	9.3	8.2
	なりひら	267	12.0	14.6	64.0	21.3	10.1	10.1
	こうめ	277	14.8	19.1	59.6	23.8	9.4	10.8
	むこうじま	277	12.3	16.2	61.7	18.4	7.9	14.8
	うめわか	261	15.3	18.8	63.2	19.9	9.2	5.7
	ぶんか	260	11.2	16.2	62.7	17.7	10.4	10.4
	八広はなみずき	256	10.5	14.5	63.7	18.0	9.8	9.0

【使用方法が分からない時に必要な助け（年齢別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	行政主催の対面での相談会	行政主催の教室や講習会	家族や知人の支援	相談先をまとめたリスト	その他	無回答
全体		2,190	12.8	16.8	62.9	19.2	9.7	9.7
年齢	65歳～69歳	559	15.4	14.0	58.7	24.9	11.8	9.8
	70歳～74歳	588	11.2	18.0	58.8	19.2	10.0	13.4
	75歳～79歳	689	10.0	15.2	56.0	16.1	8.4	20.0
	80歳～84歳	448	10.0	15.0	51.8	10.3	6.9	29.7
	85歳～89歳	230	7.0	5.7	43.5	7.0	3.0	44.8
	90歳以上	78	7.7	5.1	41.0	5.1	2.6	53.8

## (8) 収入と介護保険サービス・介護保険料

### ① 1年間の手取り額

#### 【全体】

- 1年間の手取り額について、「101～200万円」が30.6%で最も多く、次いで「100万円以下」が27.2%、「201～300万円」が17.0%となっています。

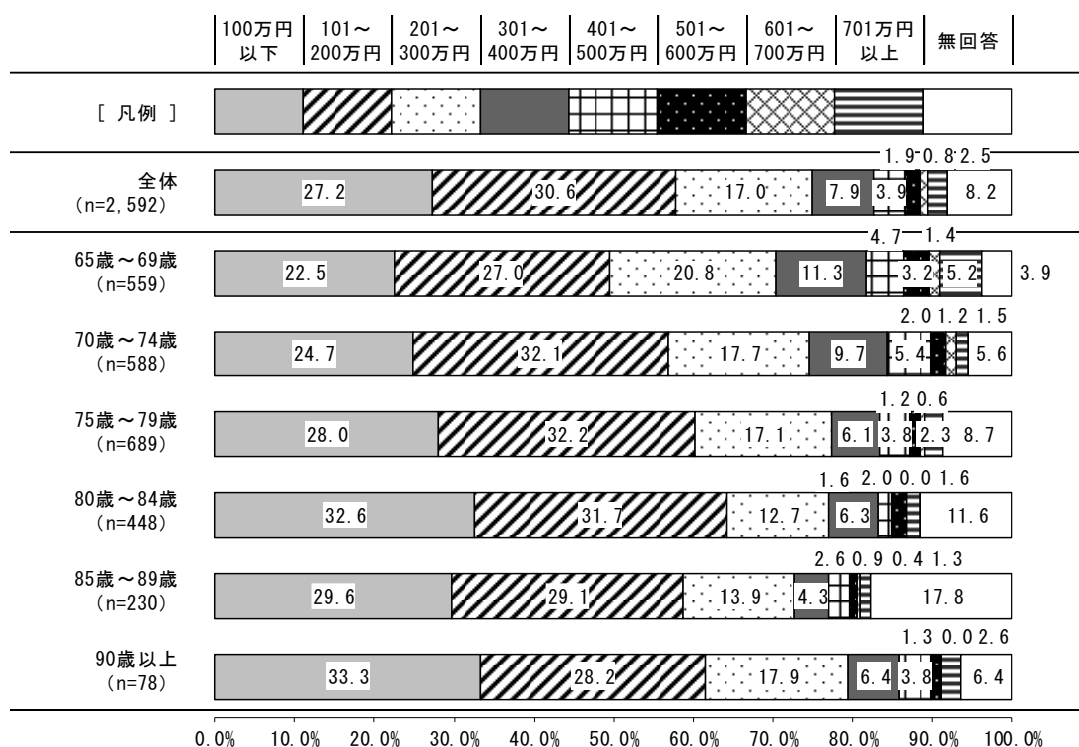
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【年齢】

- 年齢別にみると、“200万円以下”は、80歳～84歳（64.3%）が最も多く、65歳～69歳（49.5%）が最も少なくなっています。

【1年間の手取り額（年齢別）】



## ②介護保険サービスと介護保険料に関する意向

### 【全体】

- 介護保険サービスと介護保険料に関する意向について、「介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である」が27.1%で最も多く、次いで「介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい」が26.0%、「わからない」が21.9%となっています。

### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

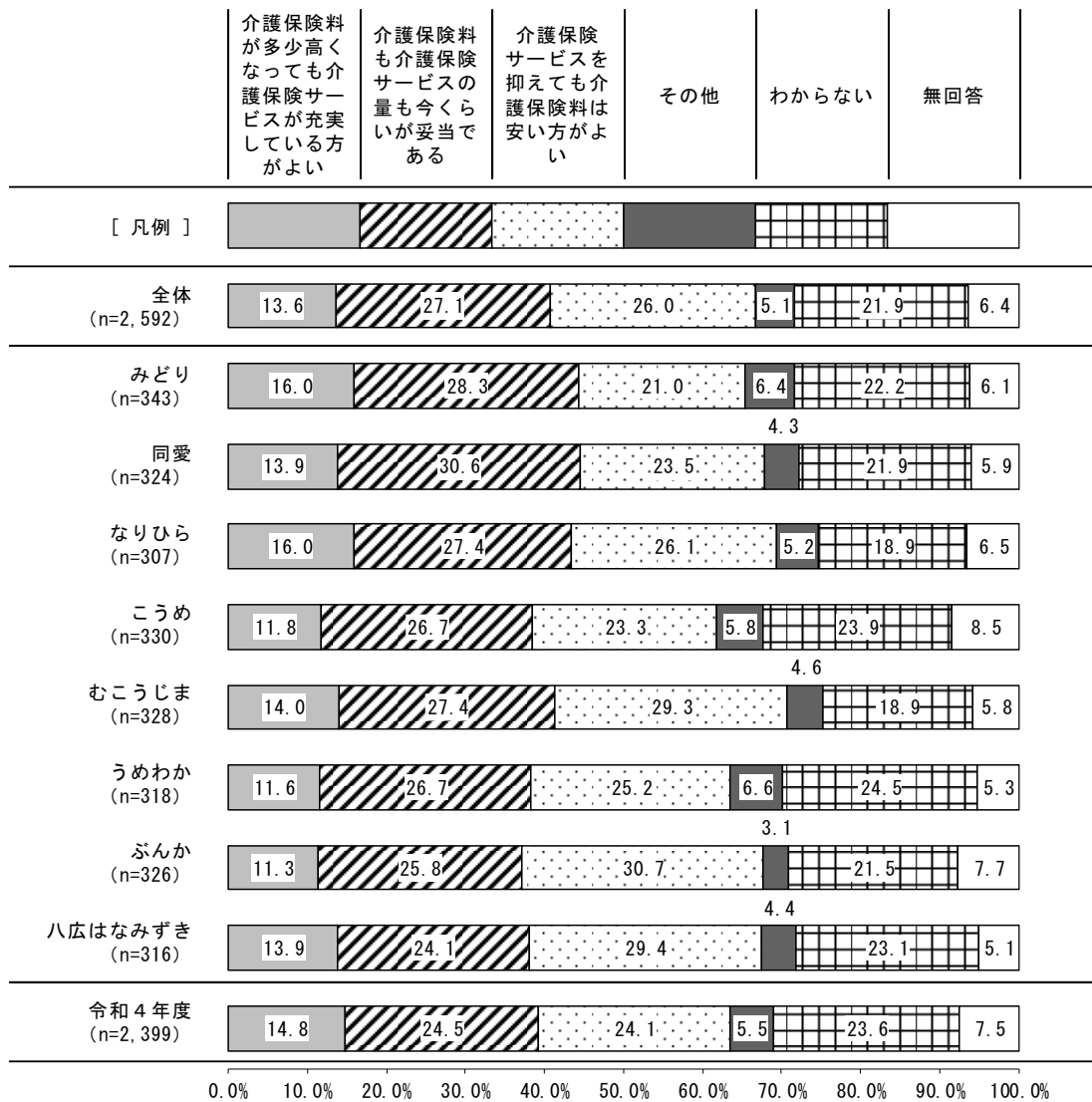
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」はみどりとなりひら（それぞれ16.0%）が、「介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である」は同愛（30.6%）が、「介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい」はぶんか（30.7%）が最も多くなっています。

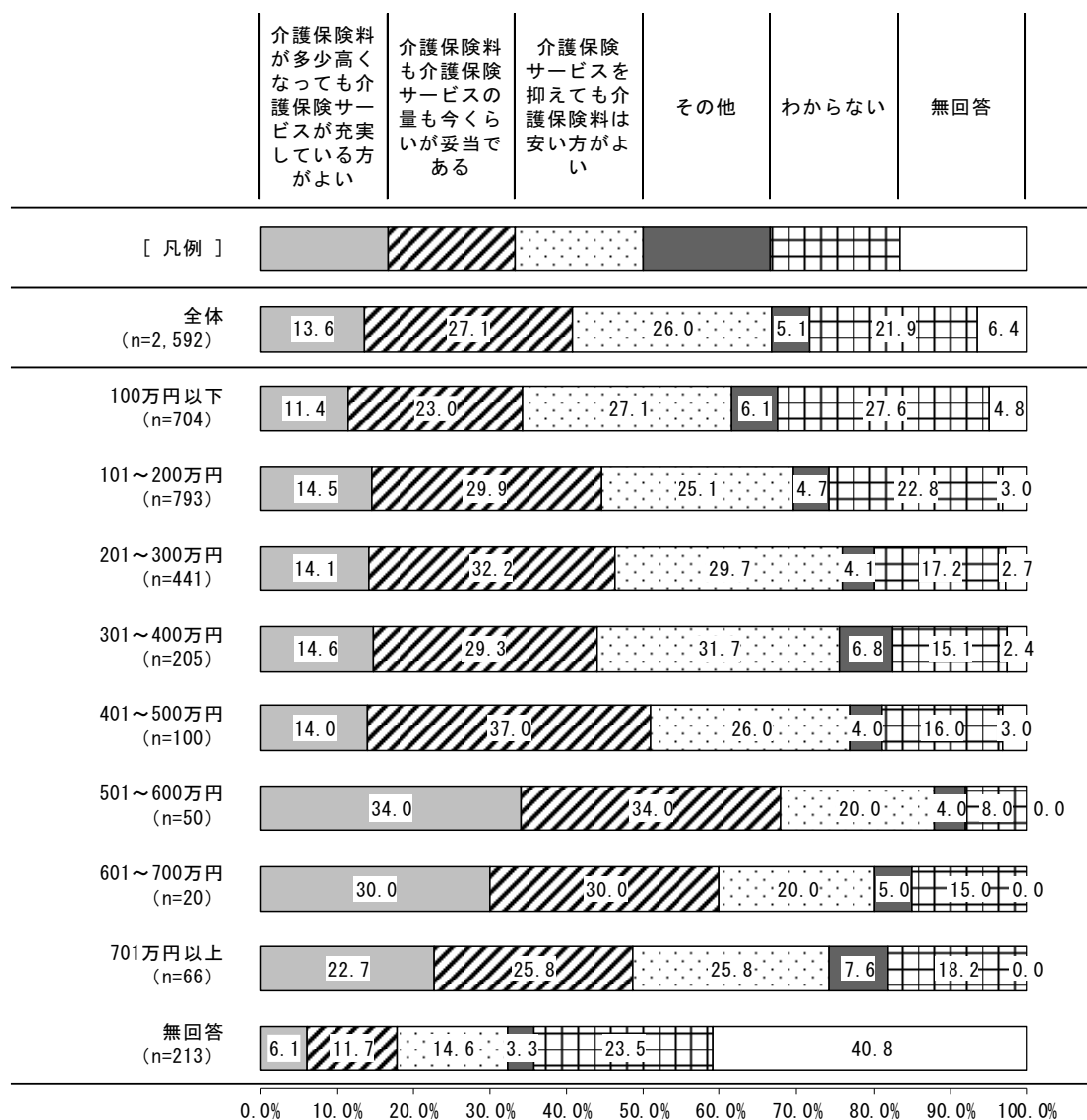
### 【手取り年収別】

- 手取り年収別にみると、501万円以上は「多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」との回答が多くなっています。

### 【介護保険サービスと介護保険料に関する意向】



【介護保険サービスと介護保険料に関する意向（手取り年収別）】



## 6. 地域での活動について

### (1) 地域活動への参加状況

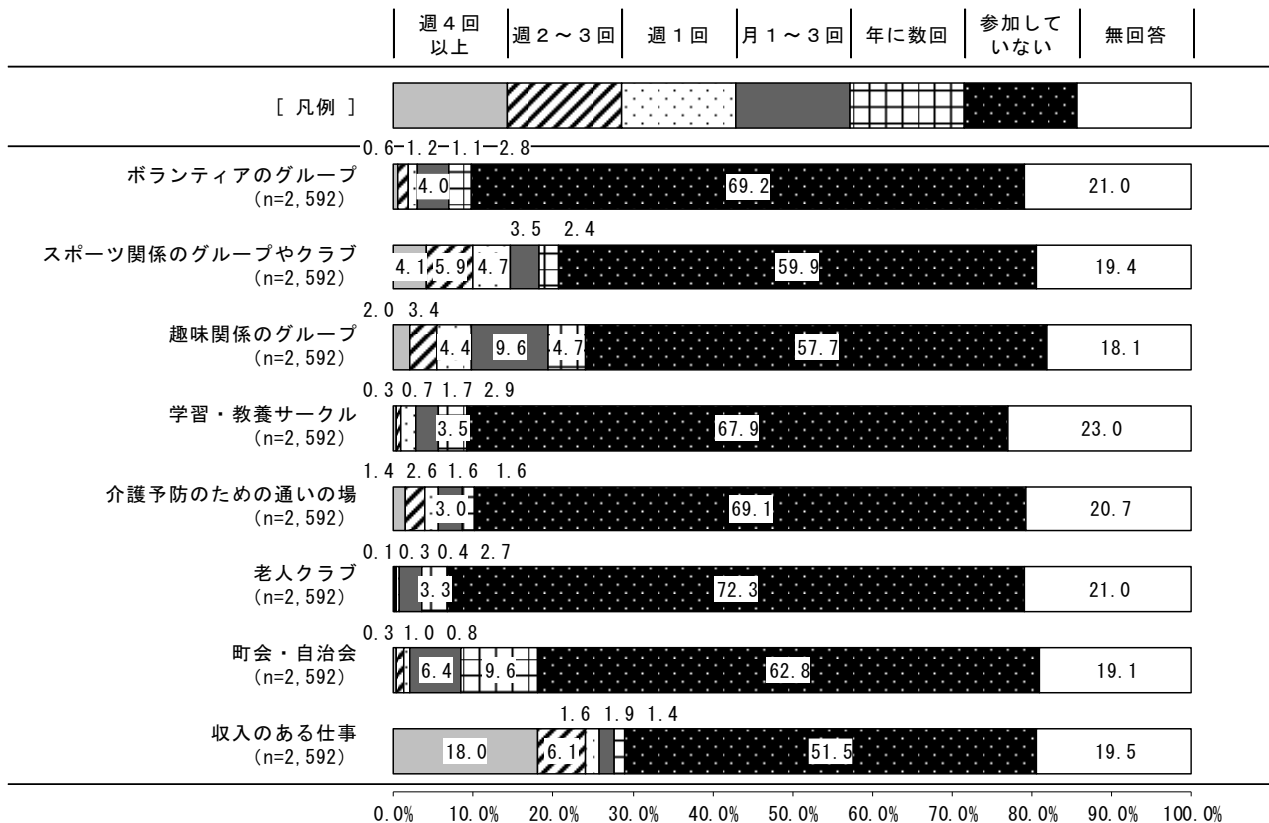
#### 【全体】

- 年数回以上参加している活動（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）について、「収入のある仕事」が29.0%で最も多く、次いで、「趣味関係のグループ」が24.2%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が20.6%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、こうめは「趣味関係のグループ」が最も多く、その他の圏域は「収入のある仕事」が最も多くなっています。

【地域活動への参加状況】



【地域活動への参加状況（圏域別年数回以上参加）】

単位：%

圏域	回答者数（人）	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町会・自治会	収入のある仕事
全体	2,592	9.8	20.7	24.2	9.1	10.2	6.7	18.1	29.0
みどり	343	10.8	22.2	23.0	11.7	8.5	5.2	19.0	32.1
同愛	324	12.3	26.2	26.5	12.3	11.1	9.9	22.8	30.2
なりひら	307	11.1	22.8	25.4	8.5	11.1	8.8	22.1	30.3
こうめ	330	11.5	22.7	27.0	9.4	11.2	7.3	14.8	25.8
むこうじま	328	9.1	18.3	24.7	6.4	10.7	4.6	11.3	25.9
うめわか	318	9.1	18.6	24.2	10.1	10.4	4.1	20.4	27.4
ぶんか	326	6.1	16.0	19.9	5.8	8.6	6.7	20.2	28.8
八広はなみずき	316	8.2	18.7	22.8	8.2	10.4	7.3	14.2	31.6

## ①ボランティアのグループ

### 【全体】

- ボランティアのグループへの参加状況について、「参加していない」が 69.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.0%、「年に数回」が2.8%となっています。

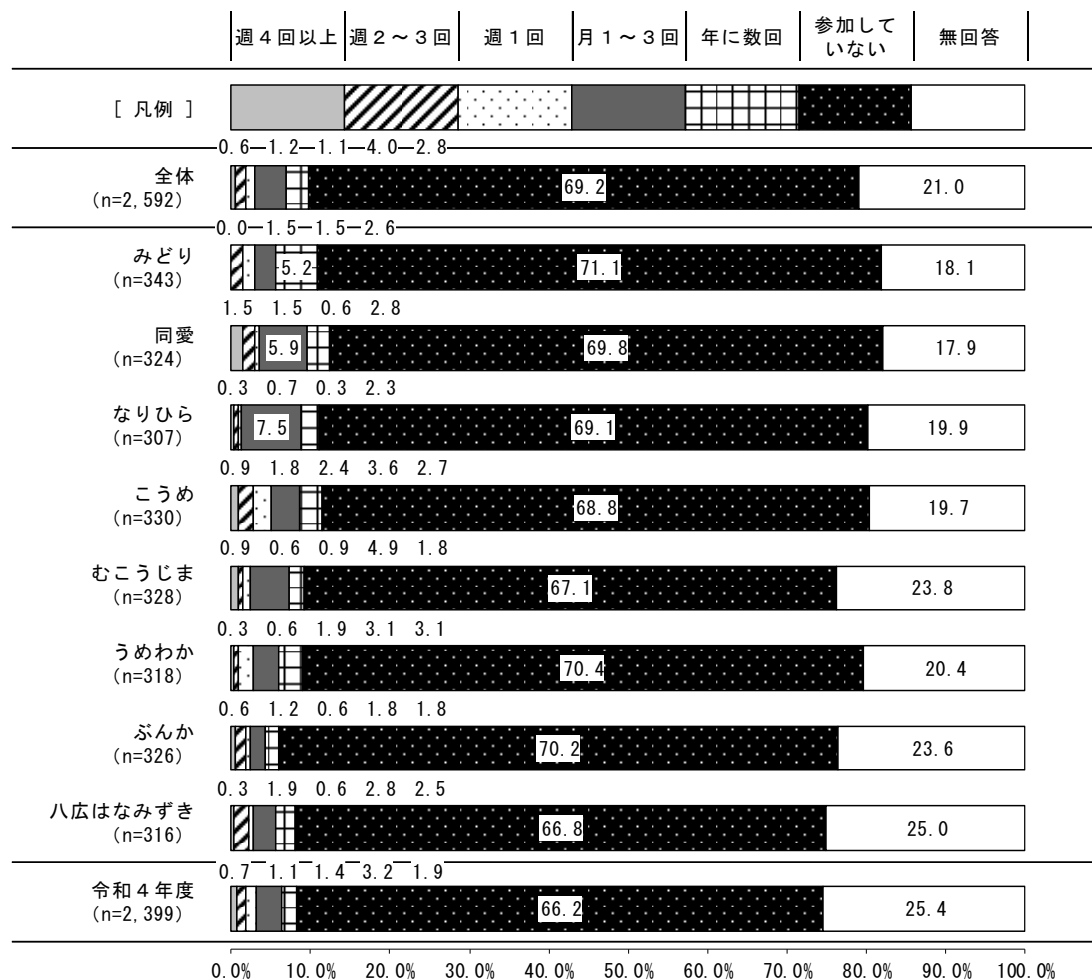
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛（12.3%）が最も多く、ぶんか（6.0%）が最も少なくなっています。

【ボランティアのグループへの参加状況】



## ②スポーツ関係のグループやクラブ

### 【全体】

- スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況について、「参加していない」が 59.9%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.9%、「週1回」が4.7%となっています。

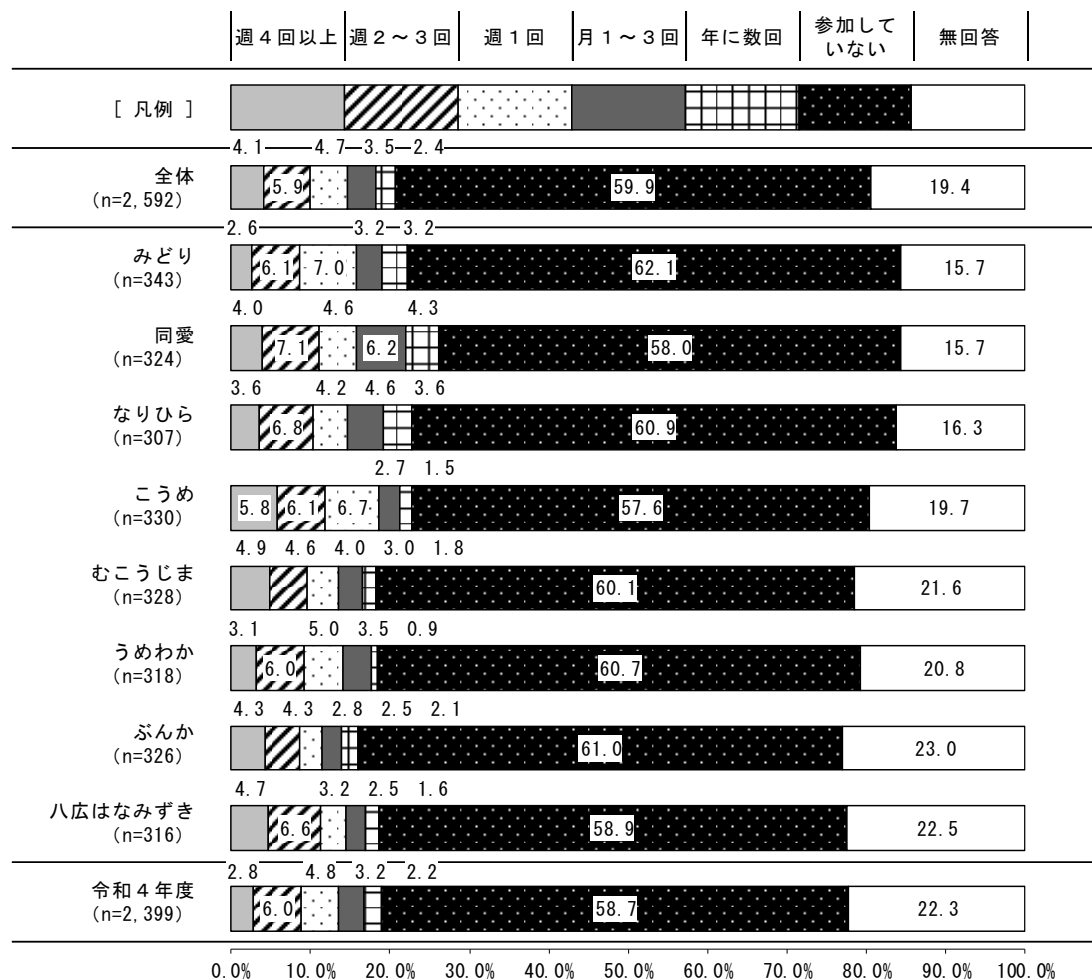
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛（26.2%）が最も多く、ぶんか（16.0%）が最も少なくなっています。

【スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況】



### ③趣味関係のグループ

#### 【全体】

- 趣味関係のグループへの参加状況について、「参加していない」が 57.7%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.6%、「年に数回」が4.7%となっています。

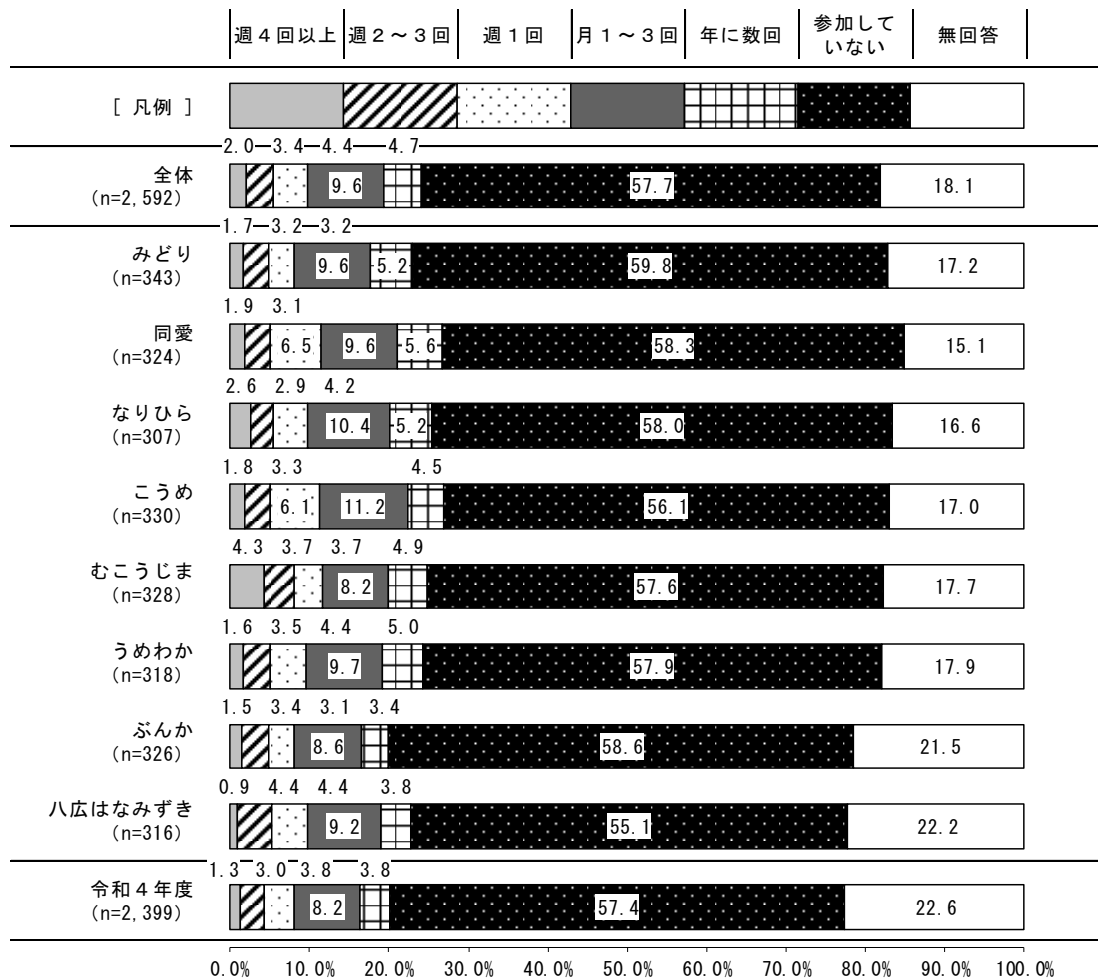
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、4.0ポイント増加しました。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、こうめ（26.9%）が最も多く、ぶんか（20.0%）が最も少なくなっています。

【趣味関係のグループへの参加状況】



#### ④学習・教養サークル

##### 【全体】

- 学習・教養サークルへの参加状況について、「参加していない」が 67.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.5%、「月1～3回」が 2.9%となっています。

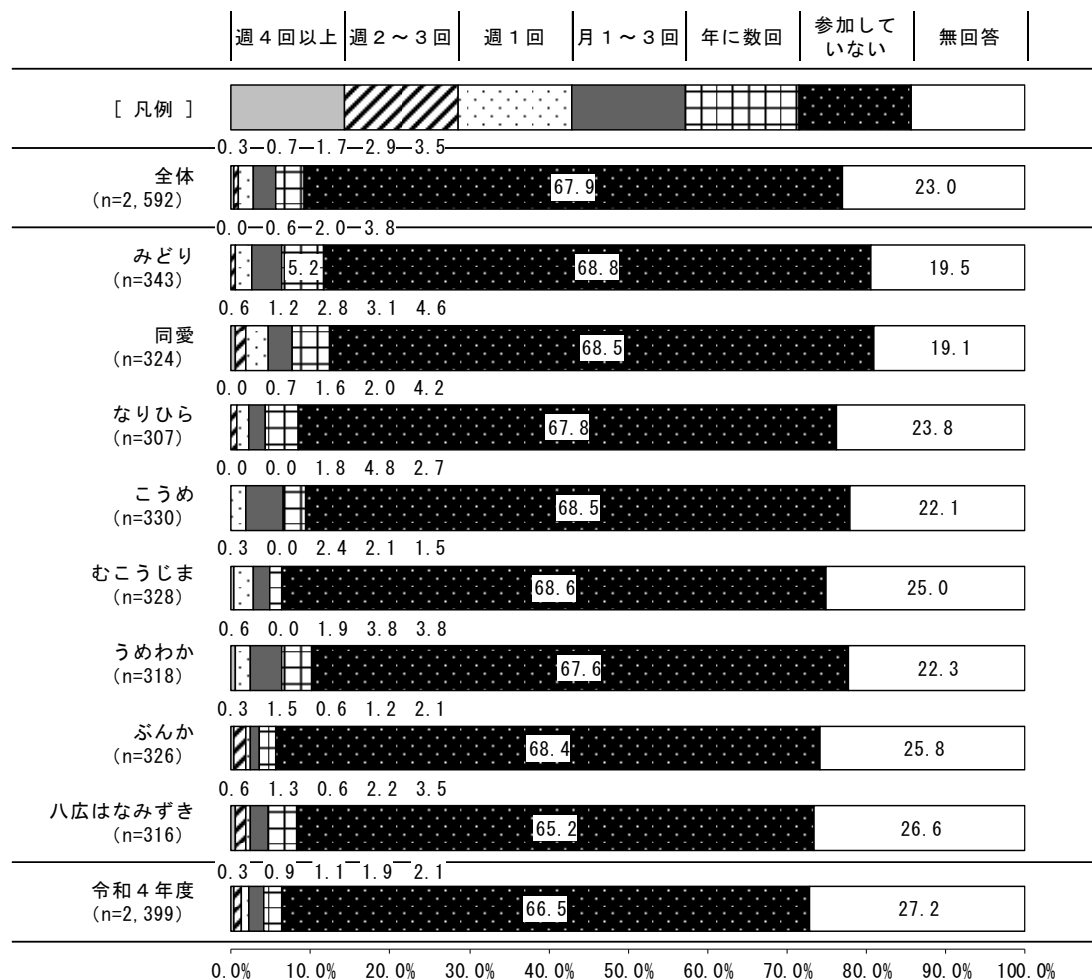
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛（12.3%）が最も多く、ぶんか（5.7%）が最も少なくなっています。

【学習・教養サークルへの参加状況】



### ⑤介護予防のための通いの場

#### 【全体】

○ 介護予防のための通いの場への参加状況について、「参加していない」が 69.1%で最も多く、次いで「月1～3回」が3.0%、「週2～3回」が2.6%となっています。

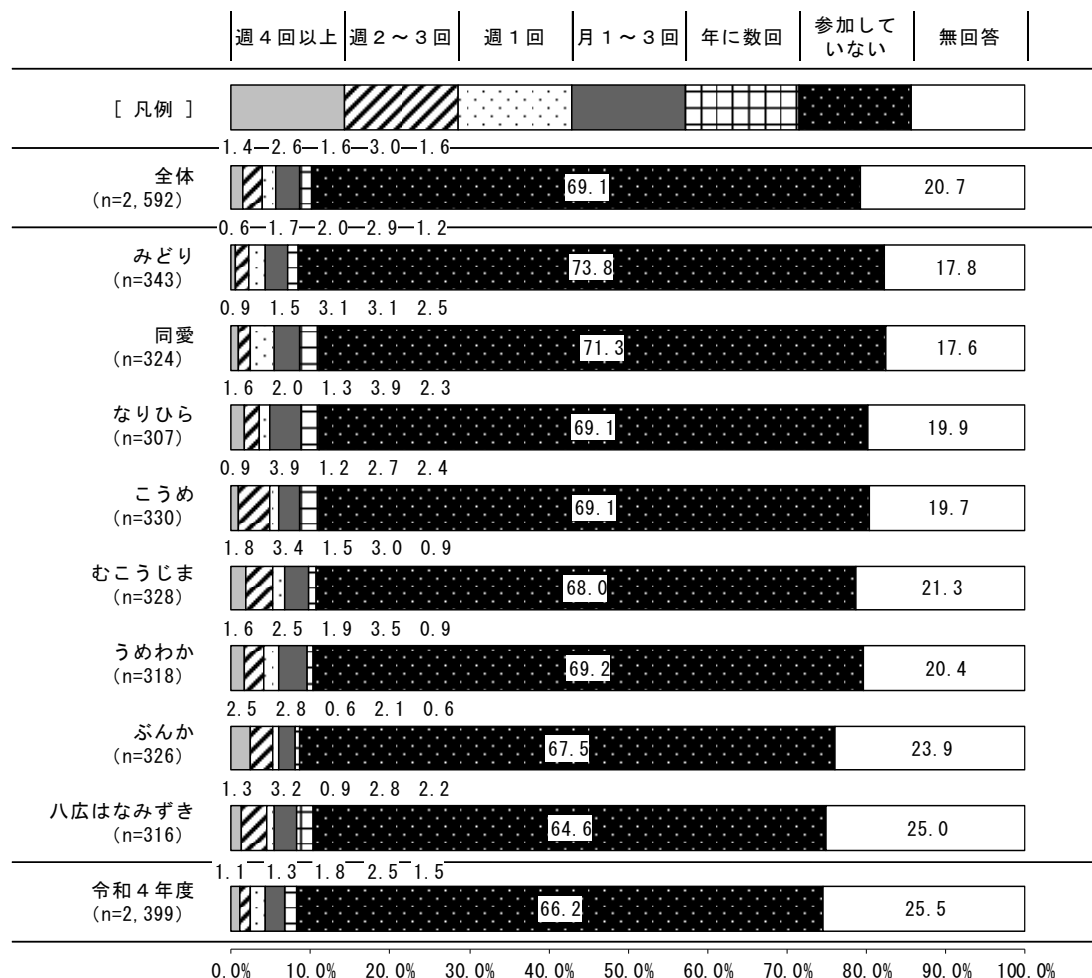
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛、なりひら、こうめ（それぞれ11.1%）が最も多く、みどり（8.4%）が最も少なくなっています。

【介護予防のための通いの場への参加状況】



## ⑥老人クラブ

### 【全体】

- 老人クラブへの参加状況について、「参加していない」が72.3%で最も多く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が2.7%となっています。

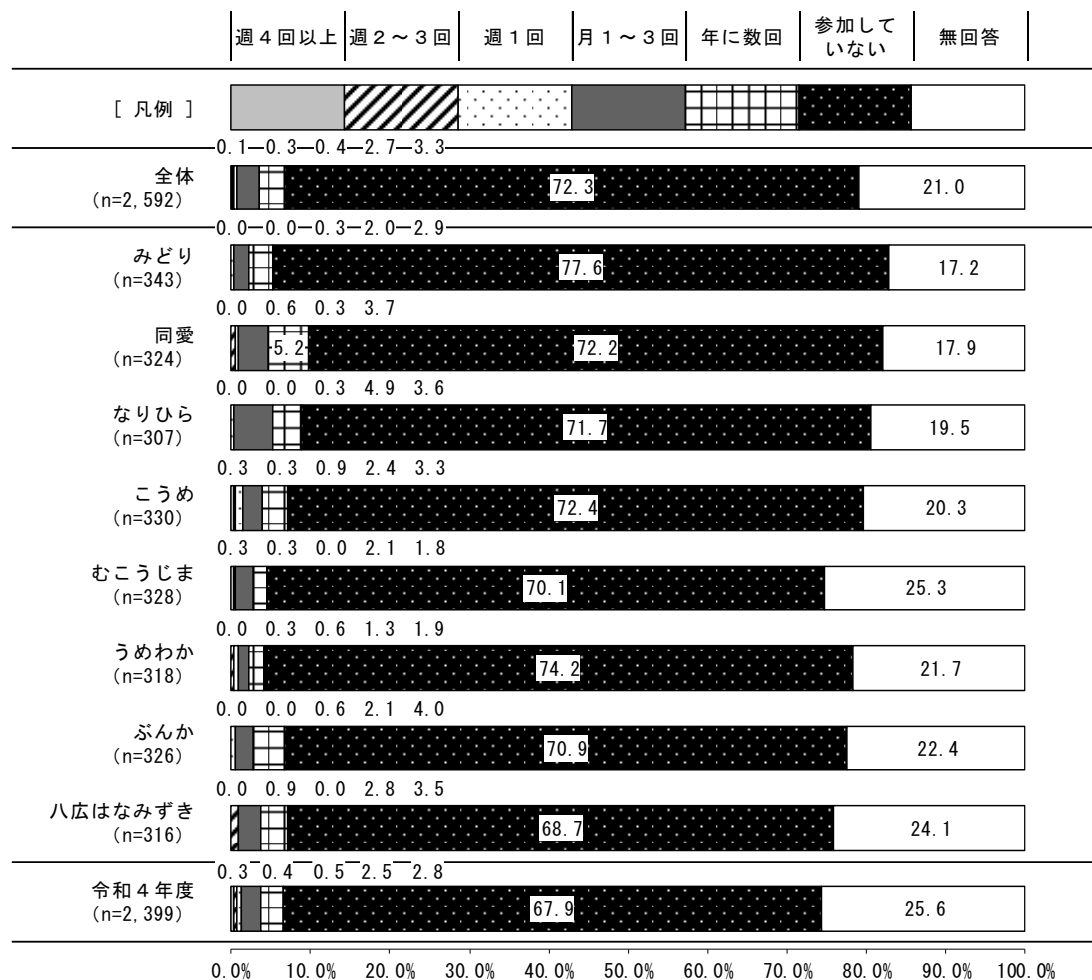
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛（9.8%）が最も多く、うめわか（4.1%）が最も少なくなっています。

【老人クラブへの参加状況】



## ⑦町会・自治会

### 【全体】

- 町会・自治会への参加状況について、「参加していない」が62.8%で最も多く、次いで「年に数回」が9.6%、「月1～3回」が6.4%となっています。

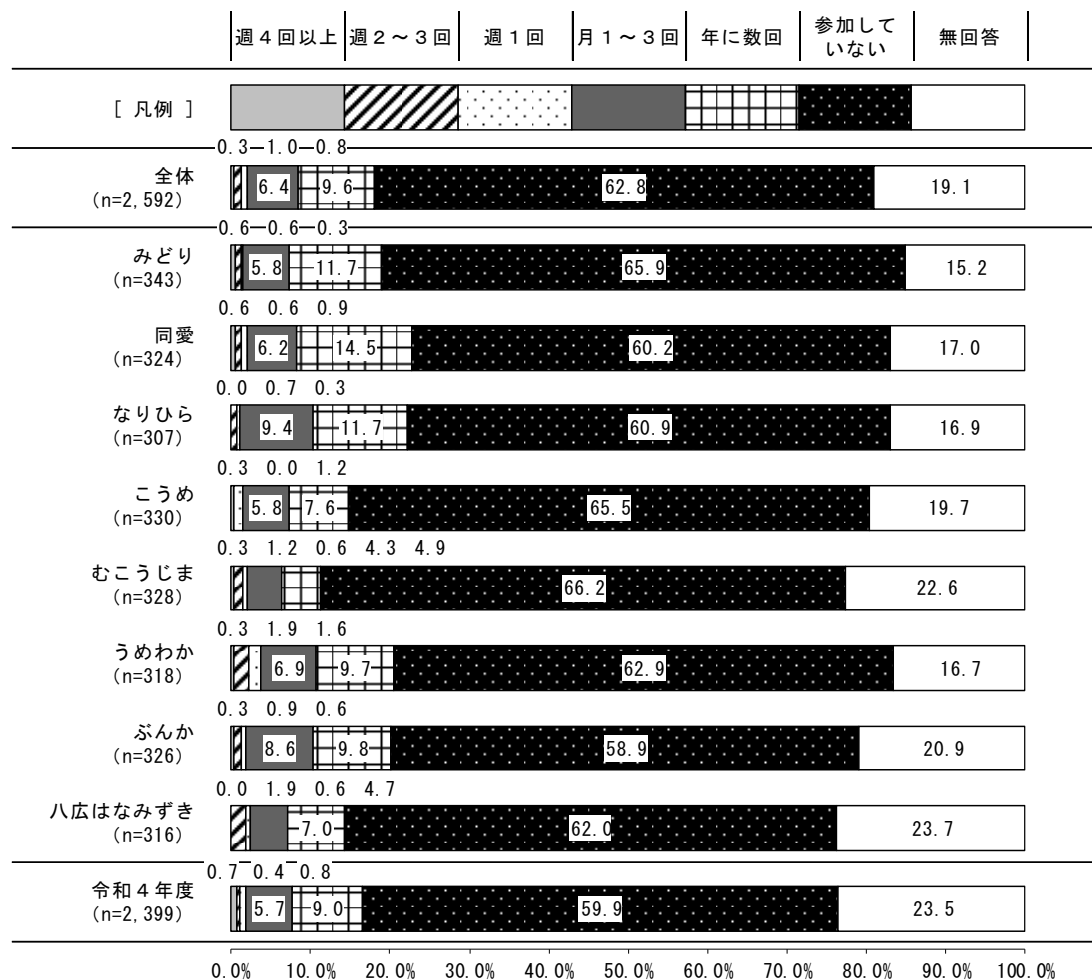
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）”人は、同愛（22.8%）が最も多く、むこうじま（11.3%）が最も少なくなっています。

【町会・自治会への参加状況】



## ⑧収入のある仕事

### 【全体】

- 収入のある仕事への就業状況について、「参加していない」が 51.5%で最も多く、次いで「週4回以上」が 18.0%、「週2～3回」が 6.1%となっています。

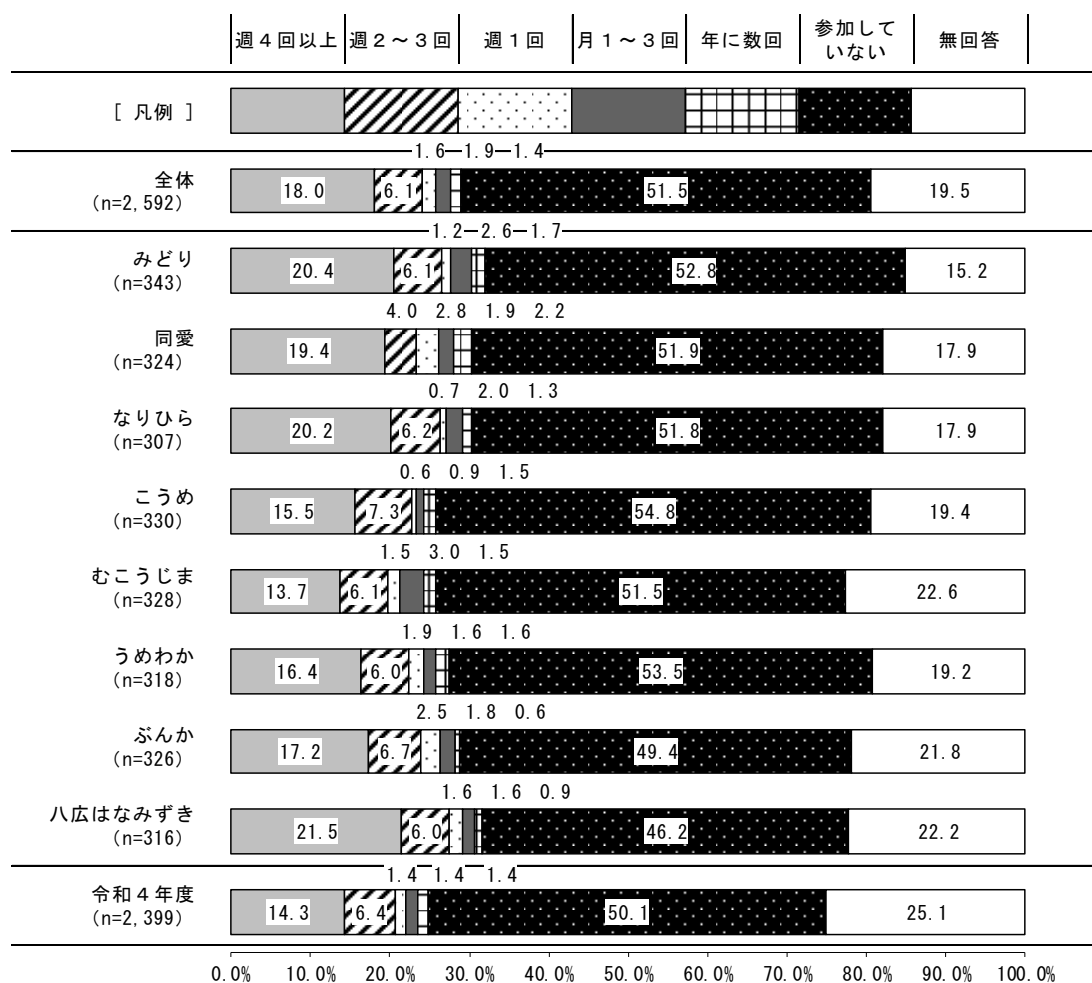
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回の合計）」人は、4.1ポイント増加しました。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“年に数回以上参加している（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計）」人は、みどり（32.0%）が最も多く、むこうじま（25.8%）が最も少なくなっています。

【収入のある仕事への就業状況】



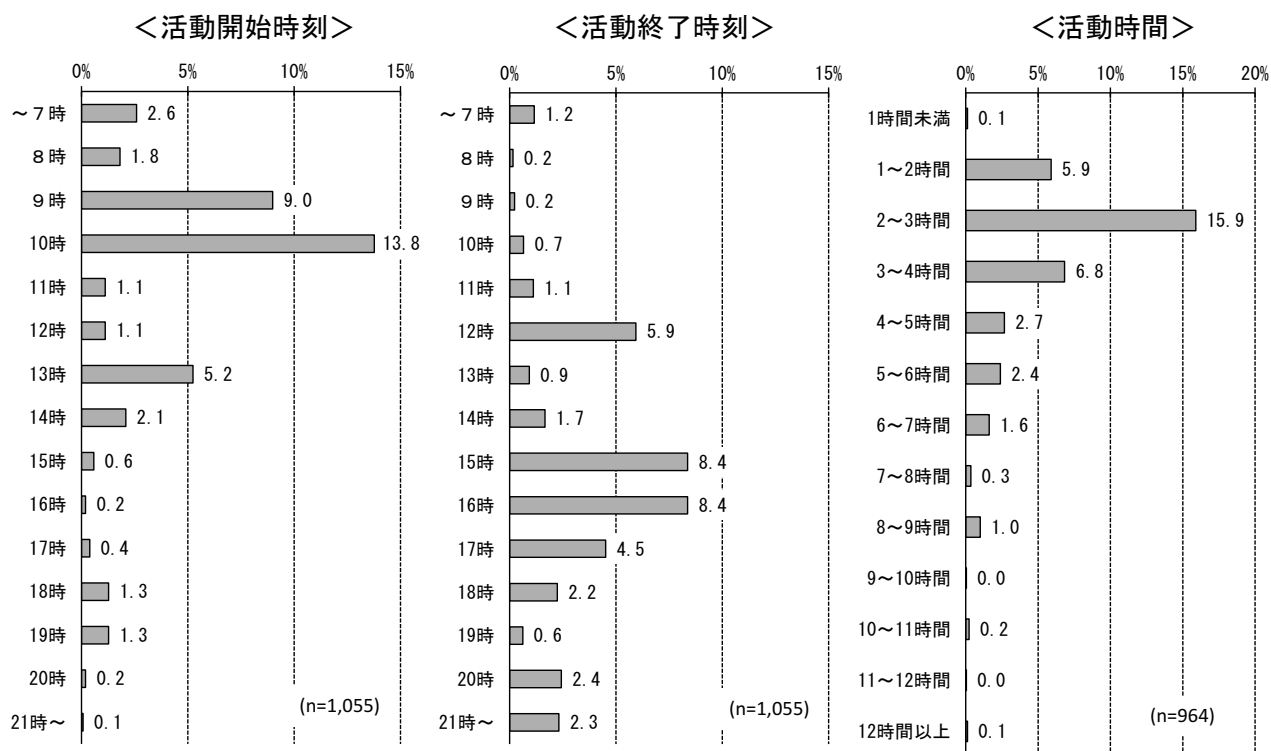
## (2) 地域活動への参加時間・場所

### ①地域活動への参加時間

#### 【全体】

- 地域活動に参加している方について、望ましい活動開始時刻は「10時」が13.8%で最も多く、次いで、「9時」が9.0%、「13時」が5.2%でした。
- 望ましい活動終了時刻は「15時」と「16時」が8.4%で最も多く、次いで「12時」が5.9%でした。
- また、望ましい活動時間は「2～3時間」が15.9%で最も多く、次いで「3～4時間」が6.8%、「1～2時間」が5.9%でした。

#### 【地域活動への参加時間】



## ②地域活動への参加場所

### 【全体】

- 地域活動に参加している方について、参加している活動場所は、「区の施設（その他）」が26.9%で最も多く、次いで「町会会館」が22.3%、「地域の集会所」が20.1%となっています。

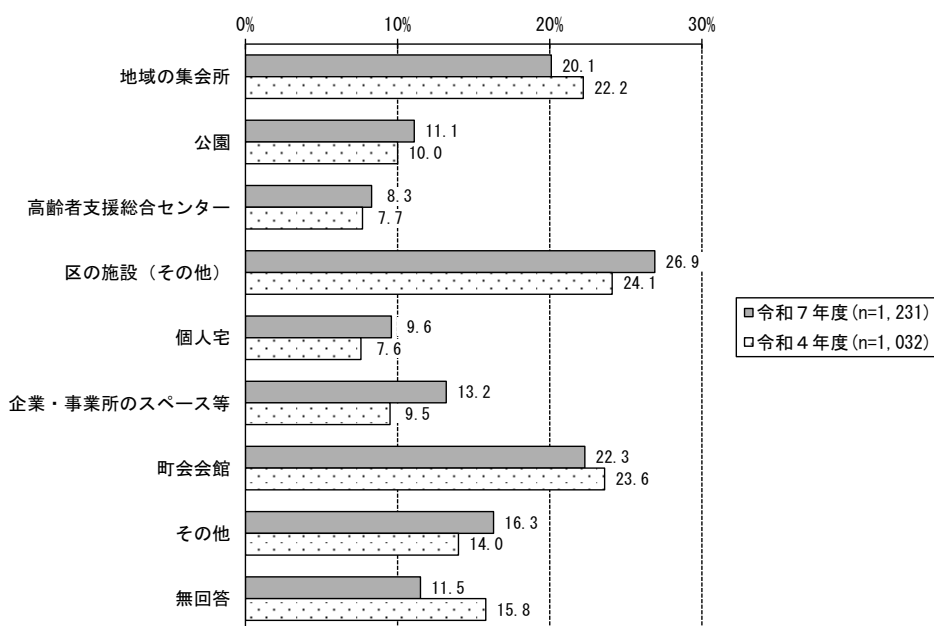
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「企業・事業所のスペース等」（13.2%）が3.7ポイント増加しました。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、みどり、同愛は「町会会館」、なりひら、こうめ、むこうじま、うめわかは「区の施設（その他）」、ぶんか、八広はなみずきは「地域の集会所」が最も多くなっています。

【参加している活動場所】＜複数回答＞



【参加している活動場所（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	地域の集会所	公園	高齢者支援総合センター	区の施設（その他）	個人宅	企業・事業所のスペース等	町会会館	その他	無回答
全体	1,231	20.1	11.1	8.3	26.9	9.6	13.2	22.3	16.3	11.5
圏域	みどり	160	17.5	12.5	6.9	29.4	9.4	15.6	31.9	6.9
	同愛	164	20.1	8.5	6.7	26.2	7.9	17.1	33.5	9.1
	なりひら	161	19.3	12.4	6.2	24.2	13.7	14.9	17.4	14.3
	こうめ	161	15.5	6.2	8.1	26.1	11.8	14.9	24.8	9.9
	むこうじま	144	15.3	13.2	11.8	31.9	12.5	11.8	19.4	11.8
	うめわか	159	17.0	9.4	8.8	27.0	6.3	8.8	22.0	17.0
	ぶんか	137	29.2	11.7	8.0	24.1	7.3	10.9	16.1	13.1
	八広はなみずき	145	29.0	15.9	10.3	26.2	7.6	10.3	11.0	18.6

### (3) 地域活動へ参加していない理由

#### 【全体】

○ 地域活動に「参加していない」人について、その理由では、「必要に迫られていない」が39.6%で最も多く、次いで「関心がない」が32.7%、「どのような活動があるか知らない」が19.0%となっています。

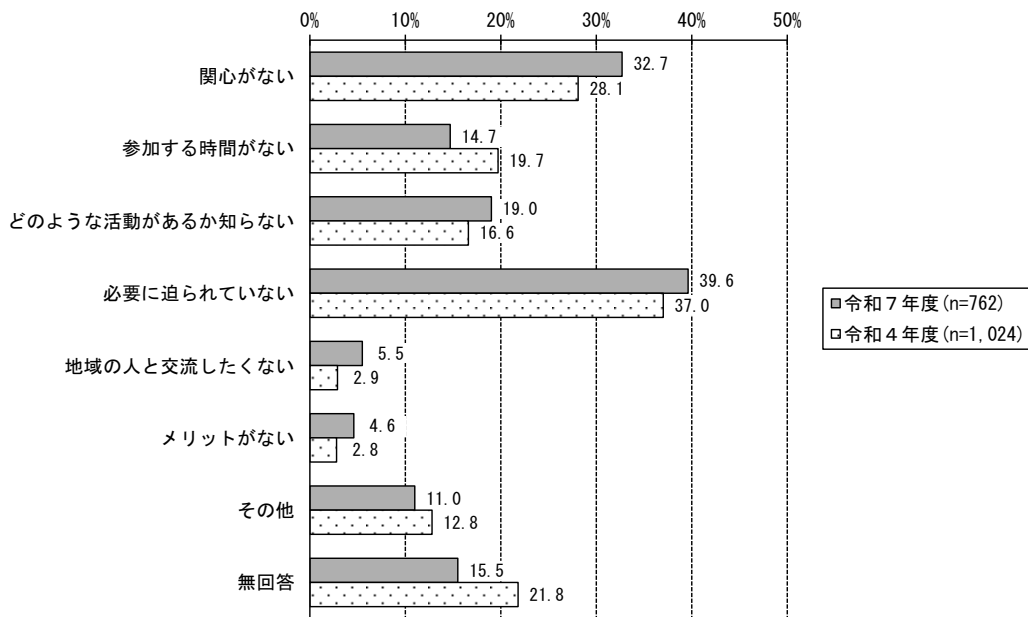
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「関心がない」（32.7%）が4.6ポイント増加し、「参加する時間がない」（14.7%）は5.0ポイント減少しました。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、全ての圏域で「必要に迫られていない」が最も多く、次いで「関心がない」が多くなっています。

【地域活動へ参加していない理由】＜複数回答＞



【地域活動へ参加していない理由（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数（人）	関心がない	参加する時間がない	どのような活動があるか知らない	必要に迫られていない	地域の人と交流したくない	メリットがない	その他	無回答
全体		762	32.7	14.7	19.0	39.6	5.5	4.6	11.0	15.5
圏域	みどり	107	31.8	15.9	17.8	47.7	6.5	7.5	12.1	11.2
	同愛	88	33.0	17.0	13.6	36.4	5.7	4.5	10.2	19.3
	なりひら	89	33.7	12.4	24.7	42.7	5.6	2.2	11.2	13.5
	こうめ	97	37.1	19.6	22.7	39.2	6.2	4.1	9.3	12.4
	むこうじま	101	27.7	11.9	18.8	40.6	4.0	4.0	8.9	19.8
	うめわか	99	37.4	15.2	18.2	39.4	5.1	6.1	14.1	13.1
	ぶんか	99	28.3	15.2	21.2	33.3	4.0	5.1	8.1	18.2
	八広はなみずき	82	32.9	9.8	14.6	36.6	7.3	2.4	14.6	17.1

#### (4) 地域づくりへの参加意向

##### ①参加者としての参加意向

###### 【全体】

- 地域づくりへの参加者としての参加意向は、「参加してもよい」が 47.7%で最も多く、次いで「参加したくない」が 31.5%、「是非参加したい」が 6.2%となっています。

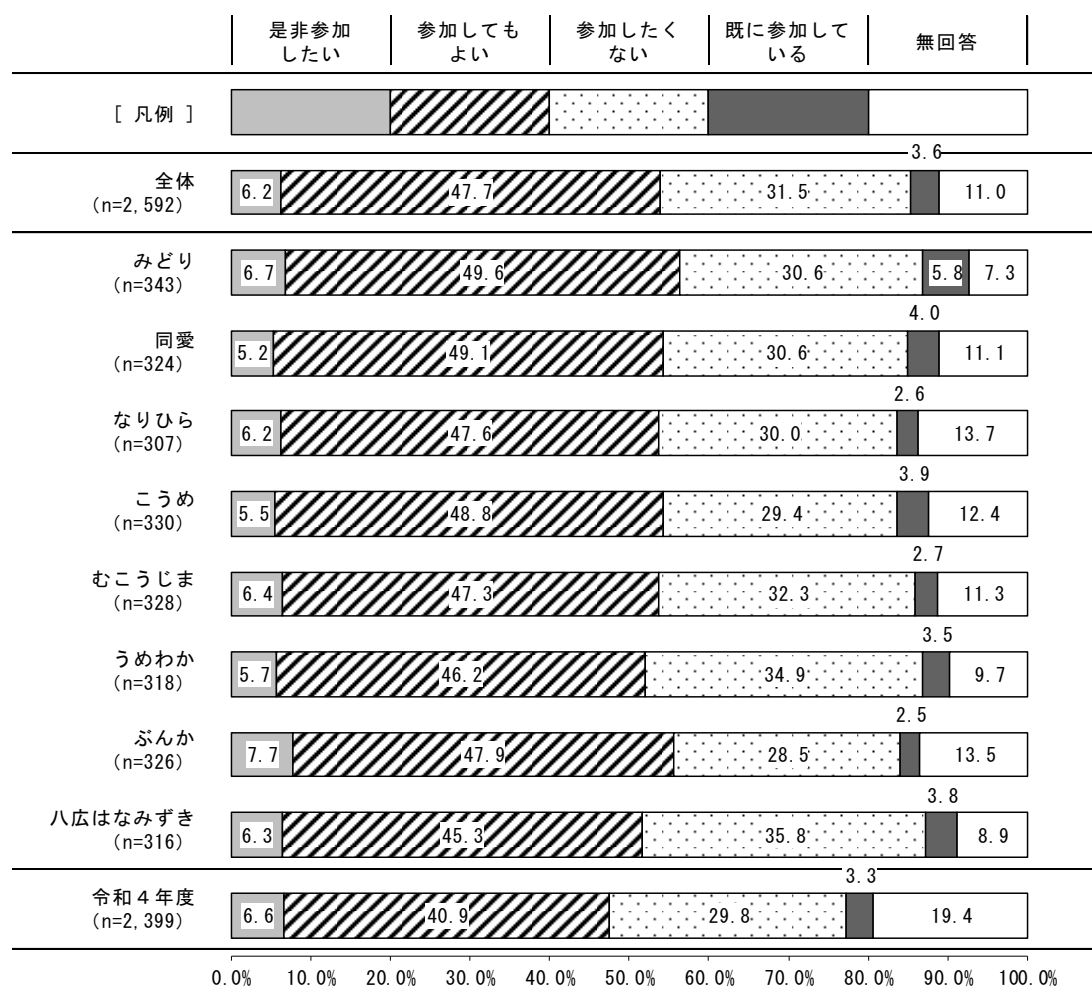
###### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「参加してもよい」（47.7%）が 6.8ポイント増加しました。

###### 【圏域】

- 圏域別にみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」と回答した人を合わせた“参加してもよい”が、みどり（56.3%）が最も多く、八広はなみずき（51.6%）が最も少なくなっています。

【地域づくりへの参加者としての参加意向】



## ②世話役としての参加意向

### 【全体】

○ 地域づくりへの世話役としての参加意向は、「参加したくない」が 54.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 29.9%、「既に参加している」が 3.0%となっています。

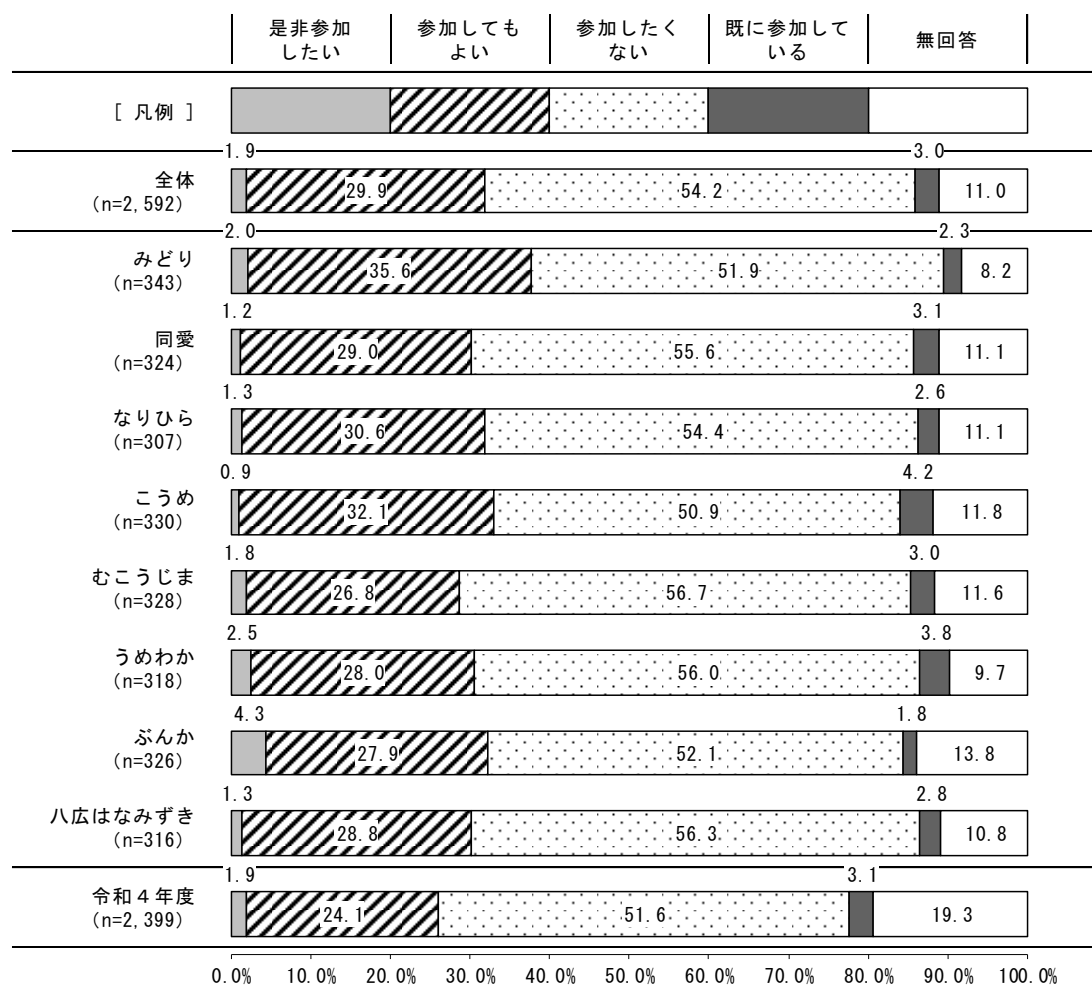
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「参加してもよい」（29.9%）が 5.8ポイント増加しました。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」と回答した人を合わせた“参加してもよい”が、みどり（37.6%）が最も多く、むこうじま（28.6%）が最も少なくなっています。

【地域づくりへの世話役としての参加意向】



### ③地域活動への参加条件

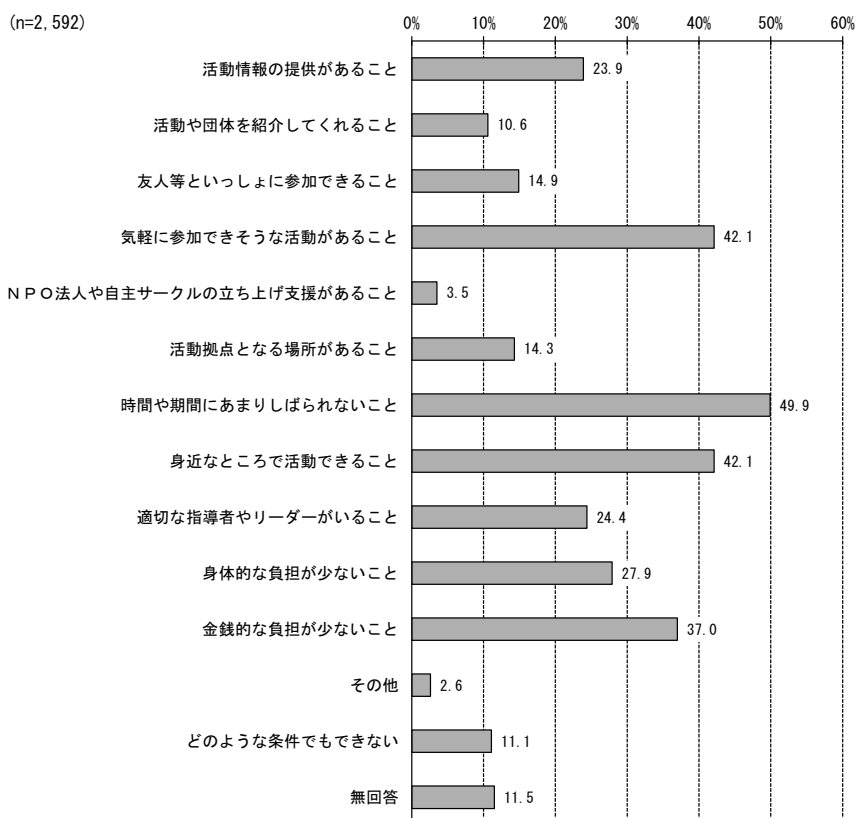
#### 【全体】

- 地域活動への参加条件について、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が 49.9%で最も多く、次いで「気軽に参加できそうな活動があること」「身近なところで活動できること」が 42.1%、「金銭的な負担が少ないこと」が 37.0%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「時間や期間にあまりしぼられないこと」が最も多くなっています。

【地域活動への参加条件】



【地域活動への参加条件（圏域別）】

単位：%

	回答者数（人）	活動情報の提供があること	活動や団体を紹介してくれること	友人等といっしょに参加できること	気軽に参加できそうな活動があること	NPO法人や自主サークルの立ち上げ支援があること	活動拠点となる場所があること	時間や期間にあまりしぼられないこと	身近なところで活動できること	適切な指導者やリーダーがいること	身体的な負担が少ないこと	金銭的な負担が少ないこと	その他	どのような条件でもできない	無回答	
全体	2,592	23.9	10.6	14.9	42.1	3.5	14.3	49.9	42.1	24.4	27.9	37.0	2.6	11.1	11.5	
圏域	みどり	343	25.9	11.4	12.8	46.4	2.9	15.2	52.5	41.7	25.4	28.3	35.3	3.8	11.4	9.6
	同愛	324	23.5	10.5	17.0	41.7	3.4	15.1	50.6	42.0	23.8	29.0	34.9	2.8	9.9	12.0
	なりひら	307	26.1	12.1	15.6	42.7	4.6	18.6	48.2	45.6	28.3	25.4	35.5	1.3	10.1	12.4
	こうめ	330	23.3	10.9	13.6	43.6	2.4	13.3	54.2	43.0	26.7	27.0	38.8	3.6	10.6	10.6
	むこうじま	328	28.4	13.7	14.6	43.9	4.0	14.9	45.7	44.2	24.4	30.2	38.1	1.8	12.2	10.7
	うめわか	318	21.1	9.1	16.4	38.7	2.8	12.9	51.3	42.5	23.6	29.6	33.6	2.2	11.3	10.7
	ぶんか	326	22.1	8.0	15.3	38.7	2.5	12.6	49.7	39.6	20.9	28.2	41.4	3.4	12.0	13.2
	八広はなみずき	316	20.9	8.9	14.2	41.1	5.4	11.7	46.8	38.6	22.2	25.6	38.3	1.9	11.7	13.0

## 7. 就労について

### (1) 就労状態

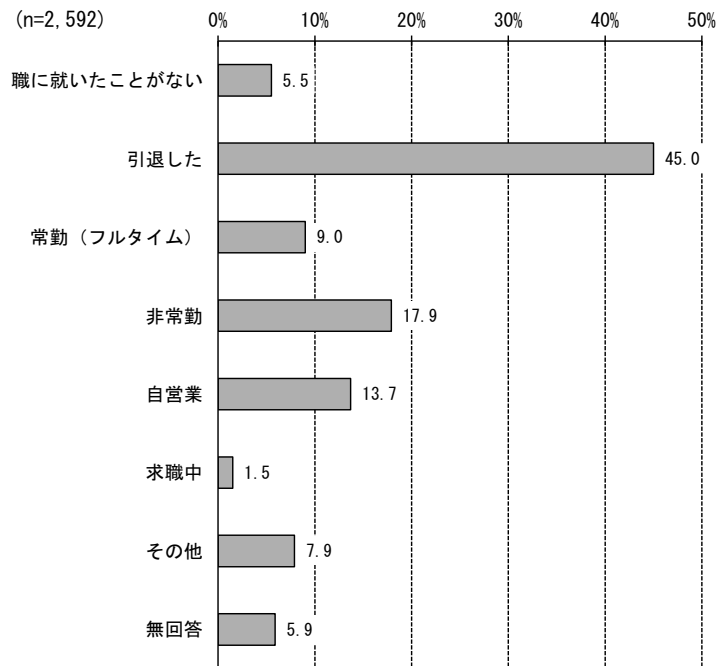
#### 【全体】

○ 就労状況について、「引退した」が 45.0%で最も多く、次いで「非常勤」が 17.9%、「自営業」が 13.7%となっています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、全ての圏域で「引退した」が最も多くなっています。

【就労状況】＜複数回答＞



【就労状況 (圏域別)】＜複数回答＞

単位：%

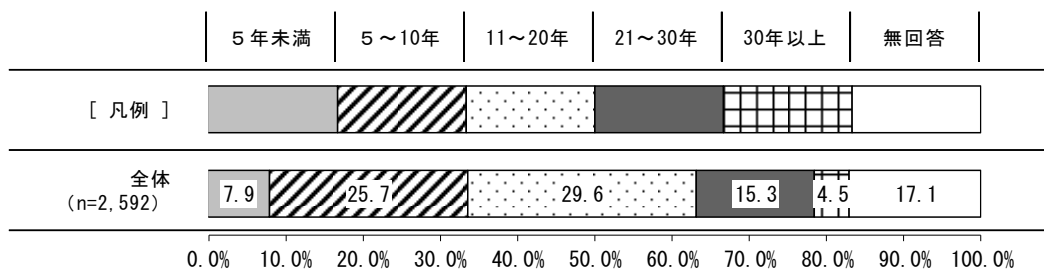
		回答者数 (人)	職に就いたことがない	引退した	常勤 (フルタイム)	非常勤	自営業	求職中	その他	無回答
全体		2,592	5.5	45.0	9.0	17.9	13.7	1.5	7.9	5.9
圏域	みどり	343	6.4	44.6	9.0	15.7	15.7	3.2	9.9	3.8
	同愛	324	5.2	46.3	10.8	13.9	17.9	1.2	7.4	4.0
	なりひら	307	4.2	43.0	10.4	19.2	13.0	1.3	7.8	7.5
	こうめ	330	5.5	48.2	8.8	17.3	12.7	1.2	5.5	5.5
	むこうじま	328	5.5	44.8	8.2	19.5	13.7	2.1	7.9	5.2
	うめわか	318	5.0	46.2	7.5	20.1	11.0	1.6	10.4	6.6
	ぶんか	326	5.8	44.2	8.3	18.1	10.4	0.9	8.0	8.9
	八広はなみずき	316	6.3	42.4	9.2	19.6	15.2	0.3	6.6	5.7

## (2) 仕事を引退してからの期間

### 【全体】

- 仕事を引退してからの期間について、「11～20年」が29.6%と最も多く、次いで「5～10年」が25.7%、「21～30年」が15.3%となっています。

### 【仕事を引退してからの期間】



## 8. たすけあいについて

### (1) 情緒的支援者

#### ①心配事や愚痴を聞いてくれる人

##### 【全体】

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「友人」が 49.7%で最も多く、次いで「配偶者」が 46.4%、「別居の子ども」が 31.5%となっています。

##### 【経年】

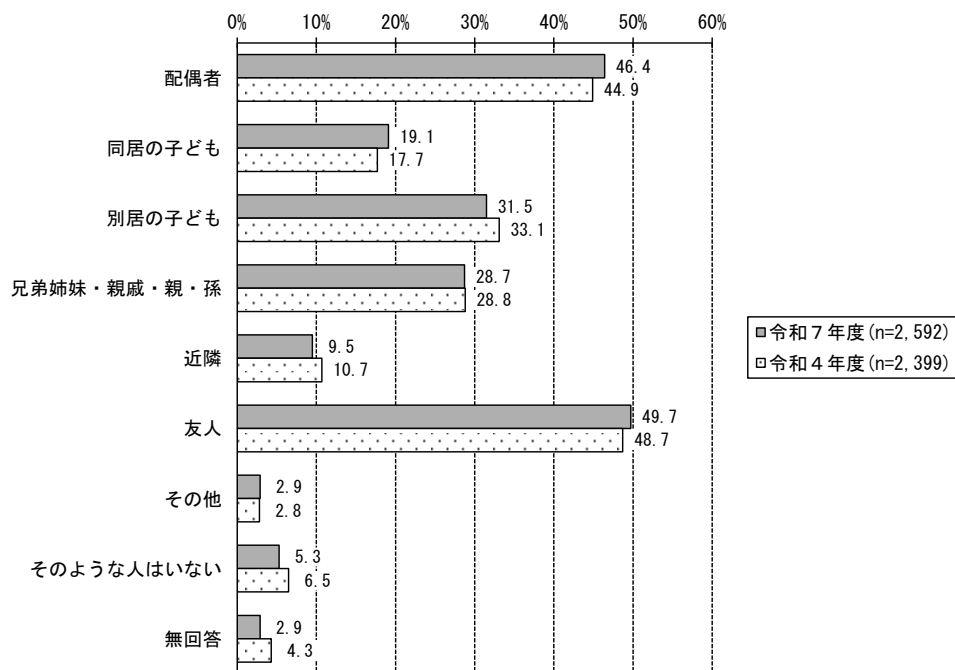
- 前回（令和4年度）と比較して、“心配事や愚痴を聞いてくれる人がある（「そのような人はいない」と「無回答」除く回答者）」と回答した人（91.8% ※）は、2.6ポイント増加しました。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、“心配事や愚痴を聞いてくれる人がある（「そのような人はいない」と「無回答」除く回答者）」と回答した人は、むこうじま（93.3%）が最も多く、うめわか（89.9%）が最も少なくなっています。

※心配事や愚痴を聞いてくれる人があると回答した人：100% - 「そのような人はいない（5.3%）」 - 「無回答（2.9%）」 = 91.8%

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】＜複数回答＞



【心配事や愚痴を聞いてくれる人（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

圏域	回答者数（人）	関係者									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,592	46.4	19.1	31.5	28.7	9.5	49.7	2.9	5.3	2.9	
圏域	みどり	343	52.5	18.7	29.7	27.7	10.2	50.4	2.9	3.8	4.1
	同愛	324	46.6	17.3	28.1	28.4	6.8	51.9	2.5	5.9	2.5
	なりひら	307	49.5	16.9	30.3	28.0	7.8	48.9	2.9	5.2	2.6
	こうめ	330	43.3	21.8	27.6	30.6	7.6	50.3	2.4	4.5	4.2
	むこうじま	328	41.5	20.4	37.5	28.4	10.1	52.4	4.0	4.9	1.8
	うめわか	318	47.2	21.7	31.1	26.1	11.6	49.4	2.8	5.7	4.4
	ぶんか	326	45.4	16.6	32.8	32.2	12.6	46.6	2.8	4.9	2.1
	八広はなみずき	316	45.3	19.3	35.1	27.8	8.9	47.8	2.5	7.9	1.6

## ②心配事や愚痴を聞いてあげる人

### 【全体】

- 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が 51.2%で最も多く、次いで「配偶者」が 44.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.6%となっています。

### 【経年】

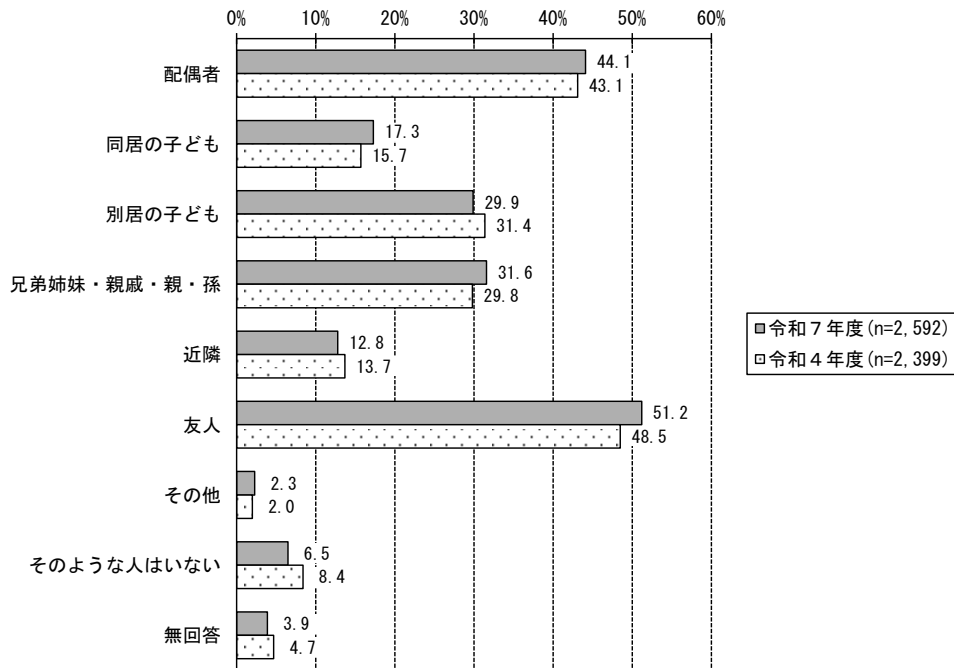
- 前回（令和4年度）と比較して、“心配事や愚痴を聞いてあげる人がある（「そのような人はいない」と「無回答」を除く回答者）」と回答した人（89.6% ※）は、2.7ポイント増加しました。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“心配事や愚痴を聞いてあげる人がある（「そのような人はいない」と「無回答」を除く回答者）」と回答した人は、なりひら（91.2%）が最も多く、うめわか（85.9%）が最も少なくなっています。

※心配事や愚痴を聞いてくれる人があると回答した人：100% - 「そのような人はいない（6.5%）」 - 「無回答（3.9%）」 = 89.6%

【心配事や愚痴を聞いてあげる人】＜複数回答＞



【心配事や愚痴を聞いてあげる人（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

圏域	回答者数（人）	回答内容									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・親・孫 兄弟姉妹・	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,592	44.1	17.3	29.9	31.6	12.8	51.2	2.3	6.5	3.9	
圏域	みどり	343	48.1	17.5	30.9	31.5	12.0	52.5	2.0	5.0	4.1
	同愛	324	47.8	15.1	26.9	34.3	8.6	53.1	3.1	6.5	3.1
	なりひら	307	47.9	16.9	30.6	32.2	11.4	48.9	2.9	5.2	3.6
	こうめ	330	41.2	20.6	29.4	33.3	11.5	51.5	1.8	6.4	4.5
	むこうじま	328	39.9	20.7	35.7	33.8	12.2	51.8	2.1	7.9	3.7
	うめわか	318	42.5	17.0	27.4	27.7	16.7	52.5	1.9	6.9	7.2
	ぶんか	326	41.1	14.4	27.3	33.1	15.3	49.1	2.5	5.5	3.4
	八広はなみずき	316	44.0	15.8	31.3	26.6	14.6	49.7	2.2	8.9	1.9

## (2) 手段的支援者

### ①看病や世話をしてくれる人

#### 【全体】

- 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 49.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 30.3%、「同居の子ども」が 24.2%となっています。

#### 【経年】

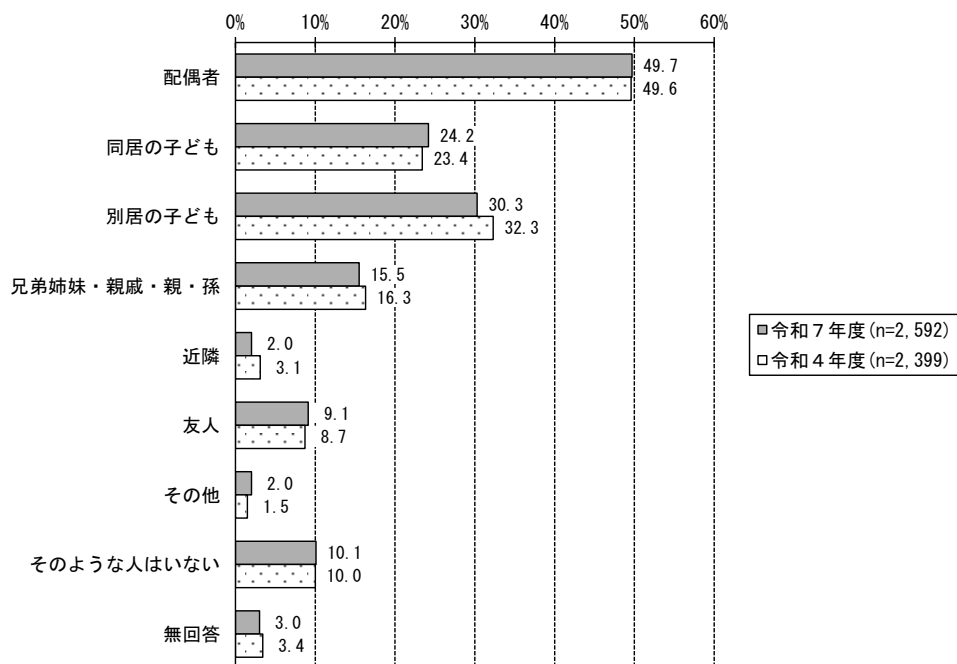
- 前回（令和4年度）と比較して、“看病や世話をしてくれる人がある（「そのような人はいない」と「無回答」を除く回答者）」と回答した人（86.9% ※）は、0.3ポイント増加しました。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“看病や世話をしてくれる人がある”と回答した人は、むこうじま（89.7%）が最も多く、うめわか（84.0%）が最も少なくなっています。

※看病や世話をしてくれる人があると回答した人：100% - 「そのような人はいない（10.1%）」 - 「無回答（3.0%）」 = 86.9%

【看病や世話をしてくれる人】＜複数回答＞



【看病や世話をしてくれる人（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
全体		2,592	49.7	24.2	30.3	15.5	2.0	9.1	2.0	10.1	3.0
圏域	みどり	343	55.7	23.6	26.2	12.5	1.7	11.7	2.9	10.8	2.6
	同愛	324	50.9	21.3	26.2	17.3	2.2	9.0	3.1	10.8	1.9
	なりひら	307	52.1	23.8	26.7	14.7	1.3	6.2	1.3	11.7	2.9
	こうめ	330	47.0	27.3	29.4	19.4	0.9	8.8	2.4	7.9	3.9
	むこうじま	328	45.7	29.3	35.7	17.7	2.7	10.7	1.8	7.9	2.4
	うめわか	318	48.4	25.2	32.7	12.3	0.6	7.5	0.9	11.3	4.7
	ぶんか	326	47.5	19.3	31.9	16.9	3.1	9.5	1.2	9.5	3.1
	八広はなみずき	316	50.0	23.7	33.9	13.3	3.5	8.9	1.9	10.8	2.2

## ②看病や世話をしている人

### 【全体】

- 看病や世話をしている人について、「配偶者」が 50.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 25.7%、「同居の子ども」が 22.0%となっています。

### 【経年】

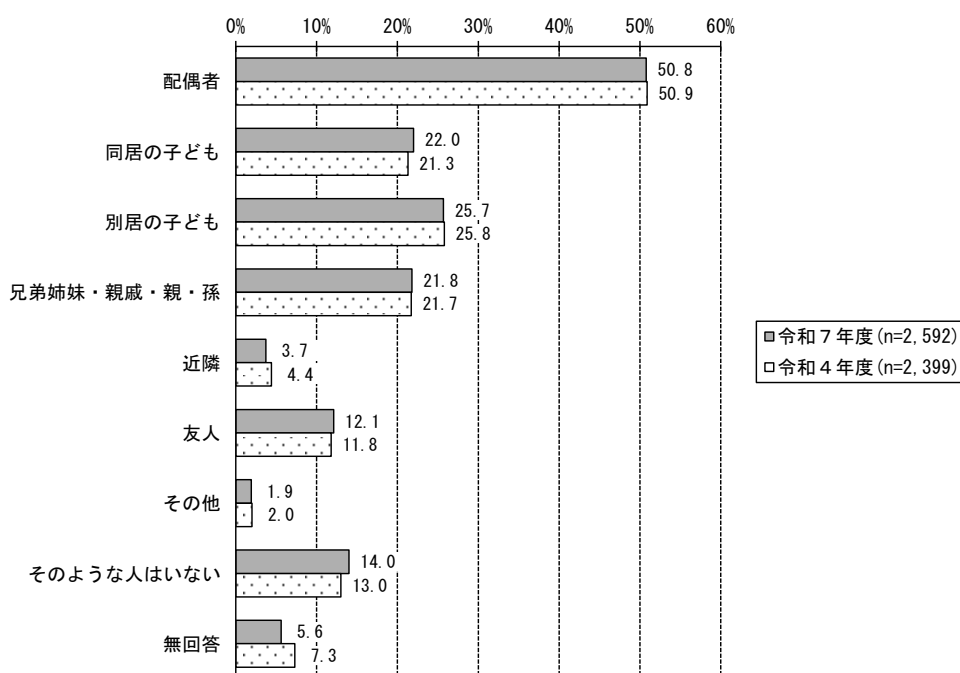
- 前回（令和4年度）と比較して、“看病や世話をしている人がある（「そのような人はいない」と「無回答」を除く回答者）」と回答した人（80.4% ※）は、0.7ポイント増加しました。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“看病や世話をしている人がある”と回答した人は、むこうじま（84.1%）が最も多く、こうめ（79.1%）が最も少なくなっています。

※看病や世話をしている人があると回答した人：100% - 「そのような人はいない（14.0%）」 - 「無回答（5.6%）」 = 80.4%

【看病や世話をしている人】＜複数回答＞



【看病や世話をしている人（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,592	50.8	22.0	25.7	21.8	3.7	12.1	1.9	14.0	5.6
圏域	みどり	343	55.4	23.3	23.6	21.9	2.6	14.3	2.0	14.3	4.1
	同愛	324	52.8	19.4	24.4	24.1	2.8	13.0	3.1	14.8	5.2
	なりひら	307	52.1	25.7	28.7	22.8	3.3	9.4	2.0	13.0	6.8
	こうめ	330	47.3	25.8	23.0	24.5	2.7	13.3	0.9	13.9	7.0
	むこうじま	328	49.1	25.0	27.1	22.6	4.3	14.0	3.0	11.6	4.3
	うめわか	318	52.5	22.3	26.7	17.9	3.8	11.0	2.2	12.6	8.2
	ぶんか	326	47.5	16.3	25.2	19.6	3.7	10.7	1.2	14.4	5.8
	八広はなみずき	316	50.0	18.4	26.9	20.6	6.3	10.8	0.9	17.1	3.5

### (3) 家族や友人・知人以外の相談相手

#### 【全体】

- 家族や友人・知人以外の相談先について、「そのような人はいない」が 41.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.9%、「高齢者支援総合センター・区役所」が 17.7%となっています。

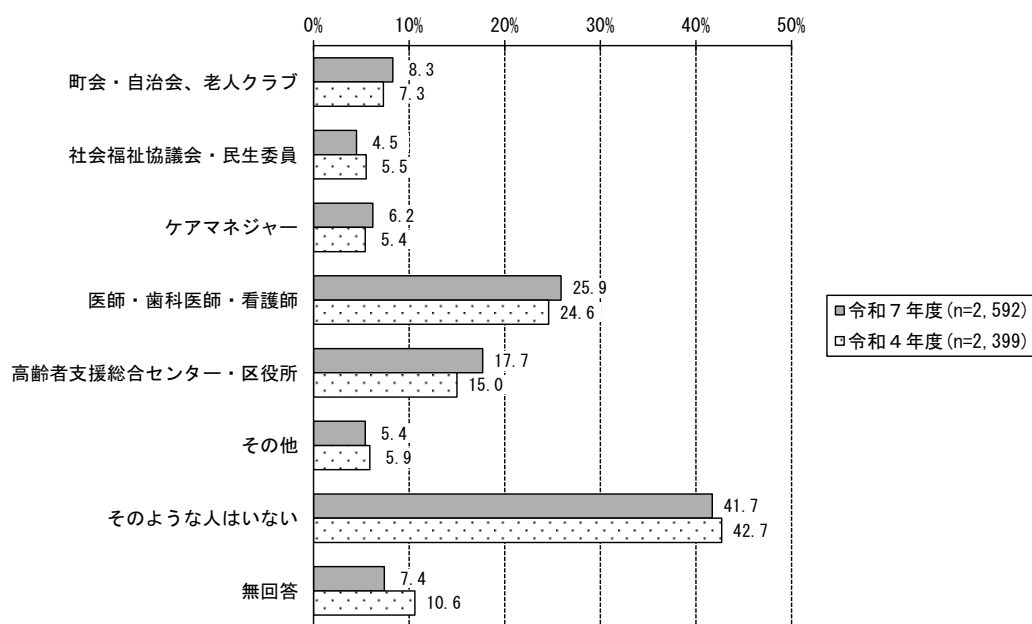
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、“家族や友人・知人以外の相談相手がいる（「そのような人はいない」と「無回答」を除く回答者）”と回答した人（50.9%）は、4.2ポイント増加しました。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“家族や友人・知人以外の相談相手がいる”と回答した人は、うめわか（53.8%）が最も多く、同愛（46.6%）が最も少なくなっています。

【家族や友人・知人以外の相談相手】＜複数回答＞



【家族や友人・知人以外の相談相手（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	町会・自治会、老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	高齢者支援総合センター・区役所	その他	そのような人はいない	無回答	
										全体
全体	2,592	8.3	4.5	6.2	25.9	17.7	5.4	41.7	7.4	
圏域	みどり	343	5.8	3.8	6.4	30.9	15.2	6.1	39.1	7.6
	同愛	324	8.3	6.5	5.2	27.2	14.8	3.4	46.0	7.4
	なりひら	307	8.8	1.6	5.5	28.0	17.6	5.5	41.4	7.2
	こうめ	330	7.9	4.2	6.7	24.5	20.0	3.9	41.2	7.0
	むこうじま	328	7.3	3.7	6.4	27.7	19.5	7.0	40.2	6.7
	うめわか	318	10.1	6.6	7.5	26.7	21.7	4.7	38.7	7.5
	ぶんか	326	8.9	5.2	6.4	20.9	16.0	5.2	43.6	8.0
	八広はなみずき	316	9.2	4.1	5.1	21.2	17.4	7.6	43.7	7.6

(4) 友人・知人

①友人・知人と会う頻度

【全体】

○ 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が 30.4%で最も多く、次いで「年に何度かある」が 22.5%、「週に何度かある」が 20.2%となっています。

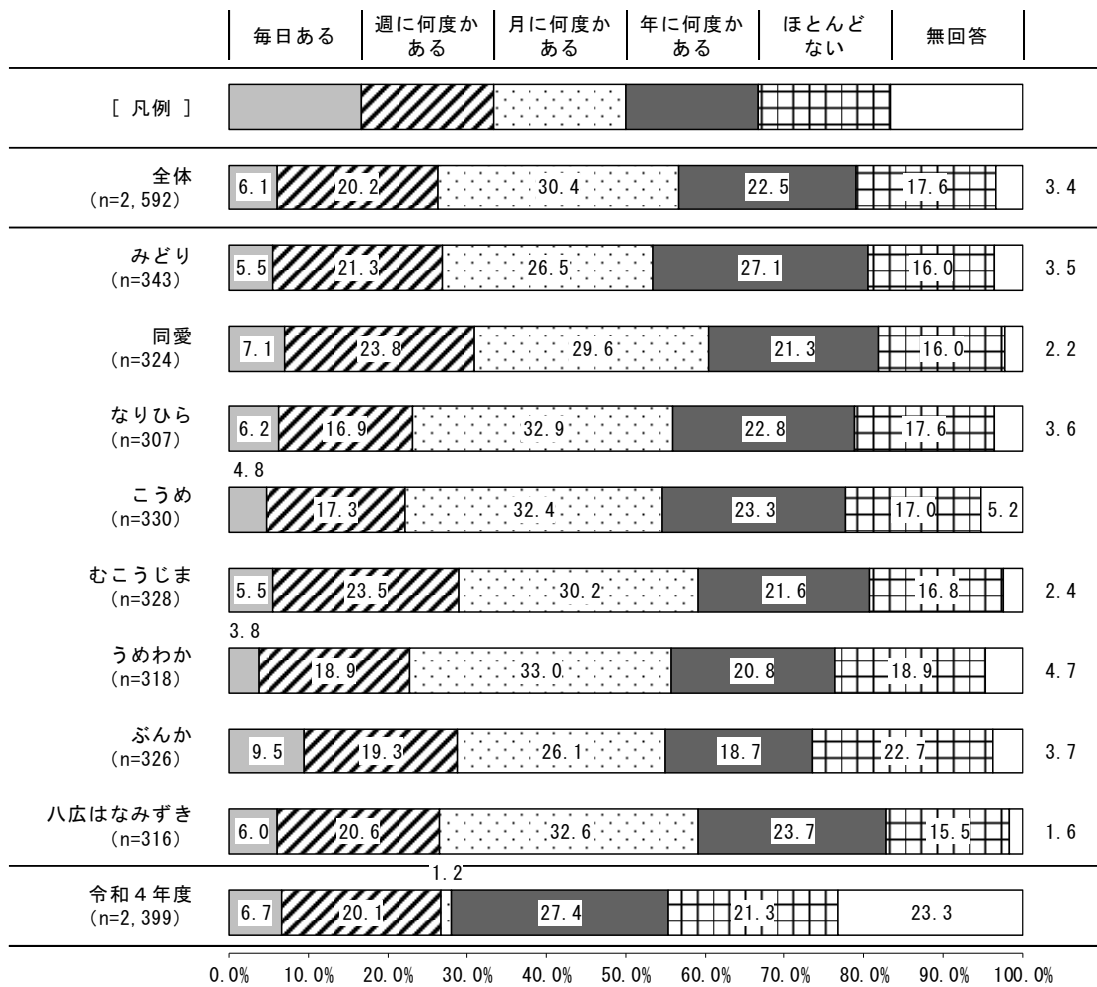
【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた“頻繁に会っている”人（26.3%）は、0.5ポイント減少しました。

【圏域】

○ 圏域別にみると、“頻繁に会っている”人は、同愛（30.9%）が最も多く、こうめ（22.1%）が最も少なくなっています。

【友人・知人と会う頻度】



## ②この1か月に会った友人・知人の人数

### 【全体】

- この1か月に会った友人・知人の人数について、「1～2人」が27.1%で最も多く、次いで「3～5人」が24.2%、「0人（いない）」が18.4%となっています。

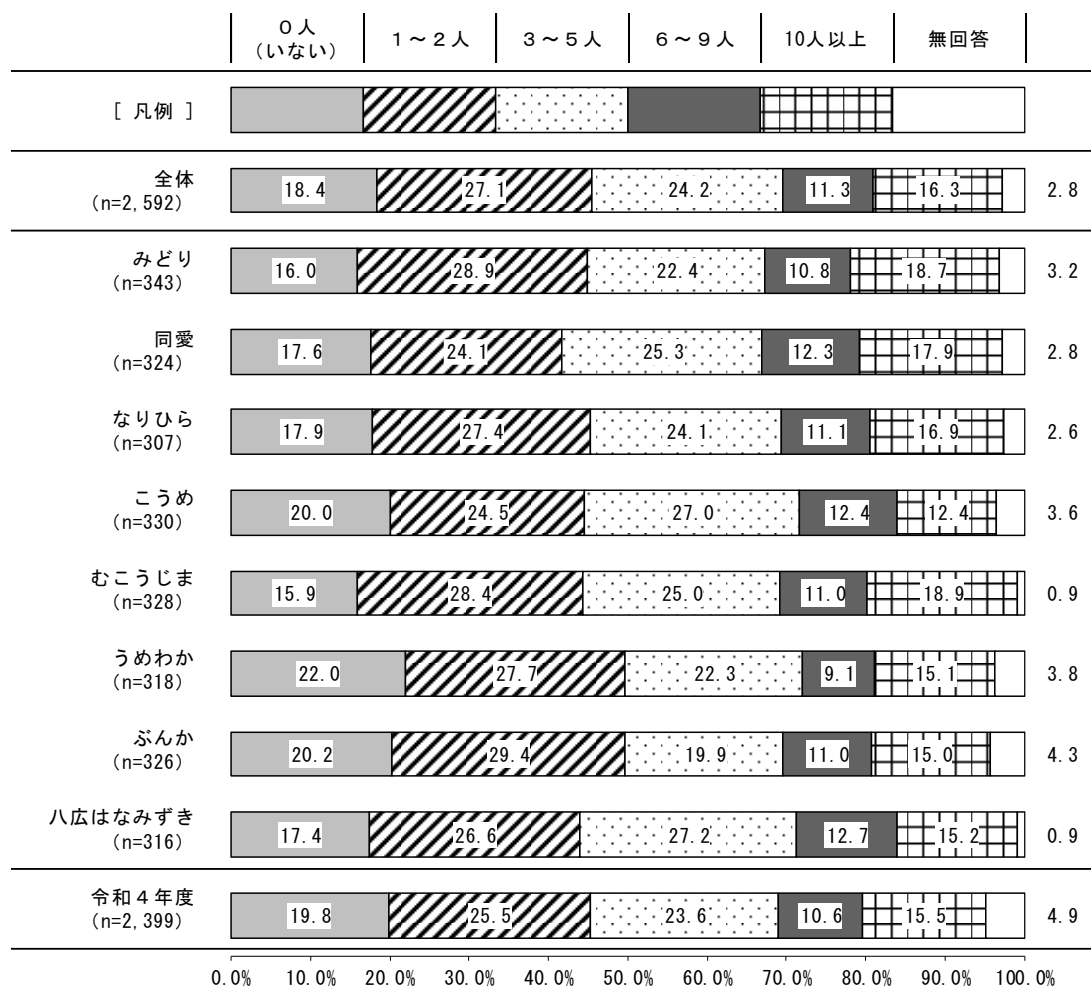
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“6人以上（「6～9人」「10人以上」の合計）”では、同愛（30.2%）が、「0人」では、うめわか（22.0%）が最も多くなっています。

【この1か月に会った友人・知人の人数】



### ③よく会う友人・知人との関係

#### 【全体】

○ よく会う友人・知人との関係について、「近隣・同じ地域の人」が 38.3%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.5%、「仕事での同僚・元同僚」が 30.3%となっています。

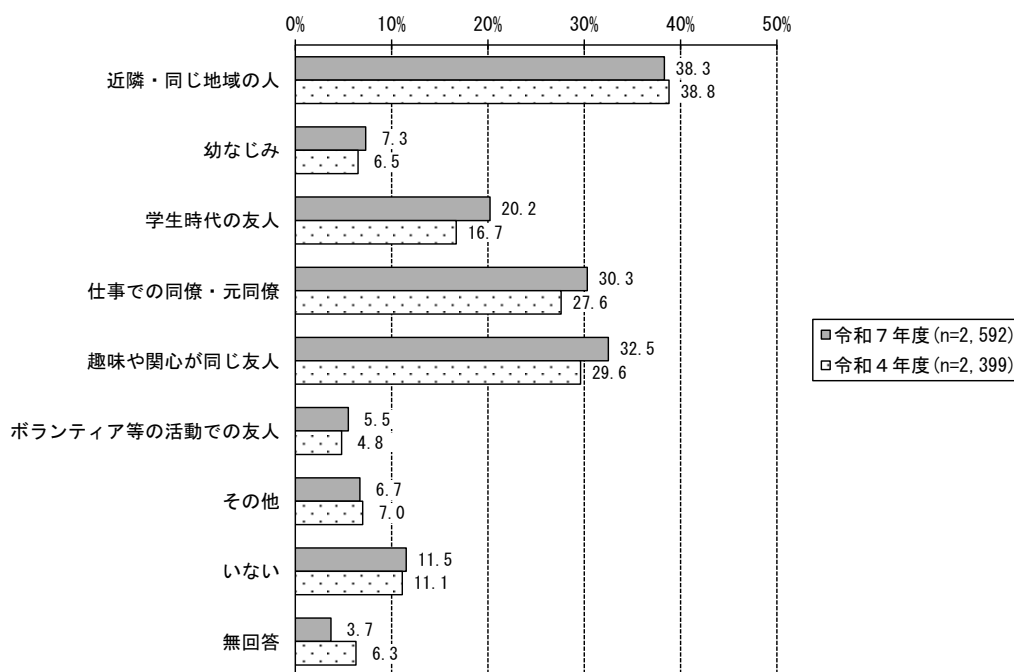
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「学生時代の友人」が 3.5 ポイント増加しています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、みどりは「仕事での同僚・元同僚」が、同愛、こうめは「趣味や関心が同じ友人」が、その他の圏域は「近隣・同じ地域の人」が最も多くなっています。

【よく会う友人・知人との関係】＜複数回答＞



【よく会う友人・知人との関係（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

圏域	回答者数（人）	近隣・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答	
		全体	2,592	38.3	7.3	20.2	30.3	32.5	5.5	6.7	11.5
みどり	343	33.8	8.2	24.2	35.3	33.5	4.7	7.0	9.6	4.4	
	同愛	324	35.8	8.3	24.7	33.3	37.7	5.9	4.3	11.1	2.5
	なりひら	307	39.4	6.5	20.8	32.9	35.5	5.2	5.9	9.4	4.6
	こうめ	330	35.5	7.6	23.6	27.3	35.8	6.4	6.7	12.7	4.5
	むこうじま	328	41.5	8.2	18.6	26.8	31.7	6.1	8.8	11.0	2.7
	うめわか	318	45.3	6.3	17.0	28.3	28.9	6.0	6.0	12.3	4.7
	ぶんか	326	35.6	7.1	14.7	30.7	24.2	3.7	6.1	14.1	4.3
	八広はなみずき	316	39.9	5.7	17.4	27.8	32.6	6.3	8.9	11.7	1.6

(5) 孤独・孤立感

① 孤独・孤立感の有無

【全体】

○ 孤独・孤立感の有無について、「ほとんどない」が 42.2%で最も多く、次いで「全くない」が 29.1%、「ときどきある」が 20.9%となっています。

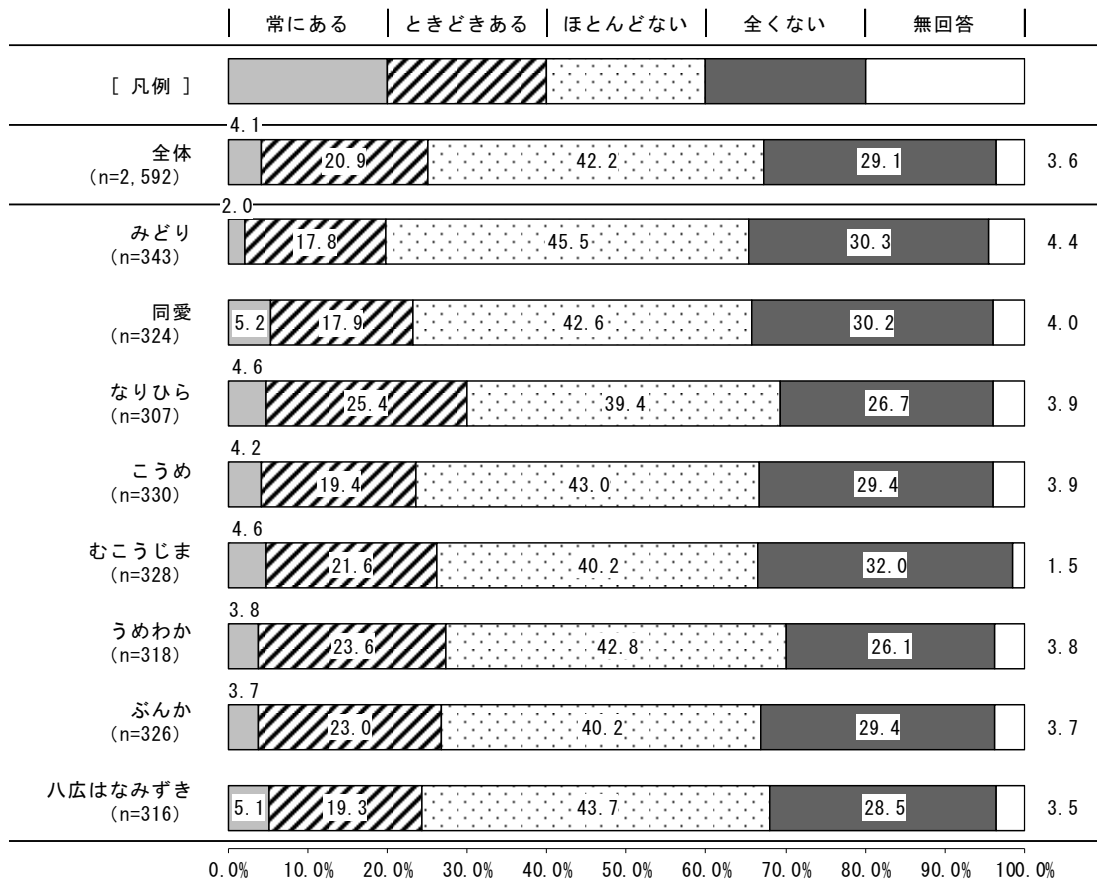
【圏域】

○ 圏域別にみると、「常にある」または「ときどきある」と回答した“孤独・孤立感がある”人は、なりひら (30.0%) が最も多く、みどり (19.8%) が最も少なくなっています。

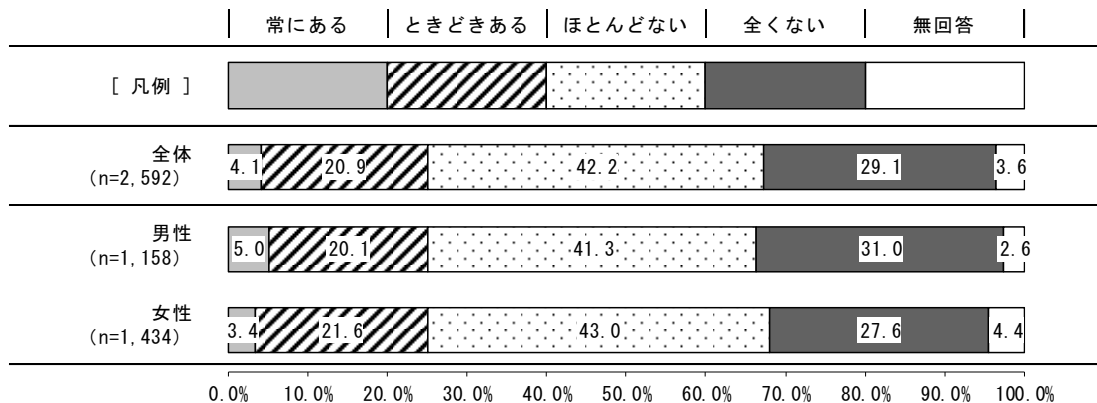
【性別】

○ 性別にみると、「全くない」は男性 (31.0%) の方が 3.4ポイント多くなっています。

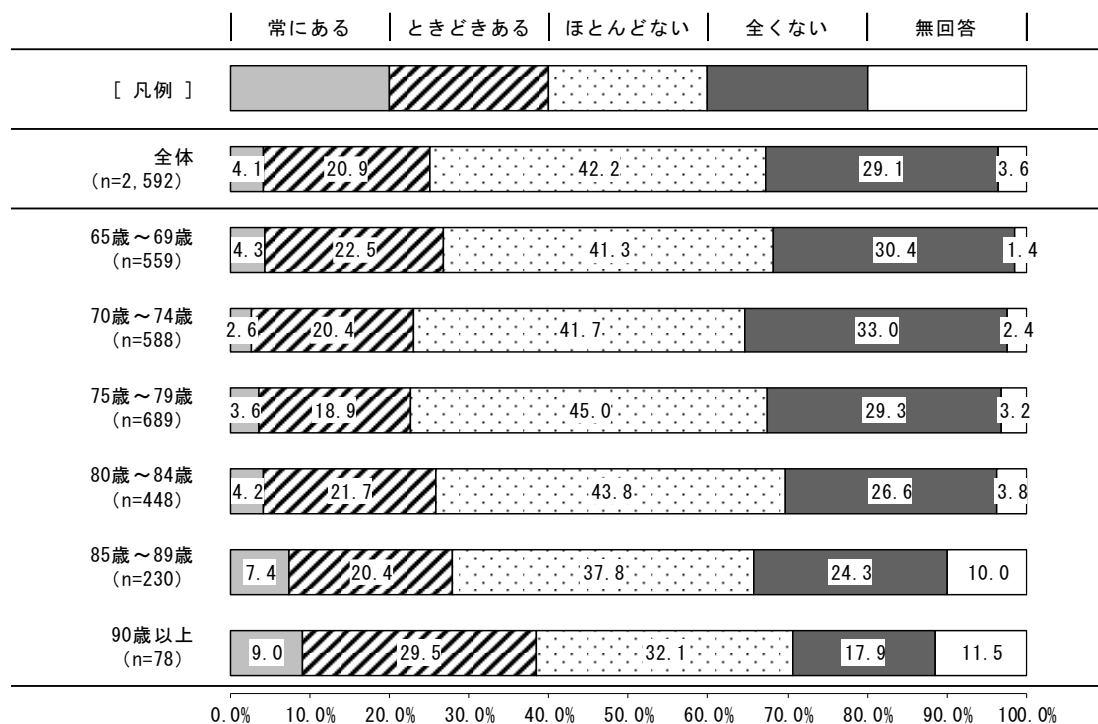
【孤独・孤立感の有無】



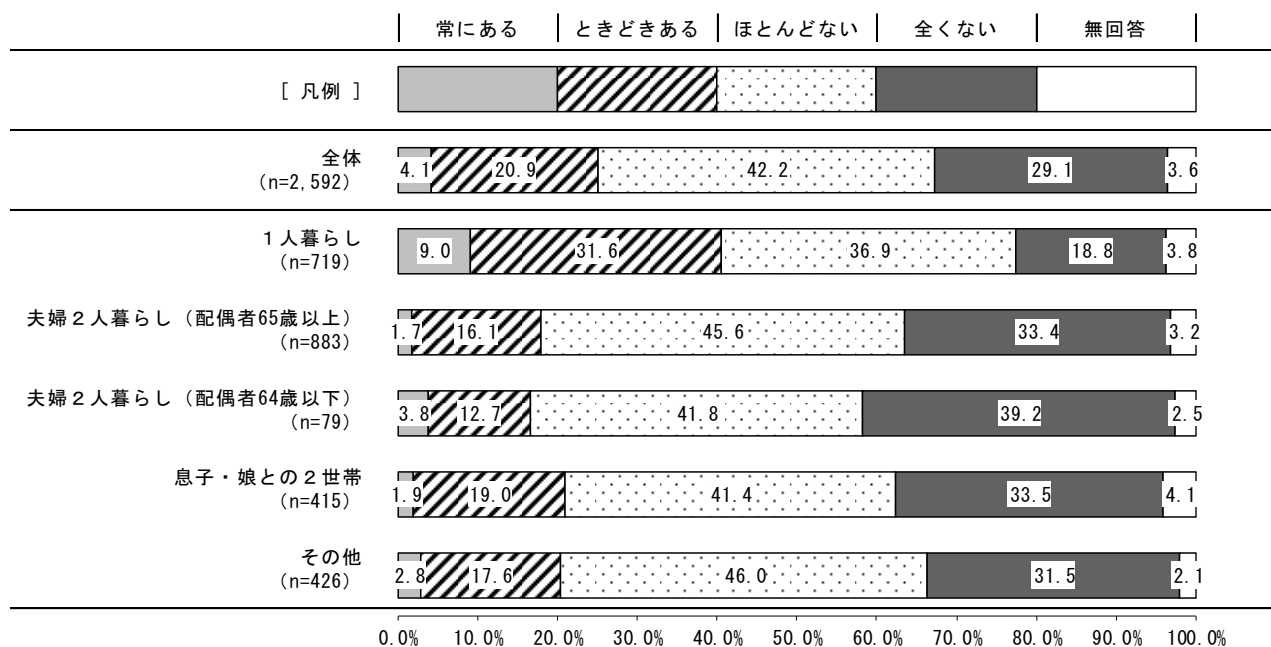
【孤独・孤立感の有無 (性別)】



### 【孤独・孤立感の有無（年齢別）】



### 【孤独・孤立感の有無（家族構成別）】



## ②孤立感を防ぐつながり

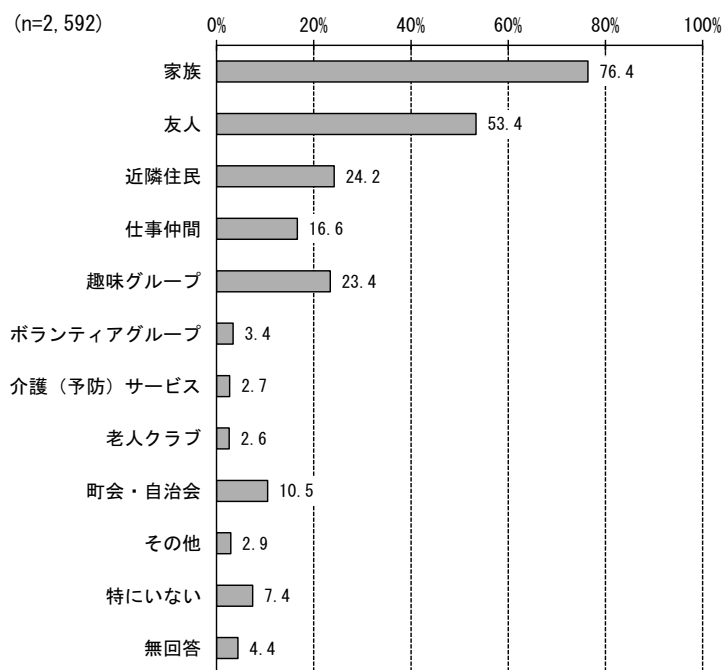
### 【全体】

○ 孤立感を防ぐつながりについて、「家族」が 76.4%で最も多く、次いで「友人」が 53.4%、「近隣住民」が 24.2%となっています。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、全ての圏域で「家族」が最も多く、次いで「友人」が多くなっています。

【孤立感を防ぐつながり】＜複数回答＞



【孤立感を防ぐつながり（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数(人)	家族	友人	近隣住民	仕事仲間	趣味グループ	ボランティアグループ	介護(予防)サービス	老人クラブ	町会・自治会	その他	特にいない	無回答
全体		2,592	76.4	53.4	24.2	16.6	23.4	3.4	2.7	2.6	10.5	2.9	7.4	4.4
圏域	みどり	343	75.8	56.6	23.6	14.0	23.6	3.2	2.6	2.0	12.5	3.8	6.7	4.1
	同愛	324	72.5	55.2	23.1	17.9	23.1	4.0	2.2	2.8	11.1	3.4	9.3	4.6
	なりひら	307	75.6	52.1	24.8	20.8	22.5	2.6	3.3	2.9	10.7	2.3	6.2	6.8
	こうめ	330	79.7	52.7	21.8	14.8	25.2	3.6	3.9	3.0	8.5	1.8	7.6	3.6
	むこうじま	328	82.0	58.5	28.4	13.7	24.7	4.3	2.7	1.8	7.9	2.4	6.4	3.7
	うめわか	318	75.8	48.7	25.2	17.3	23.3	3.5	3.1	1.9	9.1	3.1	6.0	5.7
	ぶんか	326	74.5	50.6	24.5	17.2	19.9	2.1	1.8	2.5	12.6	3.7	8.6	4.3
	八広はなみずき	316	74.7	52.5	22.5	17.1	25.0	4.1	2.2	4.1	11.4	2.8	8.9	2.5

## 9. 健康について

### (1) 主観的健康観

#### 【全体】

○ 主観的健康状態について、「まあよい」が 66.4%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 16.6%、「とてもよい」が 10.4%となっています。

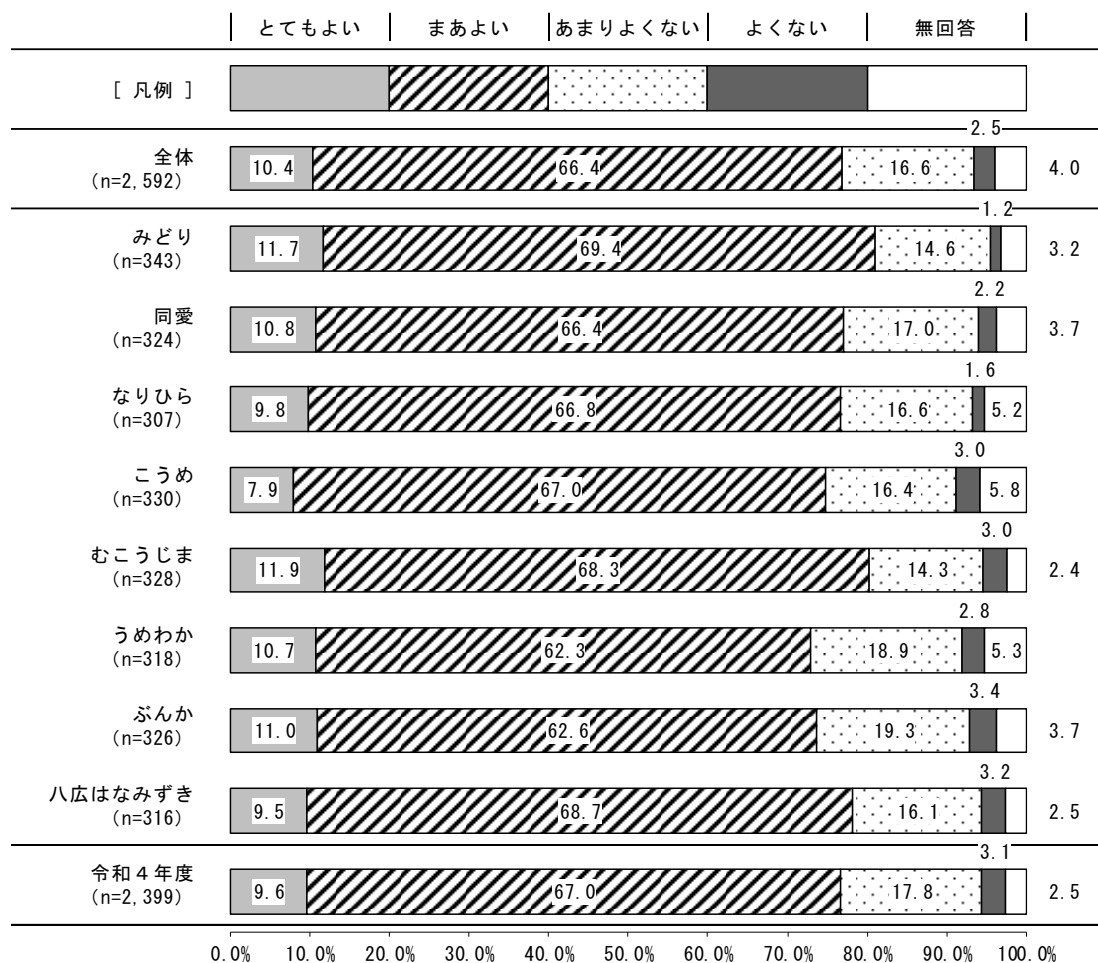
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「とてもよい」または「まあよい」と回答した“健康である”人（76.8%）は 0.2 ポイント増加し、「あまりよくない」または「よくない」と回答した“健康ではない”人（19.1%）は 1.8 ポイント減少しています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、“健康である”人は、みどり（81.1%）が最も多く、“健康ではない”人はぶんか（22.7%）が最も多くなっています。

#### 【主観的健康観】



## (2) 主観的幸福感

### 【全体】

- 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした主観的幸福感について、「8～10点」が46.3%で最も多く、次いで「5～7点」が42.4%、「0～4点」が8.1%となっています。

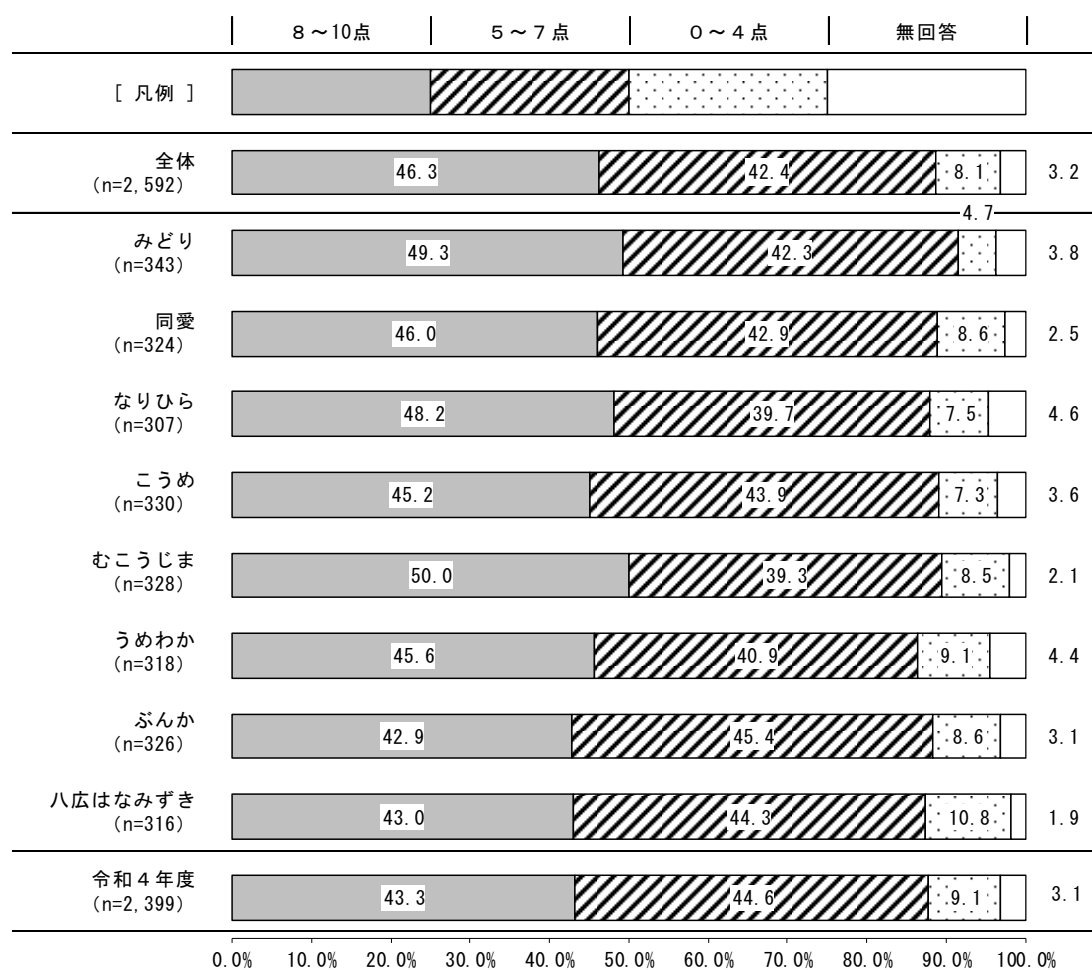
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「8～10点」（46.3%）が3.0ポイント増加し、主観的幸福感の平均点（7.05点）は0.17点増加しました。

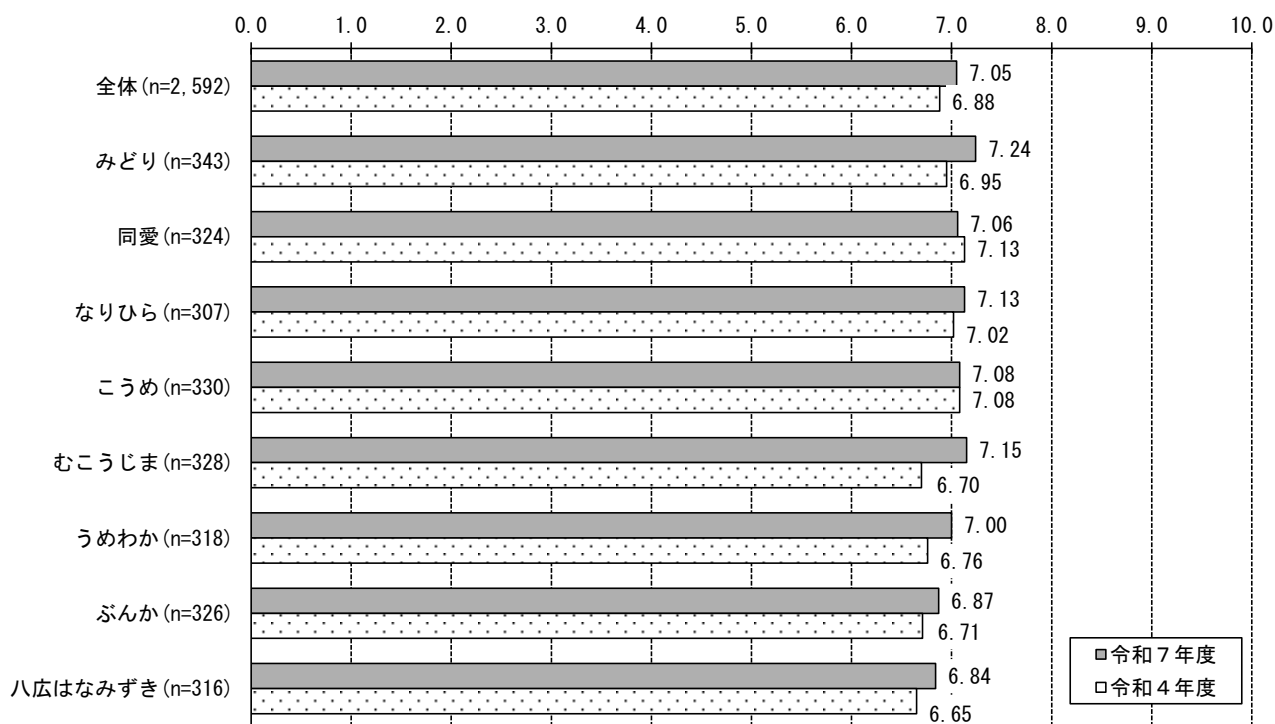
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「8～10点」と回答した人は、むこうじま（50.0%）が最も多く、ぶんか（42.9%）が最も少なくなっています。また、主観的幸福感の平均点では、みどり（7.24点）が最も高く、八広はなみずき（6.84点）が最も低くなっています。

### 【主観的幸福感】



【主観的幸福感（平均点）】



### (3) うつリスク該当者

#### 【全体】

○ うつのリスク該当者について、「該当」が40.5%、「非該当」が55.5%となっています。

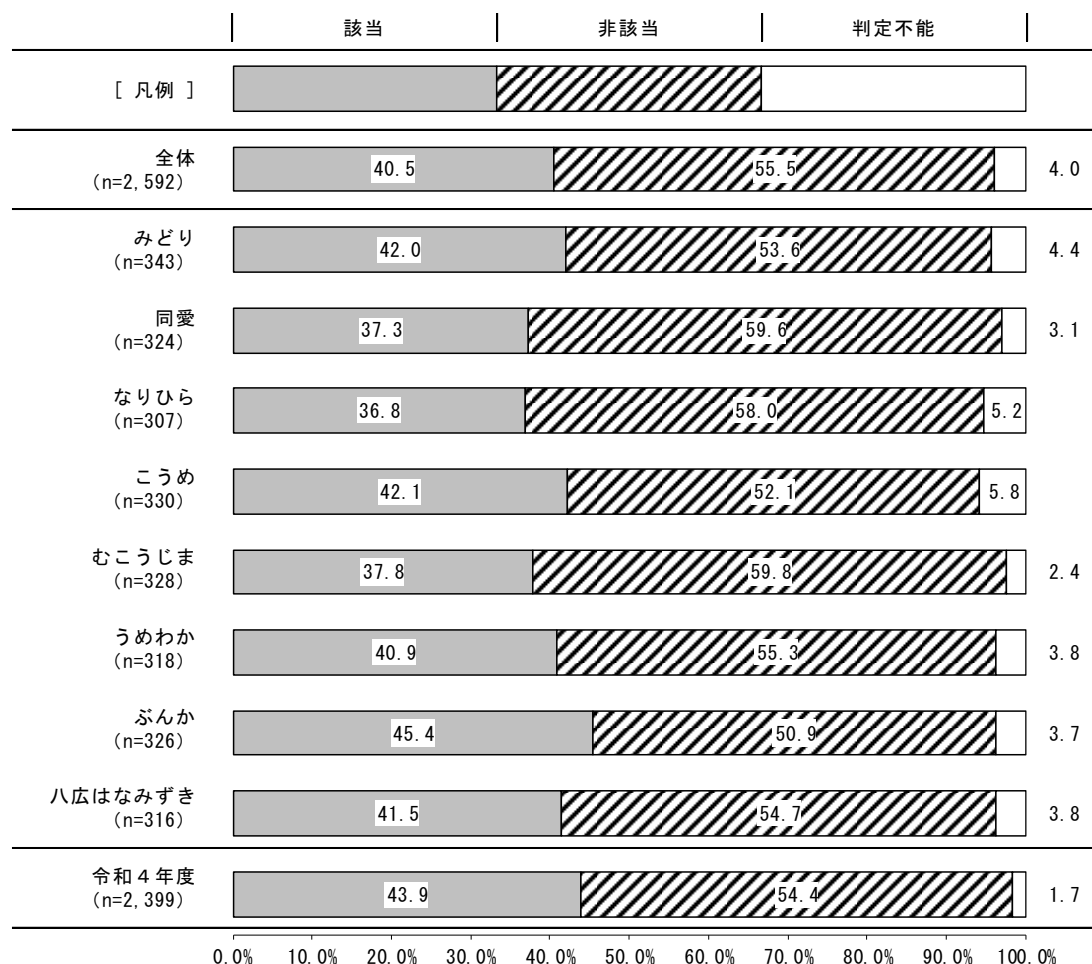
#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「該当」（40.5%）が3.4ポイント減少しました。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、ぶんか（45.4%）が最も多く、なりひら（36.8%）が最も少なくなっています。

【うつリスク該当者】



「うつリスク該当者」とは、調査票「第8 健康について」の以下の2つの設問のうち、いずれかに「1. はい」と回答した方です。

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

## (4) 飲酒と喫煙の状況

### ① 飲酒の状況

#### 【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が 28.3%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 25.3%、「ほぼ毎日飲む」が 24.0%となっています。

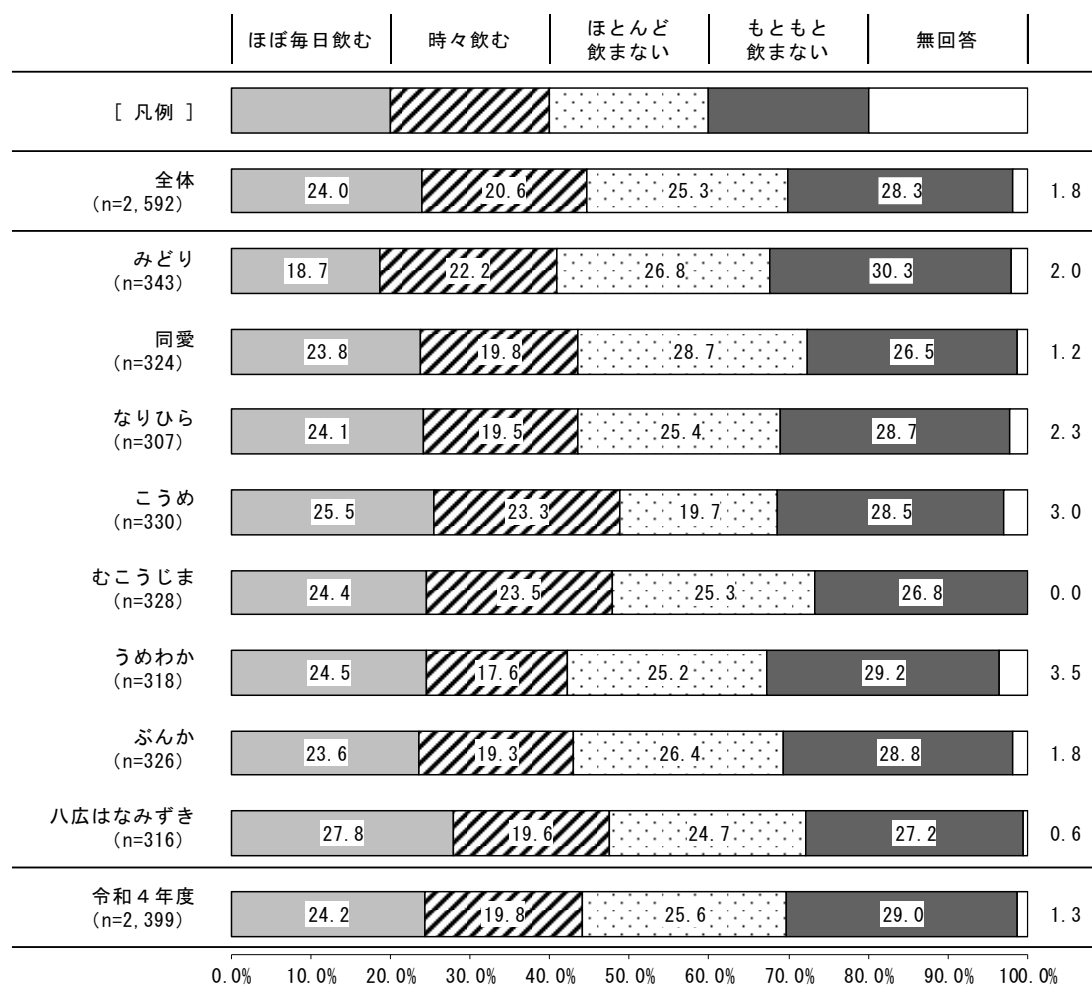
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた“飲酒の習慣がある”人は、こうめ（48.8%）が、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた“飲酒の習慣がない”人はみどり（57.1%）が最も多くなっています。

【飲酒の状況】



## ②喫煙の状況

### 【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が54.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.1%、「ほぼ毎日吸っている」が10.5%となっています。

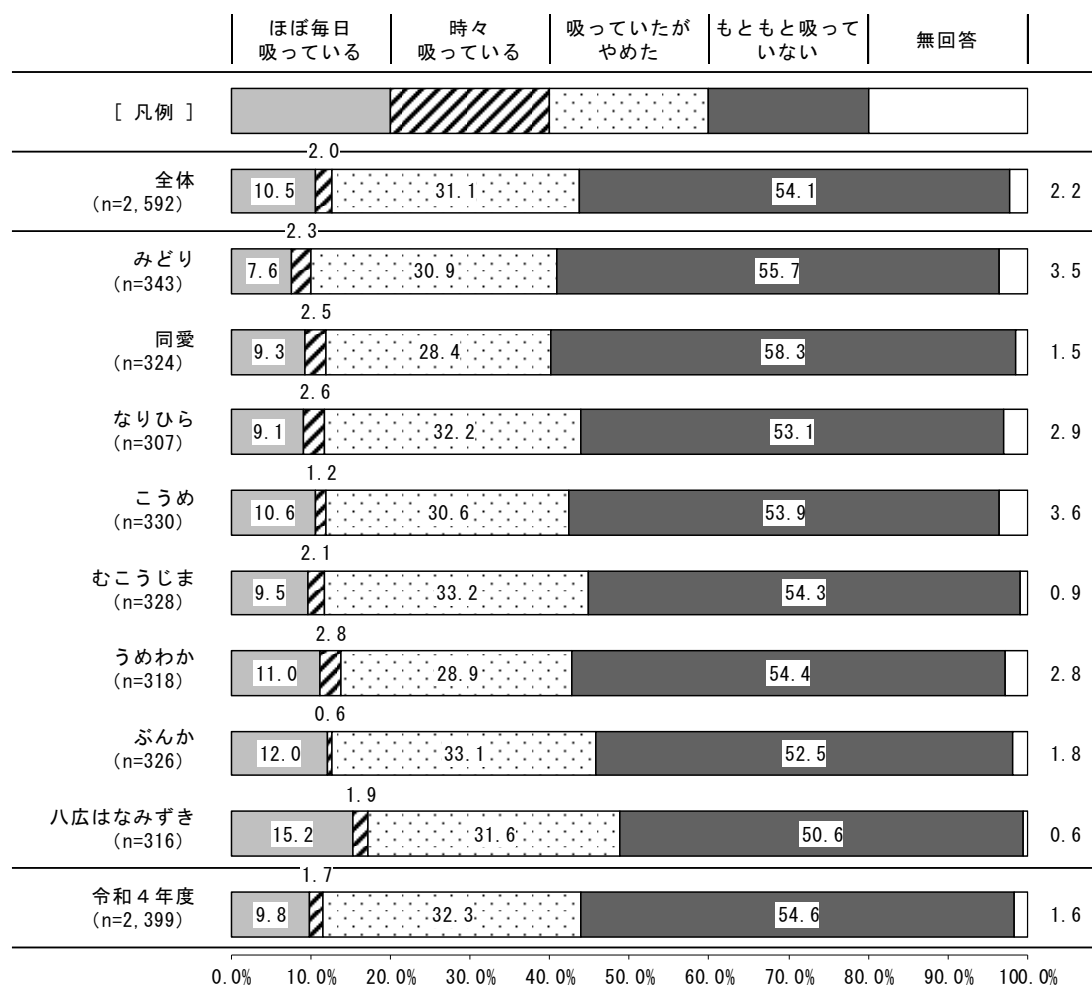
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた“喫煙習慣がある”人は、八広はなみずき（17.1%）が、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた“喫煙習慣がない”人は、むこうじま（87.5%）が最も多くなっています。

【喫煙の状況】



## (5) 現在治療中、または後遺症のある病気

### 【全体】

- 在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 45.3%で最も多く、次いで「目の病気」が 18.9%、「ない」が 16.5%となっています。

### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」が 4.4 ポイント増加しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「高血圧」が最も多くなっています。

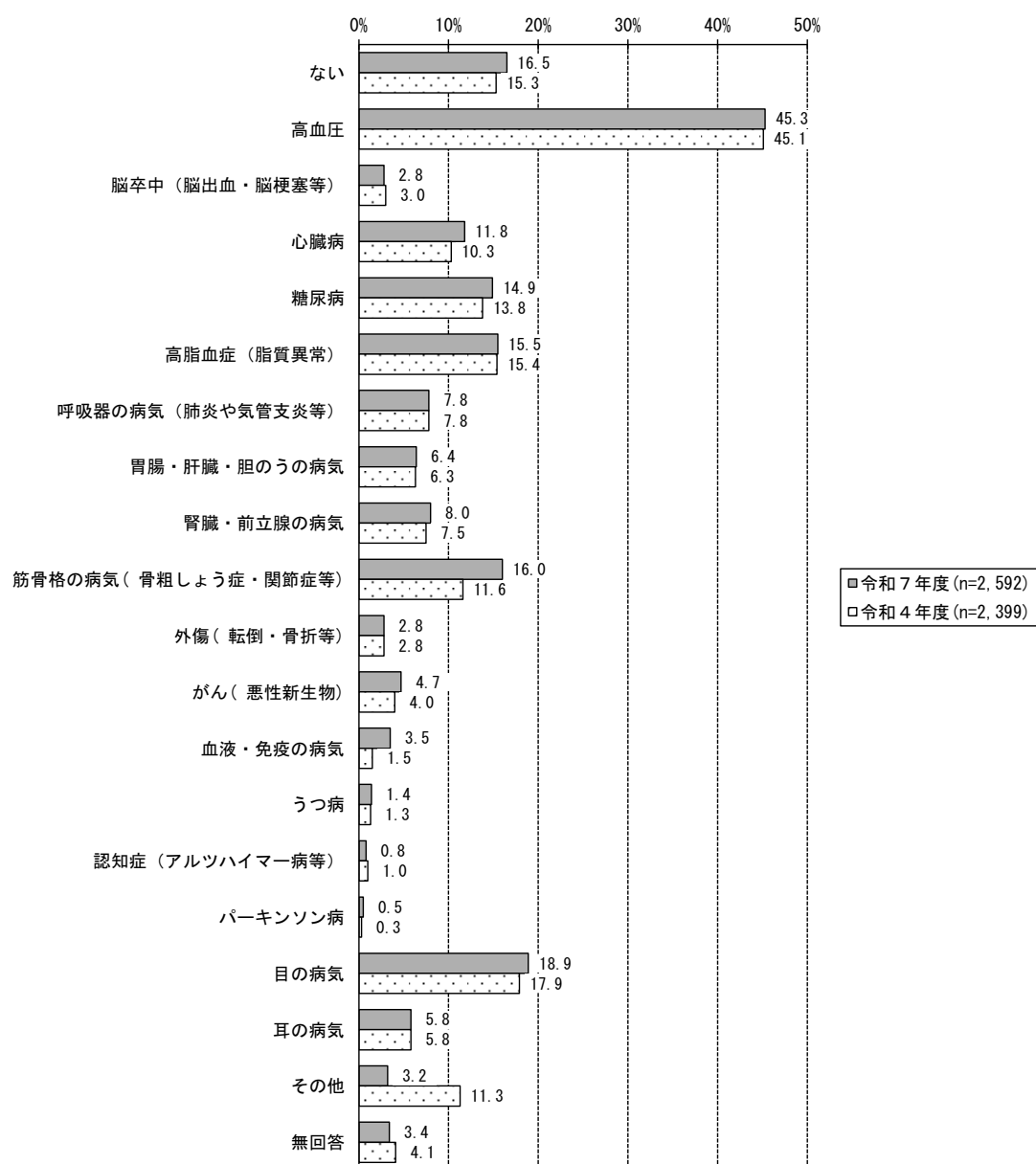
### 【性別】

- 性別にみると、男性、女性ともに「高血圧」（それぞれ 48.3%、42.9%）が最も多くなっています。次いで、男性は、「糖尿病」（18.0%）、「目の病気」（16.1%）、女性は、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等）」（22.9%）、「目の病気」（21.1%）となっています。

### 【要支援別】

- 要支援認定の有無別にみると、要支援認定を受けている人は、受けていない人に比べて、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」（37.3%）が多く、受けていない人（14.7%）と 22.6 ポイントの差がみられました。

【現在治療中、または後遺症のある病気】＜複数回答＞



【現在治療中、または後遺症のある病気（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	ない	高血圧	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症・関節症等）
全体		2,592	16.5	45.3	2.8	11.8	14.9	15.5	7.8	6.4	8.0	16.0
圏域	みどり	343	18.4	37.6	1.2	11.1	14.3	17.2	7.3	7.0	7.9	19.0
	同愛	324	18.8	44.4	3.4	13.3	16.7	15.1	7.7	4.9	10.8	14.5
	なりひら	307	14.3	49.5	3.3	12.7	14.7	14.3	8.8	5.5	6.8	16.9
	こうめ	330	14.5	47.0	2.7	13.0	14.5	17.3	7.0	6.1	8.5	14.5
	むこうじま	328	16.8	46.6	3.0	12.5	13.1	18.0	6.1	7.3	7.9	16.2
	うめわか	318	16.4	47.8	3.8	8.8	16.4	14.2	7.2	6.9	6.3	15.1
	ぶんか	326	14.7	45.4	1.8	11.3	17.5	13.5	8.6	5.8	8.3	17.5
八広はなみずき		316	18.0	44.6	3.2	12.0	11.7	14.2	9.5	7.6	7.6	14.2

		（転倒・骨折等） 外傷	（悪性新生物） がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2.8	4.7	3.5	1.4	0.8	0.5	18.9	5.8	3.2	3.4
圏域	みどり	2.6	6.4	3.8	0.9	1.5	0.9	19.5	6.1	3.8	3.8
	同愛	4.0	3.7	1.5	1.2	1.5	1.2	20.1	8.6	2.5	2.5
	なりひら	2.3	4.2	2.9	1.0	-	0.7	23.5	5.5	3.6	3.6
	こうめ	2.7	3.9	3.6	1.5	0.9	0.3	21.8	5.8	4.5	5.5
	むこうじま	2.7	5.2	3.7	1.8	1.2	0.3	19.2	3.7	2.1	2.7
	うめわか	3.1	5.3	3.1	1.6	0.3	-	16.0	6.6	4.4	3.5
	ぶんか	2.5	4.6	5.8	1.8	-	0.3	17.5	6.1	2.8	3.7
八広はなみずき		2.2	3.8	3.5	1.6	1.3	0.6	13.6	3.8	2.2	1.9

【現在治療中、または後遺症のある病気（性別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	ない	高血圧	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症・関節症等）
全体		2,592	16.5	45.3	2.8	11.8	14.9	15.5	7.8	6.4	8.0	16.0
性別	男性	1,158	15.7	48.3	4.0	15.3	18.0	13.3	7.7	7.9	14.2	7.5
	女性	1,434	17.2	42.9	1.8	9.1	12.3	17.3	7.8	5.2	3.1	22.9

		（転倒・骨折等） 外傷	（悪性新生物） がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 （アルツハイマー病 等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2.8	4.7	3.5	1.4	0.8	0.5	18.9	5.8	3.2	3.4
性別	男性	2.2	5.7	2.4	1.2	0.8	0.7	16.1	5.2	2.4	3.5
	女性	3.2	3.8	4.4	1.6	0.9	0.4	21.1	6.3	3.9	3.3

【現在治療中、または後遺症のある病気（要支援別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	ない	高血圧	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症・関節症等）
全体		2,592	16.5	45.3	2.8	11.8	14.9	15.5	7.8	6.4	8.0	16.0
要支援認定の有無	要支援認定を受けていない	2,439	17.4	44.7	2.4	11.0	14.8	15.5	7.4	6.3	7.9	14.7
	要支援認定を受けている	153	2.0	54.2	9.2	25.5	15.7	15.7	13.7	7.8	9.8	37.3

		（転倒・骨折等） 外傷	（悪性新生物） がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2.8	4.7	3.5	1.4	0.8	0.5	18.9	5.8	3.2	3.4
要支援認定の有無	要支援認定を受けていない	2.3	4.8	3.6	1.3	0.9	0.4	18.4	5.1	3.1	3.4
	要支援認定を受けている	10.5	2.0	2.0	3.9	0.7	3.3	26.8	16.3	5.9	2.6

## 10. 認知症について

### (1) 本人または家族の認知症の有無

#### 【全体】

- 本人または家族の認知症の有無について、「はい（症状がある人がいる）」が 10.0%、「いいえ」が 87.2%となっています。

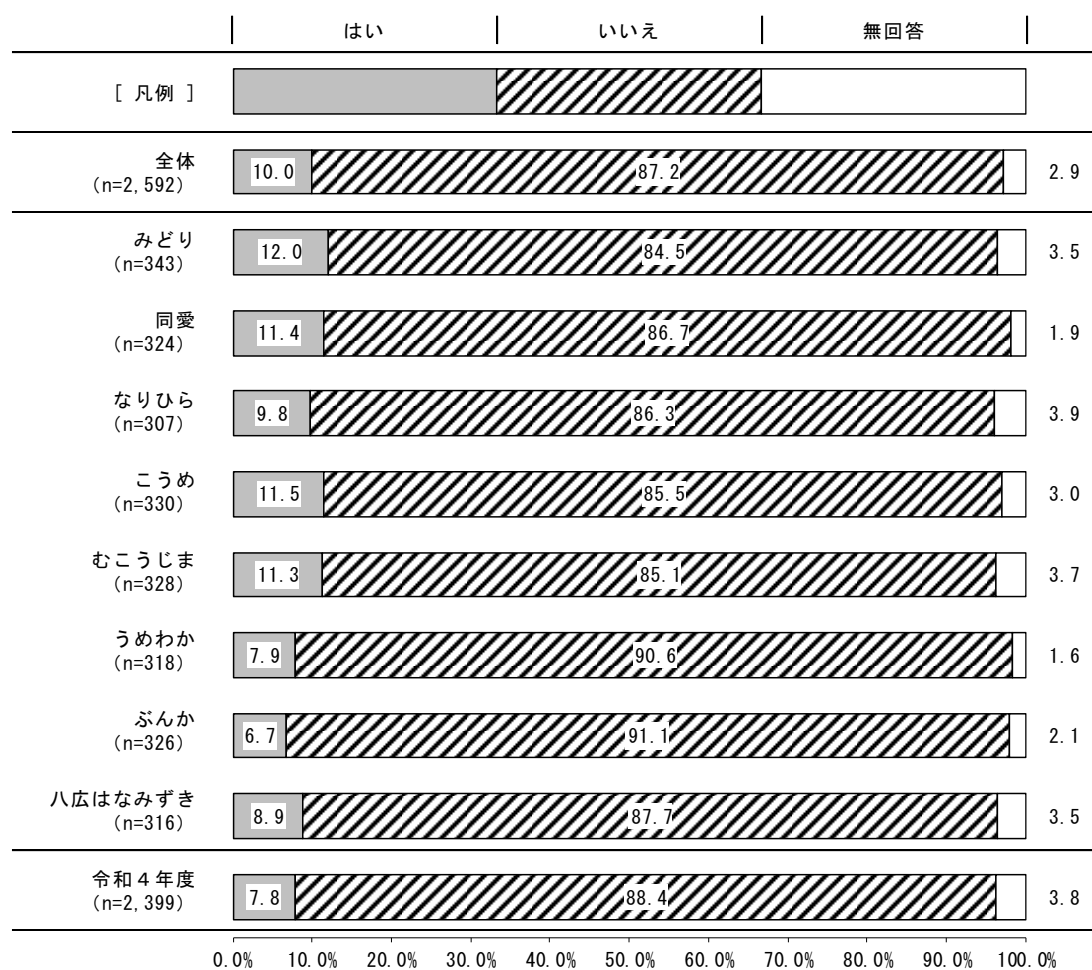
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

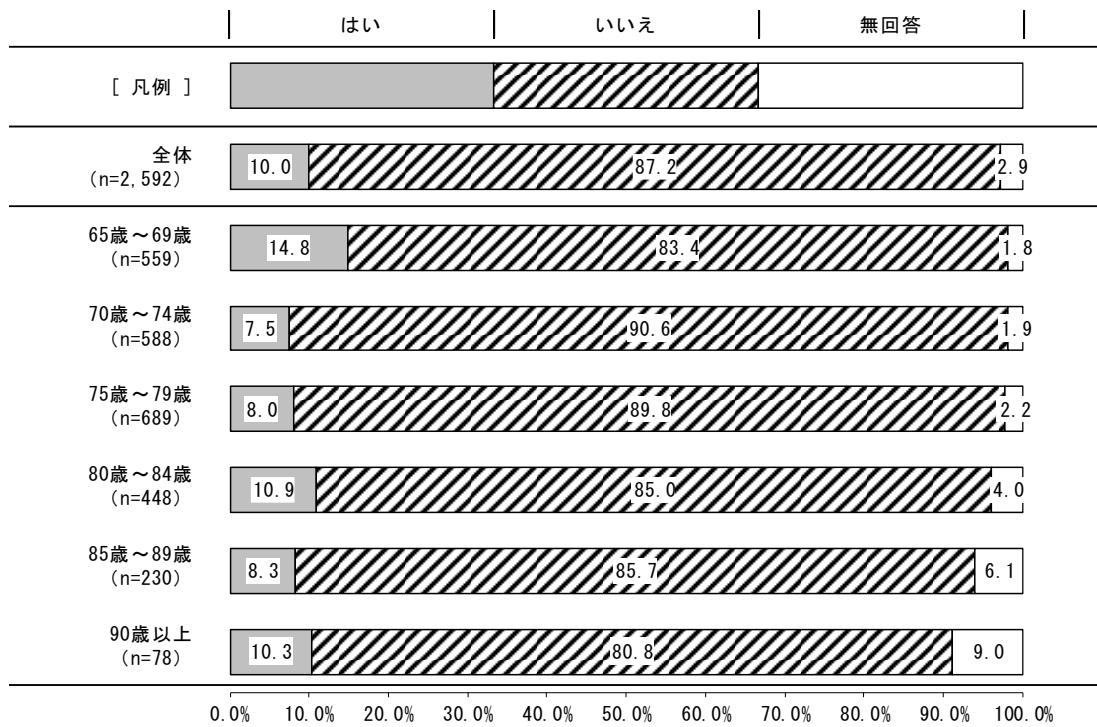
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「はい（症状がある人がいる）」は、みどり（12.0%）が最も多く、ぶんか（6.7%）が最も少なくなっています。

#### 【本人または家族に認知症の症状がある】



【本人または家族に認知症の症状がある（年齢別）】



## (2) 認知症に関する相談窓口の認知度

### 【全体】

- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい (知っている)」が 27.0%、「いいえ」が 61.7% となっています。

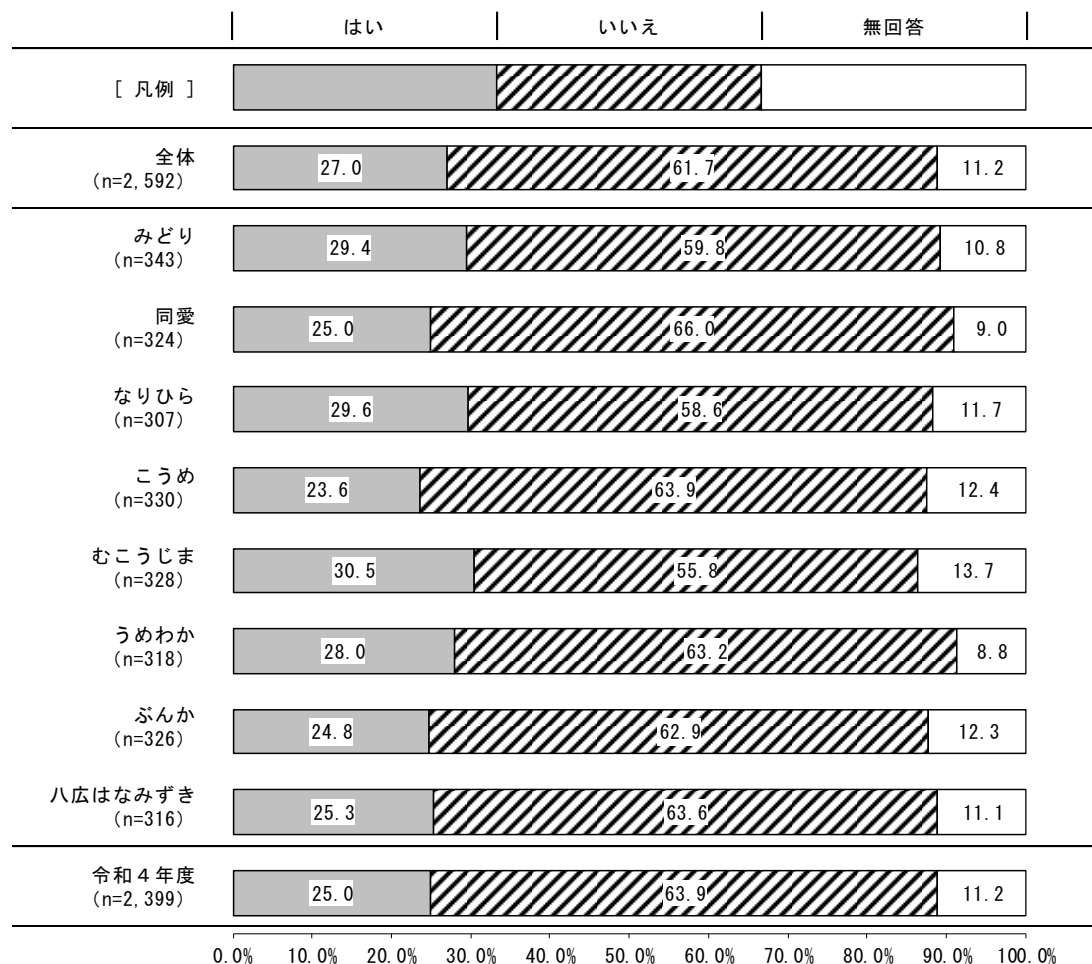
### 【経年】

- 前回 (令和 4 年度) と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「はい (知っている)」は、むこうじま (30.5%) が最も多く、こうめ (23.6%) が最も少なくなっています。

【認知症に関する相談窓口を知っている】



### (3) 認知症の症状のある人にとっての地域の住みやすさ

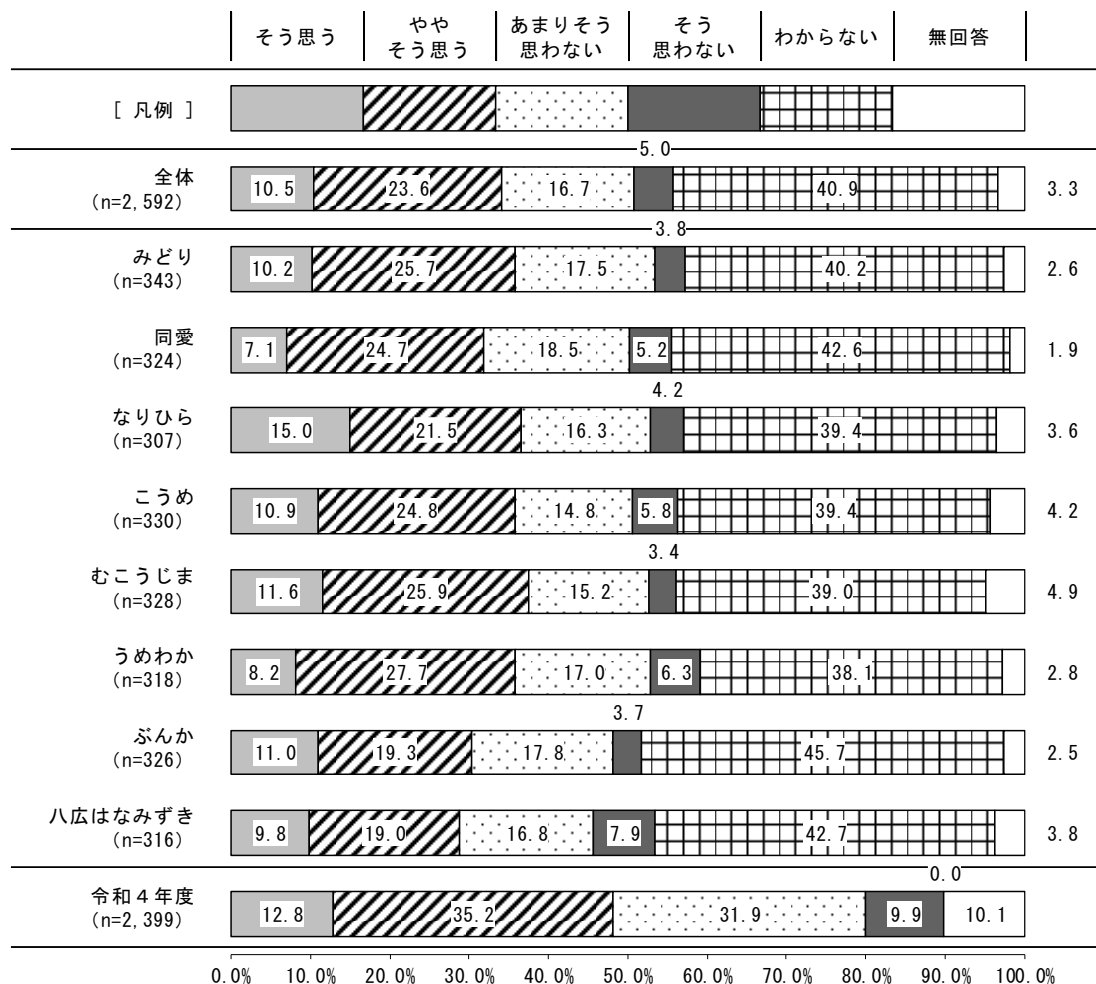
#### 【全体】

- 認知症の症状のある人にとっての地域の住みやすさについて、「わからない」が40.9%で最も多く、次いで「ややそう思う」が23.6%、「あまりそう思わない」が16.7%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」の合計は、むこうじま(37.5%)が、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計は、八広はなみずき(24.7%)が最も多くなっています。

#### 【認知症の症状があっても住みやすい地域である】



※「わからない」は、今回の調査から追加

#### (4) 成年後見制度の認知度

##### 【全体】

- 成年後見制度の認知度について、「名前は知っているが内容は知らない」が 37.2%で最も多く、次いで「だいたいの内容は知っている」が 34.1%、「はじめて聞いた」が 18.1%となっています。

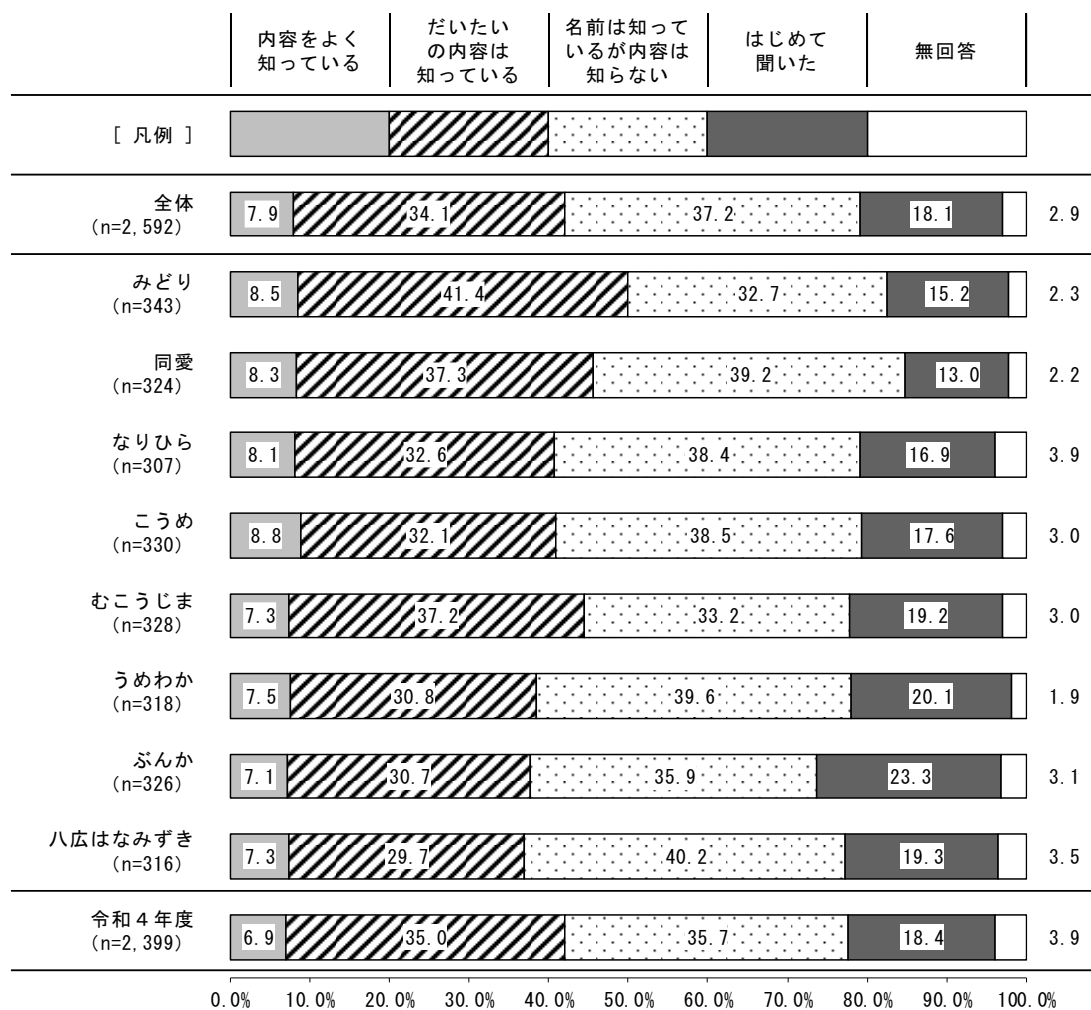
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「内容をよく知っている」と「だいたいの内容は知っている」を合わせた“知っている”は、みどり（49.9%）が最も多く、八広はなみずき（37.0%）が最も少なくなっています。

【成年後見制度の認知度】



## (5) 誰かに自分の思いを伝えることができているか

### 【全体】

- 誰かに自分の思いを伝えることができているかについて、「そう思う」が 66.0%で最も多く、次いで「わからない」が 19.5%、「そう思わない」が 12.1%となっています。

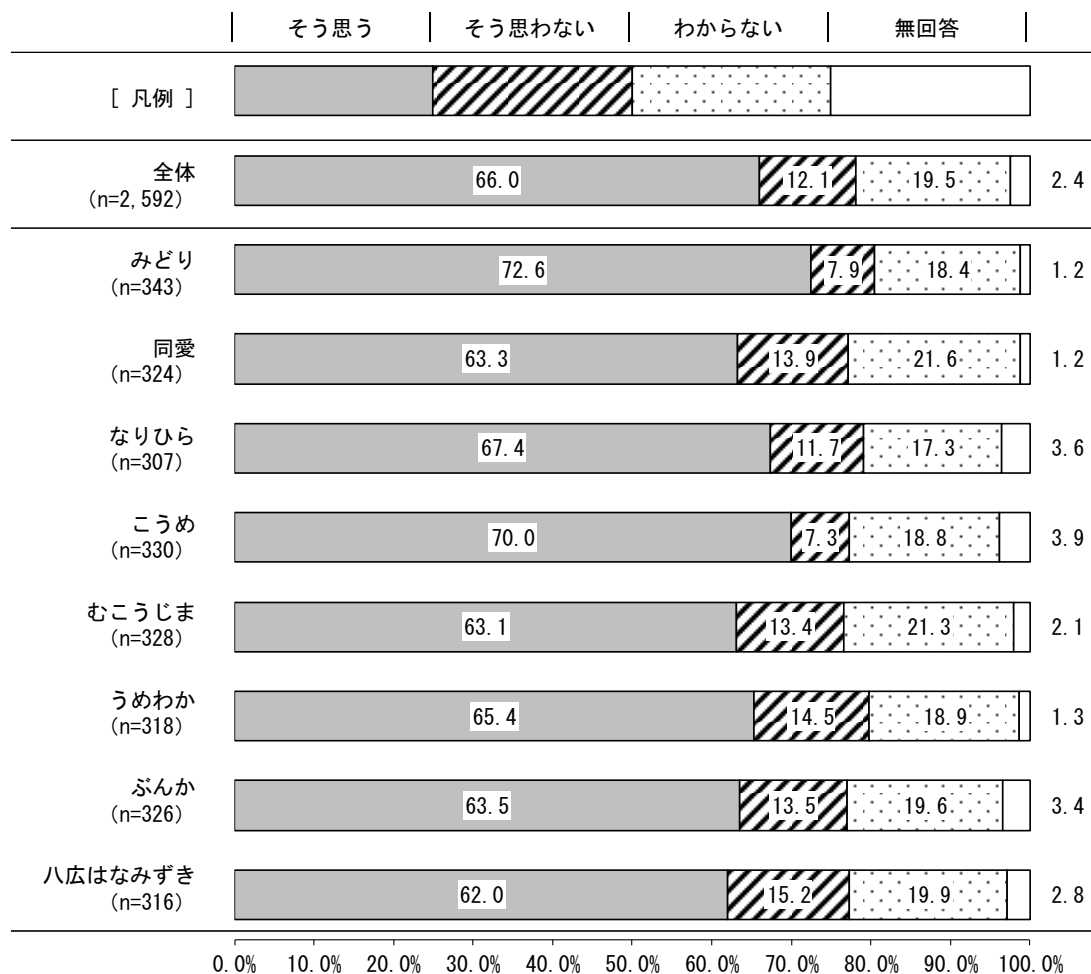
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「そう思う」は、みどり（72.6%）が最も多く、八広はなみずき（62.0%）が最も少なくなっています。

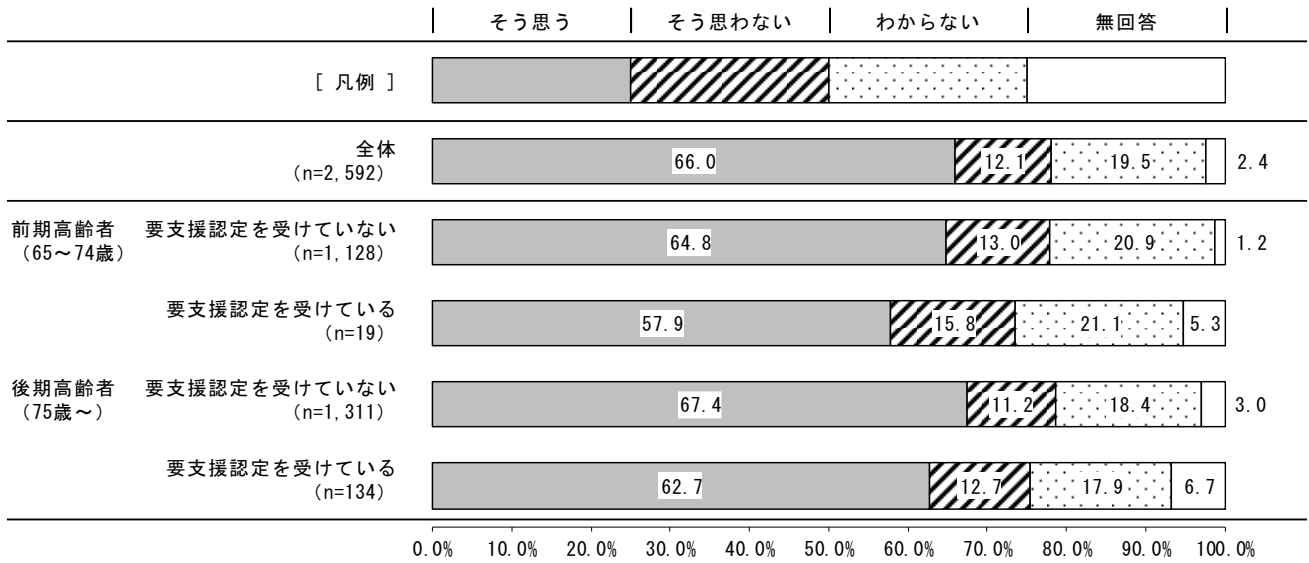
### 【前期後期・要支援有無別】

- 年齢・介護度別にみると、「そう思う」の割合が最も多いのは、後期高齢者で要支援認定を受けていない方（67.4%）となっています。

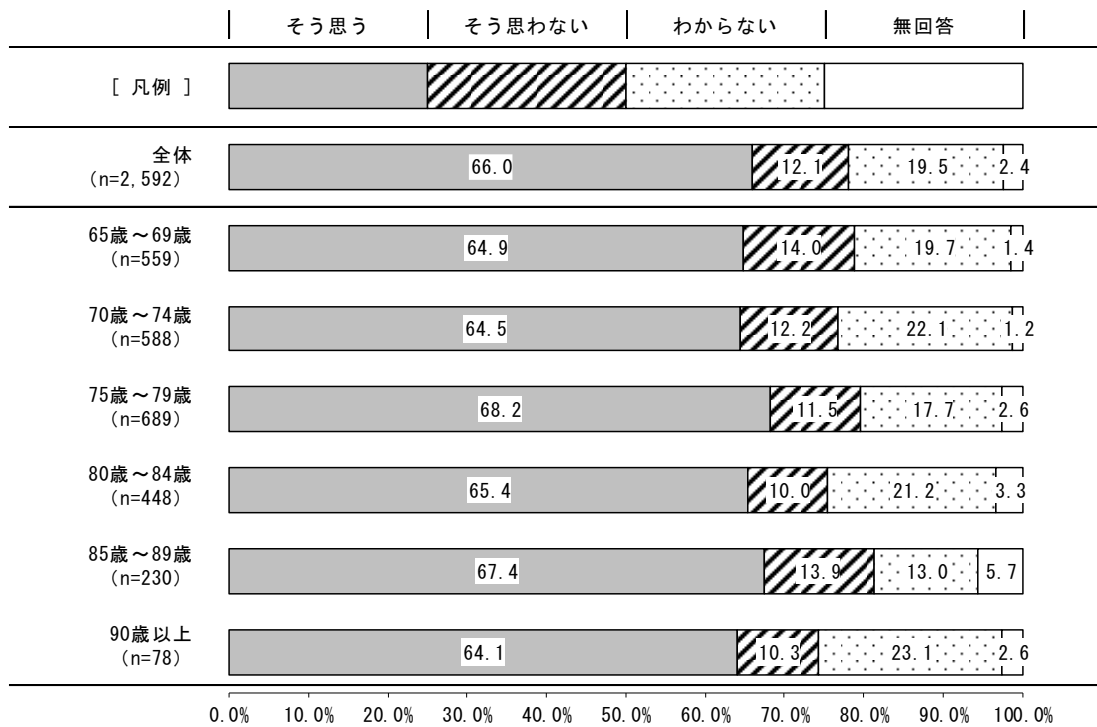
### 【意思表示の状況】



【意思表示の状況（前期後期・要支援有無別）】



【意思表示の状況（年齢別）】



## (6) 地域で役割を果たしているか

### 【全体】

- 地域で役割を果たしているかについて、「そう思わない」が 45.4%で最も多く、次いで「わからない」が 30.6%、「そう思う」が 21.6%となっています。

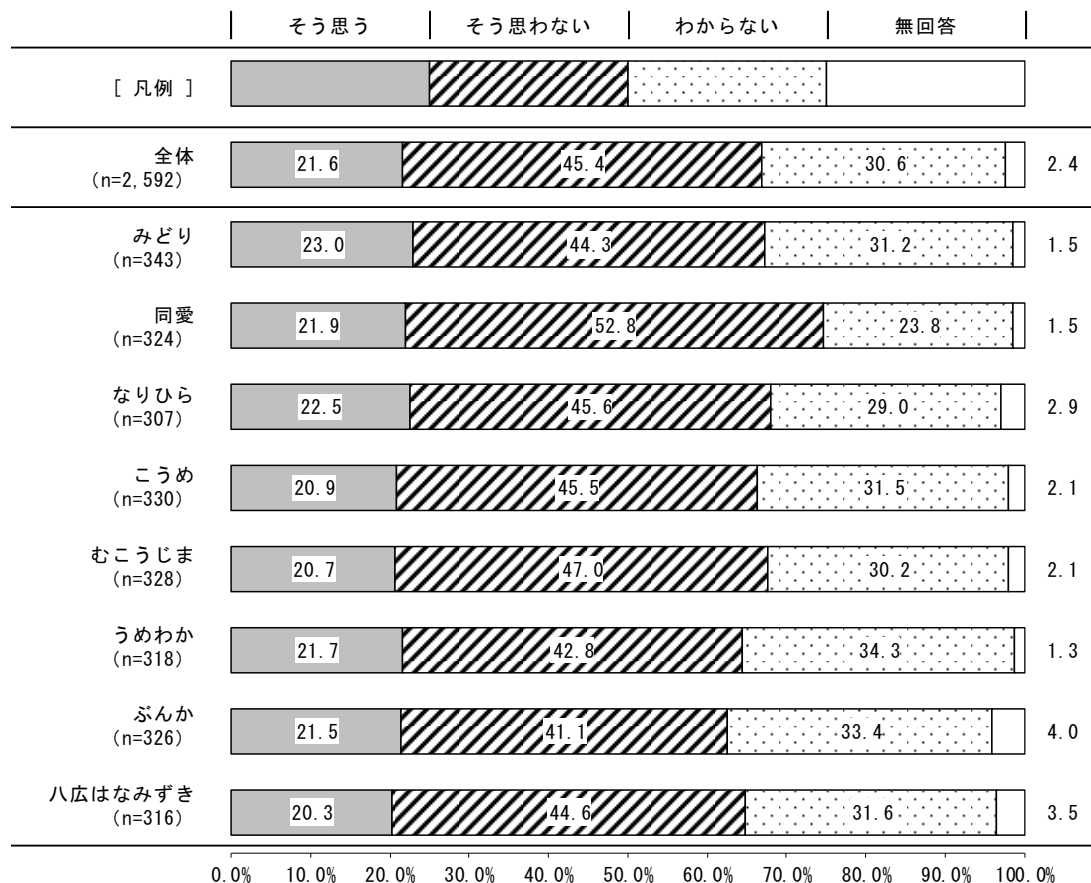
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「そう思う」は、みどり (23.0%) が最も多く、八広はなみずき (20.3%) が最も少なくなっています。

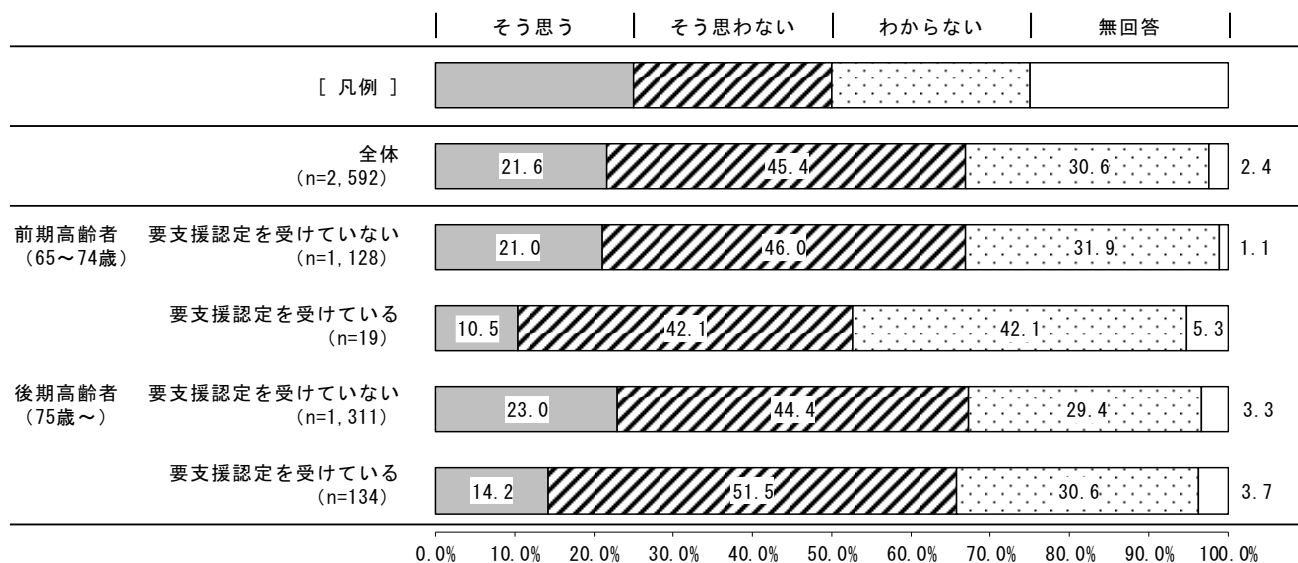
### 【前期後期・要支援有無別】

- 年齢・介護度別にみると、「そう思う」の割合が最も多いのは、後期高齢者で要支援認定を受けていない方 (23.0%) となっています。

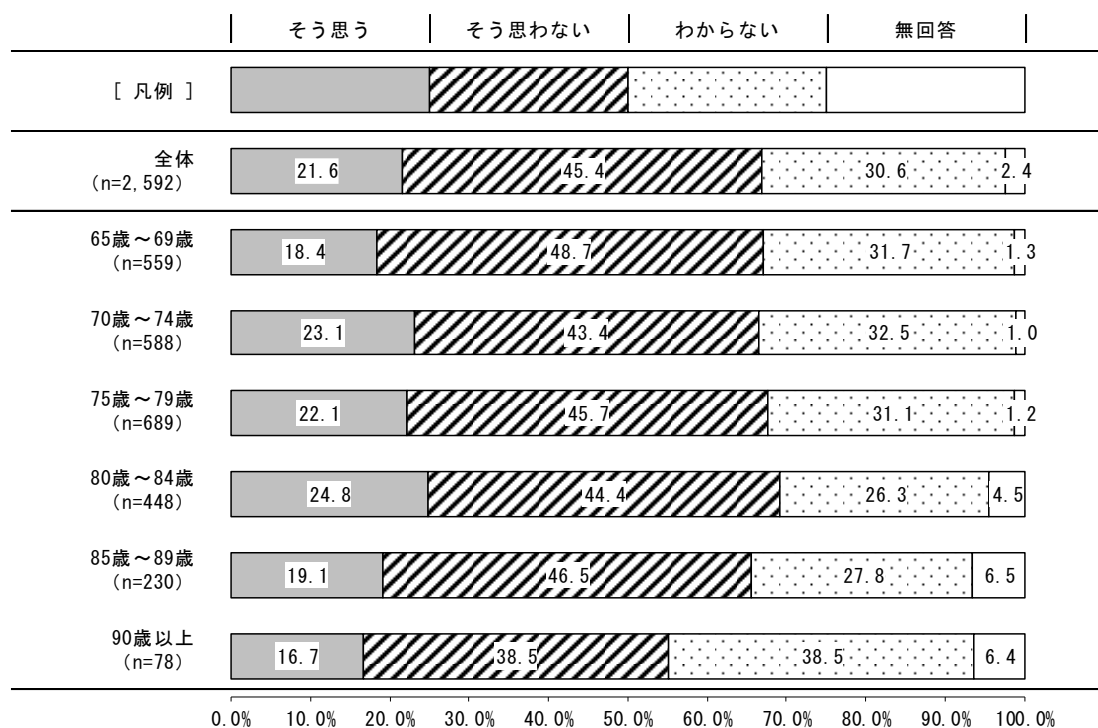
### 【地域での役割意識】



【地域での役割意識（前期後期・要支援有無別）】



【地域での役割意識（年齢別）】



## (7) 認知症でも自分らしく暮らし続けられるか

### 【全体】

- 認知症でも自分らしく暮らし続けられるかについて、「わからない」が 69.4%で最も多く、次いで「そう思わない」が 18.5%、「そう思う」が 10.3%となっています。

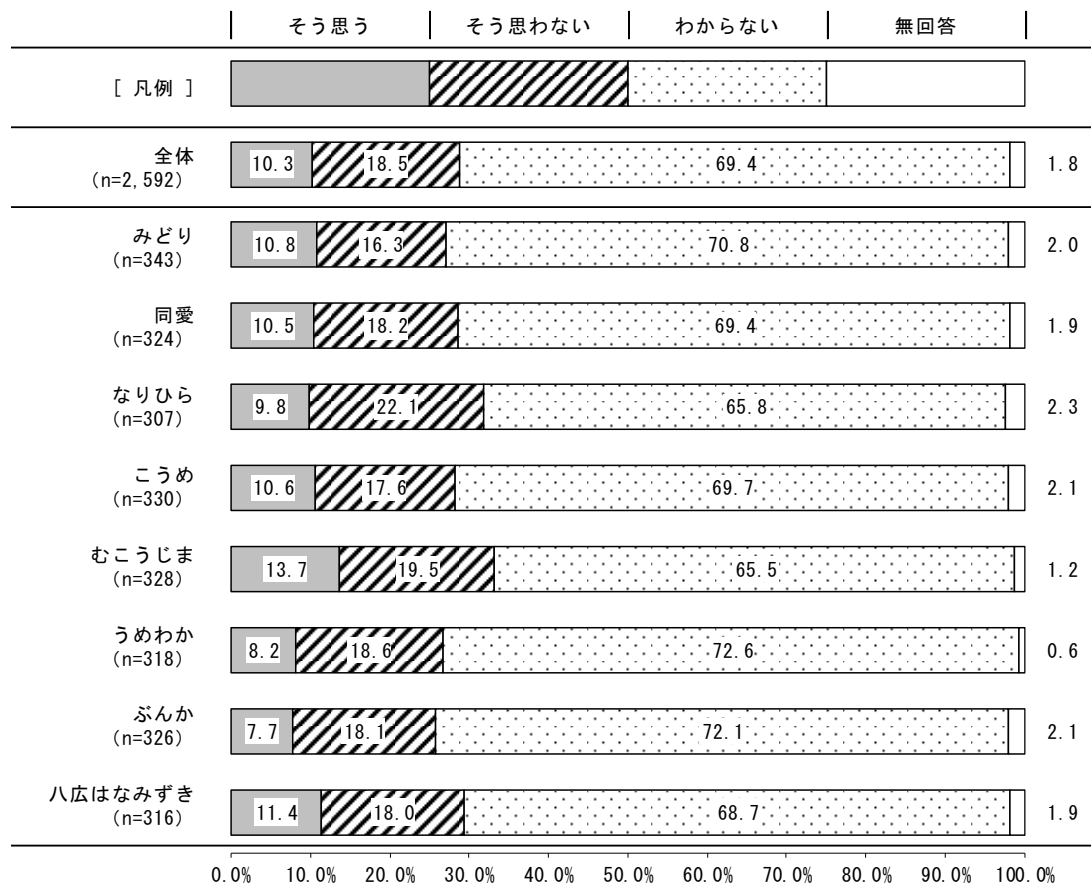
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「そう思う」は、むこうじま (13.7%) が最も多く、ぶんか (7.7%) が最も少なくなっています。

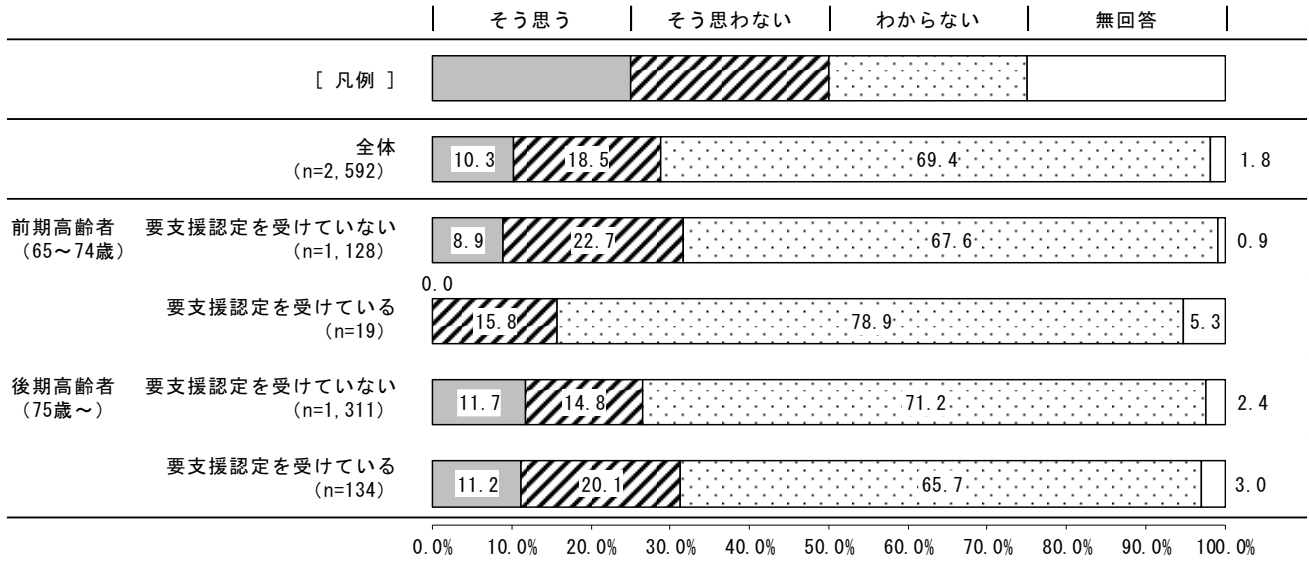
### 【前期後期・要支援有無別】

- 年齢・介護度別にみると、前期高齢者よりも後期高齢者の方が「そう思う」の割合が多くなっています。

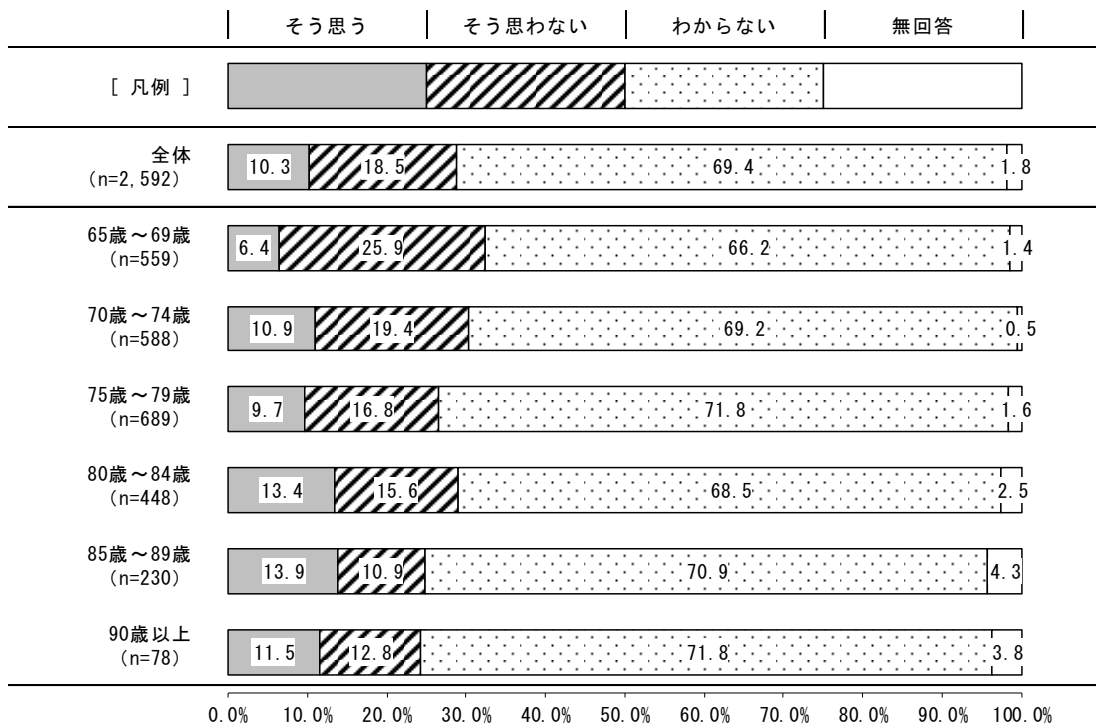
### 【認知症診断後の人生の見通し】



【認知症診断後の人生の見通し（前期後期・要支援有無別）】



【認知症診断後の人生の見通し（年齢別）】



## (8) 在宅生活で自分の意思が尊重され、望む生活が継続できているか

### 【全体】

- 在宅生活で自分の意思が尊重され、望む生活が継続できているかについて、「そう思う」が 46.3% で最も多く、次いで「わからない」が 37.7%、「そう思わない」が 13.4%となっています。

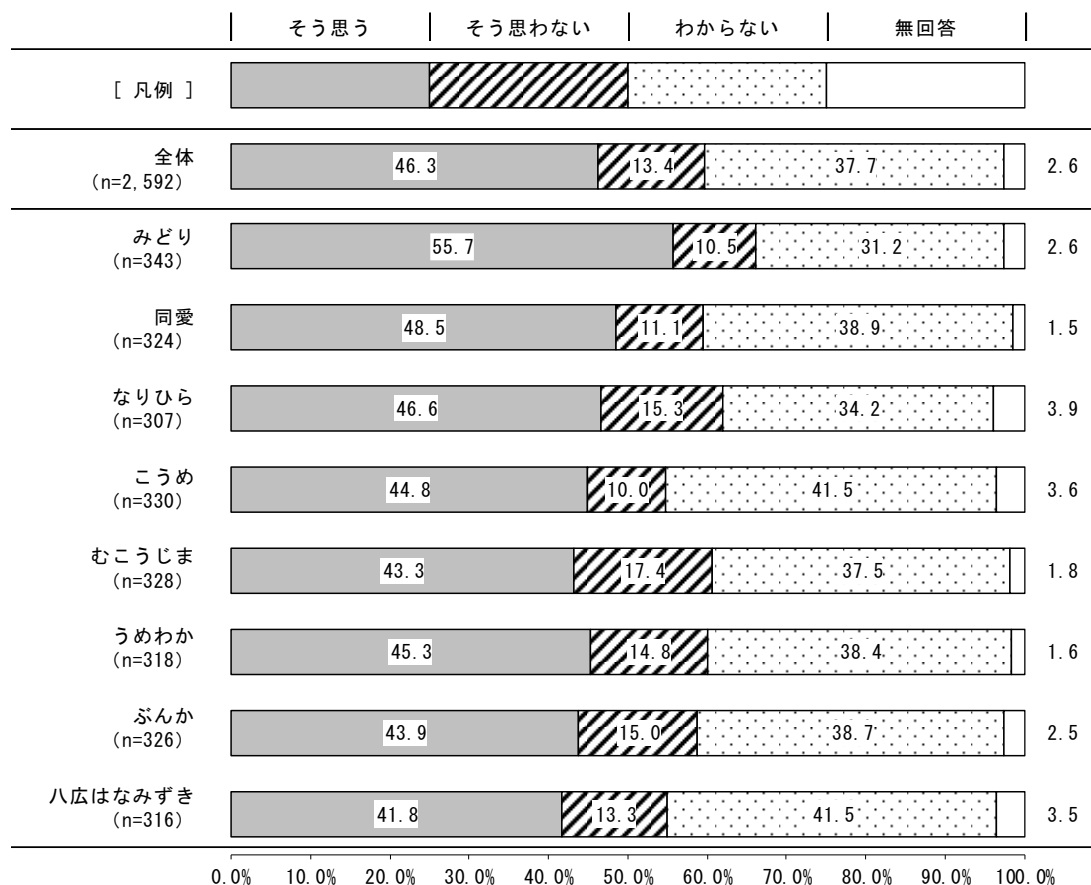
### 【圏域】

- 圏域別にみると、「そう思う」は、みどり (55.7%) が最も多く、八広はなみずき (41.8%) が最も少なくなっています。

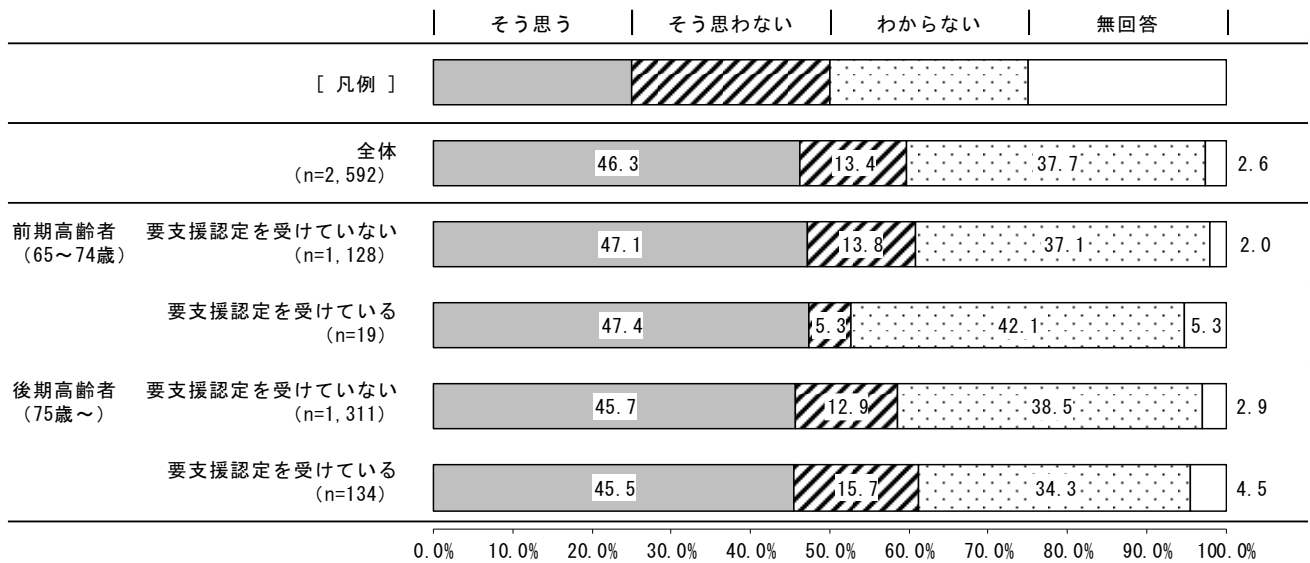
### 【前期後期・要支援有無別】

- 年齢・介護度別にみても、年齢や要支援認定の有無で大きな差は見られません。

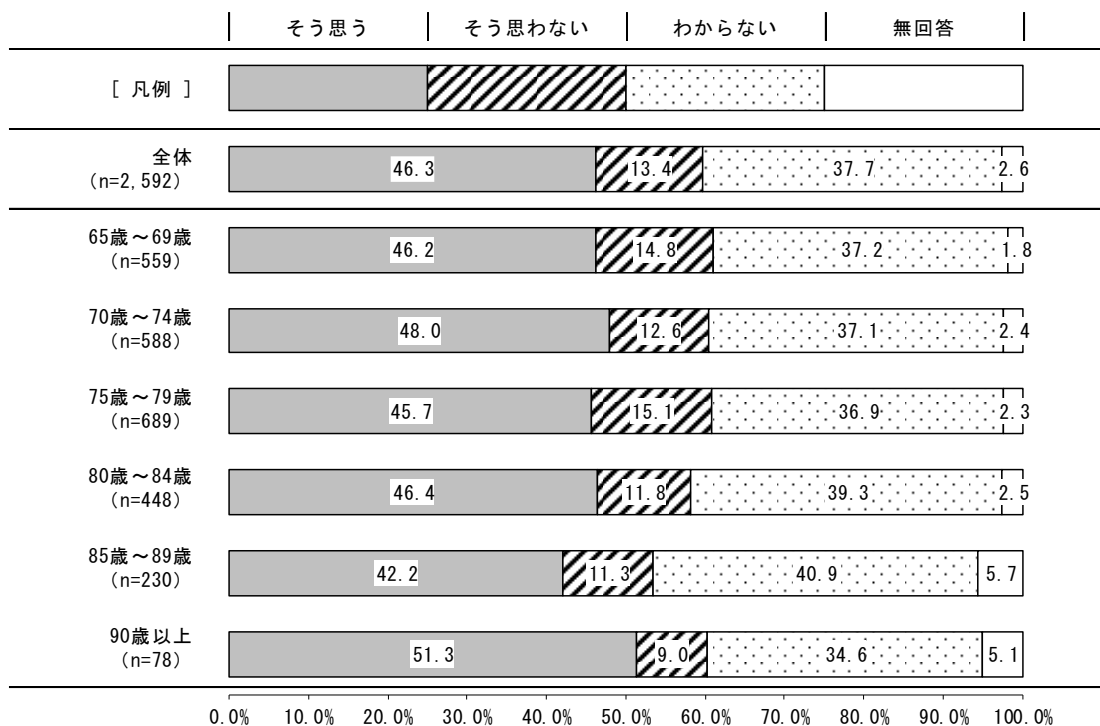
### 【在宅生活での意思尊重】



【在宅生活での意思尊重（前期後期・要支援有無別）】



【在宅生活での意思尊重（年齢別）】



## 11. 住まいについて

### (1) 住まいや住環境で困っていること

#### 【全体】

○ 住まいや住環境で困っていることについて、「特にない」が 62.0%で最も多く、次いで「屋内の階段」が 6.4%、「浴室や浴槽が狭い、使いづらい」が 6.1%となっています。

#### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

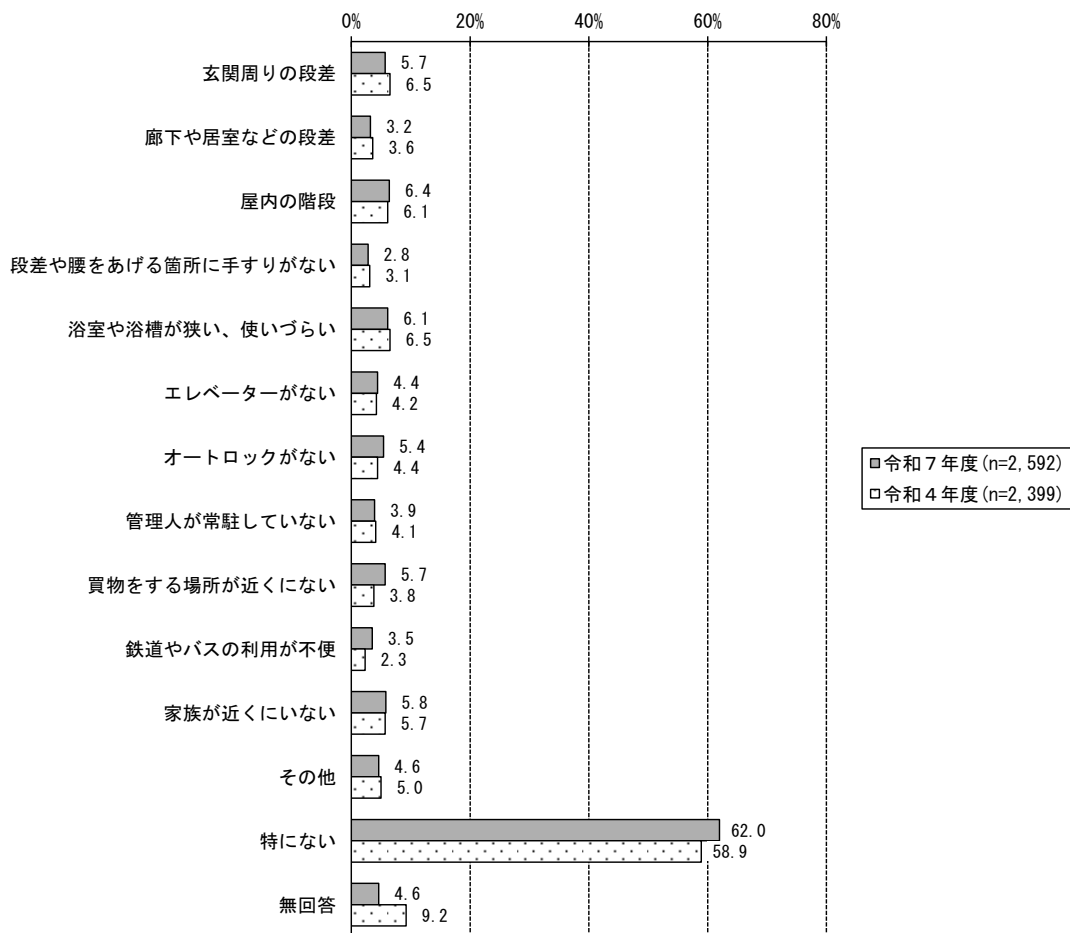
#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、全ての圏域でも「特にない」が最も多く、約6割の回答となっています。

#### 【住居形態別】

○ 住居形態別（回答数 100 件以上）にみると、最も多い「特にない」を除き、持家（一戸建て）は、「屋内の階段」（11.3%）が、持家（集合住宅）は、「オートロックがない」（6.1%）が、公営賃貸住宅と民間賃貸住宅（集合住宅）は、「浴室や浴槽が狭い、使いづらい」（それぞれ、10.6%、13.8%）が、次いで多くなっています。

【住まいや住環境で困っていること】＜複数回答＞



【住まいや住環境で困っていること（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	玄関周りの段差	廊下や居室などの段差	屋内の階段	段差や腰をあげる箇所に手すりがない	浴室や浴槽が狭い、使いづらい	エレベーターがない	オートロックがない	常駐していない管理人が	買物をする場所が近くにない	鉄道やバスの利用が不便	家族が近くにいない	その他	特にない	無回答	
全体	2,592	5.7	3.2	6.4	2.8	6.1	4.4	5.4	3.9	5.7	3.5	5.8	4.6	62.0	4.6	
圏域	みどり	343	4.7	1.7	7.0	2.3	5.5	7.3	6.4	6.4	3.8	1.2	4.7	6.4	61.5	3.2
	同愛	324	4.6	1.9	7.1	2.8	5.9	6.5	5.2	2.8	3.4	1.2	5.2	4.0	66.0	4.0
	なりひら	307	1.3	3.3	5.9	2.9	5.9	6.2	6.8	3.3	1.6	2.0	5.2	3.6	66.4	3.9
	こうめ	330	6.4	2.7	7.0	2.7	5.5	4.5	4.8	3.3	9.7	3.3	5.8	4.5	59.4	5.5
	むこうじま	328	7.0	4.9	6.7	3.4	5.5	3.7	3.4	5.2	3.7	3.0	7.6	5.8	61.6	4.6
	うめわか	318	9.1	5.0	8.2	3.1	6.3	3.1	6.0	2.2	7.2	7.5	5.3	2.8	59.4	2.5
	ぶんか	326	5.2	3.4	3.4	3.4	6.4	1.8	4.9	3.7	7.1	4.9	6.1	4.9	61.3	7.1
	八広はなみずき	316	7.0	3.2	6.0	1.9	8.2	2.2	5.4	4.1	9.5	4.7	6.6	4.1	60.4	5.7

【住まいや住環境で困っていること（住居形態別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	玄関周りの段差	廊下や居室などの段差	屋内の階段	段差や腰をあげる箇所に手すりがない	浴室や浴槽が狭い、使いづらい	エレベーターがない	オートロックがない	常駐していない管理人が	買物をする場所が近くにない	鉄道やバスの利用が不便	家族が近くにいない	その他	特にない	無回答	
全体	2,592	5.7	3.2	6.4	2.8	6.1	4.4	5.4	3.9	5.7	3.5	5.8	4.6	62.0	4.6	
住居形態	持家（一戸建て）	1,106	9.2	4.1	11.3	2.6	4.5	5.4	2.7	0.6	6.8	2.7	4.8	4.2	61.5	4.4
	持家（集合住宅）	724	2.1	2.1	1.5	2.3	3.0	2.8	6.1	4.7	4.4	1.7	5.5	3.9	71.4	2.9
	公営賃貸住宅	255	2.4	2.7	1.2	2.0	10.6	1.6	10.2	7.1	5.1	9.8	10.2	3.1	53.7	7.1
	民間賃貸住宅（一戸建て）	22	9.1	-	4.5	4.5	13.6	-	9.1	4.5	-	9.1	4.5	4.5	54.5	9.1
	民間賃貸住宅（集合住宅）	319	2.8	3.1	2.5	3.1	13.8	7.2	7.8	11.0	6.3	4.1	6.0	6.9	54.2	4.1
	借家	34	11.8	5.9	14.7	5.9	8.8	-	-	2.9	5.9	2.9	5.9	11.8	41.2	11.8
	その他	63	11.1	4.8	12.7	7.9	9.5	9.5	7.9	4.8	3.2	7.9	7.9	12.7	49.2	6.3

## (2) 関心のある区の高齢者の住まい支援

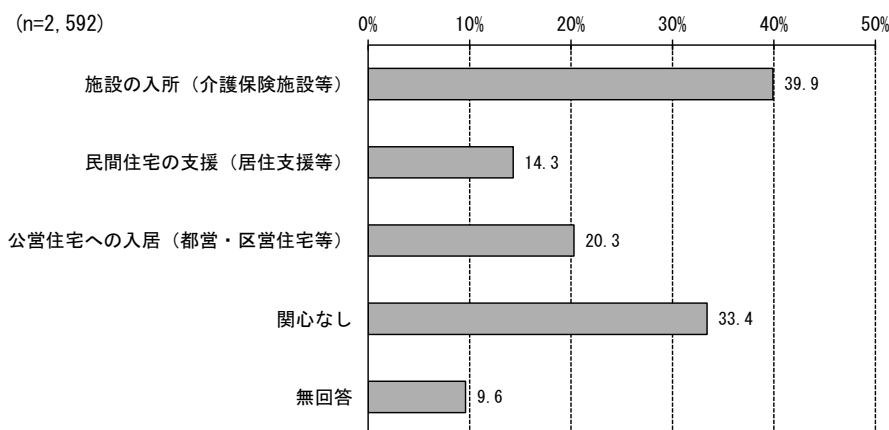
### 【全体】

- 関心のある区の高齢者の住まい支援について、「施設の入所（介護保険施設等）」が39.9%で最も多く、次いで「関心なし」が33.4%、「公営住宅への入居（都営・区営住宅等）」が20.3%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、同愛と八広はなみずきは「関心なし」が最も多くなっていますが、その他の圏域では「施設の入所（介護保険施設等）」が最も多くなっています。

### 【関心のある区の高齢者の住まい支援】＜複数回答＞



### 【関心のある区の高齢者の住まい支援（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	施設の入所 (介護保険施設等)	民間住宅の支援 (居住支援等)	公営住宅への入居 (都営・区営住宅等)	関心なし	無回答
全体		2,592	39.9	14.3	20.3	33.4	9.6
圏域	みどり	343	42.3	14.9	18.4	35.0	6.7
	同愛	324	35.5	13.9	17.3	42.0	7.7
	なりひら	307	42.7	16.0	22.1	29.3	9.4
	こうめ	330	42.4	17.3	23.0	28.5	11.5
	むこうじま	328	38.7	16.5	20.1	32.3	9.8
	うめわか	318	39.6	12.6	19.8	33.0	11.3
	ぶんか	326	41.7	8.9	25.5	29.4	9.5
	八広はなみずき	316	36.1	14.2	16.5	37.7	11.1

## 12. 地域のつながりについて

### (1) 地域のつながり

#### ①地域のひととの付き合い

##### 【全体】

- 地域のひととの付き合いについて、「あいさつをする程度」が 39.0%で最も多く、次いで「立ち話をする程度」が 28.0%、「親しく付き合っている」が 16.2%となっています。

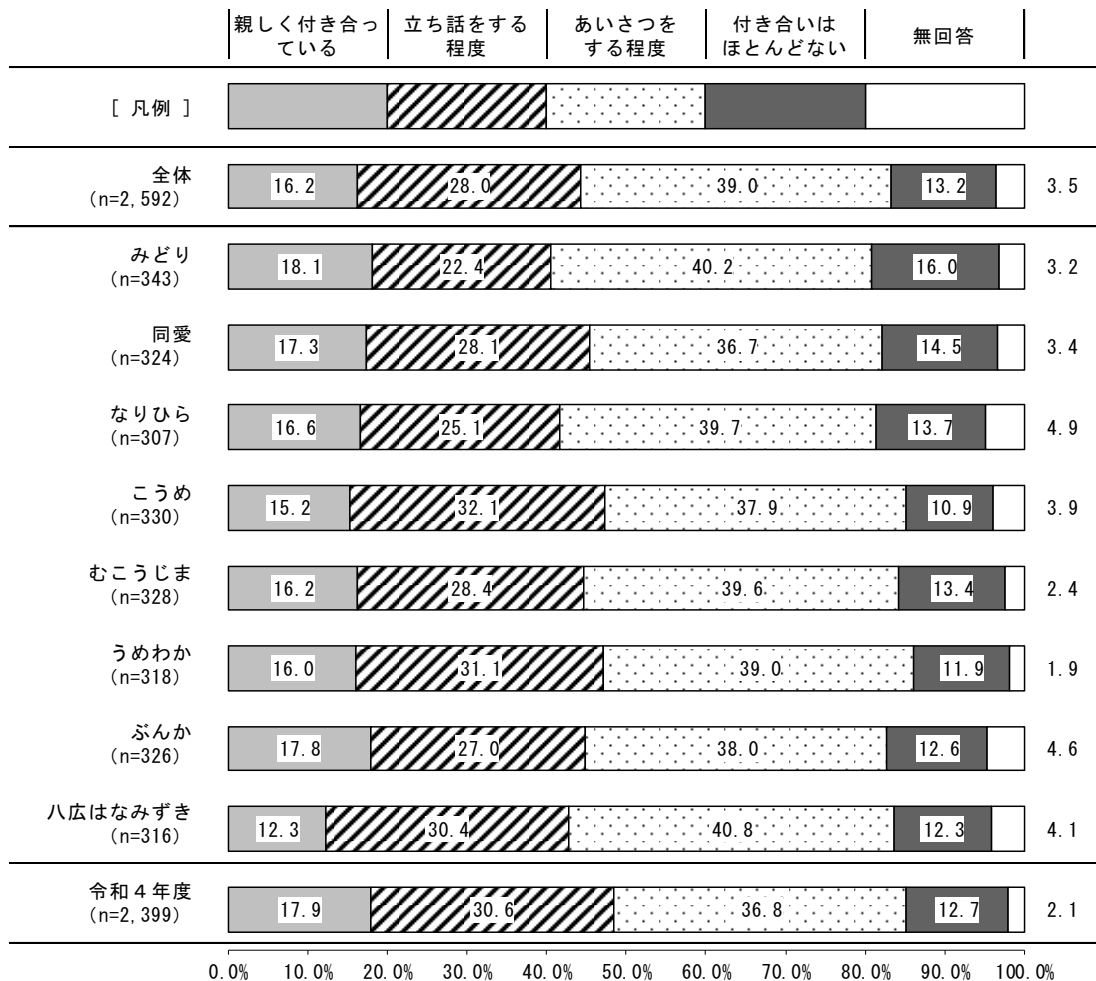
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「親しく付き合っている」では、みどり（18.1%）が最も多く、八広はなみずき（12.3%）が最も少なくなっています。

【地域のひととの付き合い】



## ②近所付き合いがない主な理由

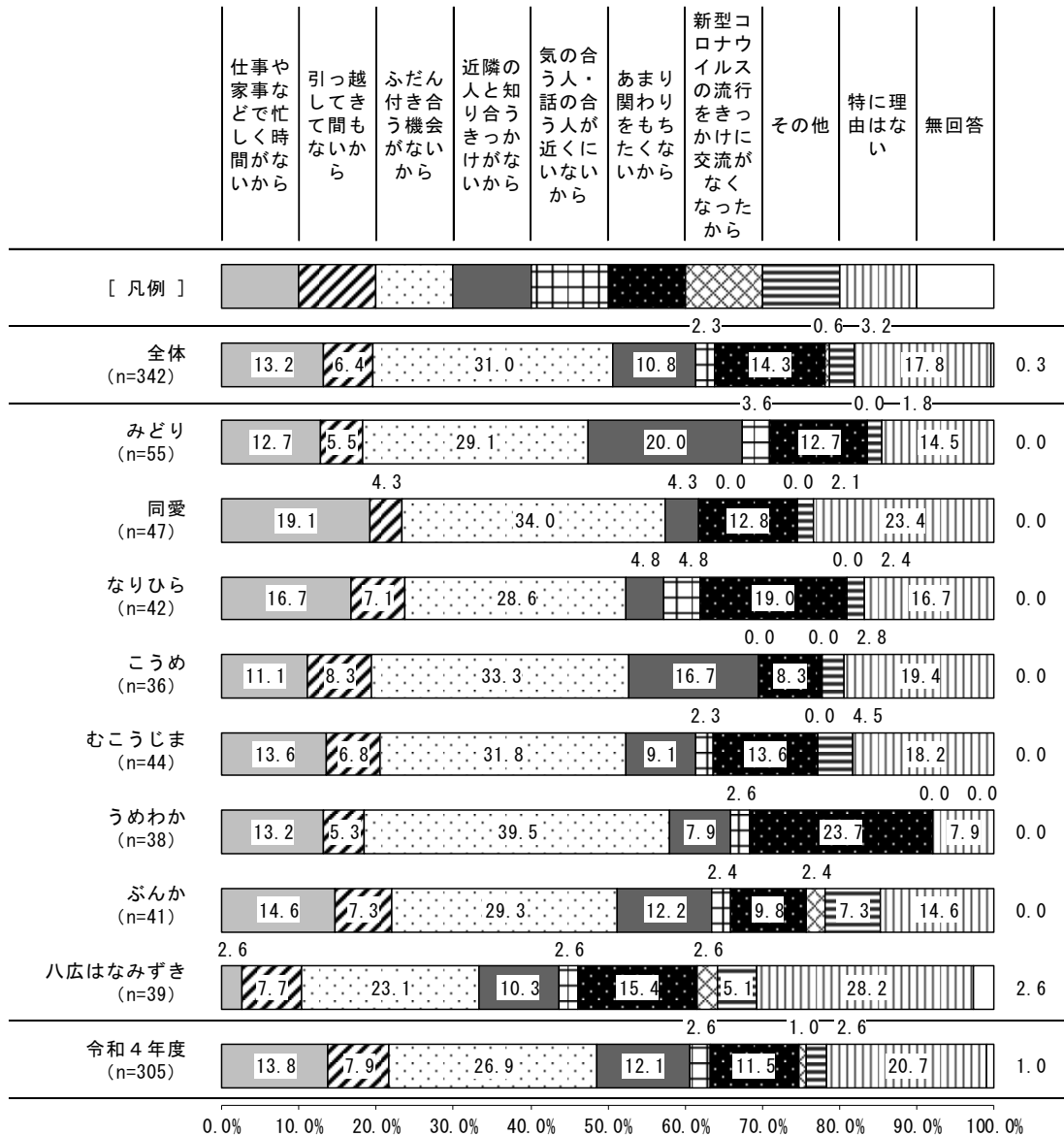
### 【全体】

- 近所付き合いがない主な理由について、「ふだん付き合い合えないから」が 31.0%で最も多く、次いで「特に理由はない」が 17.8%、「あまり関わりをもちたくないから」が 14.3%となっています。

### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「ふだん付き合い合えないから」（31.0%）が 4.1 ポイント増加しています。

### 【近所付き合いがない主な理由】



## (2) 地域活動や支え合い活動への参加状況

### ①地域で行われている活動

#### 【全体】

- 地域で行われている活動について、「近隣同士でよくあいさつをしている」が 59.9%で最も多く、次いで「回覧板・掲示板などが活用されている」が 48.0%、「近隣同士で立ち話をしている」が 39.7%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「回覧板・掲示板などが活用されている」（48.0%）が 3.8 ポイント減少しています。

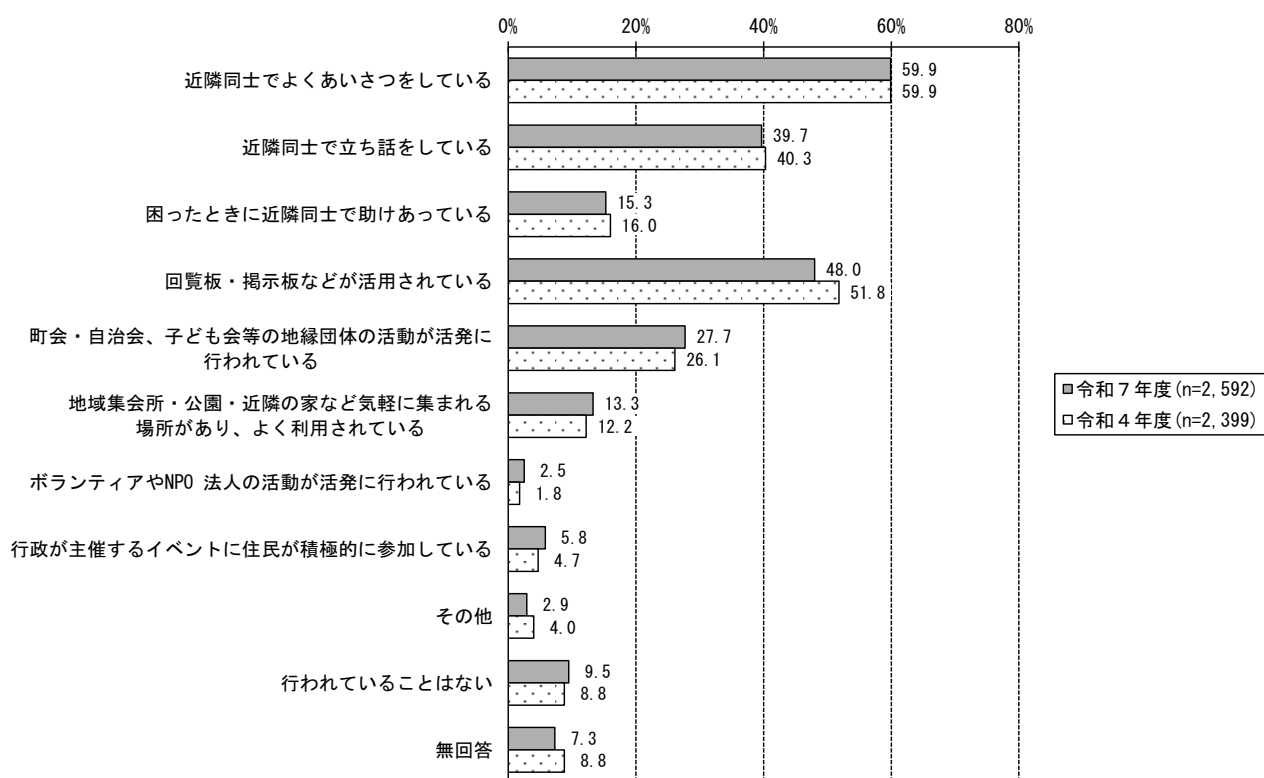
#### 【圏域】

- 圏域別にみると、うめわかには、「回覧板・掲示板などが活用されている」が最も多く、次いで「近隣同士でよくあいさつをしている」が多くなっています。みどりは、「近隣同士でよくあいさつをしている」が最も多く、次いで「近隣同士で立ち話をしている」が多くなっています。その他の圏域では、「近隣同士でよくあいさつをしている」が最も多く、次いで「回覧板・掲示板などが活用されている」が多くなっています。

#### 【住居形態別】

- 住居形態別（回答数 100 件以上）にみると、全ての住居形態で「近隣同士でよくあいさつをしている」が最も多くなっていますが、持家（一戸建て）と公営賃貸住宅は、次いで「回覧板・掲示板などが活用されている」が多く、持家（集合住宅）と民間賃貸住宅（集合住宅）は、次いで「近隣同士で立ち話をしている」が多くなっています。集合住宅は、持家・民間賃貸ともに「困ったときに近隣同士で助けあっている」が全体に比べて低くなっています。

【地域で行われている活動】＜複数回答＞



【地域で行われている活動（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	近隣同士でよくあいさつを している	近隣同士で立ち話をしている	困ったときに近隣同士で 助けあっている	回覧板・掲示板などが活用 されている	町会・自治会、子ども会等の 地縁団体の活動が活発に行われている	地域集会所・公園・近隣の家など気軽に 集まれる場所があり、よく利用されている	ボランティアやNPO法人の活動が 活発に行われている	行政が主催するイベントに住民が 積極的に参加している	その他	行われていることはない	無回答
全体		2,592	59.9	39.7	15.3	48.0	27.7	13.3	2.5	5.8	2.9	9.5	7.3
圏域	みどり	343	57.1	41.1	13.4	39.7	28.6	10.2	1.2	5.0	4.4	11.7	6.1
	同愛	324	60.2	39.2	13.9	49.1	33.6	13.0	3.7	7.1	3.7	9.3	5.6
	なりひら	307	60.9	40.1	15.6	44.6	30.3	16.0	2.3	7.8	2.6	8.8	6.2
	こうめ	330	60.6	38.8	15.8	49.1	28.5	12.1	2.7	6.7	1.8	8.2	9.7
	むこうじま	328	61.0	39.0	14.3	48.5	23.2	12.5	3.4	5.2	4.0	9.8	8.8
	うめわか	318	56.9	42.8	19.2	57.5	24.5	13.5	2.2	5.0	2.2	7.5	5.3
	ぶんか	326	58.3	37.4	13.2	48.8	27.3	16.6	1.5	4.6	4.3	9.8	7.7
	八広はなみずき	316	64.2	39.2	17.4	46.8	25.9	13.0	3.5	5.4	0.3	10.4	8.5

【地域で行われている活動（住居形態別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	近隣同士でよくあいさつを している	近隣同士で立ち話をしている	困ったときに近隣同士で 助けあっている	回覧板・掲示板などが活用 されている	町会・自治会、子ども会等の 地縁団体の活動が活発に行われている	地域集会所・公園・近隣の家など気軽に 集まれる場所があり、よく利用されている	ボランティアやNPO法人の活動が 活発に行われている	行政が主催するイベントに住民が 積極的に参加している	その他	行われていることはない	無回答
全体		2,592	59.9	39.7	15.3	48.0	27.7	13.3	2.5	5.8	2.9	9.5	7.3
住居形態	持家 （一戸建て）	1,106	69.1	49.3	20.3	68.4	34.0	14.7	3.3	5.8	1.5	4.4	4.4
	持家 （集合住宅）	724	57.5	33.1	10.8	27.5	24.6	10.9	1.8	6.1	4.1	12.2	6.9
	公営賃貸住宅	255	62.4	42.0	19.6	56.9	29.4	23.5	2.4	9.8	2.4	5.1	6.7
	民間賃貸住宅 （一戸建て）	22	54.5	31.8	9.1	40.9	22.7	9.1	-	9.1	-	18.2	22.7
	民間賃貸住宅 （集合住宅）	319	36.1	23.8	5.6	19.7	14.4	8.2	1.3	2.8	5.3	23.2	12.9
	借家	34	52.9	35.3	11.8	32.4	11.8	2.9	-	-	2.9	14.7	14.7
	その他	63	46.0	25.4	9.5	41.3	23.8	12.7	6.3	6.3	4.8	9.5	19.0

## ②近所に見守りが必要な高齢者の有無

### 【全体】

○ 近所に見守りが必要な高齢者の有無について、「わからない」が71.9%で最も多く、次いで「いない」が17.1%、「いる」が8.4%となっています。

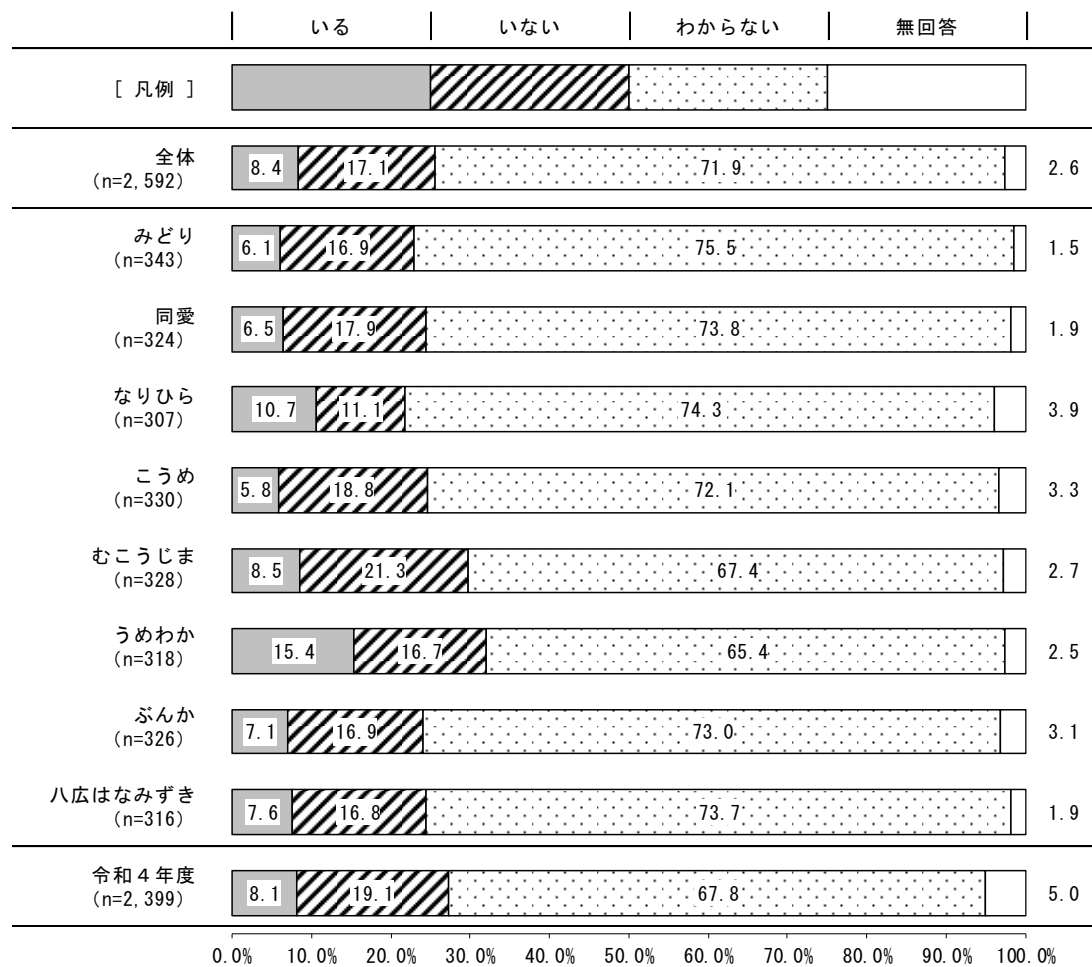
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、「わからない」（71.9%）が4.1ポイント増加しています。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「いる」は、うめわか（15.4%）が、「いない」は、むこうじま（21.3%）が、「わからない」は、みどり（75.5%）が最も多くなっています。

【近所に見守りが必要な高齢者の有無】



### ③見守りが必要な高齢者との接し方

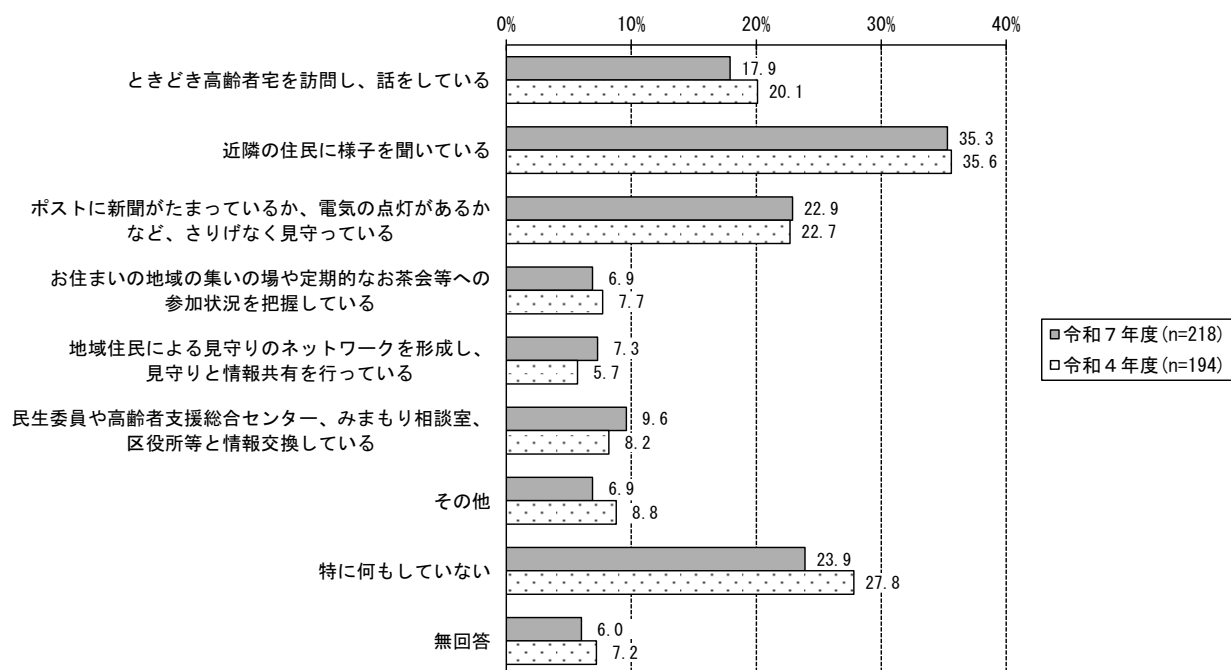
#### 【全体】

- 見守りが必要な高齢者との接し方について、「近隣の住民に様子を聞いている」が 35.3%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が 23.9%、「ポストに新聞がたまっているか、電気の点灯があるかなど、さりげなく見守っている」が 22.9%となっています。

#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「特に何もしていない」（23.9%）が 3.9 ポイント減少しています。

【見守りが必要な高齢者との接し方】＜複数回答＞



### 13. 地域で受けている手助けについて

#### (1) 地域で問題だと感じていること

##### 【全体】

- 地域で問題だと感じていることについて、「特に問題だと感じていることはない」が 39.3%で最も多く、次いで「近隣住民との付き合いなど地域のつながりが希薄なこと」が 17.5%、「介護の入所施設が不足していること」が 15.8%となっています。

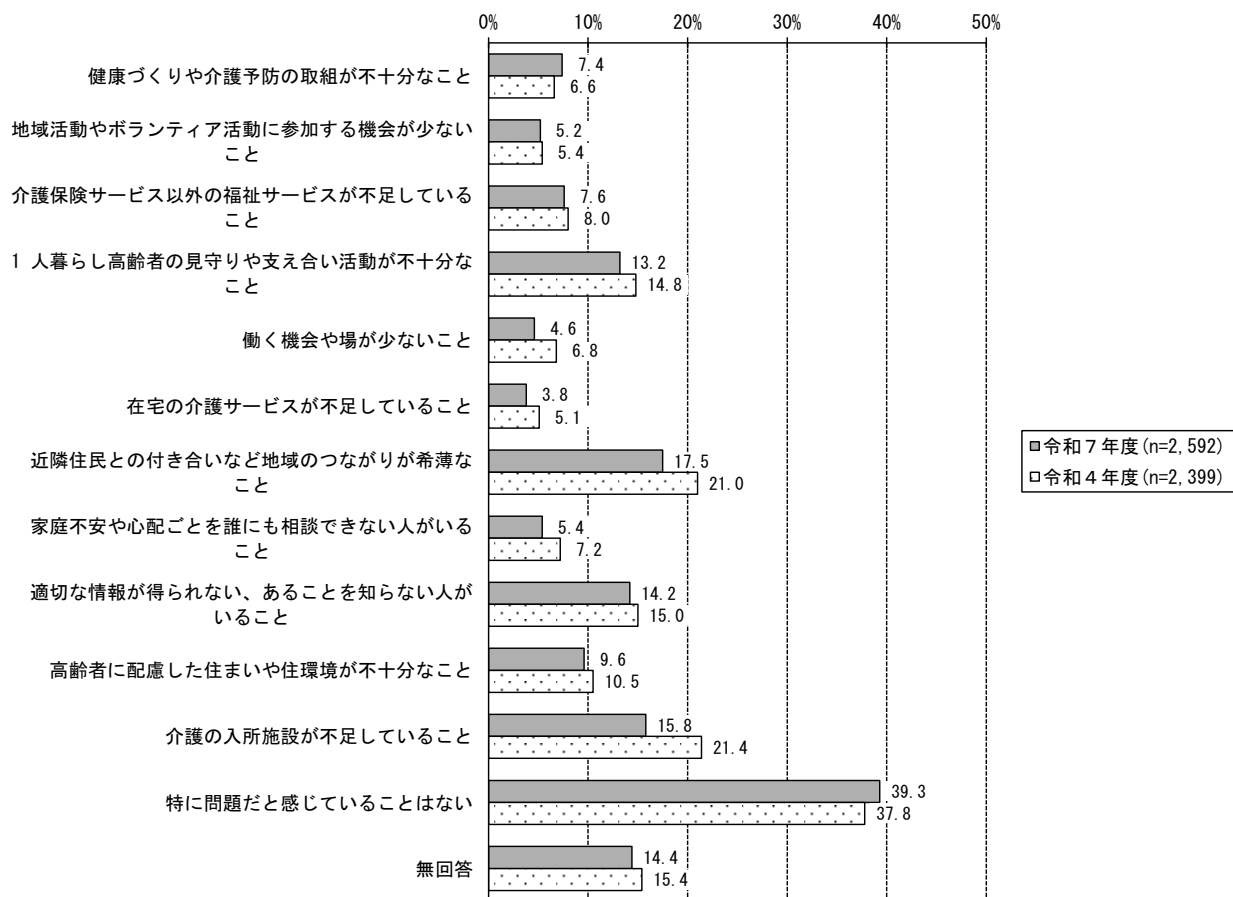
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「近隣住民との付き合いなど地域のつながりが希薄なこと」（17.5%）が 3.5 ポイント、「介護の入所施設が不足していること」（15.8%）が 5.6 ポイント減少しています。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「特に問題だと感じていることはない」が最も多くなっていますが、こうめは、次いで「介護の入所施設が不足していること」が多く、その他の圏域は、次いで「近隣住民との付き合いなど地域のつながりが希薄なこと」が多くなっています。

【地域で問題だと感じていること】＜複数回答＞



【地域の課題（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

		回答者数（人）	健康づくりや介護予防の取組が 不十分なこと	地域活動やボランティア活動に 参加する機会が少ないこと	介護保険サービス以外の福祉 サービスが不足していること	一人暮らし高齢者の見守りや支 え合い活動が不十分なこと	働く機会や場が少ないこと	在宅の介護サービスが不足して いること	近隣住民との付き合いなど地域 のつながりが希薄なこと	家庭不安や心配ことを誰にも 相談できない人がいること	適切な情報が得られない、ある こと	高齢者に配慮した住まいや 住環境が不十分なこと	介護の入所施設が不足している こと	特に問題だと感じていることは ない	無回答
全体		2,592	7.4	5.2	7.6	13.2	4.6	3.8	17.5	5.4	14.2	9.6	15.8	39.3	14.4
圏域	みどり	343	8.5	7.6	5.5	12.0	3.5	3.2	18.4	4.7	13.7	9.6	16.6	37.6	12.0
	同愛	324	5.6	5.6	7.7	12.7	5.2	4.3	15.1	5.6	10.2	6.5	14.2	41.0	14.5
	なりひら	307	7.5	5.2	8.1	14.7	3.9	3.3	17.9	4.6	14.3	9.4	16.3	39.1	14.0
	こうめ	330	7.0	3.6	7.0	11.8	4.2	4.5	17.0	5.5	16.7	11.5	19.4	39.1	16.4
	むこうじま	328	8.5	4.9	6.7	12.2	4.9	2.7	17.4	5.5	13.1	10.4	16.5	39.6	14.6
	うめわか	318	9.1	6.6	8.8	14.2	4.7	4.4	18.6	5.3	17.0	7.9	13.8	36.8	14.8
	ぶんか	326	9.5	5.5	9.2	14.4	6.4	4.6	19.6	6.1	15.0	9.8	15.3	37.4	15.3
	八広はなみずき	316	3.8	2.5	7.6	14.2	3.5	3.2	15.8	5.7	13.3	11.7	14.2	43.7	13.6

## (2) 現在受けている手助け

### ①現在受けている手助け

#### 【全体】

- 現在受けている手助けについて、「受けていない」が81.5%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」が3.2%、「購入品の宅配」が2.1%となっています。

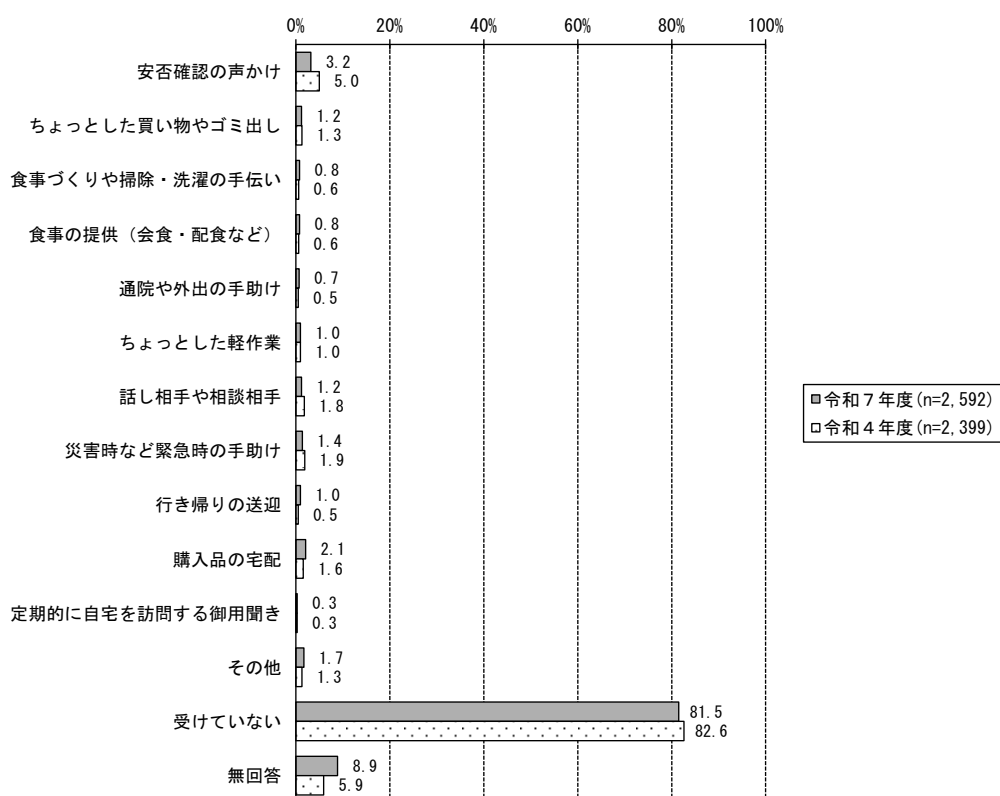
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「受けていない」は同愛（85.2%）が最も多く、ぶんか（77.6%）が最も少なくなっています。

【現在受けている手助け】＜複数回答＞



【現在受けている手助け（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事の提供（会食・配食など）	通院や外出の手助け	ちょっとした軽作業	話し相手や相談相手	緊急時の手助け	災害時など	行き帰りの送迎	購入品の宅配	定期的に自宅を訪問する御用聞き	その他	受けていない	無回答
全体	2,592	3.2	1.2	0.8	0.8	0.7	1.0	1.2	1.4	1.0	2.1	0.3	1.7	81.5	8.9	
圏域	みどり	343	2.9	1.2	0.3	0.9	0.3	0.6	0.9	0.3	0.9	2.9	0.3	1.5	84.3	7.0
	同愛	324	2.5	0.6	-	-	0.6	1.2	1.5	1.5	0.3	1.2	-	0.9	85.2	6.8
	なりひら	307	3.9	1.0	0.7	0.7	-	0.7	0.7	2.0	1.0	1.0	-	0.7	80.5	10.1
	こうめ	330	2.7	1.2	0.9	0.9	1.2	1.5	0.6	1.2	1.8	1.8	0.9	2.1	78.8	10.6
	むこうじま	328	1.8	0.3	0.6	1.2	0.6	0.9	1.8	1.5	0.6	2.4	0.3	1.2	84.8	7.6
	うめわか	318	6.3	1.3	1.3	0.3	0.9	0.9	0.9	2.5	0.9	2.5	0.3	1.9	80.2	8.5
	ぶんか	326	4.6	2.5	2.1	1.5	1.2	1.5	1.5	1.8	1.2	3.1	-	2.8	77.6	9.2
	八広はなみずき	316	0.9	1.3	0.6	0.6	0.6	0.3	1.3	0.6	1.3	1.6	0.9	2.8	80.7	11.4

## ②手助けを受けていない理由

### 【全体】

- 現在受けている手助けで「受けていない」と回答した人の理由は、「手助けを必要としていない」が 66.7%で最も多く、次いで「特にない」が 17.2%、「どこに（誰に）頼めばいいのかわからない」が 8.4%となっています。

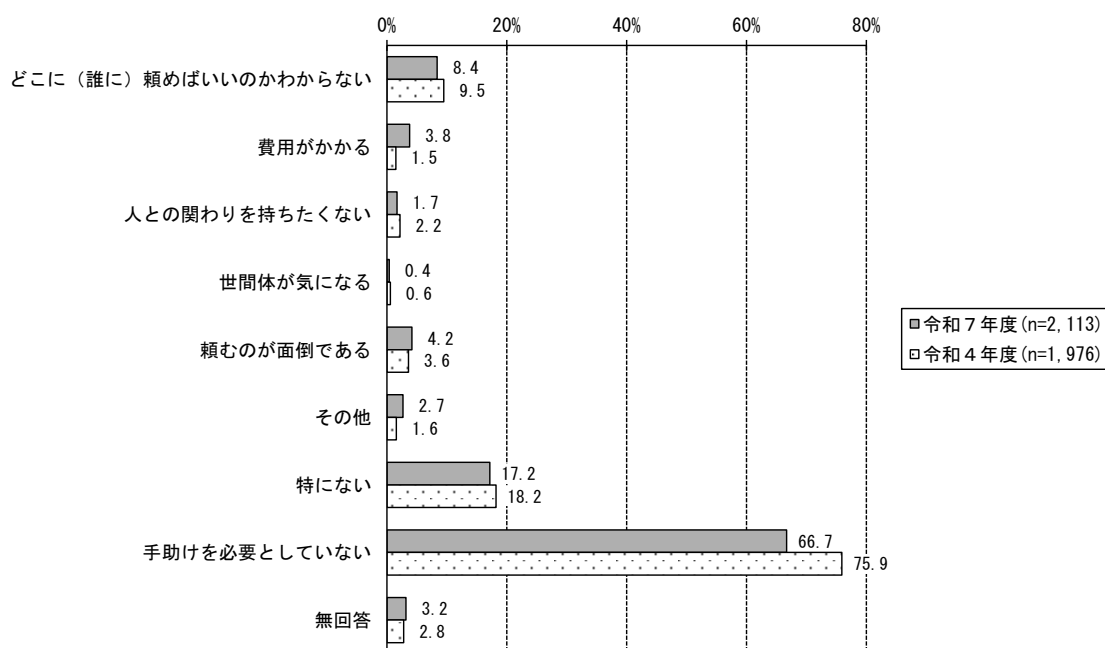
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「手助けを必要としていない」（66.7%）が 9.2 ポイント減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、全体と同様の傾向をしていますが、むこうじまは「手助けを必要としていない」（61.2%）が最も少なく、「どこに（誰に）頼めばいいのかわからない」（11.5%）が最も多くなっています。

【手助けを受けていない理由】＜複数回答＞



【手助けを受けていない理由（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	どこに（誰に）頼めばいいのかわからない	費用がかかる	人との関わりを持ちたくない	世間体が気になる	頼むのが面倒である	その他	特にない	必要としていない 手助けを	無回答	
											全体
全体	2,113	8.4	3.8	1.7	0.4	4.2	2.7	17.2	66.7	3.2	
圏域	みどり	289	6.2	4.2	2.4	0.7	3.1	2.1	18.3	66.8	2.8
	同愛	276	9.1	1.8	1.1	0.4	4.3	2.2	15.9	71.7	1.4
	なりひら	247	8.1	3.6	1.6	-	4.9	2.8	15.8	67.6	4.0
	こうめ	260	6.2	0.8	0.4	0.4	3.8	2.3	16.2	71.9	2.3
	むこうじま	278	11.5	5.0	1.8	-	3.6	3.6	18.3	61.2	4.0
	うめわか	255	9.4	4.7	1.6	0.8	4.3	3.5	14.5	66.7	4.3
	ぶんか	253	9.1	7.1	2.4	0.4	5.5	2.8	20.6	61.3	2.8
	八広はなみずき	255	7.8	3.5	2.4	0.4	3.9	2.0	17.6	66.7	3.9

### (3) 受けたいと思う手助け

#### 【全体】

- 日常生活を送る上で不自由な状態になったとき、地域の中で受けたい手助けについて、「災害時など緊急時の手助け」が 37.0%で最も多く、次いで「特にない」が 23.5%、「安否確認の声かけ」が 22.7%となっています。

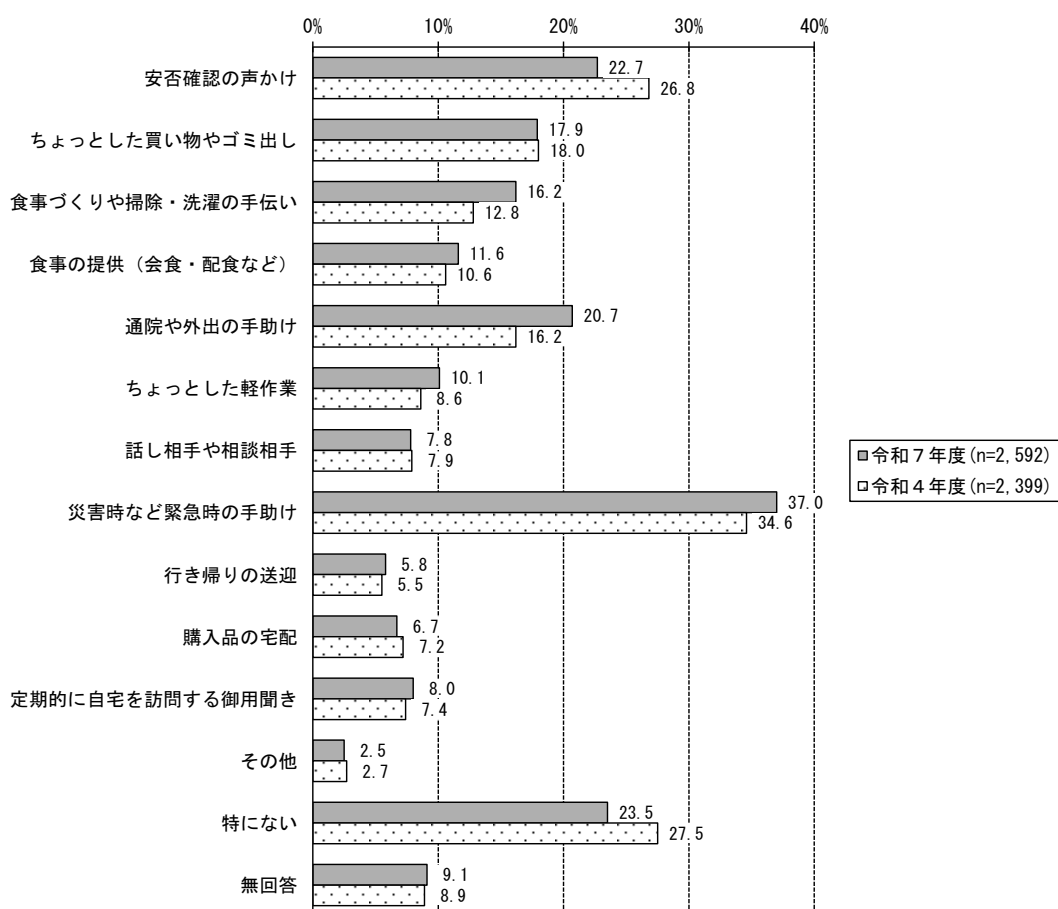
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「安否確認の声かけ」（22.7%）が 4.1 ポイント、「特にない」（23.5%）が 4.0 ポイント減少し、「食事づくりや掃除・洗濯の手伝い」（16.2%）が 3.4 ポイント、「通院や外出の手助け」（20.7%）が 4.5 ポイント増加しています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「災害時など緊急時の手助け」が最も多くなっていますが、同愛、なりひら、こうめは、次いで「安否確認の声かけ」（なりひらは「特にない」と同率）が、むこうじまは、次いで「通院や外出の手助け」が、ぶんかは「ちょっとした買い物やゴミ出し」が、みどり、うめわか、八広はなみずきは「特にない」が多くなっています。

【地域の中で受けたい手助けの内容】＜複数回答＞



【地域の中で受けたい手助けの内容（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	安否確認の声かけ	ちよつとした買い物や ゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯 の手伝い	食事の提供 （会食・配食など）	通院や外出の手助け	ちよつとした軽作業	話し相手や相談相手	災害時など緊急時の 手助け	行き帰りの送迎	購入品の宅配	定期的に自宅を訪問する 御用聞き	その他	特にない	無回答
全体	2,592	22.7	17.9	16.2	11.6	20.7	10.1	7.8	37.0	5.8	6.7	8.0	2.5	23.5	9.1
圏域	みどり	343	23.3	22.2	17.8	12.0	21.0	10.5	36.4	5.0	8.5	7.6	1.5	24.5	8.5
	同愛	324	25.0	14.2	15.1	13.9	20.4	10.8	40.1	6.5	4.9	9.0	2.8	21.9	7.1
	なりひら	307	21.5	14.0	15.3	13.4	20.2	9.8	40.7	6.2	5.5	9.1	2.6	21.5	10.1
	こうめ	330	24.2	17.6	17.6	10.9	20.9	7.9	36.7	3.9	7.9	9.4	3.6	21.8	9.4
	むこうじま	328	20.1	19.8	16.8	11.3	23.5	9.8	38.7	6.4	5.8	5.8	1.2	23.2	8.2
	うめわか	318	22.6	13.2	13.8	11.3	21.1	12.6	37.7	6.3	7.5	9.1	3.1	23.0	10.1
	ぶんか	326	21.8	25.8	16.6	9.2	19.6	12.0	34.0	6.1	7.1	7.4	3.4	24.2	8.9
	八広はなみずき	316	23.1	15.8	16.5	10.8	18.7	7.6	31.3	6.0	6.3	6.6	1.9	28.2	10.4

#### (4) 高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度

##### 【全体】

- 高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度について、「知っているが相談したことはない」が48.6%で最も多く、次いで「はじめて知った」が25.4%、「知っており相談したことがある」が12.4%となっています。

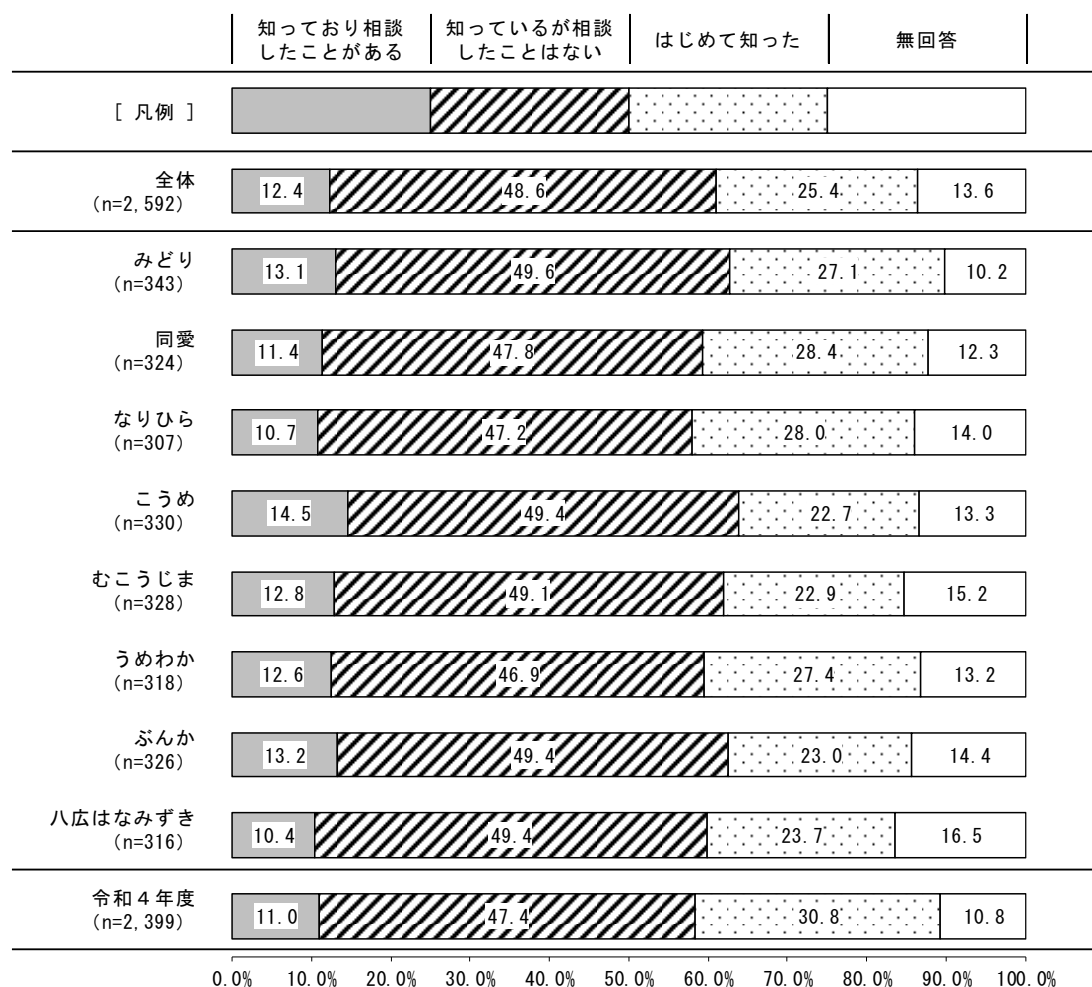
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「はじめて知った」（25.4%）が5.4ポイント減少しています。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「知っており相談したことがある」は、こうめ（14.5%）が、「知っているが相談したことはない」は、みどり（49.6%）が、「はじめて知った」は同愛（28.4%）が最も多くなっています。

【高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度】



### (5) 地域で助け合える関係性の有無

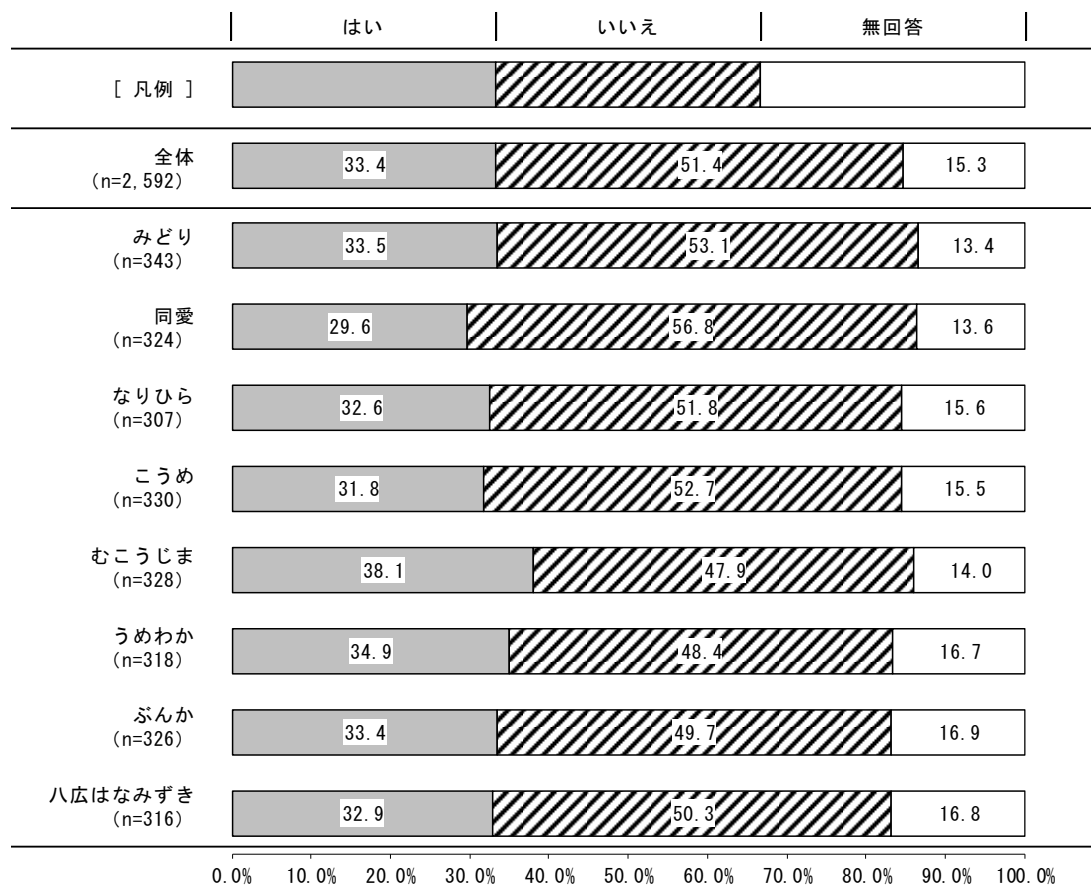
#### 【全体】

○ いざというときの地域で助け合える関係性の有無について、「はい」が 33.4%、「いいえ」が 51.4%となっています。

#### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「はい」は、むこうじま (38.1%) が、「いいえ」は、同愛 (56.8%) が最も多くなっています。

【地域で助け合える関係性の有無】



## 14. 今後の生活について

### (1) 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬剤師」の有無

#### ①かかりつけ医

##### 【全体】

- かかりつけ医の有無について、「いる」が 80.6%で最も多く、次いで「いない」が 12.2%、「わからない」が 3.0%となっています。

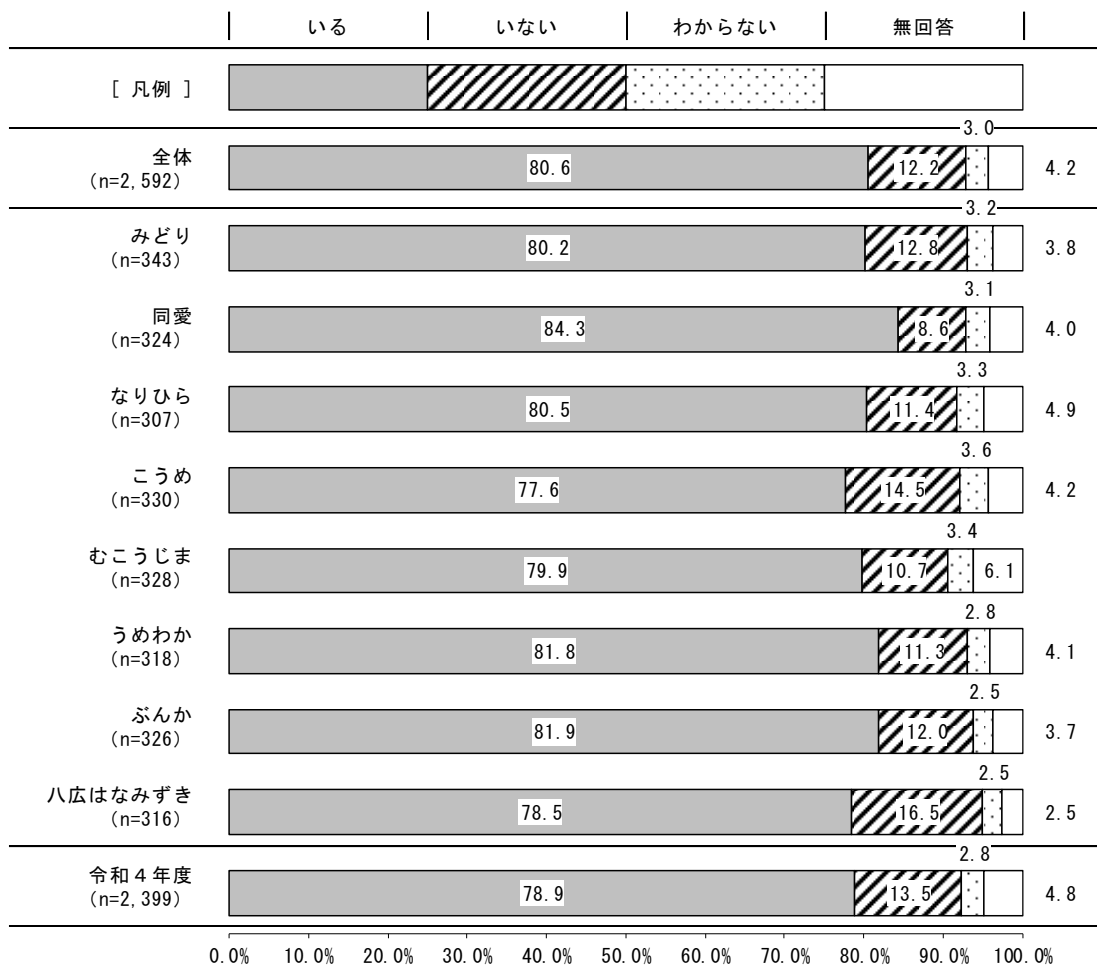
##### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、「いる」との回答は、同愛（84.3%）が最も多く、こうめ（77.6%）が最も少なくなっています。

【かかりつけ医の有無】



## ②かかりつけ歯科医

### 【全体】

- かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が 72.0%で最も多く、次いで「いない」が 16.4%、「わからない」が 2.7%となっています。

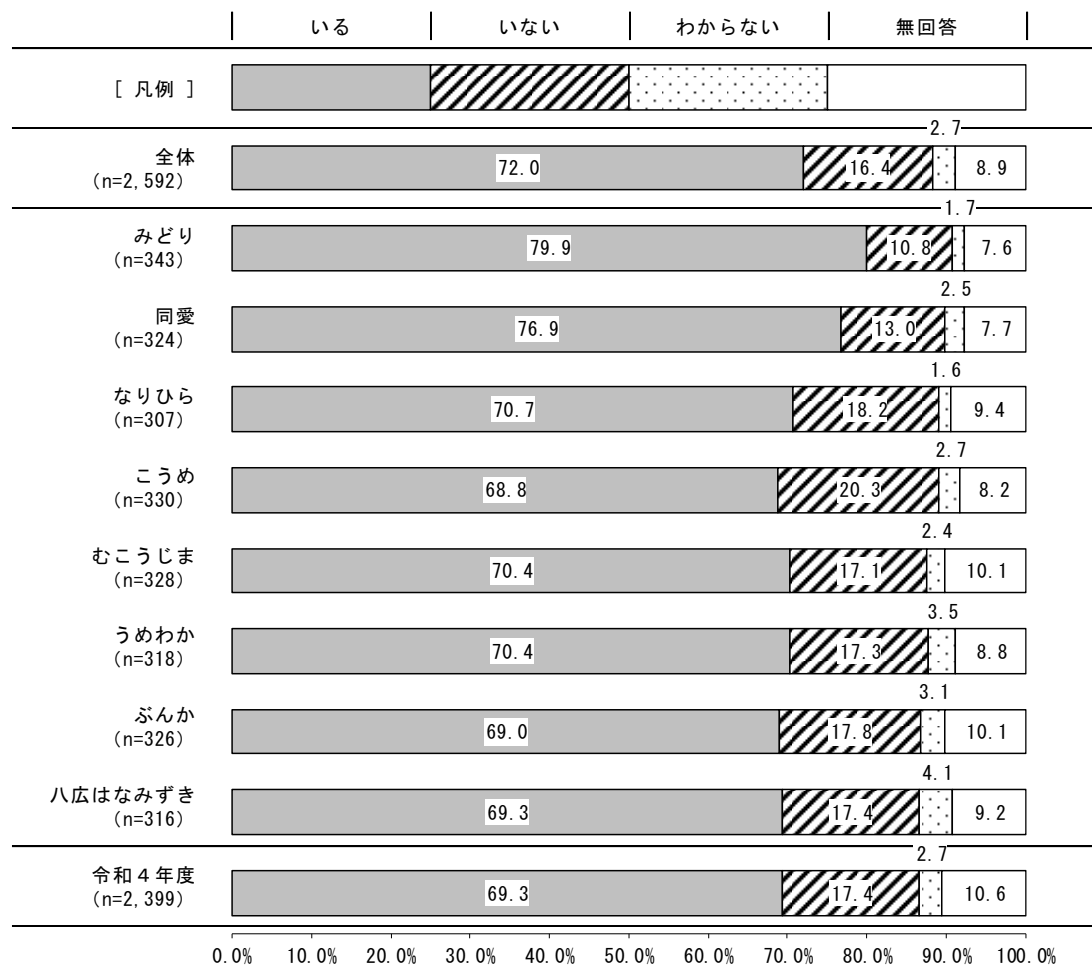
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「いる」との回答は、みどり（79.9%）が最も多く、こうめ（68.8%）が最も少なくなっています。

### 【かかりつけ歯科医の有無】



### ③かかりつけ薬剤師

#### 【全体】

- かかりつけ薬剤師の有無について、「いる」が 48.0%で最も多く、次いで「いない」が 29.3%、「わからない」が 9.1%となっています。

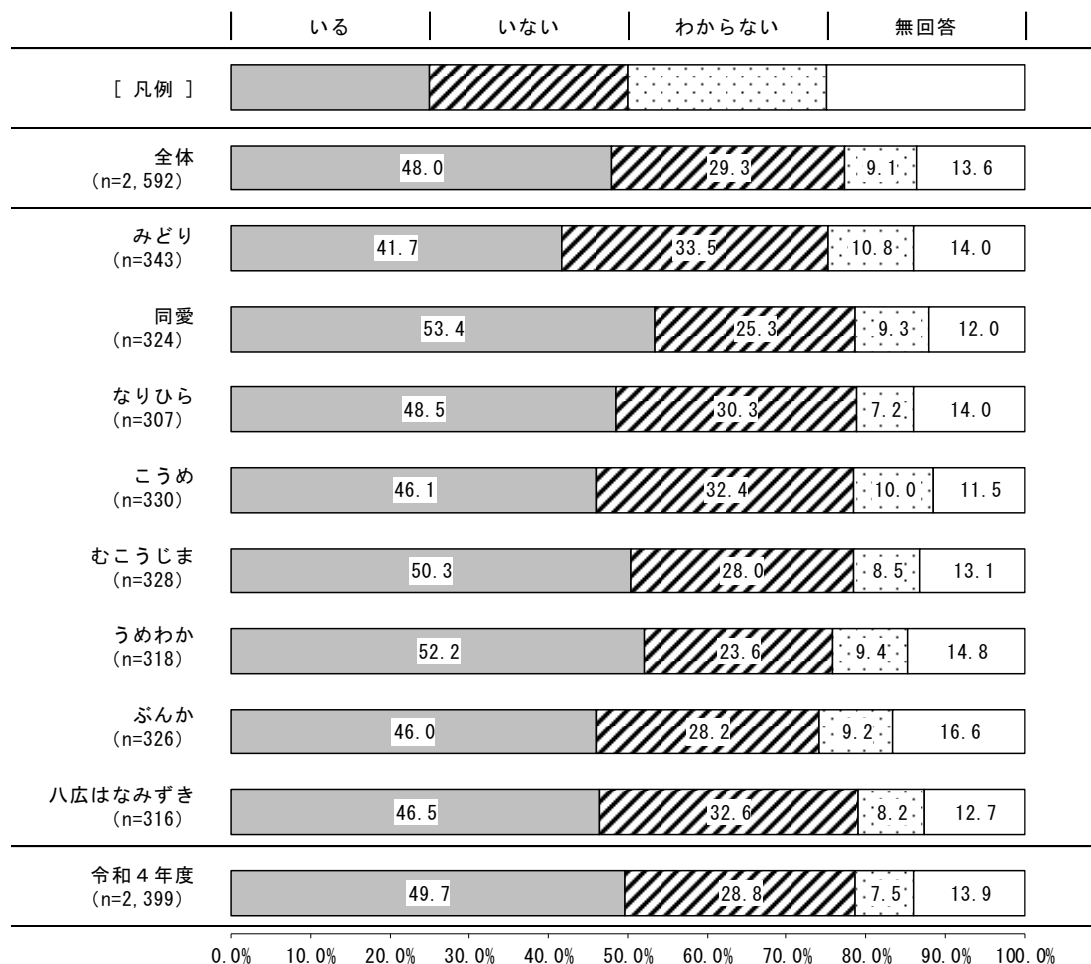
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「いる」との回答は、同愛（53.4%）が最も多く、みどり（41.7%）が最も少なくなっています。

【かかりつけ薬剤師の有無】



## (2) 「救急医療情報キット」配布の認知度

### 【全体】

- 区が配布している「救急医療情報キット」の認知度について、「はじめて聞いた」が 58.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが持っていない」が 22.6%、「持っているが活用していない」が 10.5%となっています。

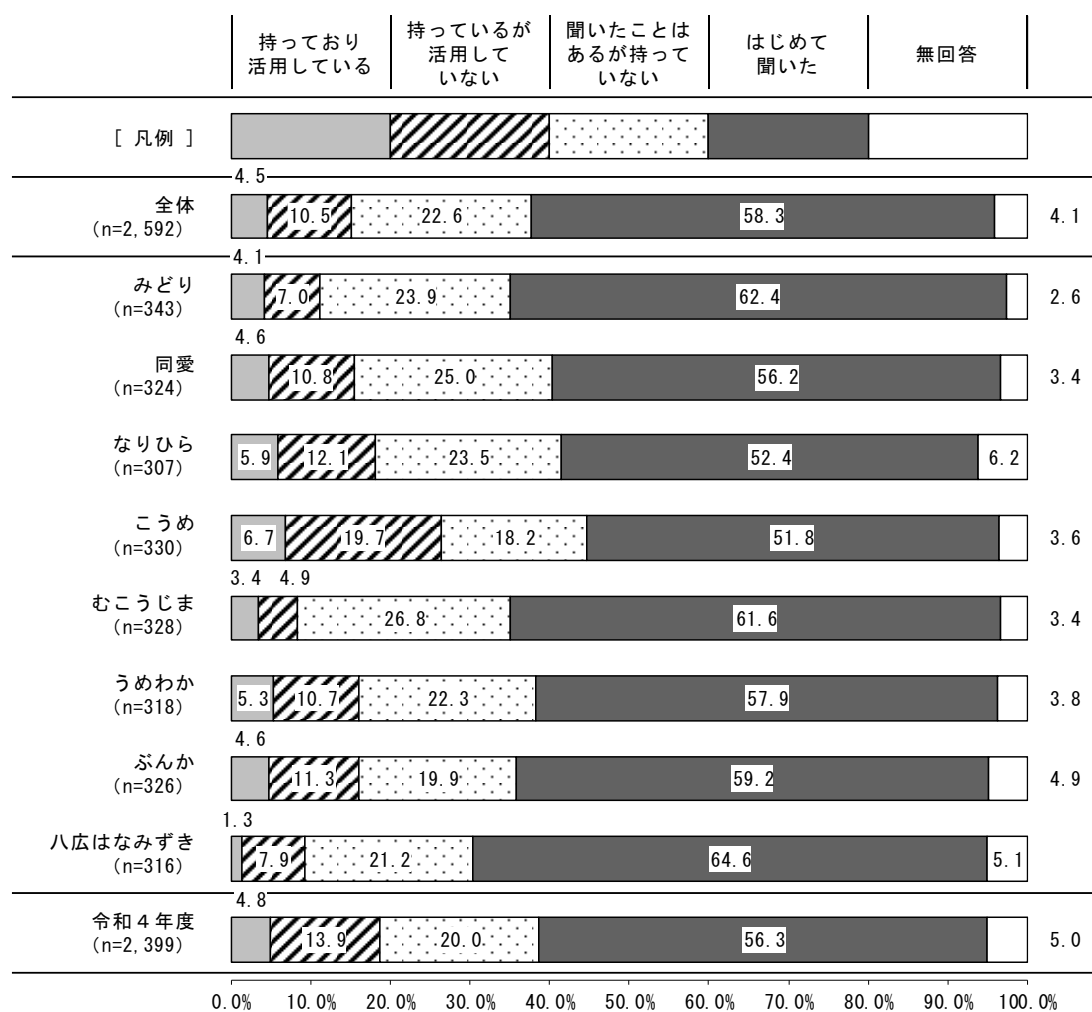
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「持っているが活用していない」（10.5%）が 3.4 ポイント減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「はじめて聞いた」は、八広はなみずき（64.6%）が最も多く、こうめ（51.8%）が最も少なくなっています。

【「救急医療情報キット」配布の認知度】



### (3) 聞き取りにくさ

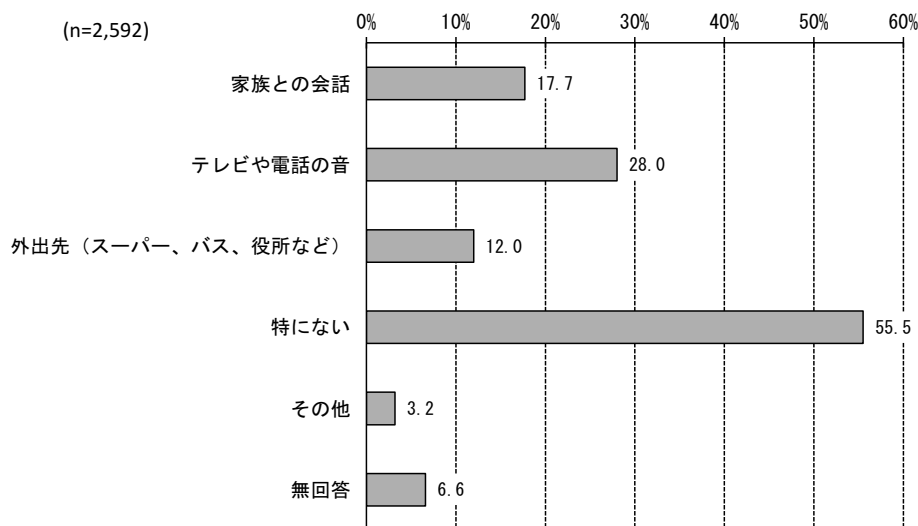
#### 【全体】

- 日常生活での聞き取りにくさを感じる場面について、「特にない」が 55.5%で最も多く、次いで「テレビや電話の音」が 28.0%、「家族との会話」が 17.7%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、全ての圏域で「特にない」が最も多く、次いで「テレビや電話の音」が多くなっています。

【聞き取りにくさ】＜複数回答＞



【聞き取りにくさ (圏域別)】＜複数回答＞

		回答者数 (人)	家族との会話	テレビや電話の音	外出先 (スーパー、バス、役所など)	特にない	その他	無回答
全体		2,592	17.7	28.0	12.0	55.5	3.2	6.6
圏域	みどり	343	18.4	27.4	15.2	57.4	3.8	5.5
	同愛	324	17.9	30.9	13.3	54.3	3.4	5.9
	なりひら	307	16.9	25.7	12.7	55.0	5.2	7.2
	こうめ	330	16.4	25.5	10.6	55.8	2.7	8.2
	むこうじま	328	18.0	26.2	10.1	57.3	1.8	7.6
	うめわか	318	20.8	31.1	12.6	54.7	2.5	6.0
	ぶんか	326	18.7	28.5	13.2	51.2	4.0	6.7
	八広はなみずき	316	14.2	28.5	8.5	57.9	2.5	6.0

## (4) 在宅医療の認知度

### ①訪問診療

#### 【全体】

- 訪問診療の認知度について、「言葉も内容も知っている」が 39.7%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 39.1%、「はじめて聞いた」が 12.3%となっています。

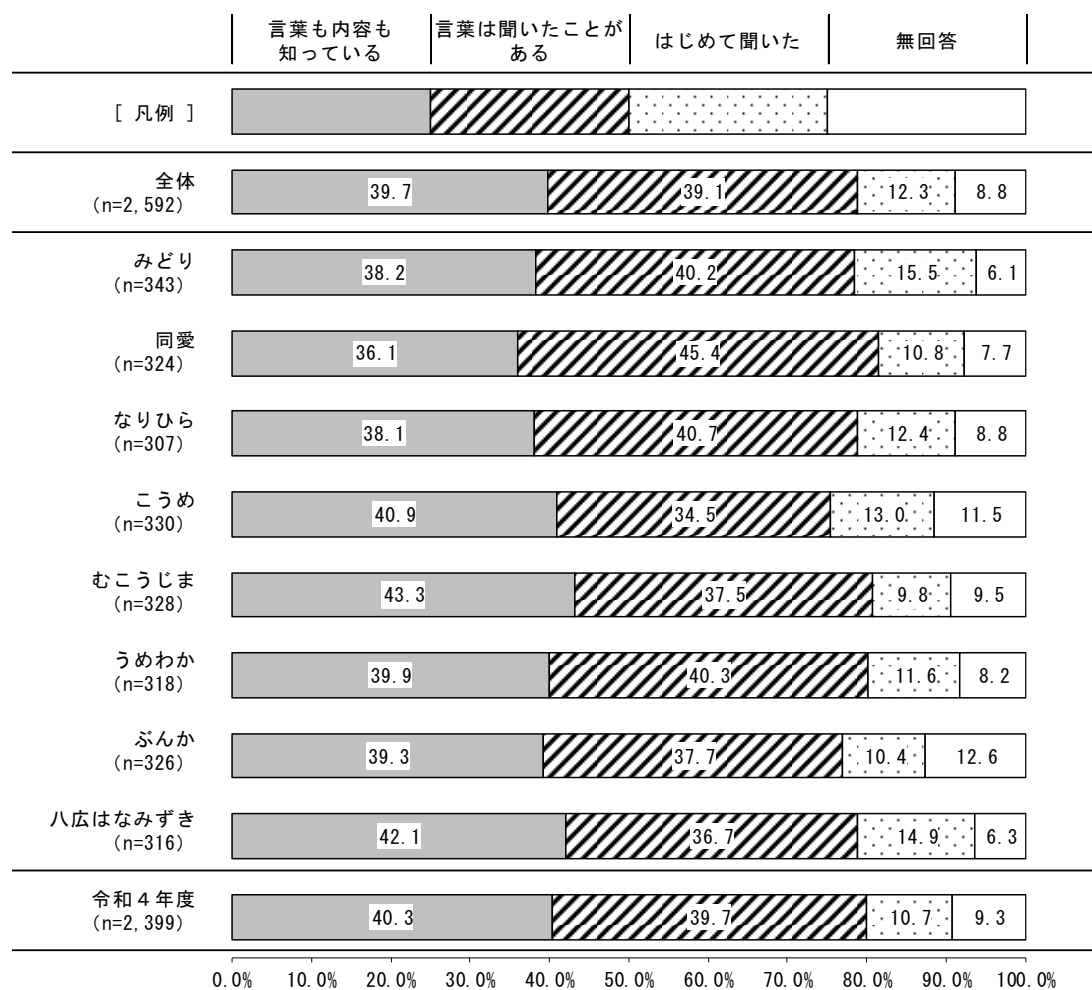
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、むこうじま（43.3%）が最も多く、同愛（36.1%）が最も少なくなっています。

【訪問診療の認知度】



## ②往診

### 【全体】

- 往診の認知度について、「言葉も内容も知っている」が 42.5%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 34.2%、「はじめて聞いた」が 12.0%となっています。

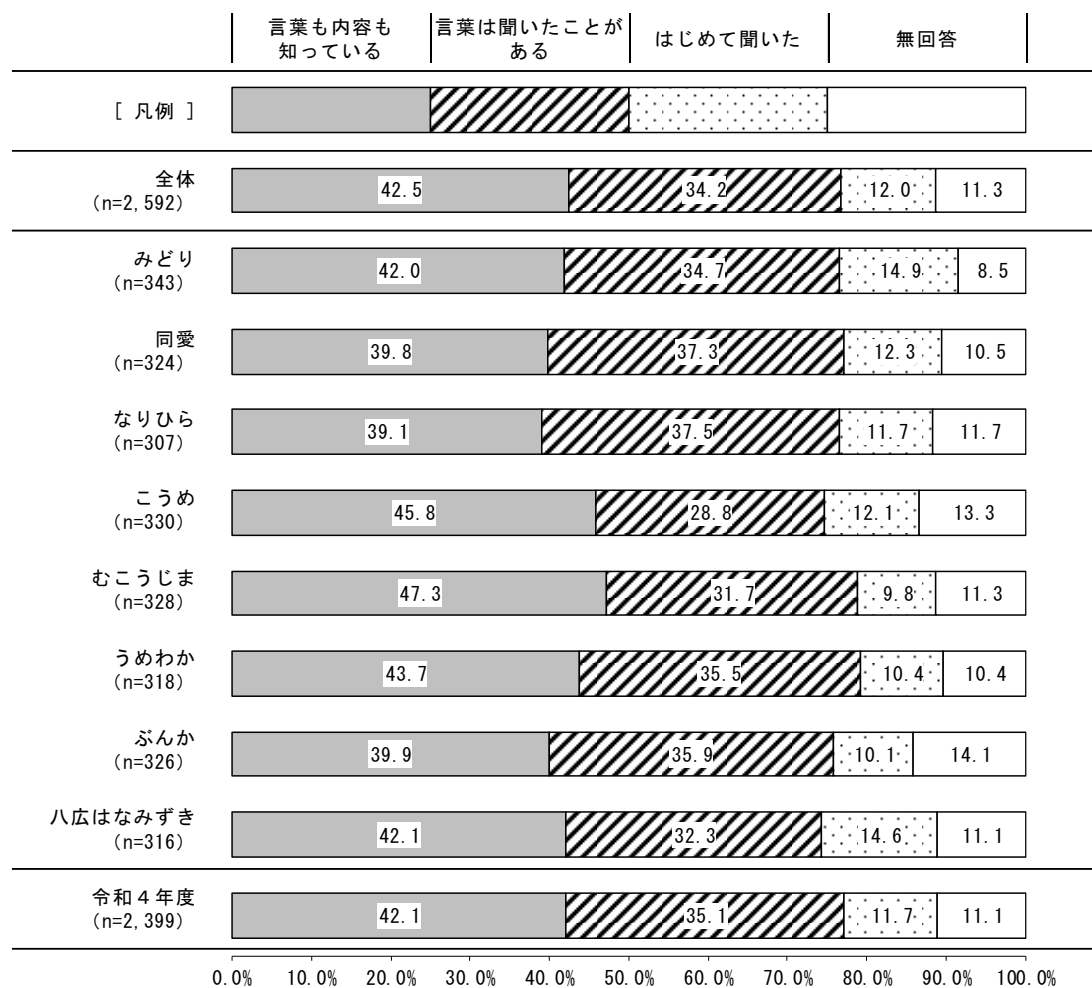
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、むこうじま（47.3%）が最も多くなっています。

### 【往診の認知度】



### ③看取り

#### 【全体】

- 看取りの認知度について、「はじめて聞いた」が 33.0%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 28.9%、「言葉も内容も知っている」が 25.0%となっています。

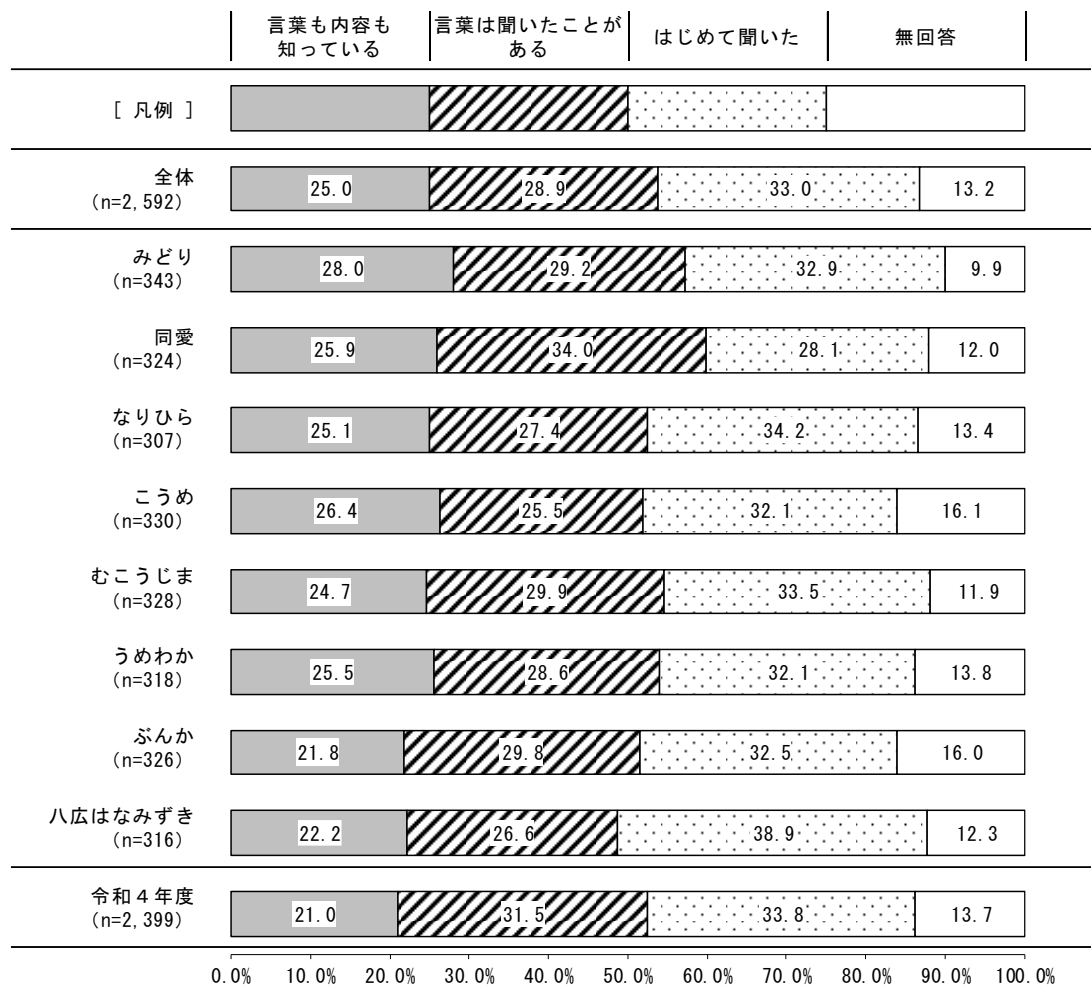
#### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「言葉も内容も知っている」（25.0%）が 4.0 ポイント増加しました。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、みどり（28.0%）が最も多くなっています。

【看取りの認知度】



#### ④訪問歯科診療

##### 【全体】

○ 訪問歯科診療の認知度について、「言葉は聞いたことがある」が 32.6%で最も多く、次いで「言葉も内容も知っている」が 28.5%、「はじめて聞いた」が 27.1%となっています。

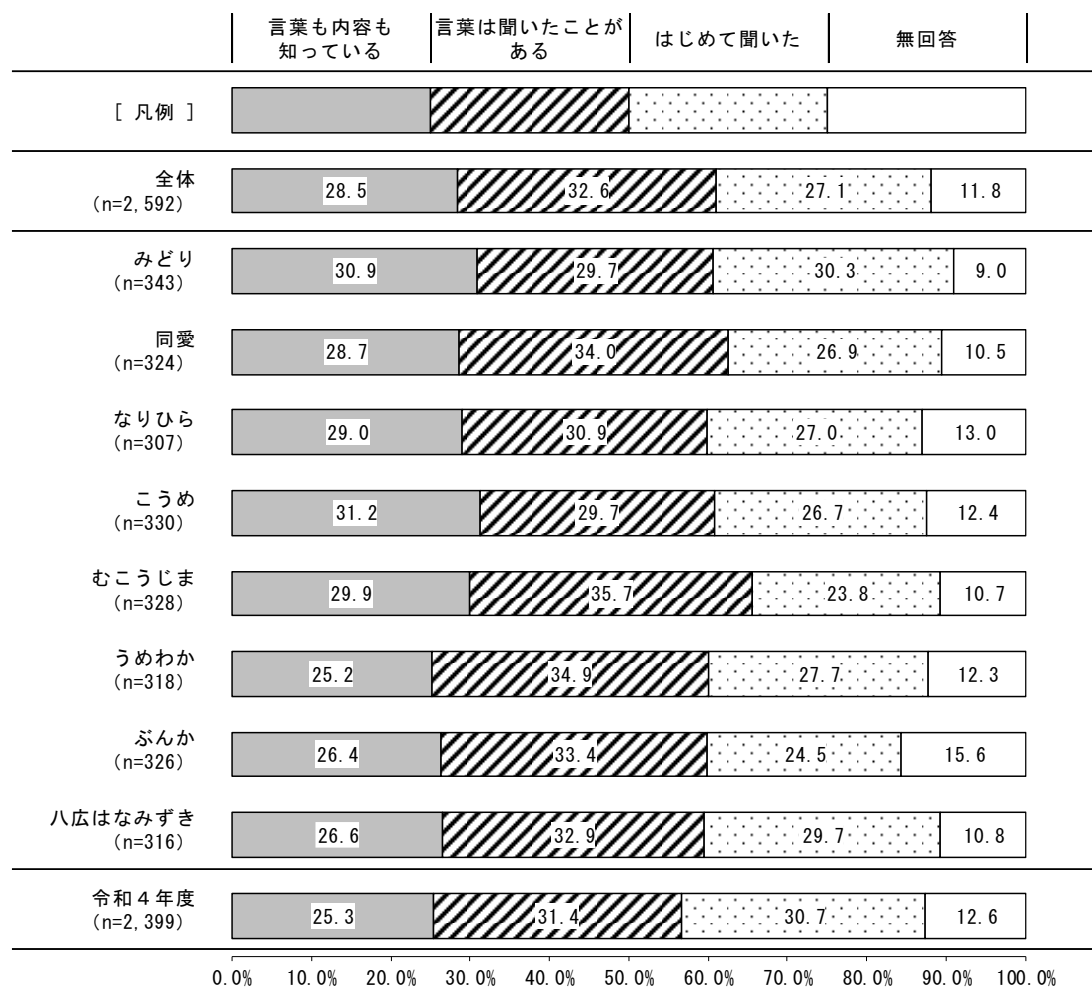
##### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較すると、「言葉も内容も知っている」（28.5%）が 3.2 ポイント増加しました。

##### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、こうめ（31.2%）が最も多くなっています。

【訪問歯科診療の認知度】



## ⑤訪問薬剤管理指導

### 【全体】

- 訪問薬剤管理指導の認知度について、「はじめて聞いた」が47.4%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が23.7%、「言葉も内容も知っている」が15.9%となっています。

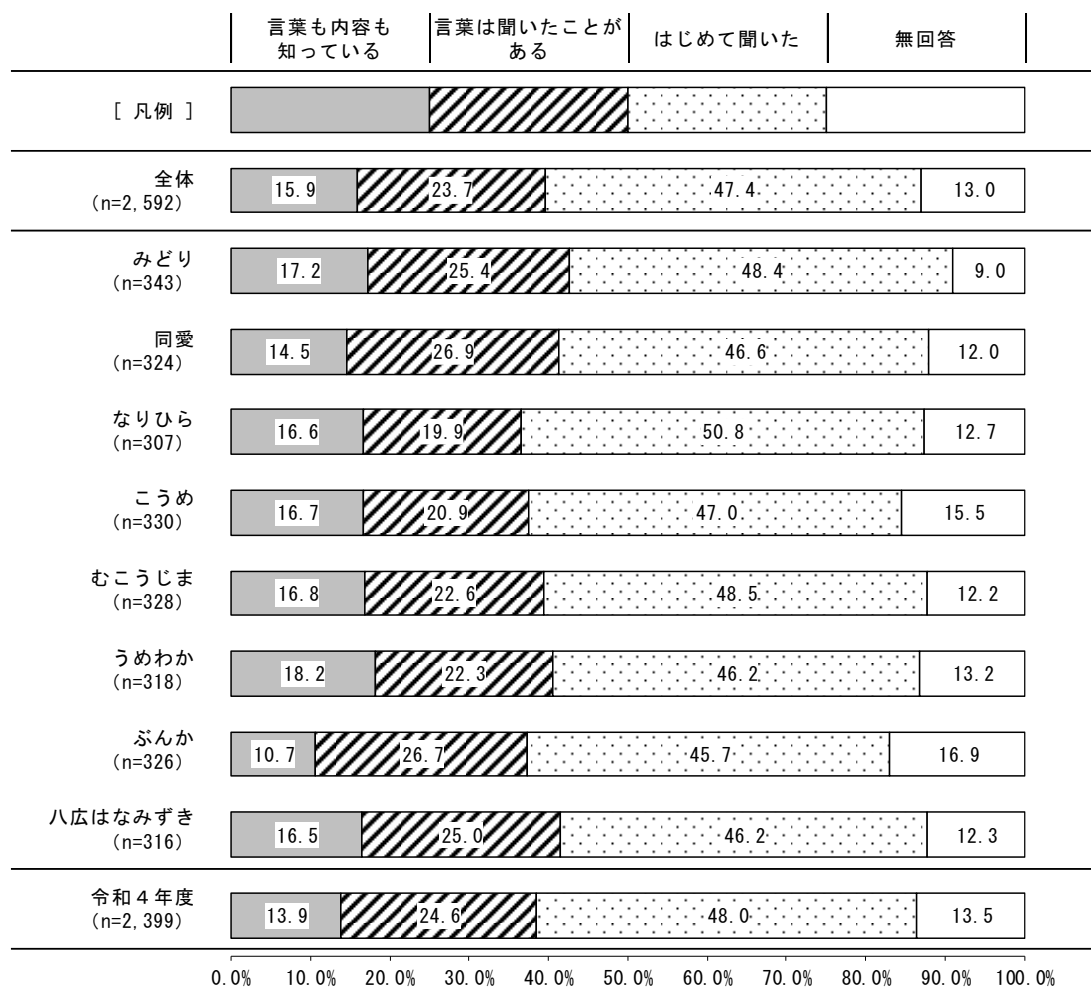
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、うめわか（18.2%）が最も多くなっています。

【訪問薬剤管理指導の認知度】



## ⑥訪問看護

### 【全体】

- 訪問看護の認知度について、「言葉も内容も知っている」が 37.1%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 35.7%、「はじめて聞いた」が 16.3%となっています。

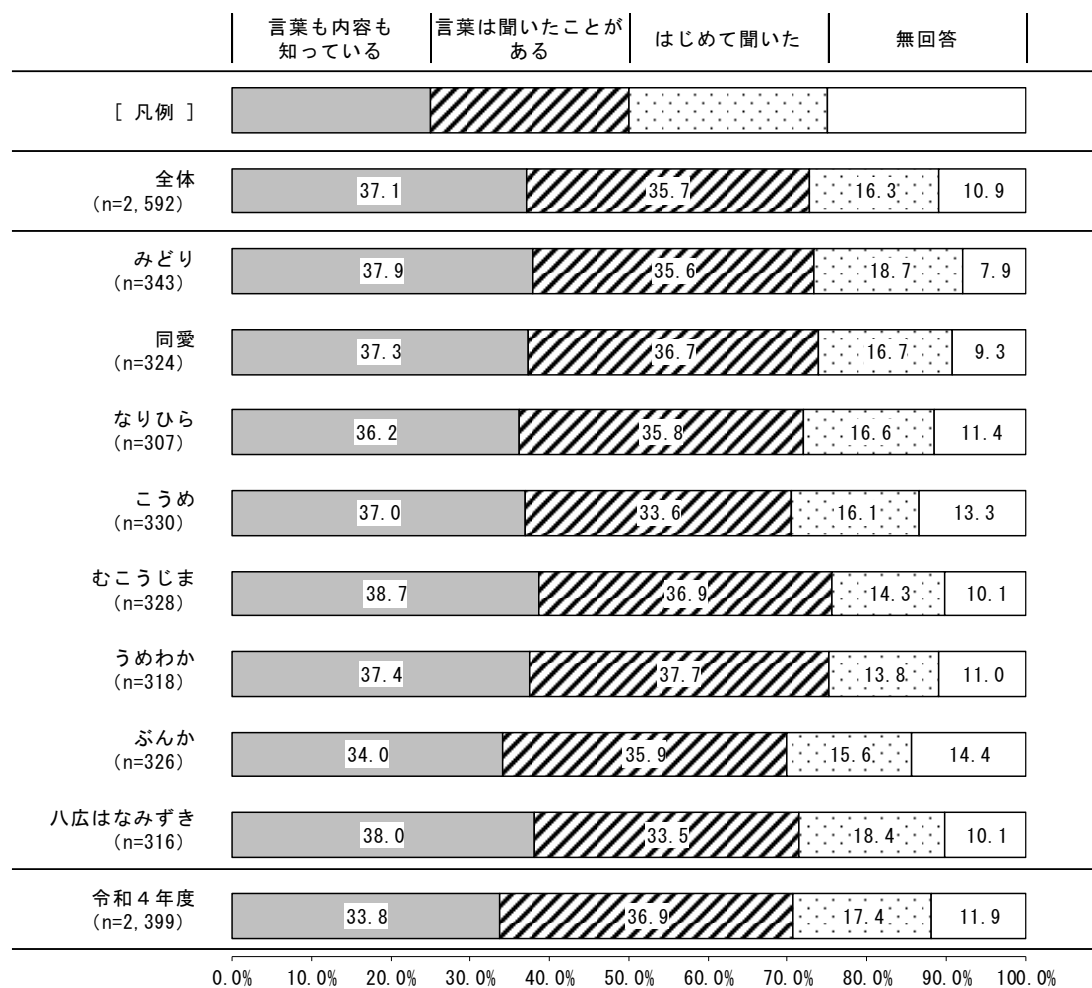
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較すると、「言葉も内容も知っている」（37.1%）が 3.3 ポイント増加しました。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」との回答は、むこうじま（38.7%）が最も多くなっています。

【訪問看護の認知度】



(5) 介護予防教室や活動への参加意向・頻度

①ストレッチ・筋力向上トレーニングへの参加意向・頻度

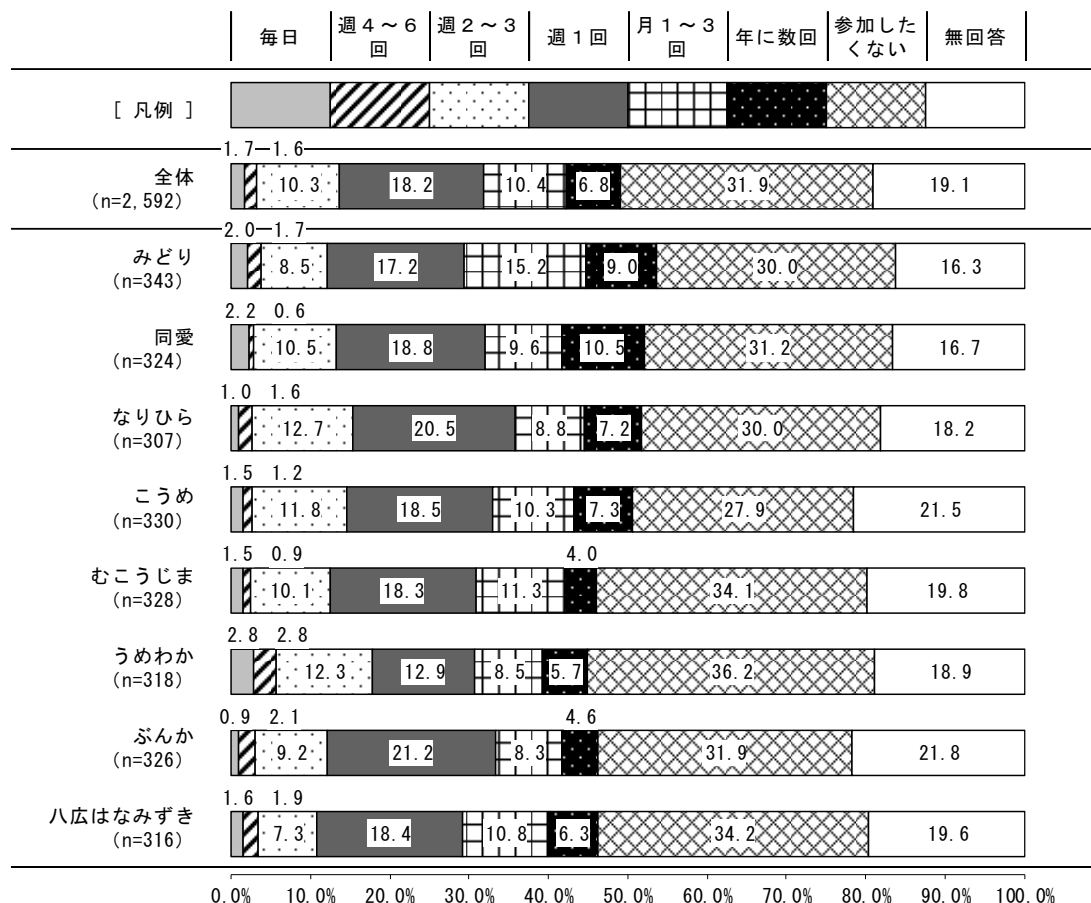
【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（ストレッチ・筋力向上トレーニング）について、「参加したくない」が31.9%で最も多く、次いで「週1回」が18.2%、「月1～3回」が10.4%となっています。

【圏域】

- 圏域別にみると、“週に1回以上参加している（「毎日」「週4～6回」「週1回」の合計）”人は、なりひら（35.8%）が、「参加したくない」との回答は、うめわか（36.2%）が最も多くなっています。

【ストレッチ・筋力向上トレーニングへの参加頻度・頻度】



## ②ダンスへの参加意向・頻度

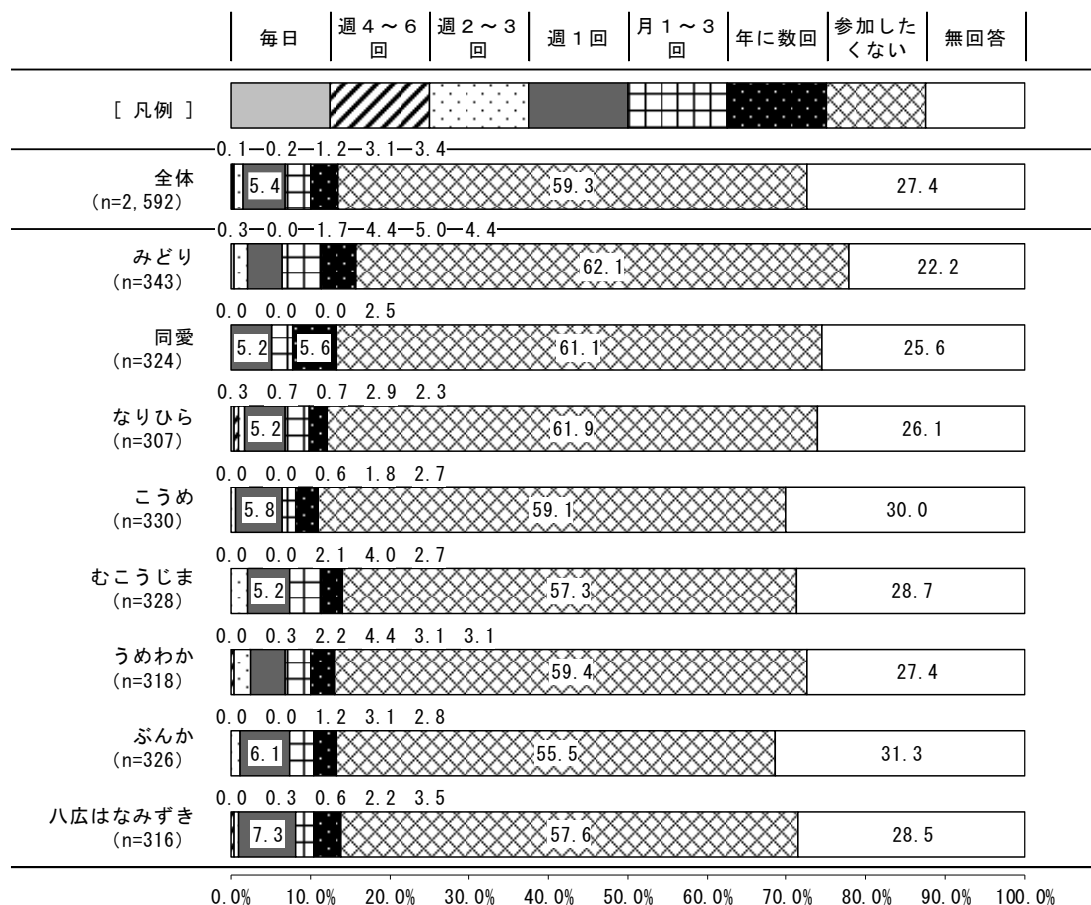
### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（ダンス）について、「参加したくない」が 59.3%で最も多く、次いで「週1回」が 5.4%、「年に数回」が 3.4%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に1回以上参加している（「毎日」「週4～6回」「週2～3回」の合計）”人は、八広はなみずき（8.2%）が、「参加したくない」との回答は、みどり（62.1%）が最も多くなっています。

【ダンスへの参加意向・頻度】



### ③社会参加プログラムへの参加意向・頻度

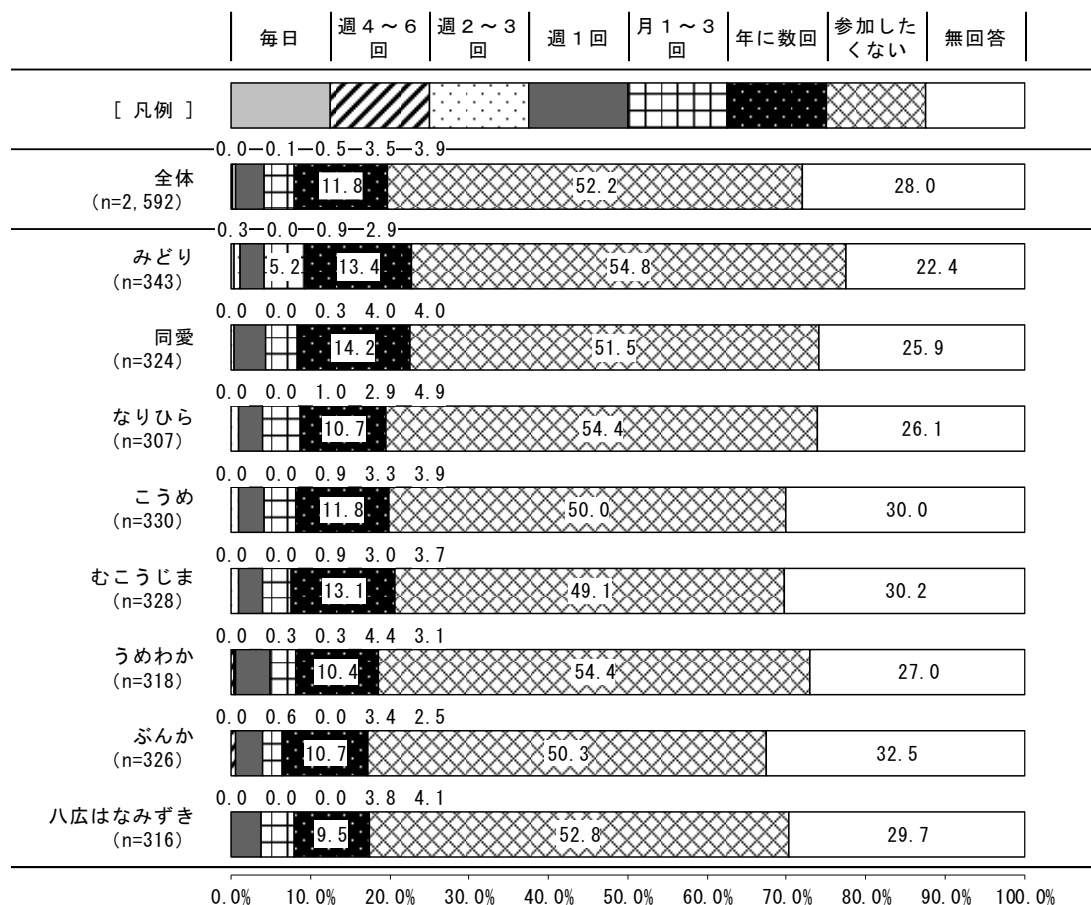
#### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（社会参加プログラム）について、「参加したくない」が 52.2%で最も多く、次いで「年に数回」が 11.8%、「月 1～3 回」が 3.9%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に 1 回以上参加している（「毎日」「週 4～6 回」「週 1 回」の合計）”人は、うめわか（5.0%）が、「参加したくない」との回答は、みどり（54.8%）が最も多くなっています。

【社会参加プログラムへの参加意向・頻度】



#### ④コーラス・音楽演奏への参加意向・頻度

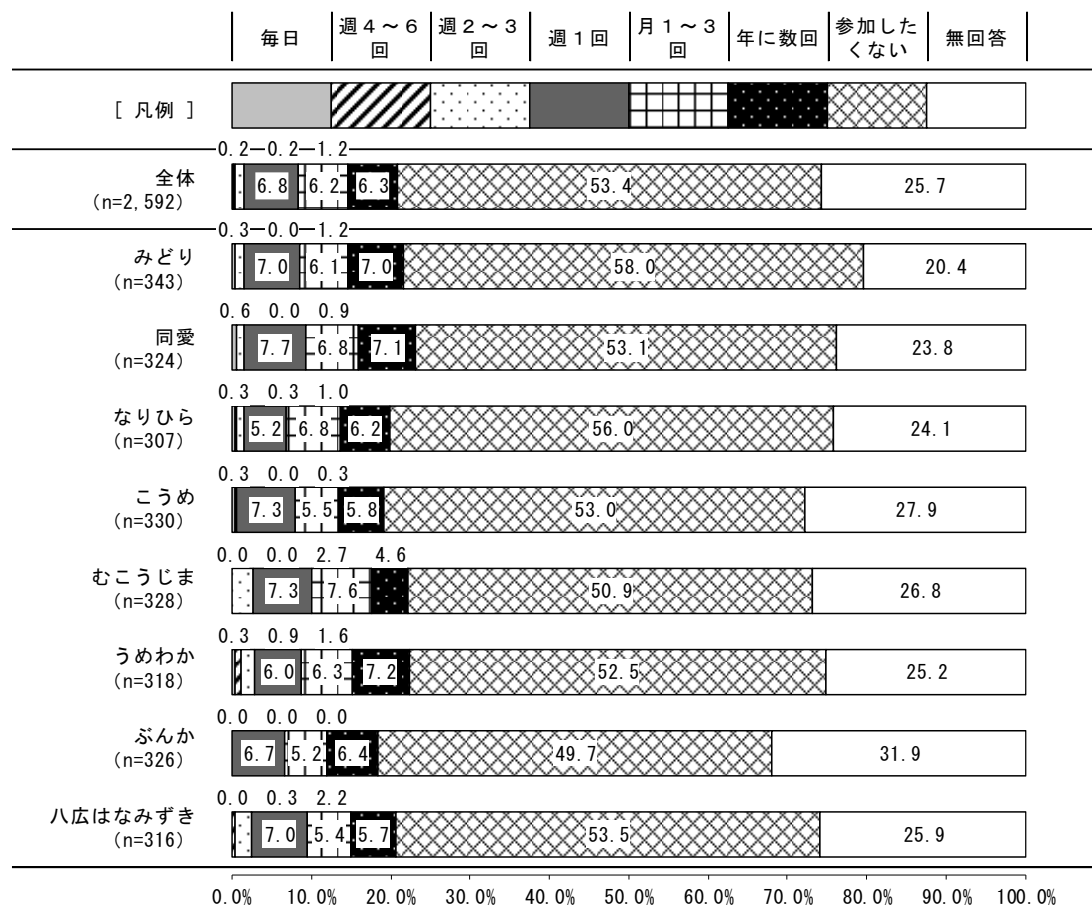
##### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（コーラス・音楽演奏）について、「参加したくない」が 53.4%で最も多く、次いで「週1回」が6.8%、「年に数回」が6.3%となっています。

##### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に1回以上参加している（「毎日」「週4～6回」「週2～3回」の合計）”人は、むこうじま（10.0%）が、「参加したくない」との回答は、みどり（58.0%）が最も多くなっています。

【コーラス・音楽演奏への参加意向・頻度】



### ⑤口腔ケアへの参加意向・頻度

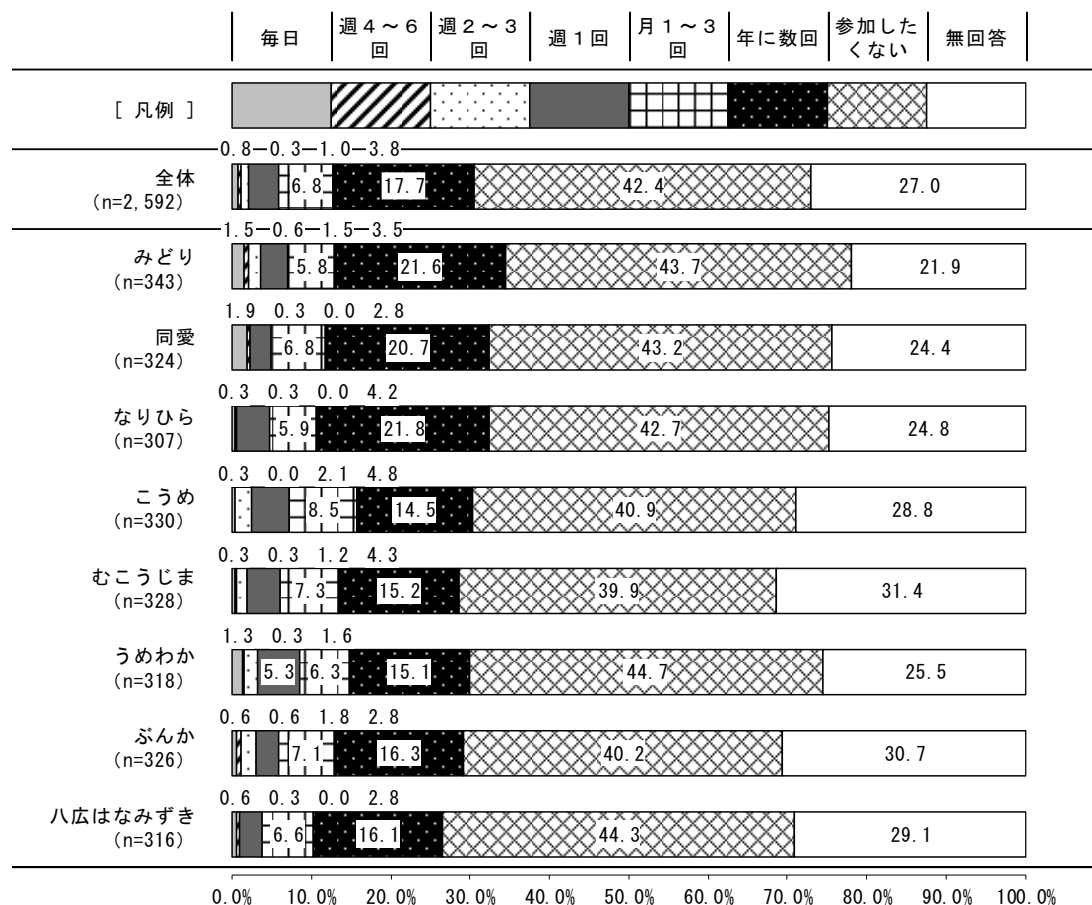
#### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（口腔ケア）について、「参加したくない」が 42.4%で最も多く、次いで「年に数回」が 17.7%、「月 1～3 回」が 6.8%となっています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に 1 回以上参加している（「毎日」「週 4～6 回」「週 2～3 回」「週 1 回」の合計）”人は、うめわか（8.5%）が、「参加したくない」との回答も、うめわか（44.7%）が最も多くなっています。

【口腔ケアへの参加意向・頻度】



## ⑥体操指導ボランティア養成講座への参加意向・頻度

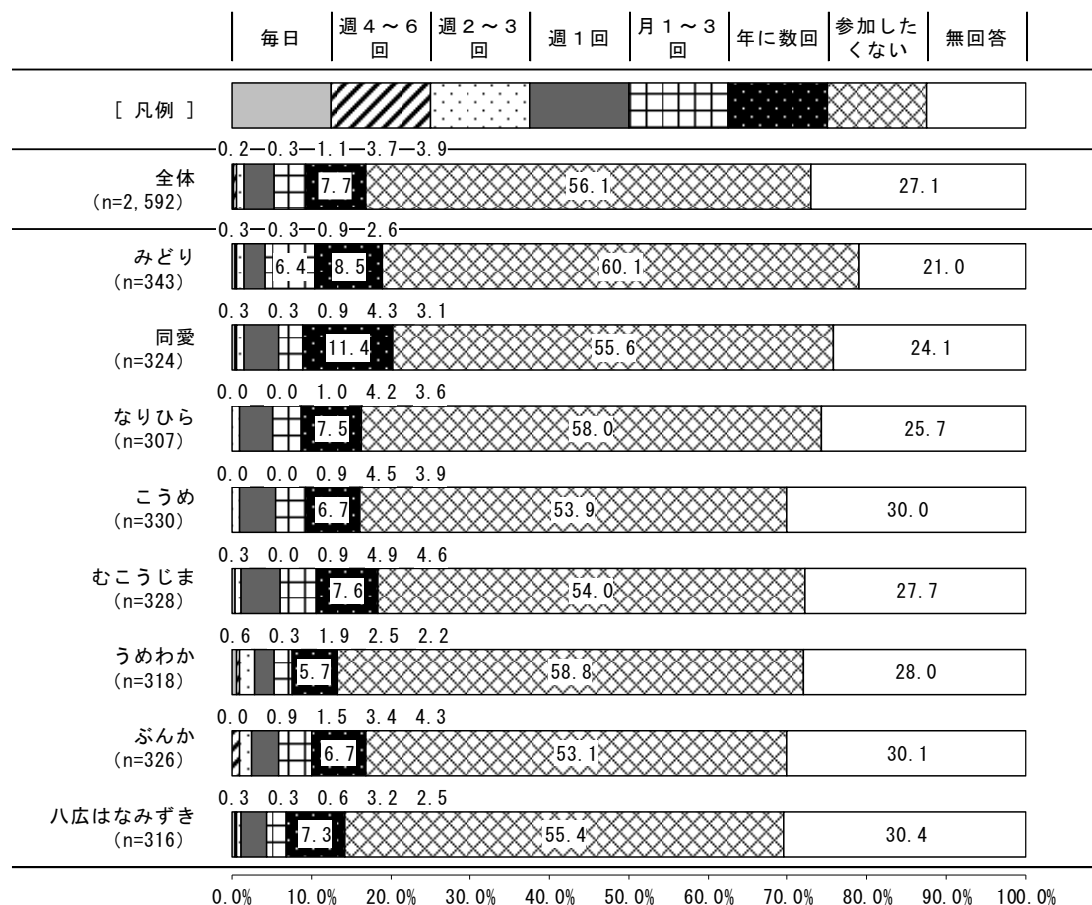
### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（体操指導ボランティア養成講座）について、「参加したくない」が56.1%で最も多く、次いで「年に数回」が7.7%、「月1～3回」が3.9%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に1回以上参加している（「毎日」「週4～6回」「週1回」の合計）”人は、むこうじま（6.1%）が、「参加したくない」との回答は、みどり（60.1%）が最も多くなっています。

【体操指導ボランティア養成講座への参加意向・頻度】



## ⑦その他への参加意向・頻度

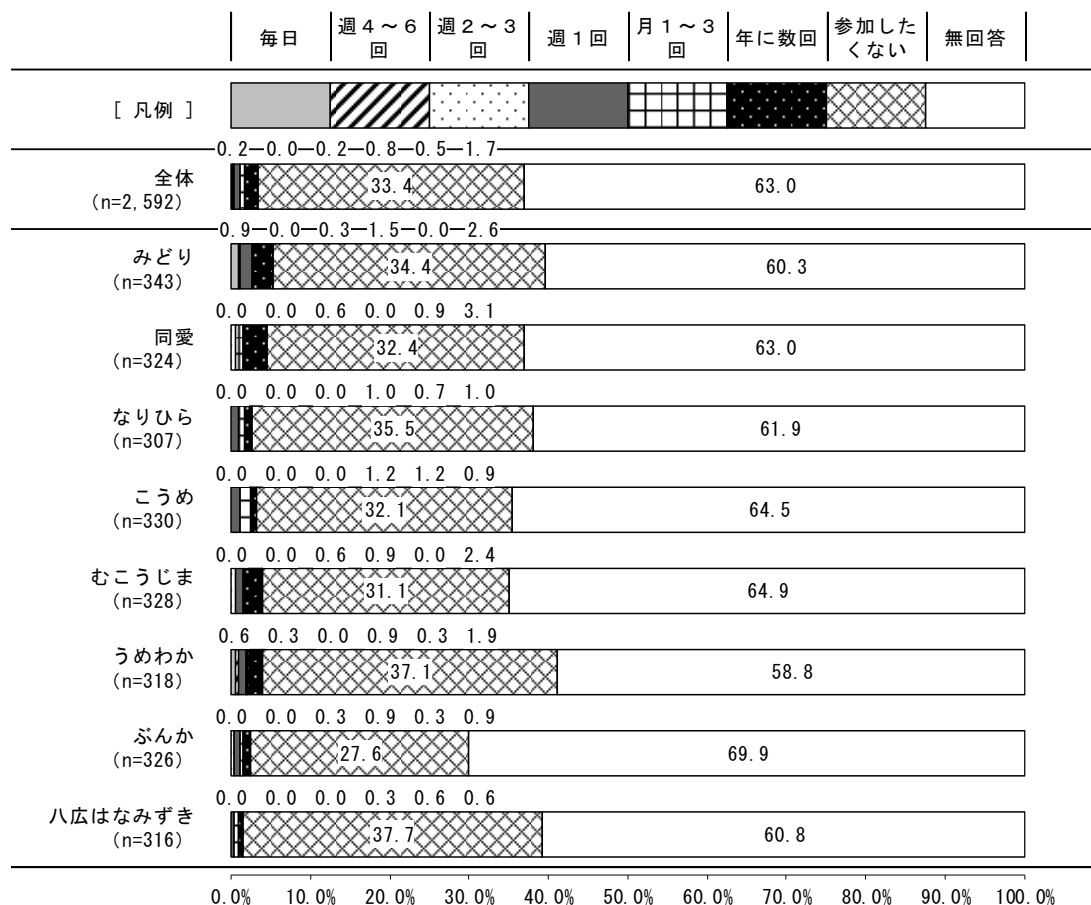
### 【全体】

- 参加してみたい介護予防活動（その他）について、「参加したくない」が 33.4%で最も多く、次いで「年に数回」が 1.7%、「週 1 回」が 0.8%となっています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、“週に 1 回以上参加している（「毎日」「週 4～6 回」「週 2～3 回」の合計）”人は、みどり（2.7%）が、「参加したくない」との回答は、八広はなみずき（37.7%）が最も多くなっています。

【その他への参加意向・頻度】



(6) 今後介護が必要になった際の生活場所

① 今後介護が必要になった際に希望する生活場所

【全体】

- 今後介護が必要になった際の希望する生活場所について、「現在の住宅に住み続けたい」が 47.4% で最も多く、次いで「介護保険で入居できる施設に入居したい」が 21.6%、「わからない」が 10.5%となっています。

【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

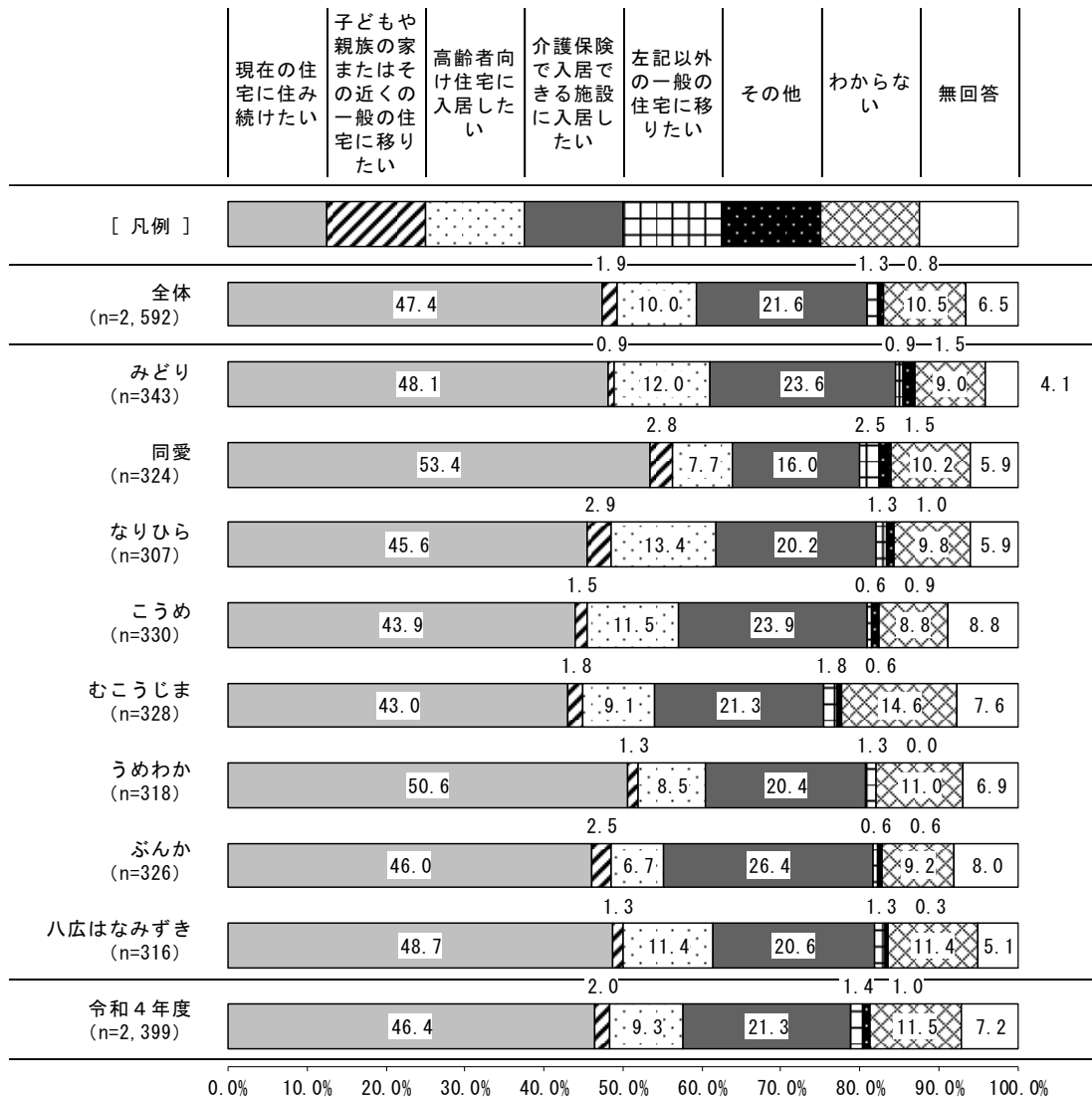
【圏域】

- 圏域別にみると、「現在の住宅に住み続けたい」は、同愛（53.4%）が最も多く、「介護保険で入居できる施設に入居したい」は、ぶんか（26.4%）が最も多くなっています。

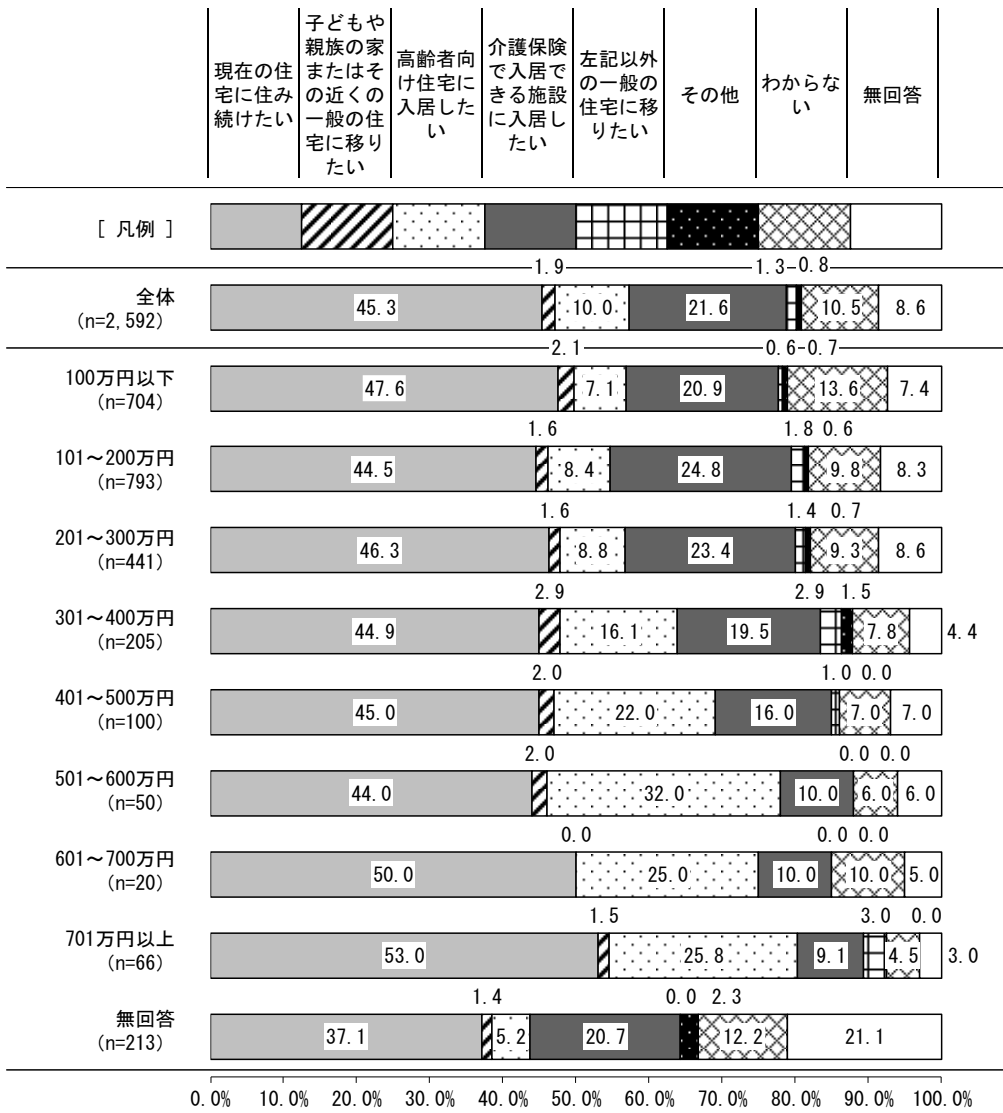
【手取り年収別】

- 手取り年収別にみると、501 万円以上から「高齢者向け住宅の入居したい」の割合が増加しています。

【今後介護が必要になった際に希望する生活場所】



【今後介護が必要になった際の生活場所（手取り年収別）】



## ②在宅療養の実現可能性

### 【全体】

- 今後介護が必要になった際の希望する生活場所で「現在の自宅」を回答した方の在宅療養の実現可能性について、「わからない」が40.0%で最も多く、次いで「実現可能だと思う」が39.9%、「実現は難しいと思う」が16.1%となっています。

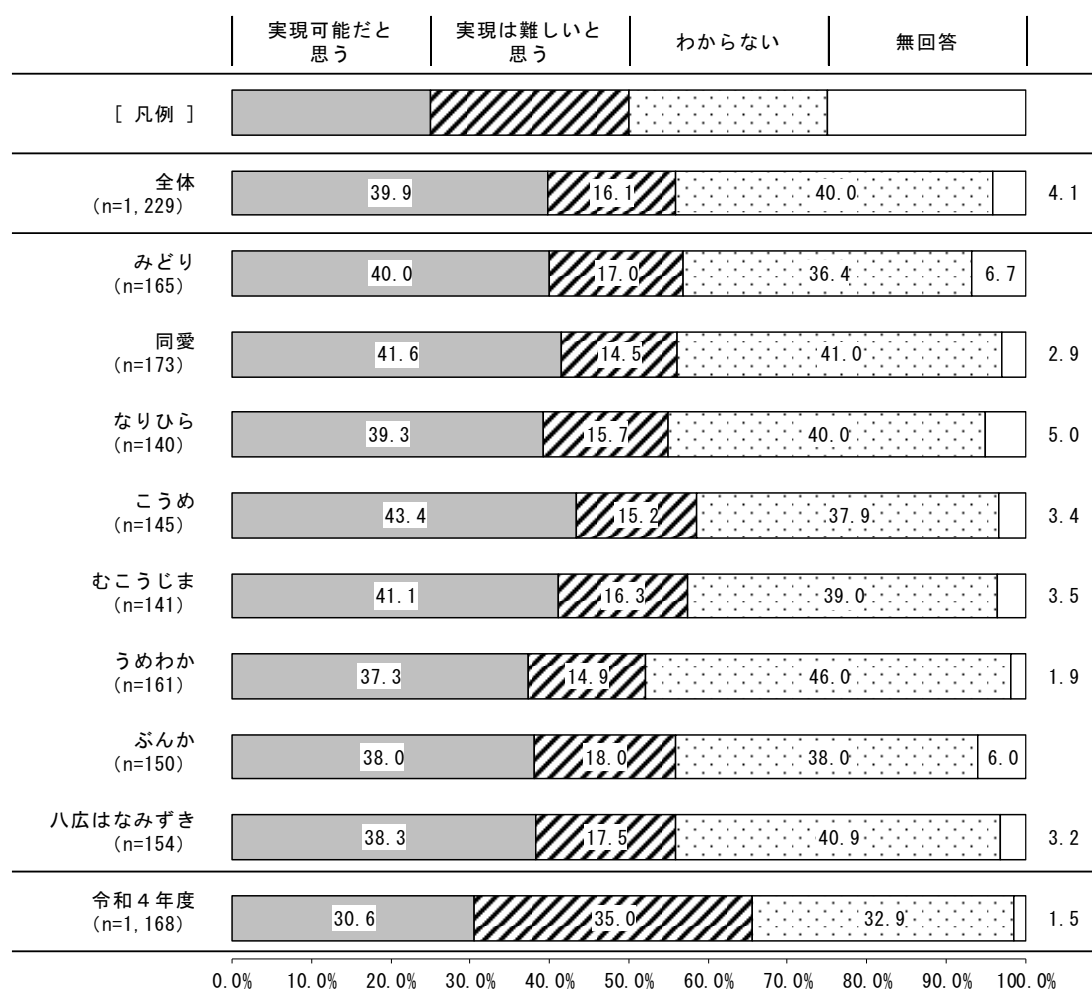
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、「実現可能だと思う」（39.9%）が9.3ポイント、「わからない」が7.1ポイント増加し、「実現は難しいと思う」（16.1%）が18.9ポイント減少しています。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「実現可能だと思う」は、こうめ（43.4%）が最も多く、うめわか（37.3%）が最も少なくなっています。

【在宅療養の実現可能性】



### ③在宅療養の実現が難しいと思う理由

#### 【全体】

- 今後介護が必要になった際の希望する生活場所で「現在の自宅」以外を回答した方の在宅療養が難しいと思う理由について、「家族に負担をかけるから」が 43.0%で最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が 24.6%、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」が 17.1%となっています。

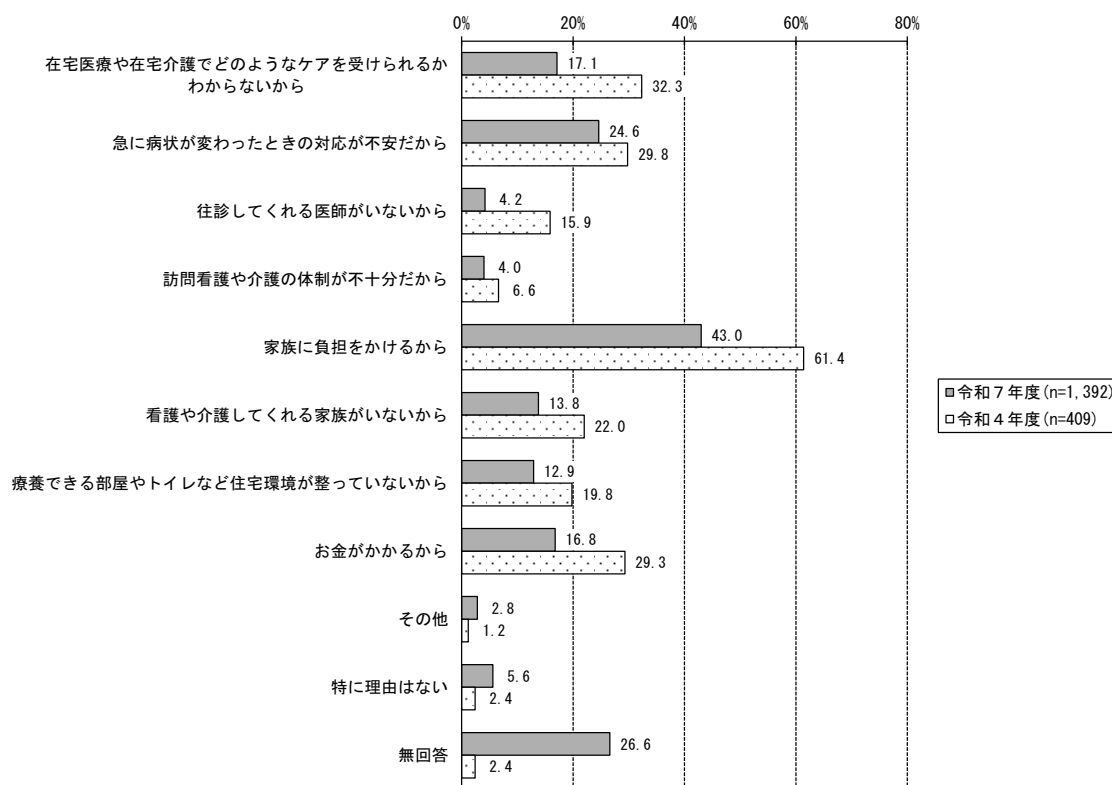
#### 【経年（※）】

- 前回（令和4年度）と比較して、無回答を除くと、上位3項目で「家族に負担をかけるから」（1位）以外の「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」（前回2位、今回3位）、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（前回3位、今回2位）の順位が変化しています。

#### 【圏域】

- 圏域別にみると、「家族に負担をかけるから」「急に病状が変わったときの対応が不安だから」「看護や介護してくれる家族がないから」「療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから」は、みどり（それぞれ、46.9%、30.7%、17.2%、17.7%）が、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」「お金がかかるから」は、なりひら（それぞれ、19.9%、20.5%）が最も多くなっています。

【在宅療養が困難な理由】＜複数回答＞



※前回（令和4年度）は「自宅での介護の可否で『実現は難しい』と回答した方」のみを本設問の回答対象とし、今回は令和4年度の同様の回答の方と「今後介護が必要になった際の生活の場所で『自宅』を選択しなかった方」を本設問の回答対象としており、回答条件が異なります。

【在宅療養が困難な理由（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから	在宅医療や在宅介護でどの急に病状が変わったときの対応が不安だから	往診してくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	看護や介護してくれる家族がいないから	療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから	お金がかかるから	その他	特に理由はない	無回答	
全体	1,392	17.1	24.6	4.2	4.0	43.0	13.8	12.9	16.8	2.8	5.6	26.6	
圏域	みどり	192	19.3	30.7	5.7	6.8	46.9	17.2	17.7	16.1	3.6	5.7	18.2
	同愛	157	14.0	20.4	3.2	6.4	43.9	15.9	10.8	15.3	5.1	6.4	22.3
	なりひら	171	19.9	23.4	4.1	2.9	43.3	16.4	11.1	20.5	0.6	2.9	28.1
	こうめ	178	18.0	20.2	4.5	2.8	42.1	9.6	16.3	16.9	3.4	2.2	30.9
	むこうじま	185	17.8	29.7	4.9	3.8	43.2	10.8	13.5	14.1	3.2	7.6	23.2
	うめわか	159	17.0	28.3	4.4	2.5	42.1	10.7	10.1	18.2	2.5	6.3	31.4
	ぶんか	177	18.6	25.4	5.6	4.5	44.1	15.8	10.7	18.6	1.1	5.6	25.4
	八広はなみずき	173	11.6	17.3	1.2	2.3	38.2	13.9	11.6	15.0	2.9	8.1	34.1

## (7) 人生の最終段階に受けたい医療やケアの相談状況

### 【全体】

○ 人生の最終段階に受けたい医療やケアの相談状況について、「同居の家族・親族」が 38.7%で最も多く、次いで「話し合っていない」が 37.1%、「別居の家族・親族」が 21.0%となっています。

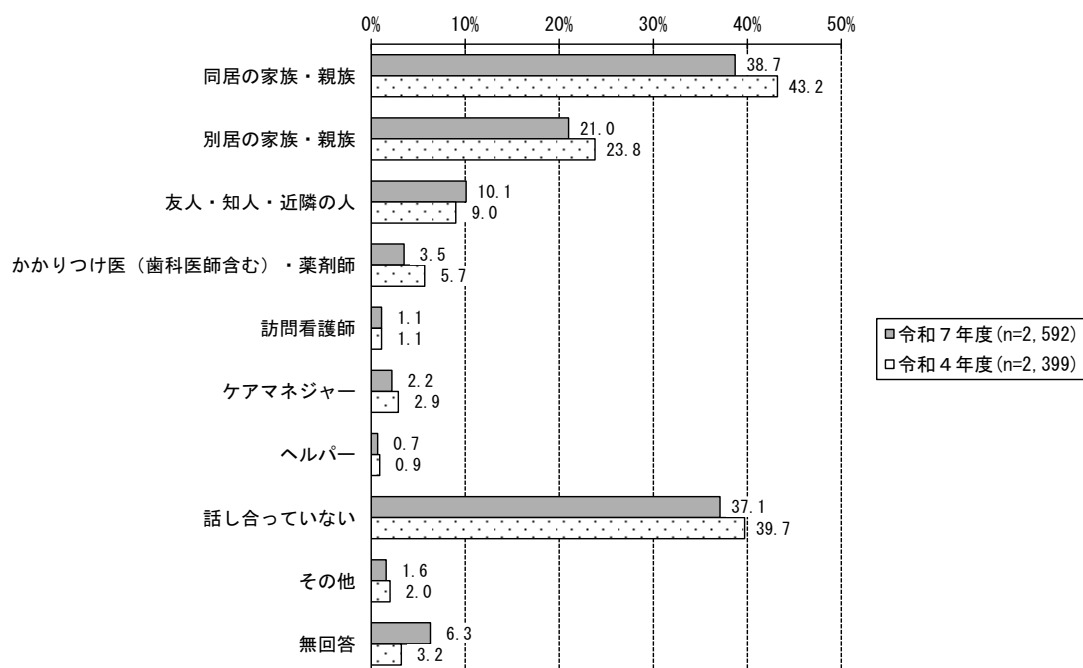
### 【経年】

○ 前回（令和4年度）と比較して、相談先は「友人・知人・近隣の人」（10.1%）、「訪問看護師」（1.1%）を除いて全体的に減少傾向です。

### 【圏域】

○ 圏域別にみると、「同居の家族・親族」は、なりひら（43.6%）が、「別居の家族・親族」は、むこうじま（25.3%）が、「友人・知人・近隣の人」は、同愛（12.7%）が、「話し合っていない」は、八広はなみずき（44.9%）が最も多くなっています。

【人生の最終段階に受けたい医療やケアの相談状況】＜複数回答＞



【人生の最終段階に受けたい医療やケアの相談状況（圏域別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	同居の家族・親族	別居の家族・親族	友人・知人・近隣の人	かかりつけ医（歯科医師含む）・薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー	ヘルパー	話し合っていない	その他	無回答	
全体	2,592	38.7	21.0	10.1	3.5	1.1	2.2	0.7	37.1	1.6	6.3	
圏域	みどり	343	41.7	16.0	9.6	2.9	1.5	2.3	-	38.5	1.2	2.6
	同愛	324	37.0	22.5	12.7	3.4	0.9	1.5	0.9	38.9	1.9	4.6
	なりひら	307	43.6	23.8	10.1	4.2	2.0	2.3	1.0	31.6	1.6	4.6
	こうめ	330	40.9	21.2	10.0	5.2	1.2	3.3	1.2	33.0	0.9	8.8
	むこうじま	328	38.1	25.3	12.5	3.4	-	1.2	0.3	34.8	1.5	7.6
	うめわか	318	38.1	20.4	6.9	3.1	1.3	2.2	0.9	38.1	2.2	6.6
	ぶんか	326	35.6	21.5	10.1	4.0	1.5	2.1	0.3	36.8	1.5	9.8
	八広はなみずき	316	34.2	17.4	8.9	2.2	0.3	2.5	0.9	44.9	2.2	5.4

## (8) 人生会議の認知度

### 【全体】

- 人生会議（ACP）の認知について、「はじめて聞いた」が80.5%で最も多く、次いで「言葉は知っている」が9.8%、「言葉も内容も知っている」が2.6%となっています。

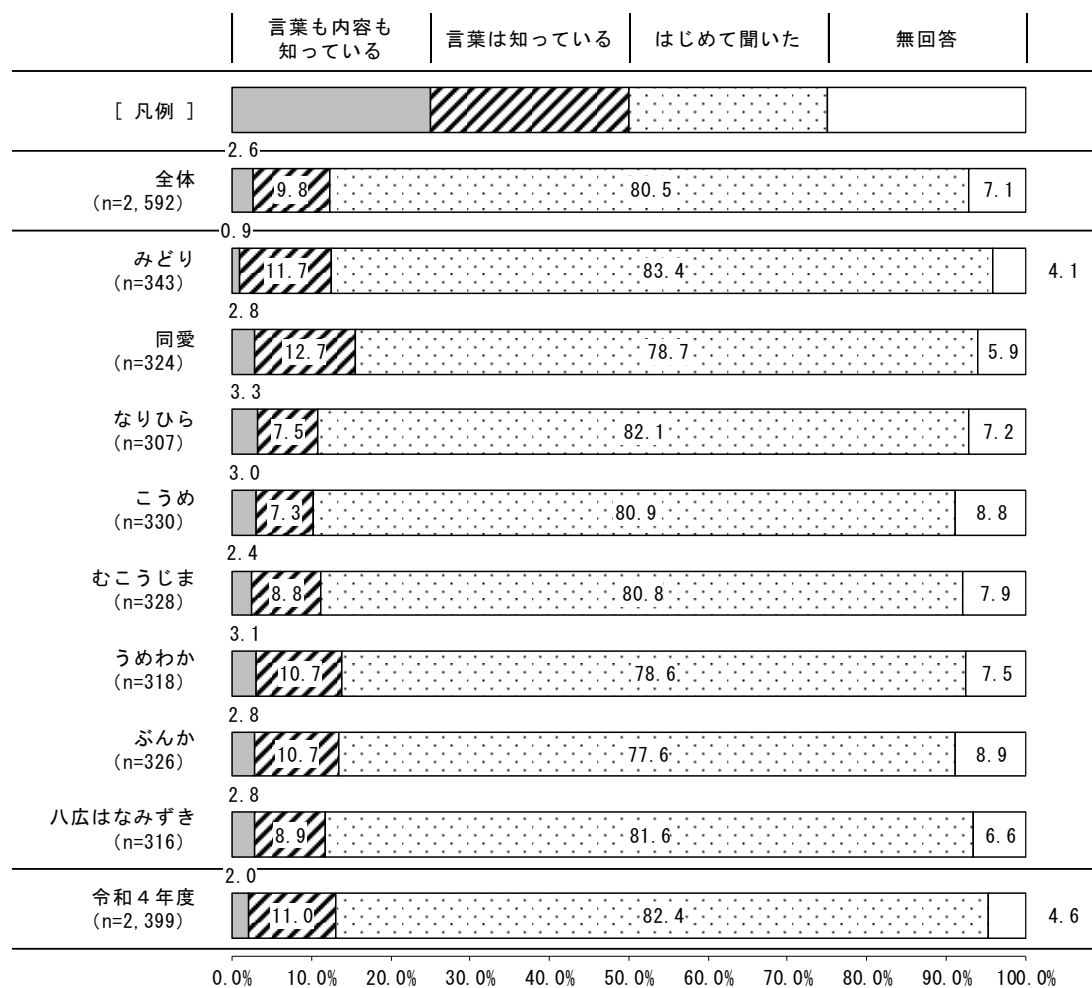
### 【経年】

- 前回（令和4年度）と比較して、顕著な差はみられません。

### 【圏域】

- 圏域別にみると、「言葉も内容も知っている」は、なりひら（3.3%）が、「言葉は知っている」は、同愛（12.7%）が、「はじめて聞いた」は、みどり（83.4%）が最も多くなっています。

【人生会議の認知度】





## 第3章

# 在宅介護実態調査

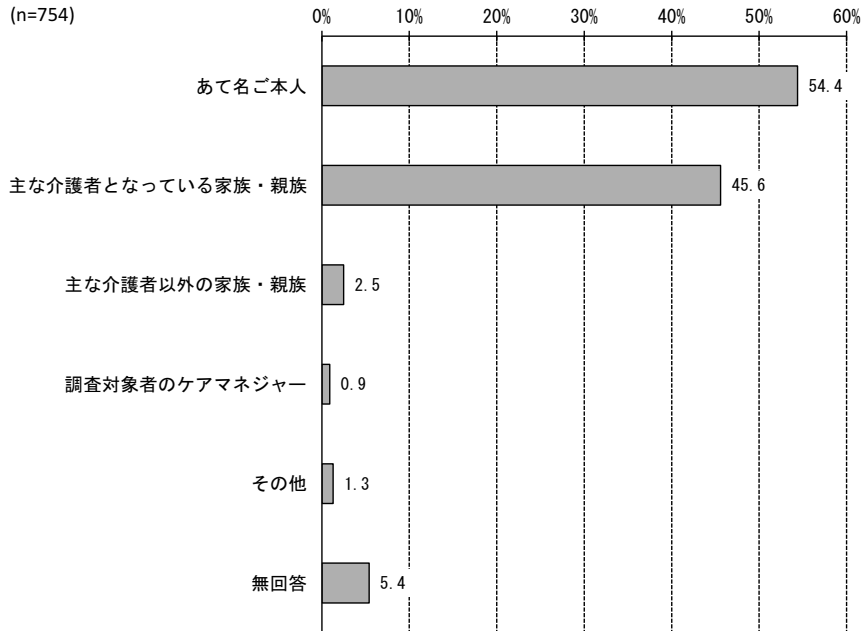


## 1. 基本属性

### (1) 調査票の記入者

- 「あて名ご本人」が 54.4%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 45.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が 2.5%となっています。

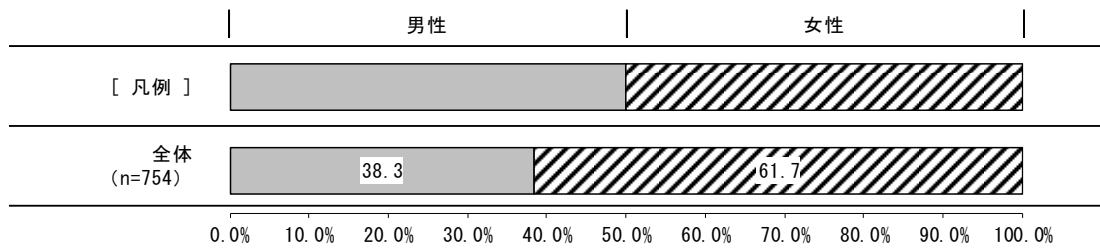
【調査票の記入者】＜複数回答＞



### (2) 本人の性別

- 「男性」が 38.3%、「女性」が 61.7%となっています。

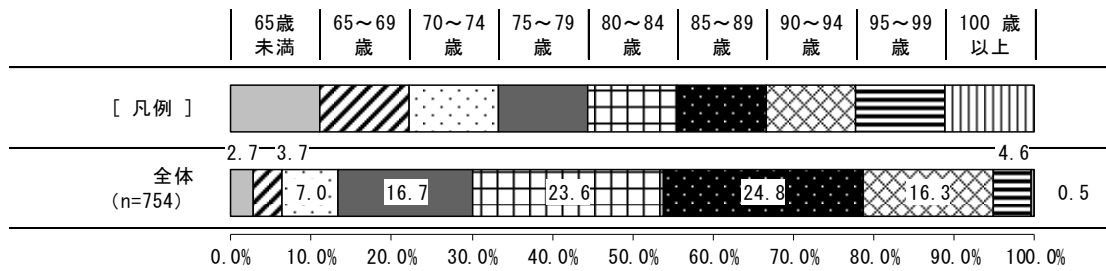
【本人の性別】



### (3) 本人の年齢

- 「85～89歳」が24.8%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.6%、「75～79歳」が16.7%となっています。

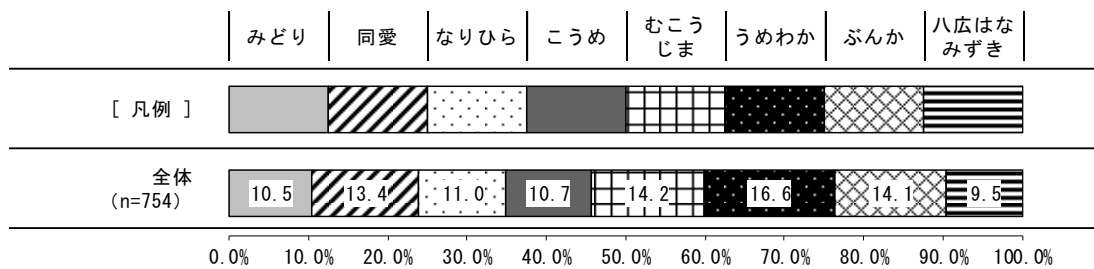
【本人の年齢】



### (4) 本人の居住圏域

- 本人の居住圏域は、「みどり」が10.5%、「同愛」が13.4%、「なりひら」が11.0%、「こうめ」が10.7%、「むこうじま」が14.2%、「うめわか」が16.6%、「ぶんか」が14.1%、「八広はなみずき」が9.5%となっています。

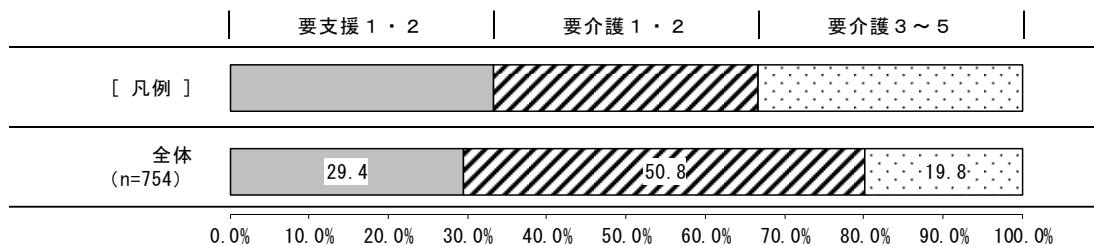
【本人の居住圏域】



### (5) 要支援・要介護認定の状況

- 要支援・要介護認定の状況は、「要支援1・2」が29.4%、「要介護1・2」が50.8%、「要介護3～5」が19.8%となっています。

【要支援・要介護認定の状況】



(6) 世帯類型 (A票・問1)

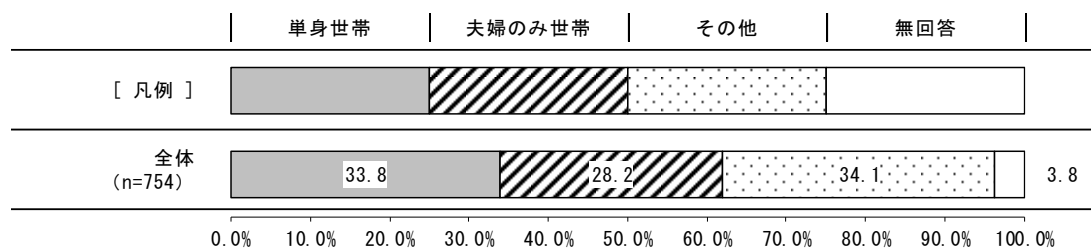
【全体】

○ 「単身世帯」が33.8%、「夫婦のみ世帯」が28.2%となっています。

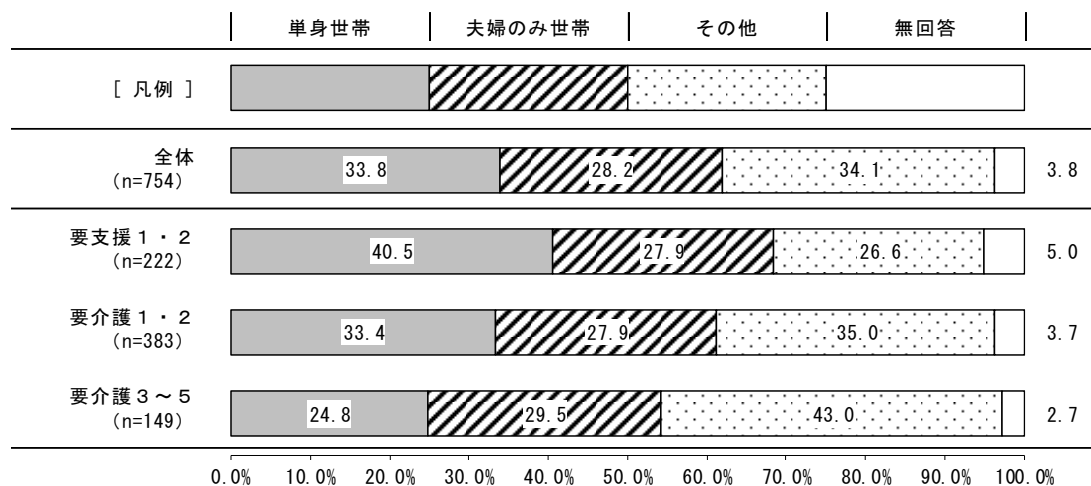
【要介護度別】

○ 要介護度別にみると、全体と比べて『要支援1・2』では「単身世帯」(40.5%)が多く、要介護度が高くなるにつれて「単身世帯」が減少し、「その他」が増加しています。

【世帯類型】



【世帯類型 (要介護度別)】



## 2. 本人の介護等の状況

### (1) 受けている介護の頻度 (A票・問2)

#### 【全体】

- 「ほぼ毎日ある」が39.1%で最も多く、次いで「うけていない」が25.5%、「週に1～2日ある」が11.8%となっています。

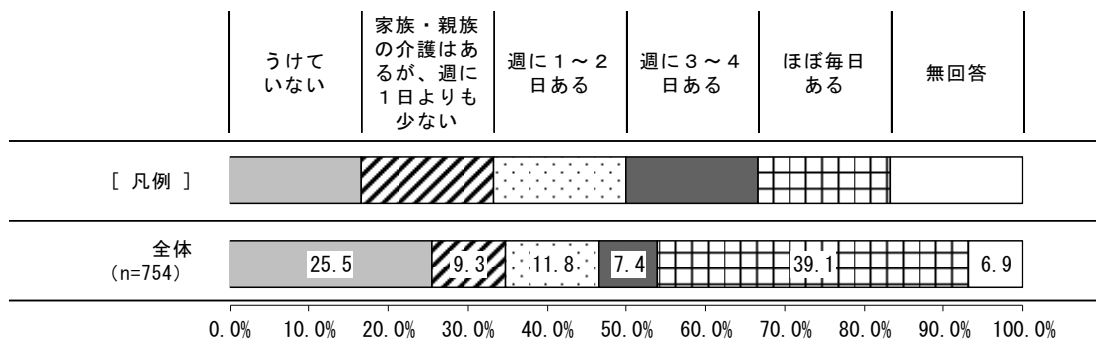
#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、全体と比べて『要支援1・2』では「うけていない」(44.6%)が多いのに対し、『要介護1・2』『要介護3～5』では「ほぼ毎日ある」(それぞれ39.9%、67.8%)が多くなっています。

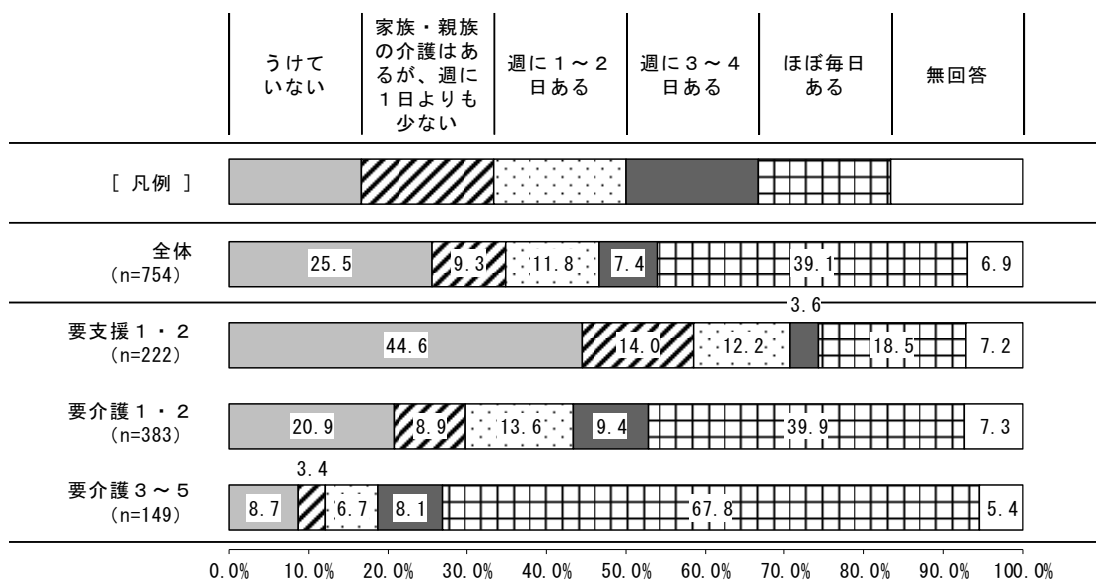
#### 【世帯類型別・要介護度別】

- 単身世帯は、要介護度が高くなるにつれて介護の頻度が増えています。一方で、夫婦のみ世帯やその他の他は、『要支援1・2』は「うけていない」が多くなっていますが、『要介護1・2』でも「ほぼ毎日ある」が大きく増加しています。

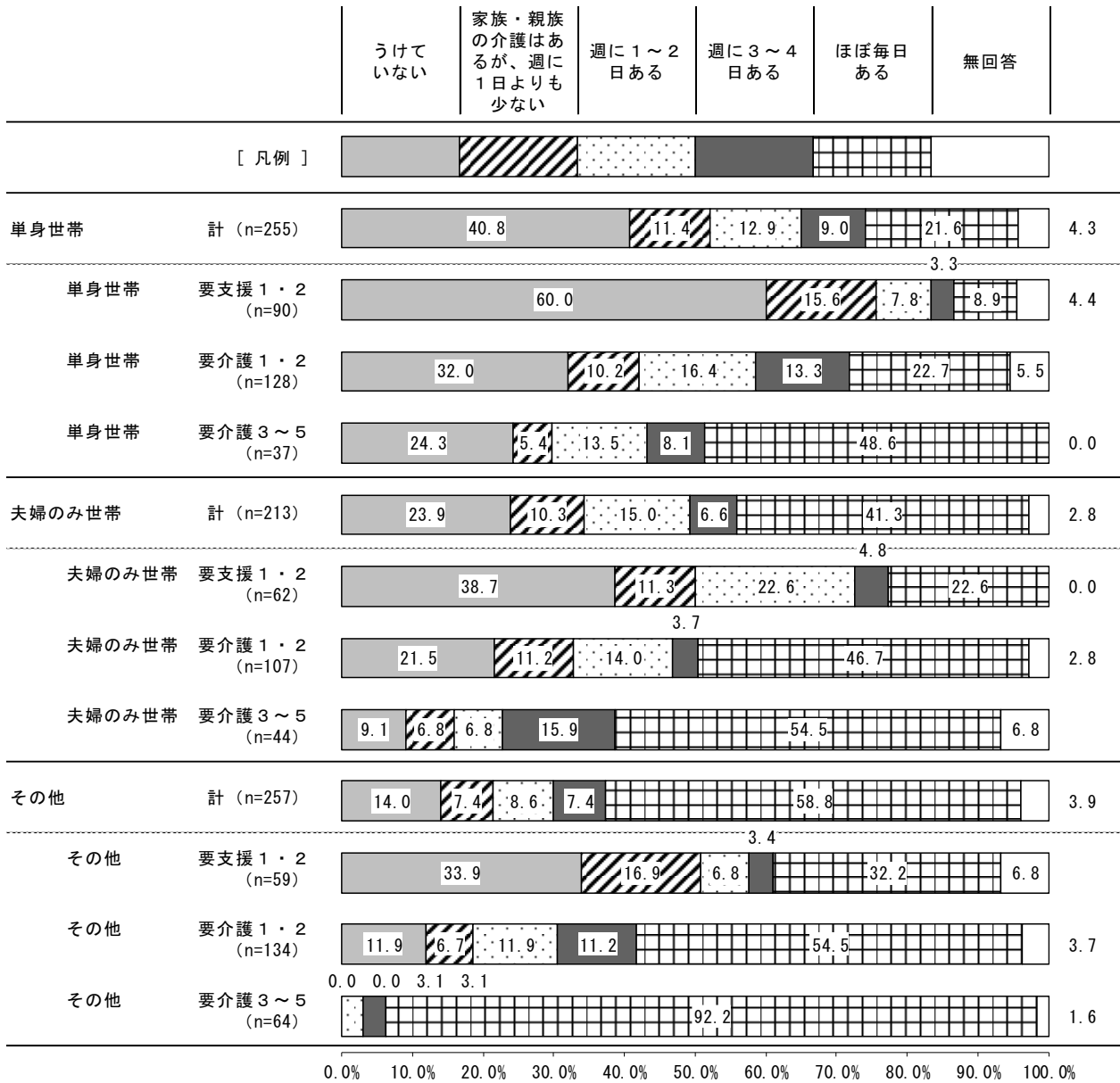
#### 【受けている介護の頻度】



#### 【受けている介護の頻度 (要介護度別)】



【受けている介護の頻度（世帯類型別・要介護度別）】



## (2) 主な介護者

### ①主な介護者（A票・問3）

#### 【全体】

○ 「子」が51.4%で最も多く、次いで「配偶者」が29.6%、「子の配偶者」が4.9%となっています。

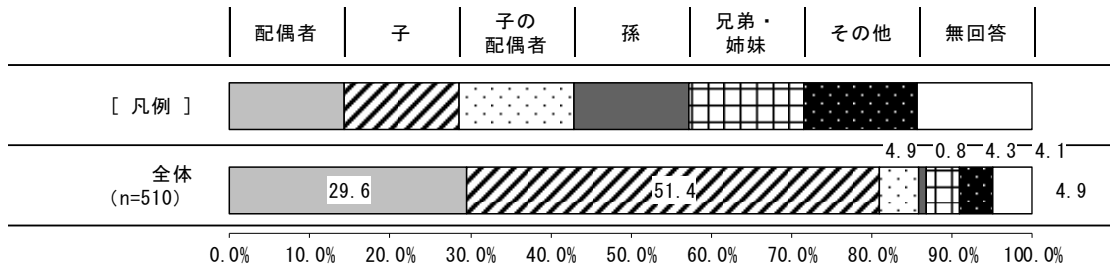
#### 【要介護度別】

○ 要介護度別にみると、要介護度が高くなると「子」が少なくなり、「配偶者」が多くなっています。

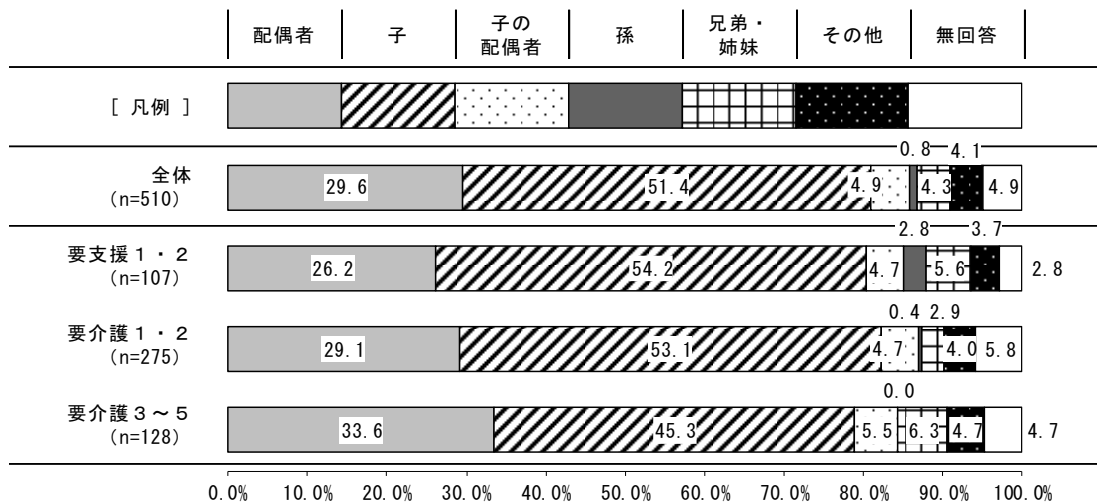
#### 【世帯類型別】

○ 世帯類型別にみると、全体と比べて『単身世帯』では「子」(69.3%)が多く、『夫婦のみ世帯』では「配偶者」(72.4%)、『その他』では「子」(61.6%)がそれぞれ多くなっています。

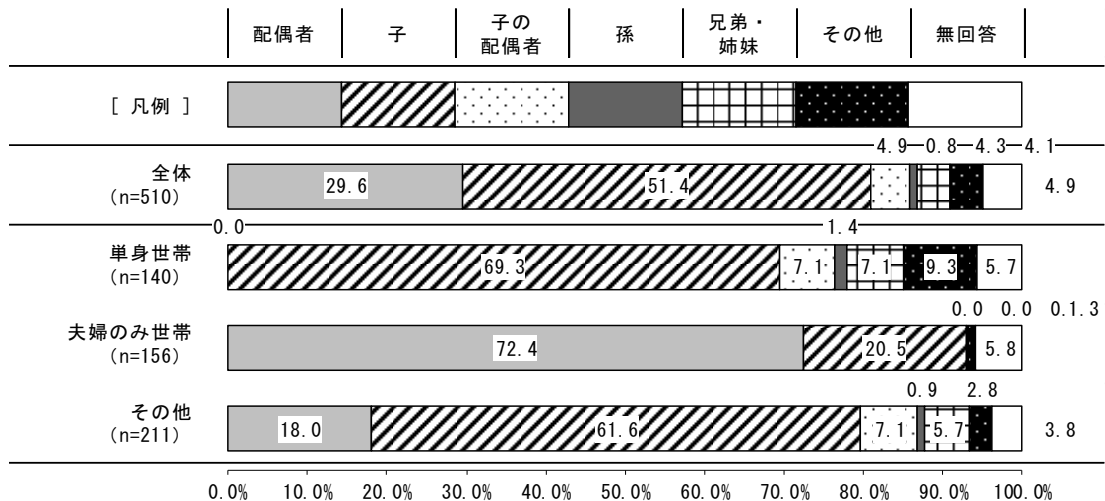
#### 【主な介護者】



#### 【主な介護者（要介護度別）】



#### 【主な介護者（世帯類型別）】



## ②主な介護者の性別（A票・問4）

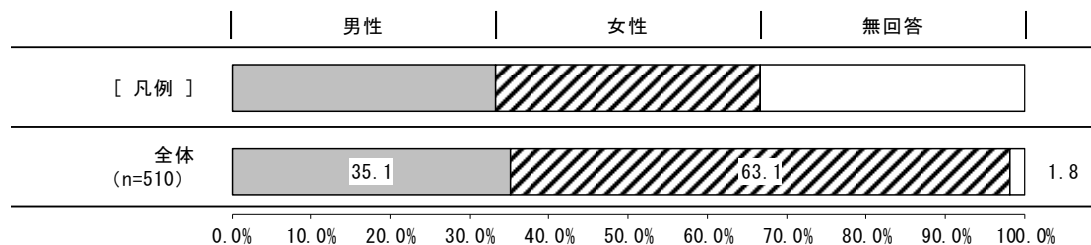
### 【全体】

○ 「男性」が35.1%、「女性」が63.1%となっています。

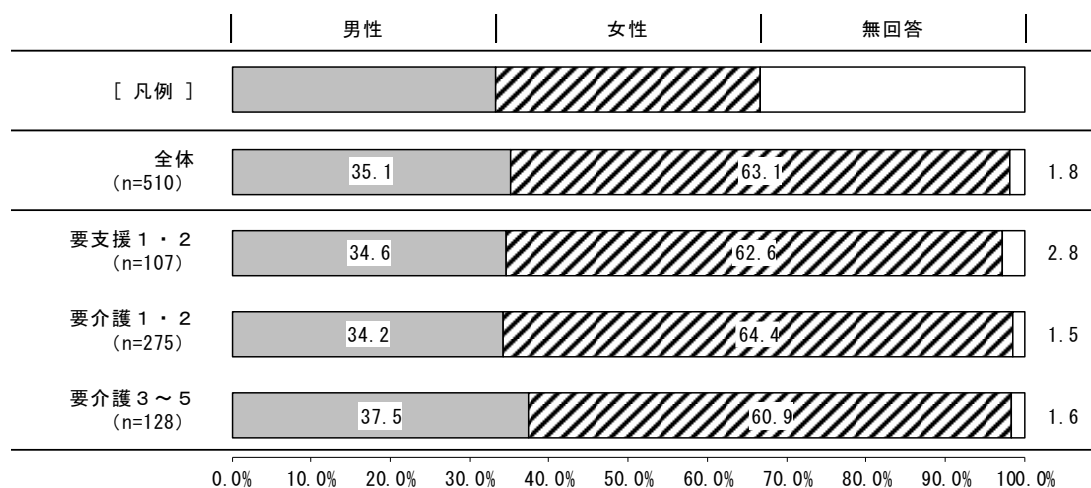
### 【要介護度別】

○ 要介護度別では、男性・女性に顕著な差はありませんでした。

【主な介護者の性別】



【主な介護者の性別（要介護度別）】



### ③主な介護者の年齢（A票・問5）

#### 【全体】

○ 「50代」が27.6%で最も多く、次いで「60代」が27.3%、「70代」が17.1%となっており、主な介護者の年齢は、50～60代が約5.5割を占めています。

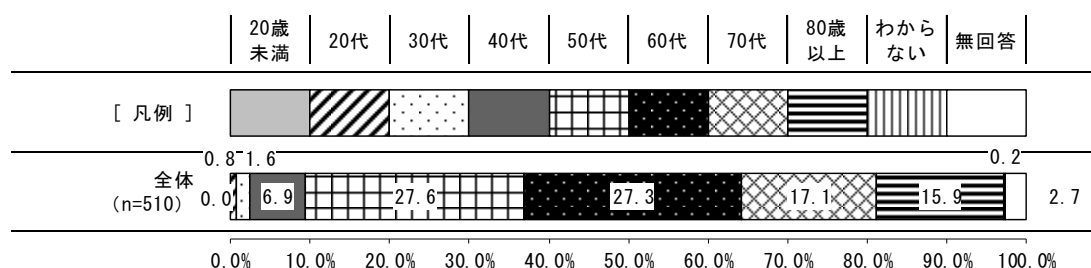
#### 【要介護度別】

○ 要介護度別にみると、『要支援1・2』では「50代」（28.0%）、「60代」（26.2%）が多く、『要介護1・2』では「60代」（28.0%）、「50代」（27.6%）、『要介護3～5』では「50代」（27.3%）、「60代」（26.6%）、「70代」（22.7%）が多くなっています。

#### 【本人の年齢別】

○ 本人の年齢別にみると、『75歳未満』では「70代」（27.3%）、「40代」「60代」（22.7%）が多く、『75歳以上』では「50代」（29.1%）、「60代」（27.5%）が多くなっています。

【主な介護者の年齢】



【主な介護者の年齢（要介護度別）】

単位：%

	回答者数 (人)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	510	-	0.8	1.6	6.9	27.6	27.3	17.1	15.9	0.2	2.7	
要介護度	要支援1・2	107	-	2.8	2.8	8.4	28.0	26.2	17.8	9.3	-	4.7
	要介護1・2	275	-	0.4	1.8	7.3	27.6	28.0	14.2	17.8	0.4	2.5
	要介護3～5	128	-	-	-	4.7	27.3	26.6	22.7	17.2	-	1.6

【主な介護者の年齢（本人の年齢別）】

単位：%

	回答者数 (人)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	510	-	0.8	1.6	6.9	27.6	27.3	17.1	15.9	0.2	2.7	
本人の年齢	75歳未満	44	-	-	6.8	22.7	11.4	22.7	27.3	2.3	-	6.8
	75歳以上	454	-	0.9	1.1	4.8	29.1	27.5	16.3	17.6	0.2	2.4

#### ④主な介護者が行っている介護等の内容（A票・問6）

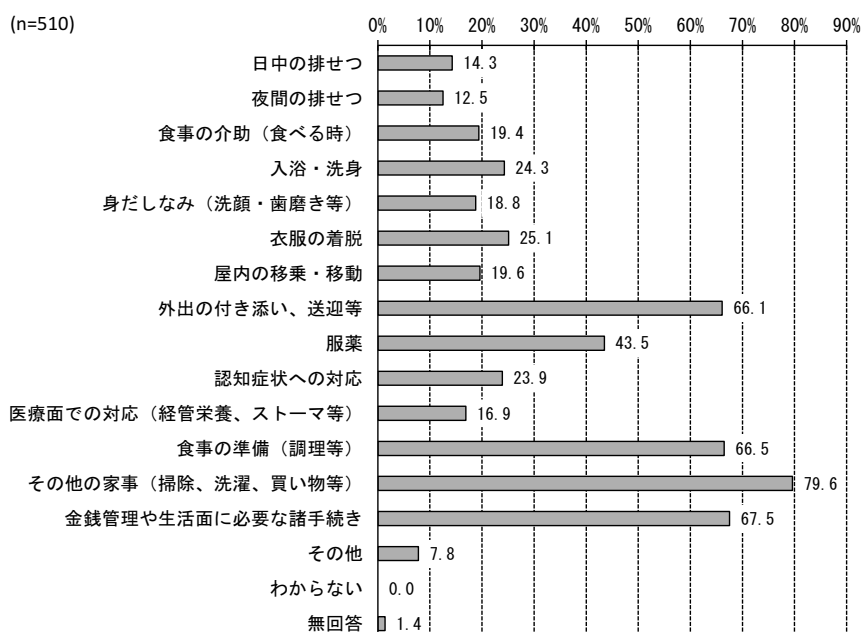
##### 【全体】

- 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 79.6%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 67.5%、「食事の準備（調理等）」が 66.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 66.1%となっています。

##### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度に関わらず「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（それぞれ 66.4%、80.0%、89.8%）が最も多くなっており、『要支援 1・2』では、「外出の付き添い、送迎等」（58.9%）が多くなっています。『要介護 1・2』と『要介護 3～5』では、「食事の準備（調理等）」（それぞれ 66.5%、83.6%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（それぞれ 71.6%、77.3%）が多くなっていますが、順位は逆になっています。また、『要介護 1・2』では、「外出の付き添い、送迎等」（71.6%）も多くなっています。

#### 【主な介護者が行っている介護等の内容】＜複数回答＞



#### 【主な介護者が行っている介護等の内容（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数 (人)	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・ 移動	外出の付き 添い、送迎等
全体		510	14.3	12.5	19.4	24.3	18.8	25.1	19.6	66.1
要介護度	要支援 1・2	107	3.7	2.8	9.3	13.1	4.7	7.5	8.4	58.9
	要介護 1・2	275	5.5	4.0	14.2	24.7	12.7	18.5	13.8	71.6
	要介護 3～5	128	42.2	39.1	39.1	32.8	43.8	53.9	41.4	60.2
		服薬	認知症状への 対応	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活 面に必要な諸手 続き	その他	わからない	無回答
全体		43.5	23.9	16.9	66.5	79.6	67.5	7.8	-	1.4
要介護度	要支援 1・2	19.6	3.7	11.2	45.8	66.4	44.9	12.1	-	2.8
	要介護 1・2	43.3	25.5	14.2	66.5	80.0	71.6	7.3	-	1.1
	要介護 3～5	64.1	37.5	27.3	83.6	89.8	77.3	5.5	-	0.8

### ⑤介護を主な理由とした離職状況（A票・問7）

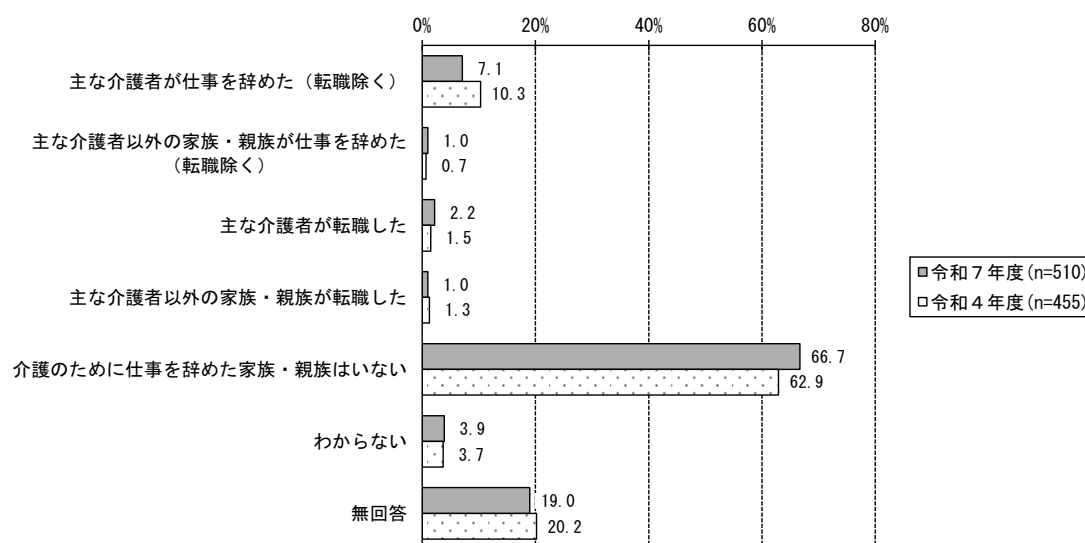
#### 【全体】

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.7%で最も多くなっています。
- 離職状況の内訳をみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.1%、「主な介護者が転職した」が2.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者以外の家族・親族が転職した」がいずれも1.0%となっています。
- 令和4年度調査と比較すると傾向に大きな差異はないものの、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が3.8ポイント増加し、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.2ポイント減少しています。

#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、他と比べて『要支援1・2』では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（61.7%）が少なくなっています。

【介護を主な理由とした離職状況】＜複数回答＞



【介護を主な理由とした離職状況（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

		回答者数（人）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		510	7.1	1.0	2.2	1.0	66.7	3.9	19.0
要介護度	要支援1・2	107	7.5	1.9	-	0.9	61.7	6.5	23.4
	要介護1・2	275	7.3	0.7	2.9	0.7	68.4	2.9	17.5
	要介護3～5	128	6.3	0.8	2.3	1.6	67.2	3.9	18.8

### (3) サービスの利用状況等

#### ①介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（A票・問8）

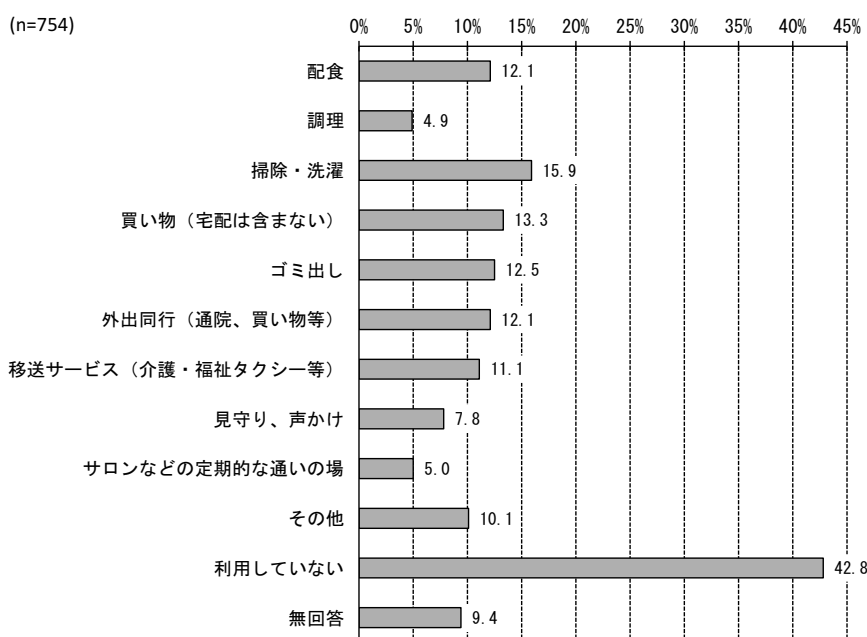
##### 【全体】

- 「利用していない」が42.8%で最も多くなっています。利用しているサービスをみると、「掃除・洗濯」が15.9%で最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が13.3%、「ゴミ出し」が12.5%、「配食」と「外出同行（通院、買い物等）」が12.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.1%となっています。

##### 【要介護度別】

- 要介護度別に利用しているサービスをみると、『要支援1・2』と『要介護1・2』では「掃除・洗濯」（それぞれ17.1%、16.4%）が多く、『要介護3～5』では「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（それぞれ16.1%）が多くなっています。

#### 【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】＜複数回答＞



#### 【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数 (人)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物等)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答	
														全体
全体	754	12.1	4.9	15.9	13.3	12.5	12.1	11.1	7.8	5.0	10.1	42.8	9.4	
要介護度	要支援1・2	222	7.7	3.2	17.1	9.9	8.6	5.4	9.0	7.2	5.9	9.5	43.7	9.9
	要介護1・2	383	13.1	5.2	16.4	15.1	14.1	15.4	10.4	7.8	4.4	10.2	42.0	8.9
	要介護3～5	149	16.1	6.7	12.8	13.4	14.1	13.4	16.1	8.7	5.4	10.7	43.6	10.1

## ②今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（A票・問9）

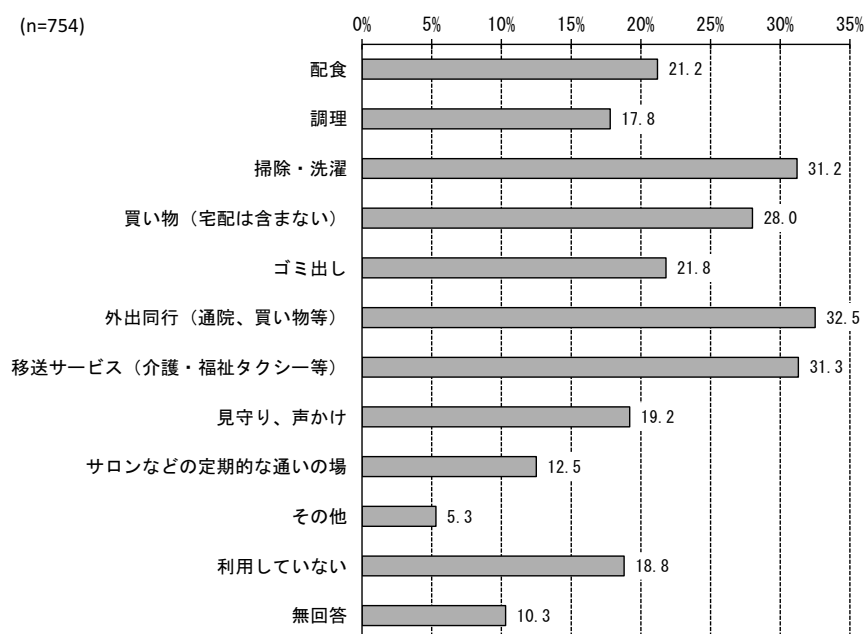
### 【全体】

- 「外出同行（通院、買い物等）」が 32.5%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 31.3%、「掃除・洗濯」が 31.2%、「買い物（宅配は含まない）」が 28.0%となっています。

### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、『要支援1・2』は、「掃除・洗濯」（27.9%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（24.8%）、「利用していない」（24.3%）が多く、『要介護1・2』では「外出同行（通院、買い物等）」（37.1%）、「掃除・洗濯」（32.4%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（31.9%）が多く、『要介護3～5』では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（39.6%）、「外出同行（通院、買い物等）」（36.9%）、「掃除・洗濯」（32.9%）が多くなっています。

### 【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】＜複数回答＞



### 【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 （宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行 （通院、買い物等）	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答	
全体	754	21.2	17.8	31.2	28.0	21.8	32.5	31.3	19.2	12.5	5.3	18.8	10.3	
要介護度	要支援1・2	222	13.5	11.3	27.9	23.9	14.4	21.6	24.8	18.5	12.6	3.6	24.3	9.9
	要介護1・2	383	22.2	19.3	32.4	29.8	24.5	37.1	31.9	18.5	13.3	5.5	15.9	9.4
	要介護3～5	149	30.2	23.5	32.9	29.5	25.5	36.9	39.6	22.1	10.1	7.4	18.1	13.4

### ③施設等への入所・入居の検討状況（A票・問10）

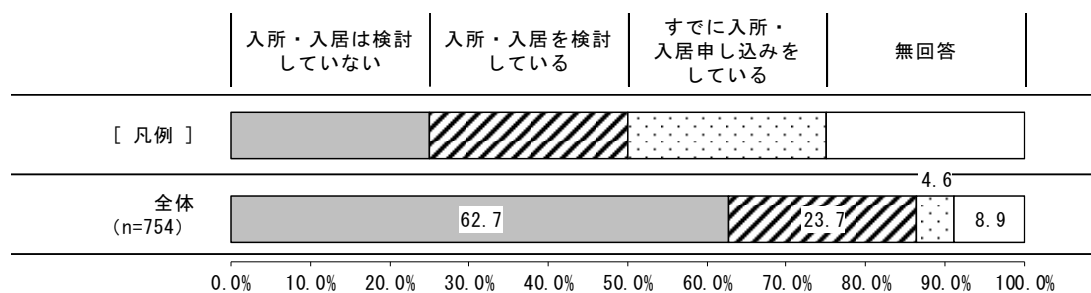
#### 【全体】

- 「入所・入居は検討していない」が 62.7%、「入所・入居を検討している」が 23.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.6%となっています。

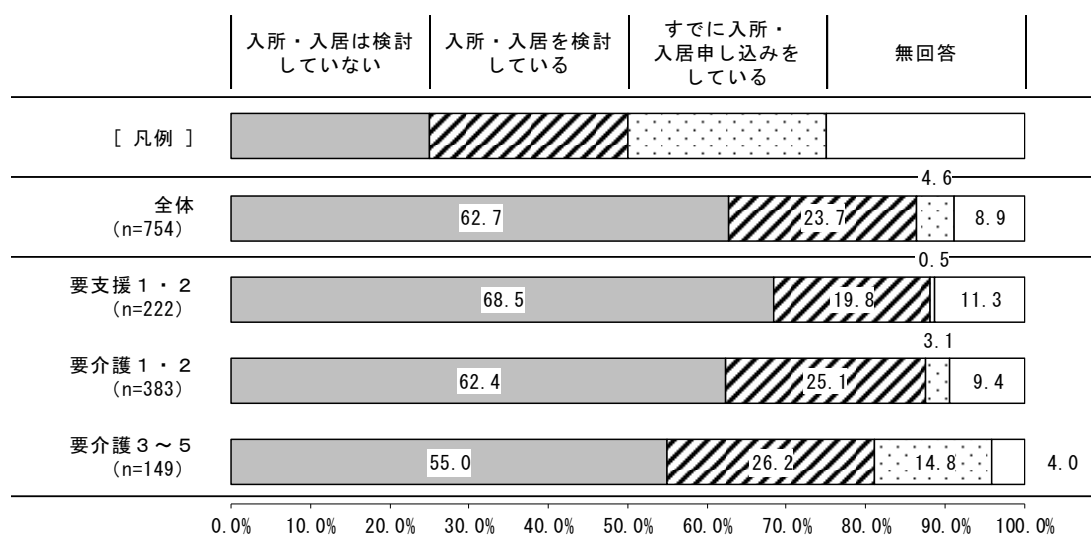
#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度が高くなると「入所・入居は検討していない」が減少し、『要介護1・2』から「入所・入居を検討している」が増加し、『要介護3～5』では「すでに入所・入居申し込みをしている」（14.8%）が多くなっています。

#### 【施設等への入所・入居の検討状況】



#### 【施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別）】



#### ④現在抱えている傷病（A票・問11）

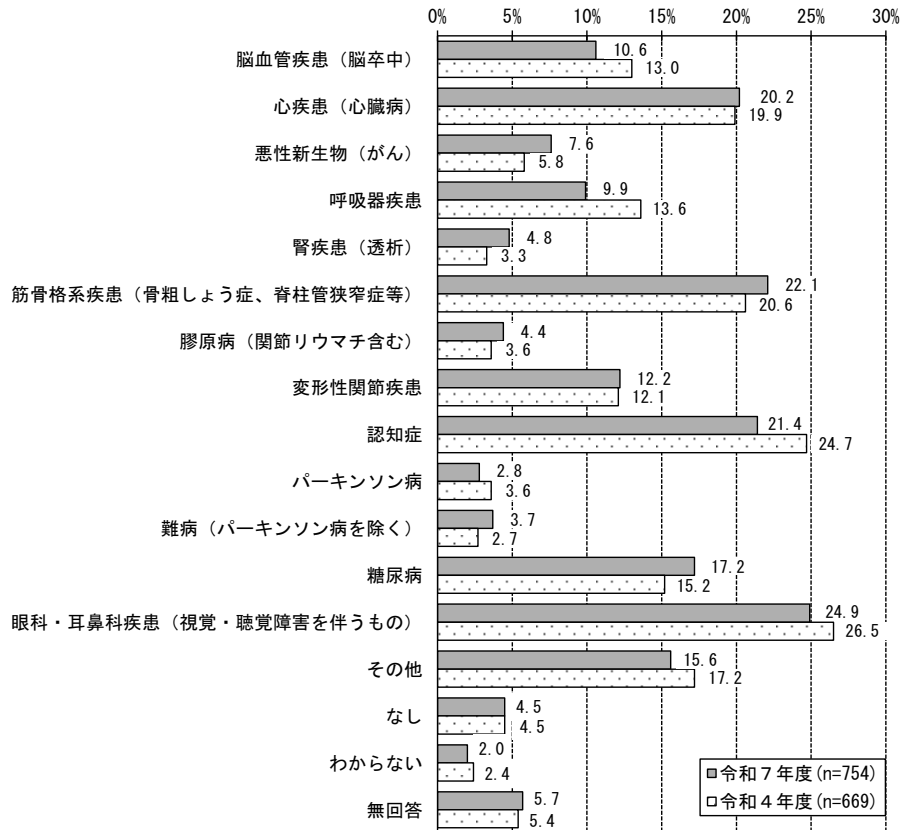
##### 【全体】

- 「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.9%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が22.1%、「認知症」が21.4%となっています。
- 令和4年度調査と比較すると、「認知症」が3.3ポイント減少しています。

##### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、『要支援1・2』では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄）」と「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（それぞれ31.1%、28.4%）が多く、『要介護1・2』では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」と「認知症」（それぞれ25.6%、25.1%）、『要介護3～5』では「認知症」（36.9%）が多くなっています。

#### 【現在抱えている傷病（複数回答）】＜複数回答＞



#### 【現在抱えている傷病（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

要介護度	回答者数 (人)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ 含む)	変形性 関節疾患		
		認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答	
全体	754	10.6	20.2	7.6	9.9	4.8	22.1	4.4	12.2		
要介護度	要支援1・2	222	8.6	20.3	6.3	11.3	31.1	5.4	17.6		
	要介護1・2	383	11.0	20.9	8.4	10.2	19.6	3.9	10.4		
	要介護3～5	149	12.8	18.1	7.4	7.4	8.1	15.4	4.0	8.7	
全体	754	21.4	2.8	3.7	17.2	24.9	15.6	4.5	2.0	5.7	
要介護度	要支援1・2	222	4.5	2.3	4.1	14.4	28.4	13.1	5.0	1.4	7.7
	要介護1・2	383	25.1	3.1	3.7	19.3	25.6	15.1	4.7	1.3	5.0
	要介護3～5	149	36.9	2.7	3.4	16.1	18.1	20.8	3.4	4.7	4.7

### ⑤訪問診療の利用状況（A票・問12）

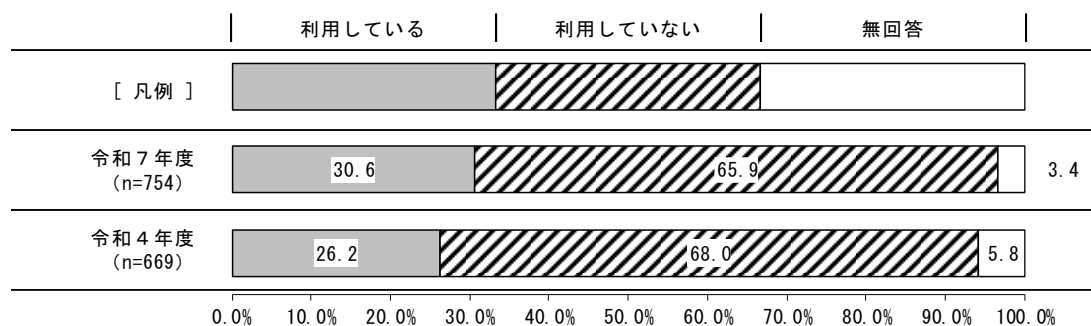
#### 【全体】

- 「利用している」が30.6%、「利用していない」が65.9%となっています。
- 令和4年度調査と比較すると、「利用している」が4.4ポイント増加しています。

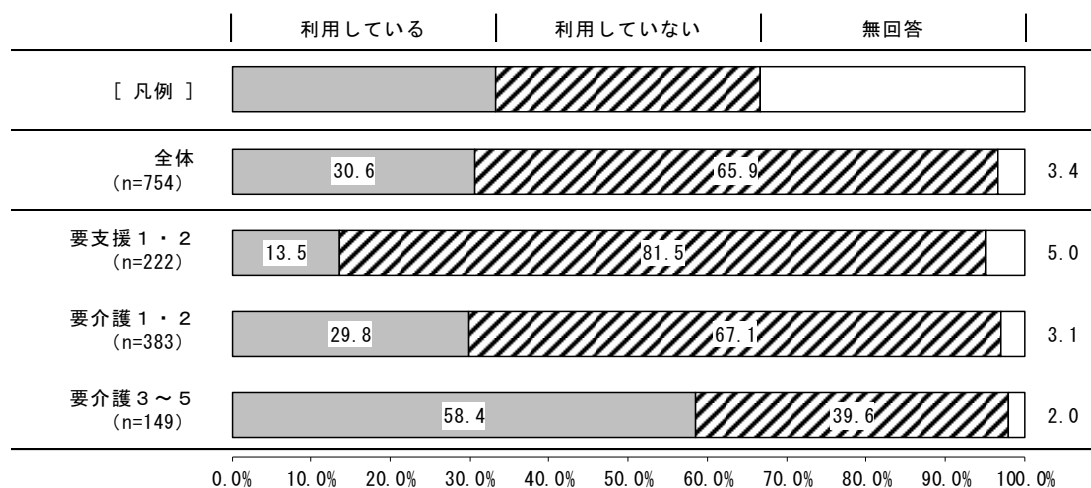
#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度が高くなると利用している傾向にあり、『要介護 3～5』では「利用している」(58.4%)が半数を超えています。

【訪問診療の利用状況】



【訪問診療の利用状況（要介護度別）】



## ⑥介護保険サービスの利用状況（A票・問13）

### 【全体】

- 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が67.8%、「利用していない」が28.4%となっています。

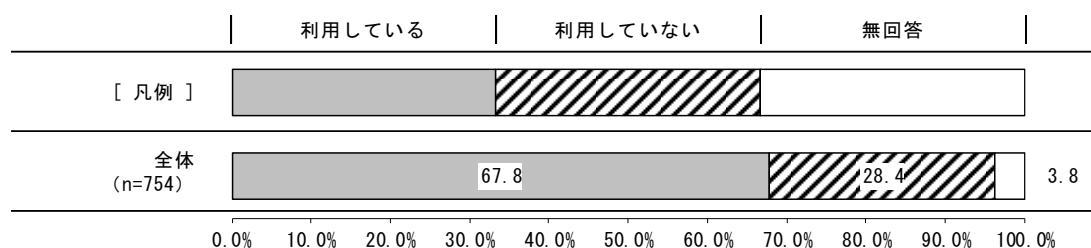
### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、『要支援1・2』で「利用している」が52.7%と既に半数を超えており、介護度が高くなると利用率も高くなり、『要介護3～5』では「利用している」が81.2%と8割を超えています。

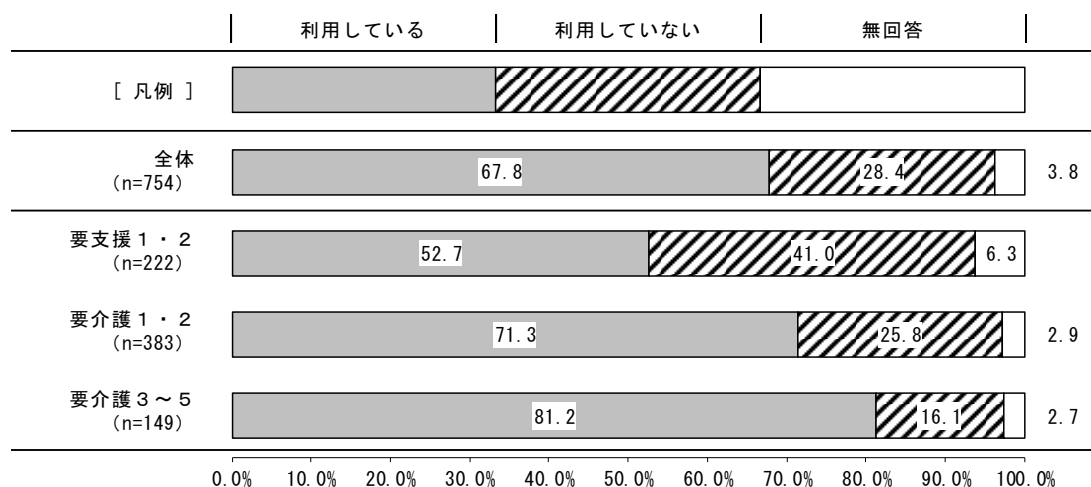
### 【世帯類型別・要介護度別】

- 世帯類型別・要介護度別にみると、単身世帯（67.5%）と夫婦のみ世帯（62.0%）では、単身世帯の方が「利用している」が5.5ポイント多くなっています。

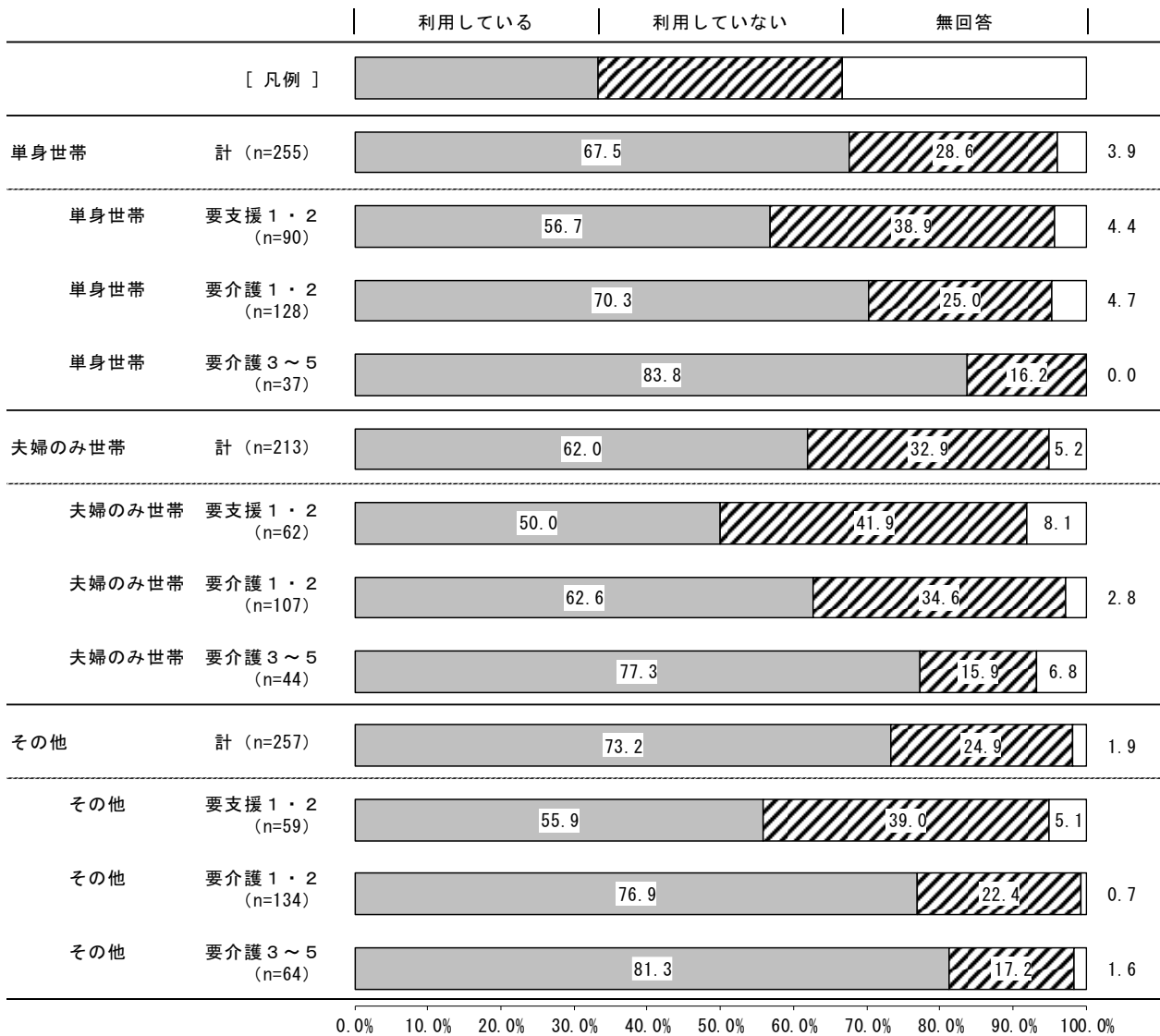
### 【介護保険サービスの利用状況】



### 【介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



【介護保険サービスの利用状況（世帯類型別・要介護度別）】



### ⑦介護保険サービスを利用していない理由（A票・問14）

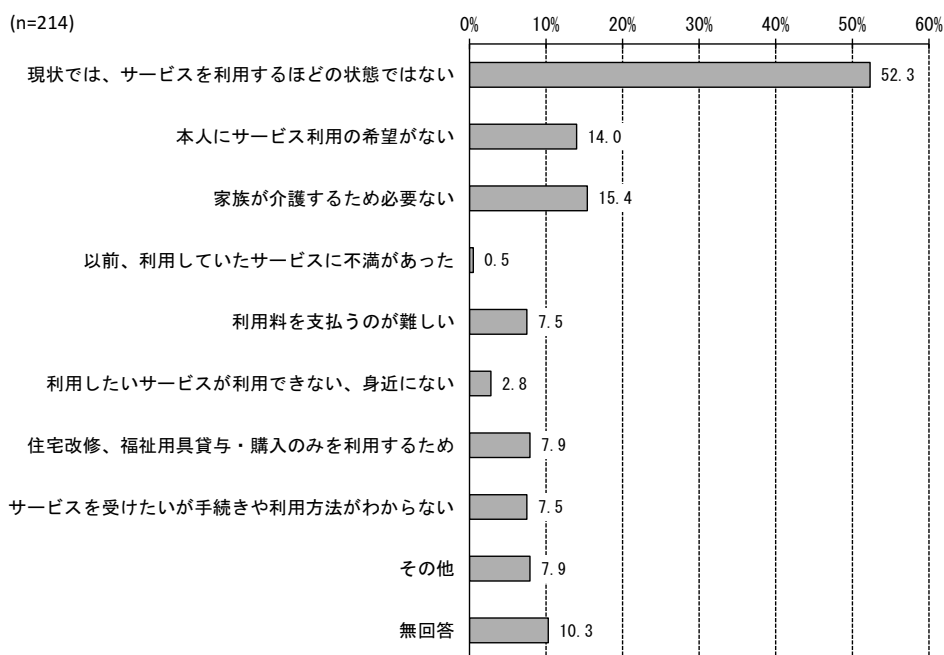
#### 【全体】

- 前問で介護保険サービスを「利用していない」と回答した人の、利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.3%で最も多く、次いで「家族が介護するため必要ない」が15.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が14.0%となっています。

#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度に関わらず「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（それぞれ59.3%、50.5%、33.3%）が最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」（それぞれ9.9%、18.2%、12.5%）と「家族が介護するため必要ない」（それぞれ9.9%、17.2%、29.2%）もともに多くなっています。

#### 【介護保険サービスを利用していない理由】＜複数回答＞



#### 【介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：%

	回答者数（人）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護するため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答	
		全体	214	52.3	14.0	15.4	0.5	7.5	2.8	7.9	7.5	7.9
要介護度	要支援 1・2	91	59.3	9.9	9.9	1.1	3.3	5.5	5.5	4.4	8.8	11.0
	要介護 1・2	99	50.5	18.2	17.2	-	12.1	1.0	10.1	10.1	6.1	10.1
	要介護 3～5	24	33.3	12.5	29.2	-	4.2	-	8.3	8.3	12.5	8.3

## ⑧介護保険サービスの満足度（A票・問15）

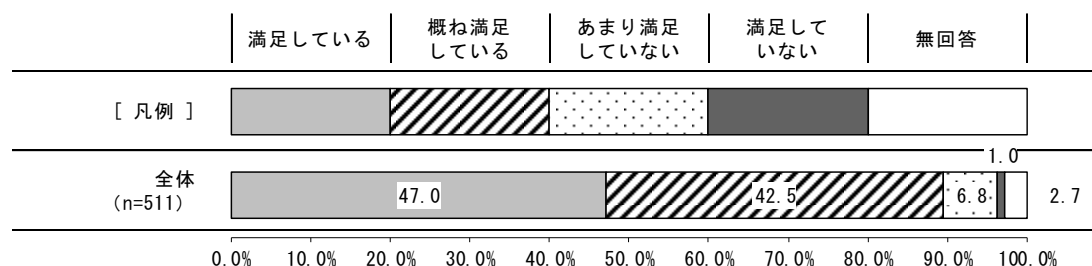
### 【全体】

○ 「満足している」が47.0%で最も多く、次いで「概ね満足している」が42.5%、「あまり満足していない」が6.8%となっています。

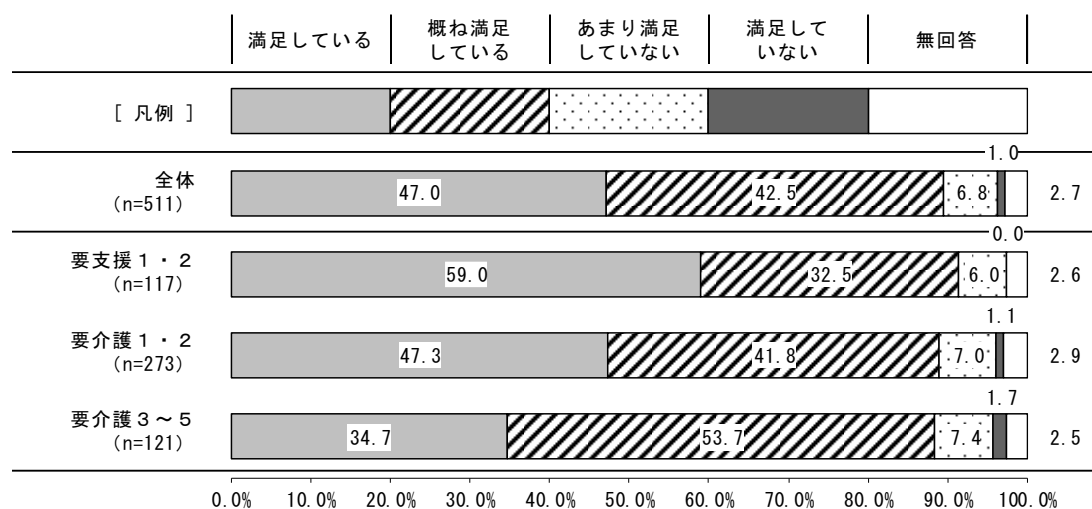
### 【要介護度別】

○ 要介護度別にみると、要介護度が高くなると「満足している」が少なくなり、「概ね満足している」が多くなっています。

【介護保険サービスの満足度】



【介護保険サービスの満足度（要介護度別）】



(4) 認知症や人生の最終段階で受たい医療やケア

①誰かに自分の思いを伝えることができているか (A票・問16)

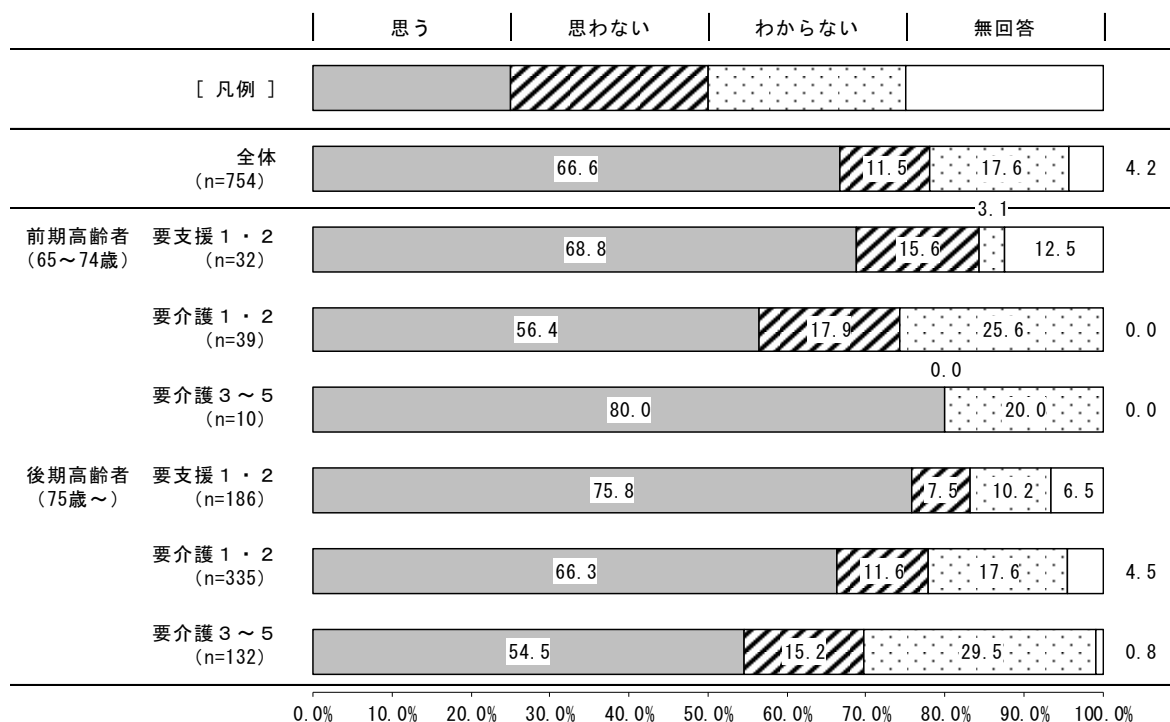
【全体】

○ 「思う」が66.6%で最も多くなっています。

【年齢・要介護度別】

○ 年齢・要介護度別にみると、後期高齢者は要介護度が高くなると「思う」の割合が少なくなっていますが、前期高齢者は『要介護1・2』が最も少なくなっています。

【意思表示の状況 (年齢・要介護度別)】



## ②地域で役割を果たしているか（A票・問17）

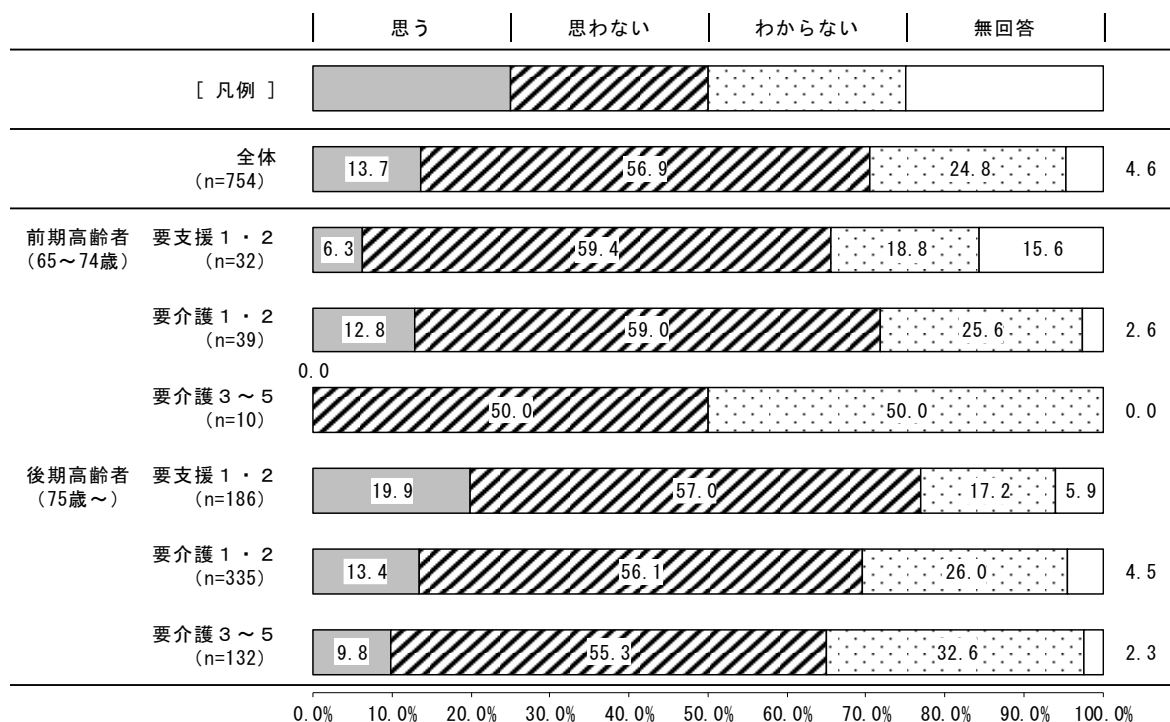
### 【全体】

○ 「思わない」が56.9%で最も多くなっています。

### 【年齢・要介護度別】

○ 年齢・要介護度別にみると、「思う」の割合が最も多いのは、後期高齢者の『要支援 1・2』（19.9%）となっています。

【地域での役割意識（年齢・要介護度別）】



### ③認知症でも自分らしく暮らし続けられるか（A票・問18）

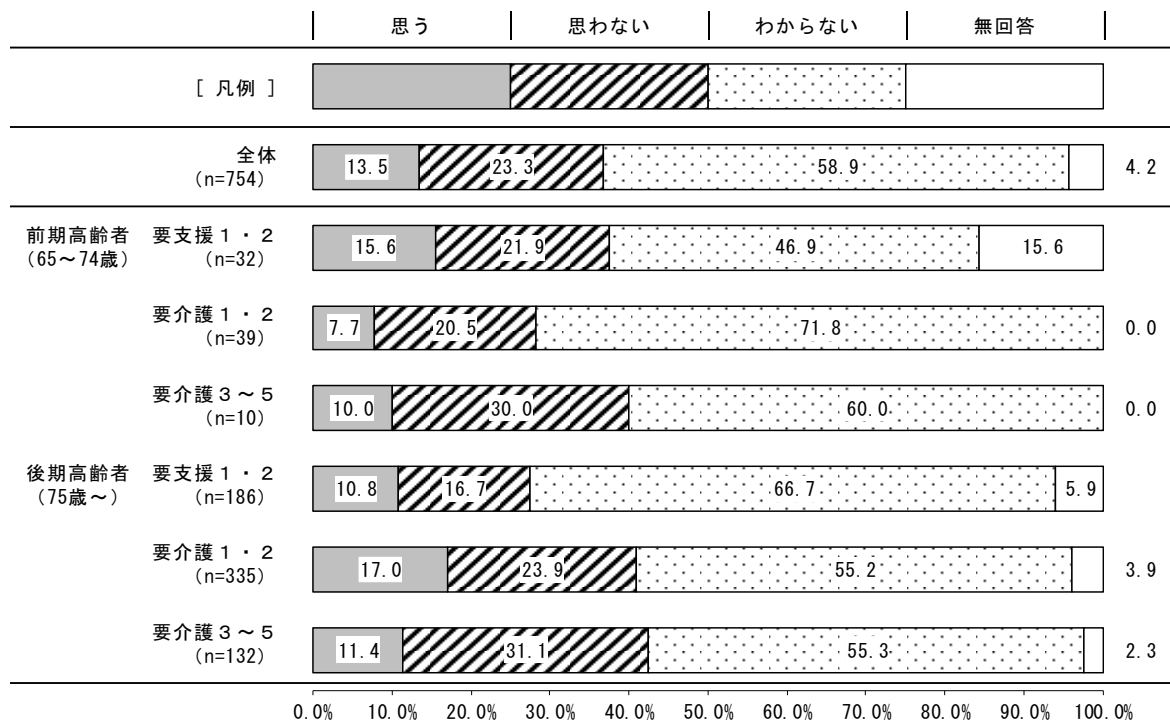
#### 【全体】

○ 「わからない」が58.9%で最も多くなっています。

#### 【年齢・要介護度別】

○ 年齢・要介護度別にみると、前期高齢者、後期高齢者ともに『要介護 3～5』の「思わない」（それぞれ30.0%、31.1%）が最も多くなっています。

【認知症後の生活見通し（年齢・要介護度別）】



#### ④在宅生活で自分の意思が尊重され、望む生活が継続できているか（A票・問19）

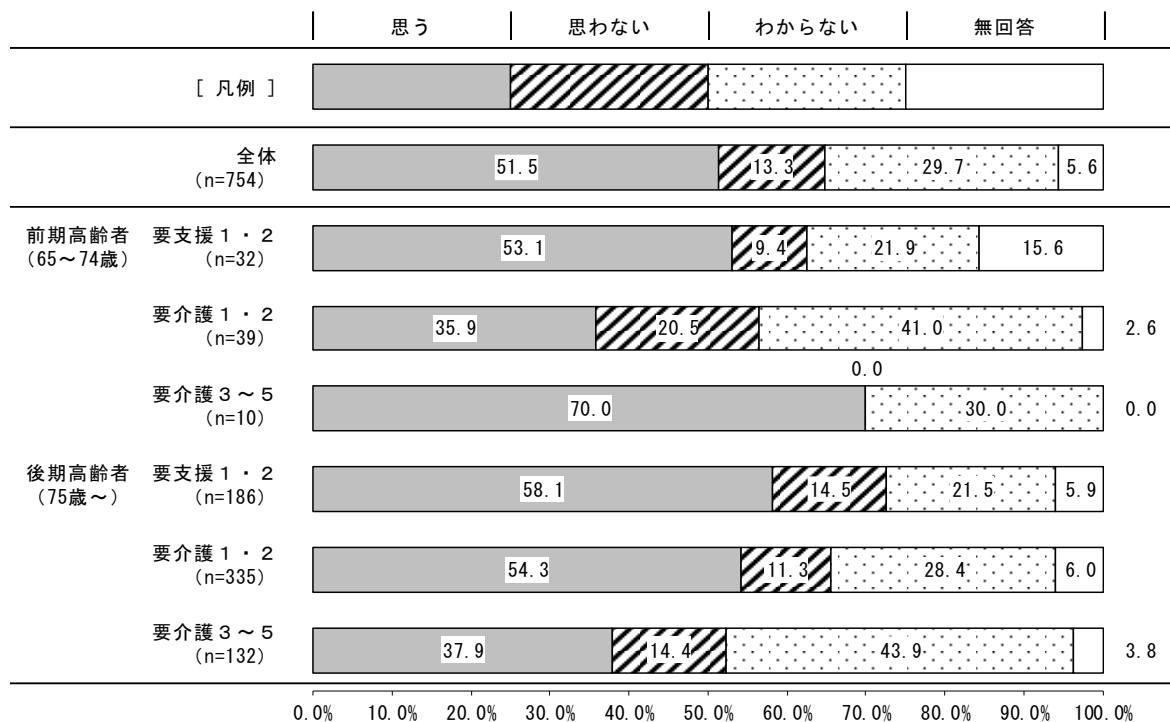
##### 【全体】

○ 「思う」が51.5%で最も多くなっています。

##### 【年齢・要介護度別】

○ 年齢・要介護度別にみると、後期高齢者では介護度が高くなると「思う」の割合が少なくなりますが、前期高齢者では『要介護1・2』の「思う」の割合が最も少なく、『要介護3～5』で最も多くなっています。

【在宅生活での意思尊重（年齢・要介護度別）】



### ⑤人生の最終段階で受きたい医療やケアの相談状況（A票・問20）

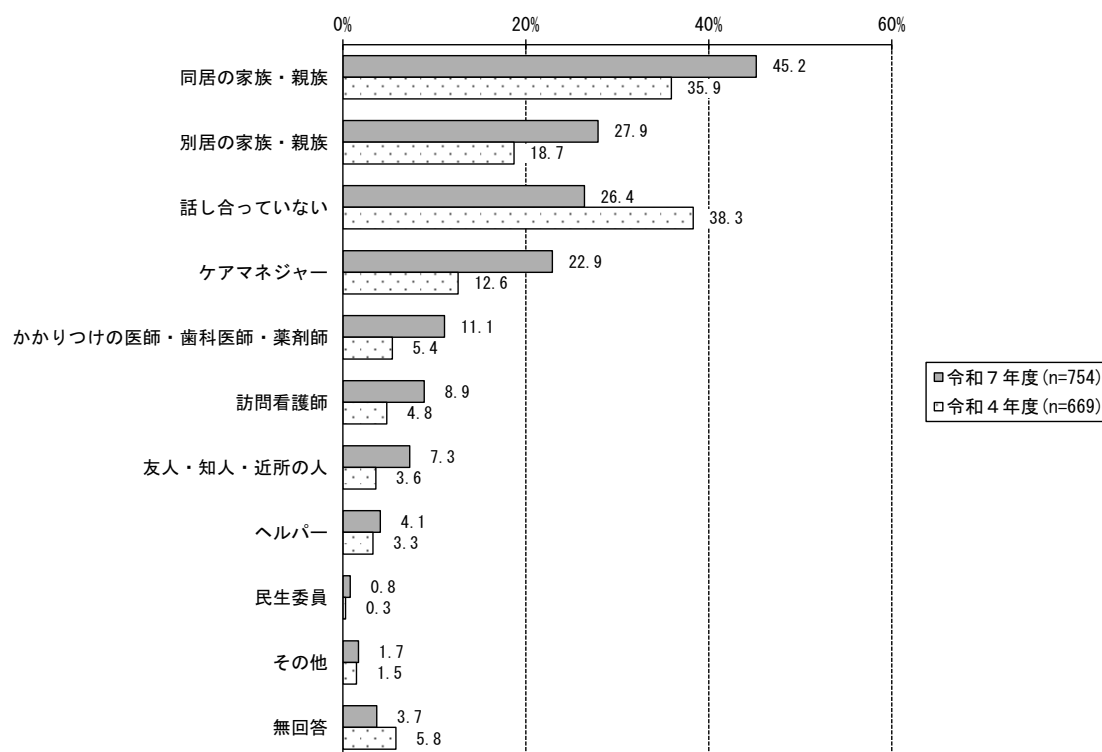
#### 【全体】

- 「同居の家族・親族」が45.2%で最も多く、次いで「別居の家族・親族」が27.9%、「話し合っていない」が26.4%となっています。
- 令和4年度調査と比較すると、全体的な傾向として誰かに相談している回答が増加しており、「ケアマネジャー」が10.3ポイント、「同居の家族・親族」が9.3ポイント、「別居の家族・親族」が9.2ポイント増加しています。

#### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度に関わらず「同居の家族・親族」が最も多く（それぞれ41.4%、45.2%、51.0%）、次いで多かったのは、『要支援1・2』では「別居の家族・親族」（32.9%）、『要介護1・2』では「話し合っていない」（27.4%）、『要介護3～5』では「ケアマネジャー」（33.6%）となっています。

【人生の最終段階で受きたい医療やケアの相談状況】＜複数回答＞



【人生の最終段階で受たい医療やケアの相談状況（要介護度別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	同居の家族・親族	別居の家族・親族	友人・知人・近所の人	かかりつけの医師・ 歯科医師・薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー	ヘルパー	民生委員	話し合っていない	その他	無回答	
全体	754	45.2	27.9	7.3	11.1	8.9	22.9	4.1	0.8	26.4	1.7	3.7	
要介護度	要支援 1・2	222	41.4	32.9	7.2	9.9	5.9	17.6	3.6	1.8	25.2	2.7	5.0
	要介護 1・2	383	45.2	25.1	7.3	11.2	9.7	21.9	4.4	0.3	27.4	1.0	3.4
	要介護 3～5	149	51.0	27.5	7.4	12.8	11.4	33.6	4.0	0.7	25.5	2.0	2.7

【人生の最終段階で受たい医療やケアの相談状況（圏域別）】＜複数回答＞

単位：％

	回答者数（人）	同居の家族・親族	別居の家族・親族	友人・知人・近所の人	かかりつけの医師・ 歯科医師・薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー	ヘルパー	民生委員	話し合っていない	その他	無回答	
全体	754	45.2	27.9	7.3	11.1	8.9	22.9	4.1	0.8	26.4	1.7	3.7	
圏域別	みどり	79	46.8	26.6	7.6	6.3	2.5	16.5	1.3	2.5	32.9	-	2.5
	同愛	101	48.5	29.7	9.9	8.9	6.9	23.8	3.0	-	24.8	2.0	4.0
	なりひら	83	41.0	27.7	7.2	15.7	13.3	31.3	4.8	-	26.5	2.4	2.4
	こうめ	81	51.9	28.4	9.9	11.1	8.6	23.5	2.5	-	23.5	2.5	2.5
	むこう じま	107	45.8	29.9	11.2	9.3	7.5	22.4	5.6	1.9	24.3	1.9	2.8
	うめわか	125	40.0	31.2	0.8	11.2	12.0	19.2	4.8	-	26.4	0.8	5.6
	ぶんか	106	42.5	26.4	8.5	14.2	11.3	30.2	6.6	1.9	22.6	1.9	3.8
	八広 はなみずき	72	48.6	19.4	4.2	12.5	6.9	15.3	2.8	-	33.3	2.8	5.6

## ⑥ 「人生会議」の認知度（A票・問21）

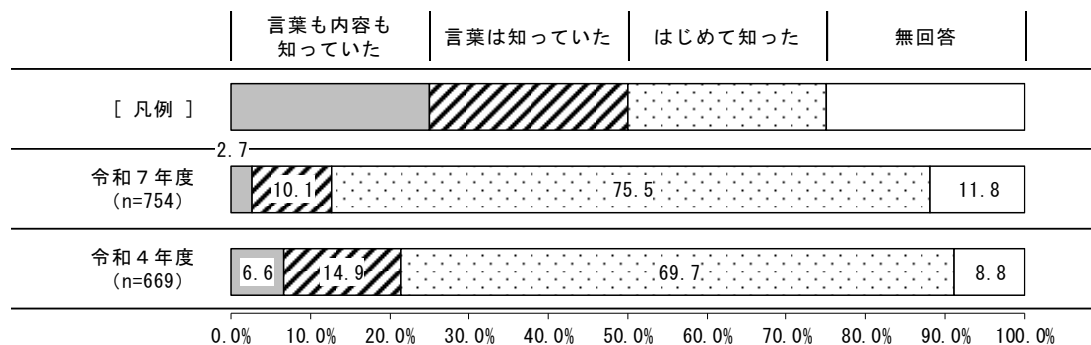
### 【全体】

- 「はじめて知った」が75.5%で最も多く、次いで「言葉は知っていた」が10.1%、「言葉も内容も知っていた」が2.7%となっています。
- 令和4年度調査と比較すると、「言葉も内容も知っていた」が3.9ポイント、「言葉は知っていた」が4.8ポイント減少しており、「はじめて知った」が5.8ポイント増加し、認知度は減少傾向にあります。

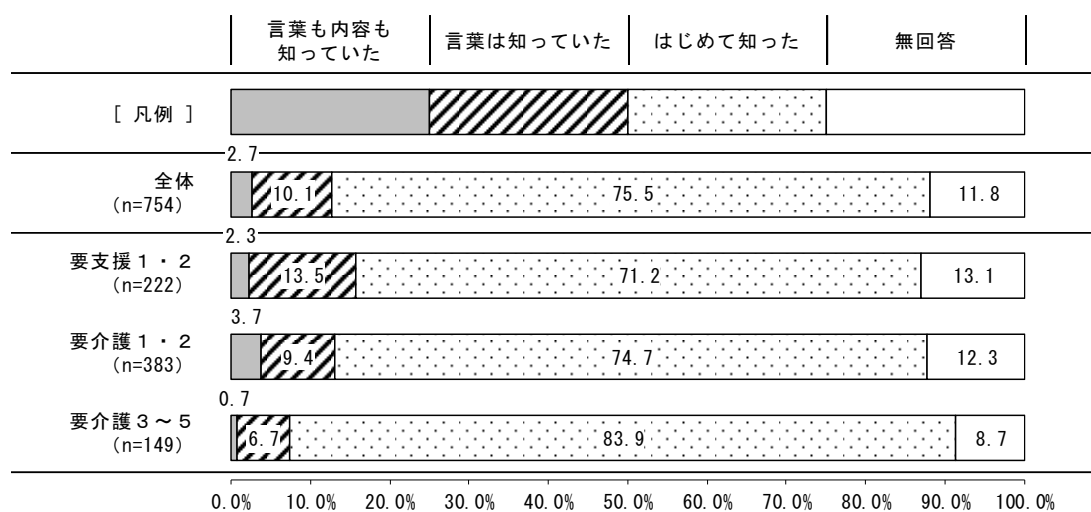
### 【要介護度別】

- 要介護度別にみると、要介護度の低い方が認知度は高い傾向にあります。

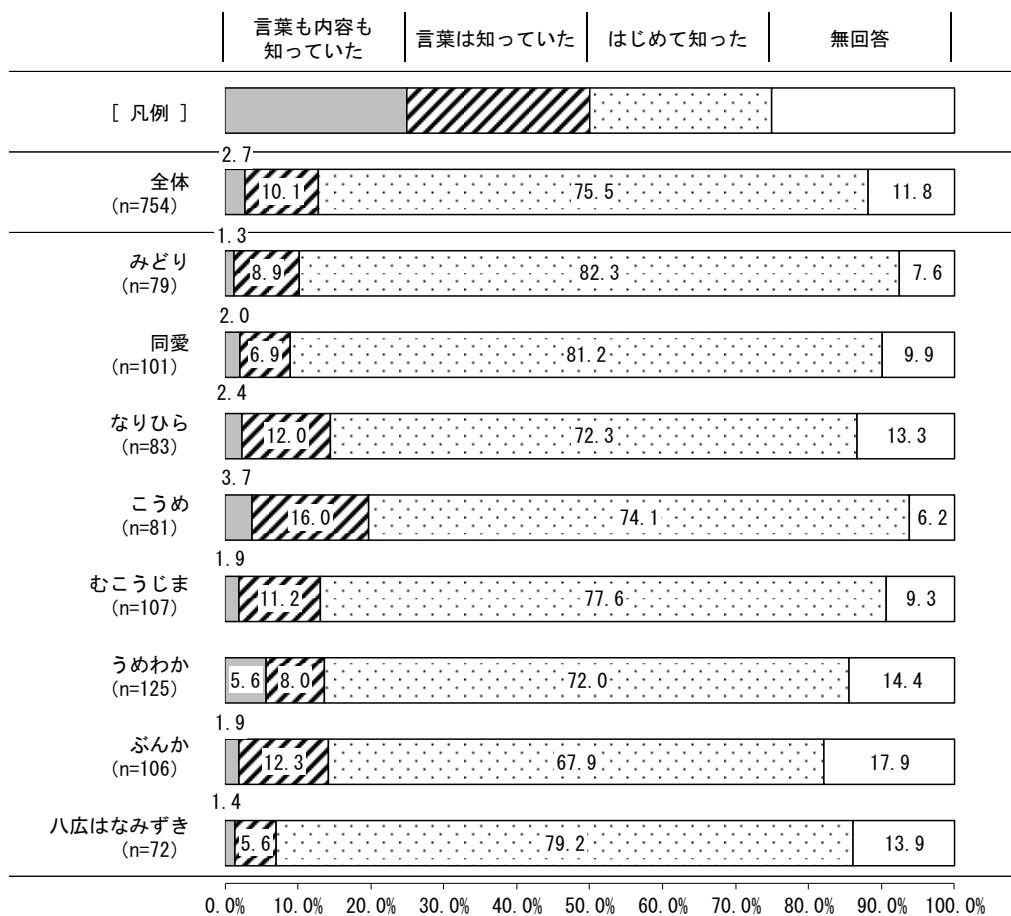
### 【「人生会議」の認知度】



### 【「人生会議」の認知度（要介護度別）】



### 【「人生会議」の認知度（圏域別）】



⑦聞き取りにくさ（A票・問22）

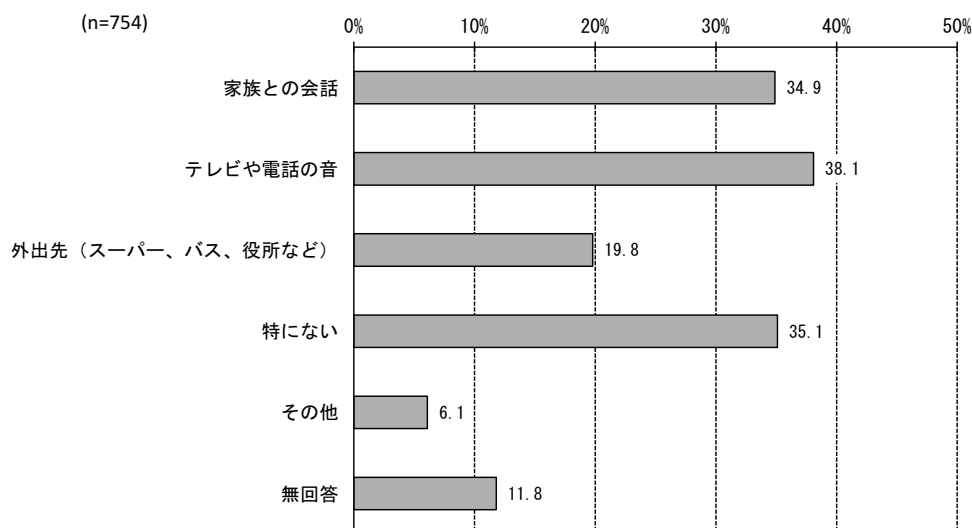
【全体】

- 「テレビや電話の音」が38.1%で最も多く、次いで「特にない」が35.1%、「家族との会話」が34.9%となっています。

【要介護度別】

- 要介護度別にみると、『要支援1・2』では「特にない」（43.7%）、「テレビや電話の音」（29.7%）が多く、『要介護1・2』と『要介護3～5』では「テレビや電話の音」（それぞれ40.2%、45.0%）、「家族との会話」（それぞれ37.1%、44.3%）が多くなっています。

【聞き取りにくさ（複数回答）】<複数回答>



【聞き取りにくさ（要介護度別）】<複数回答>

単位：%

		回答者数 (人)	家族との 会話	テレビや 電話の音	外出先 (スーパー、 バス、役所など)	特にない	その他	無回答
全体		754	34.9	38.1	19.8	35.1	6.1	11.8
要介護度	要支援1・2	222	24.8	29.7	19.4	43.7	4.5	12.2
	要介護1・2	383	37.1	40.2	21.7	32.4	6.5	11.7
	要介護3～5	149	44.3	45.0	15.4	29.5	7.4	11.4

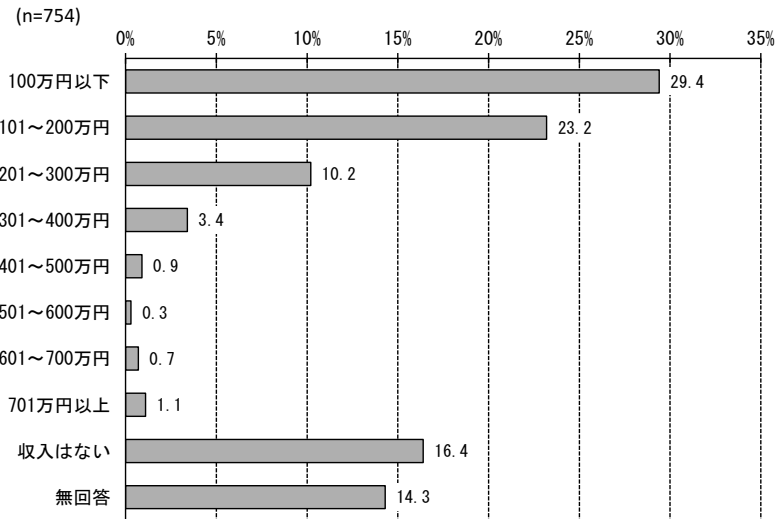
(5) 介護保険サービスと介護保険料の考え方

① 1年間の手取り額 (A票・問23)

【全体】

- 「100万円以下」が29.4%で最も多く、次いで「101～200万円」が23.2%、「収入はない」が16.4%となっています。

【1年間の手取り額】



② 介護保険サービスと介護保険料についての考え方 (A票・問24)

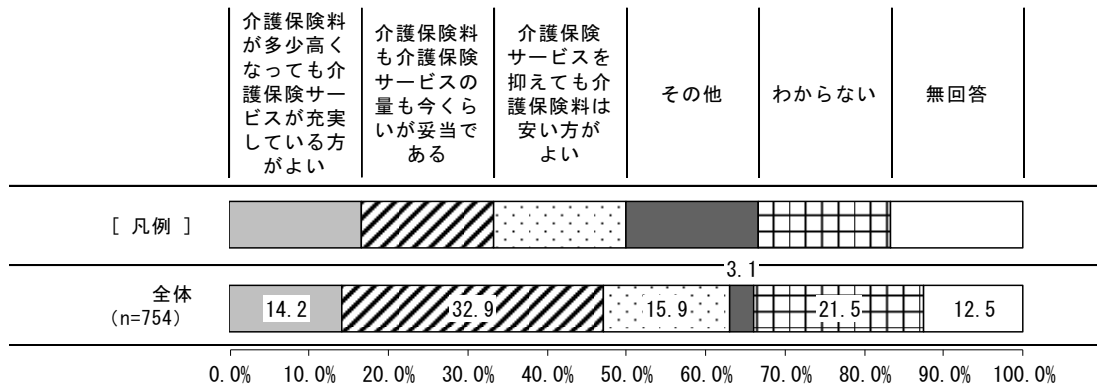
【全体】

- 「介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である」が32.9%で最も多く、次いで「わからない」が21.5%、「介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい」が15.9%となっています。

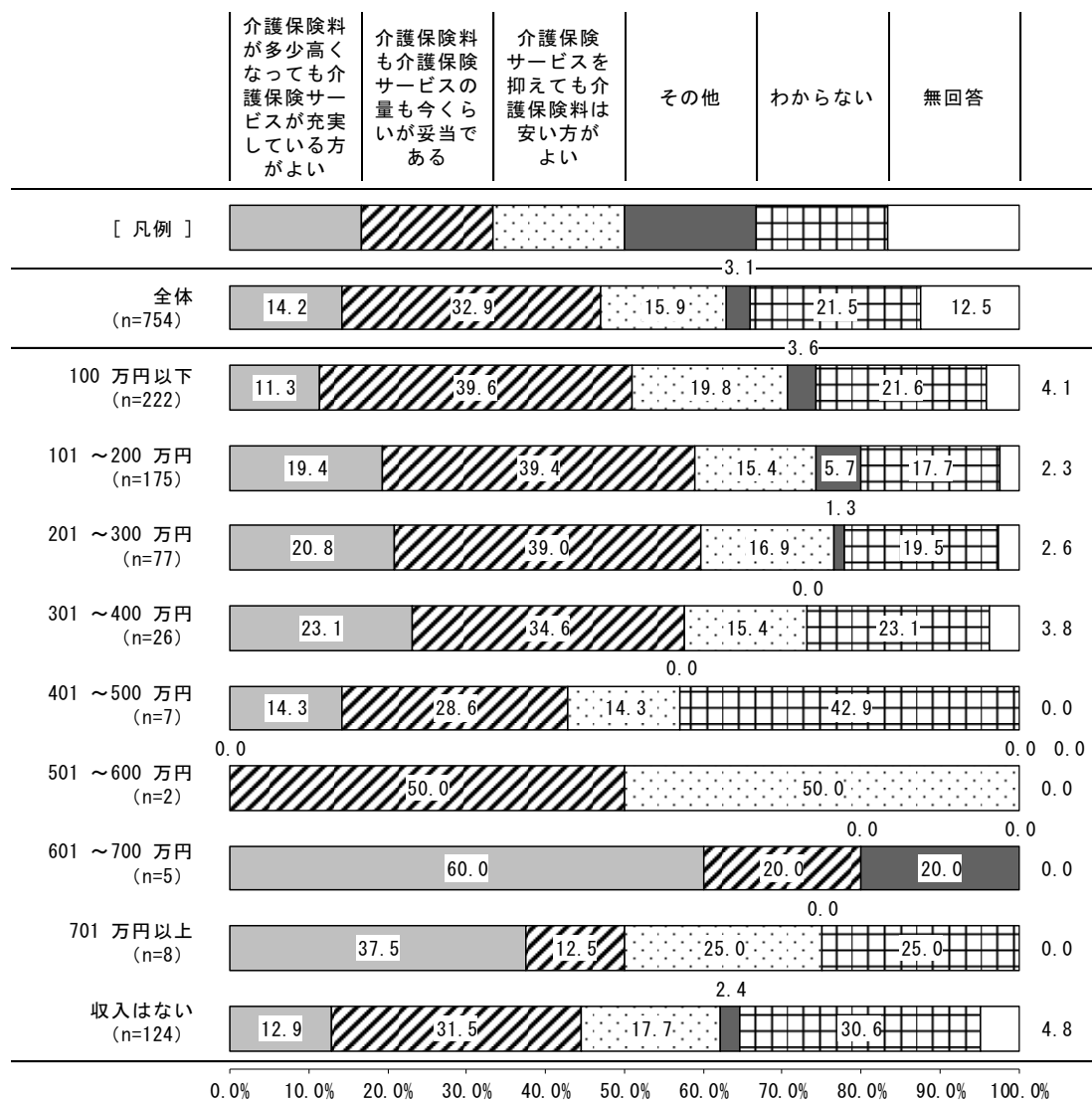
【1年間の手取り額別】

- 1年間の手取り額別にみると、全体と比べて『100万円以下』では「介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である」(39.6%)、「介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい」(19.8%)が多くなっています。また、『101～200万円』、『201～300万円』では、「介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である」(それぞれ39.4%、39.0%)が最も多く、次いで、「介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」(それぞれ19.4%、20.8%)が多くなっています。

【介護保険サービスと介護保険料についての考え方】



【介護保険サービスと介護保険料についての考え方（1年間の手取り額別）】



### 3. 主な介護者の介護の継続性

#### (1) 就労の有無及び現在の勤務形態 (B票・問1)

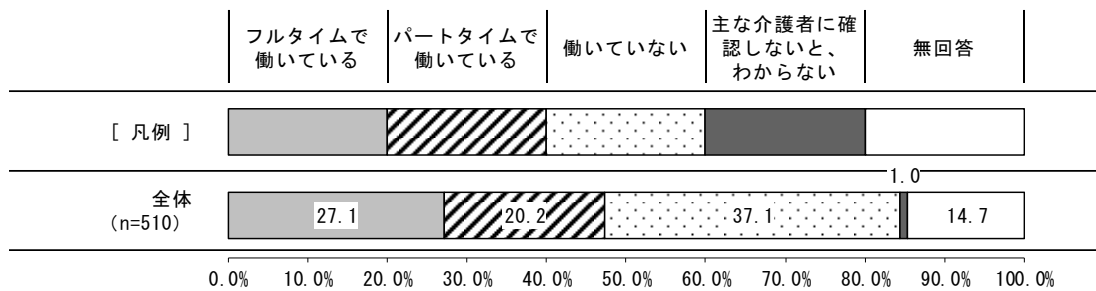
##### 【全体】

○ 主な介護者の就労の有無及び現在の勤務形態は、「働いていない」が 37.1%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 27.1%、「パートタイムで働いている」が 20.2%となっています。

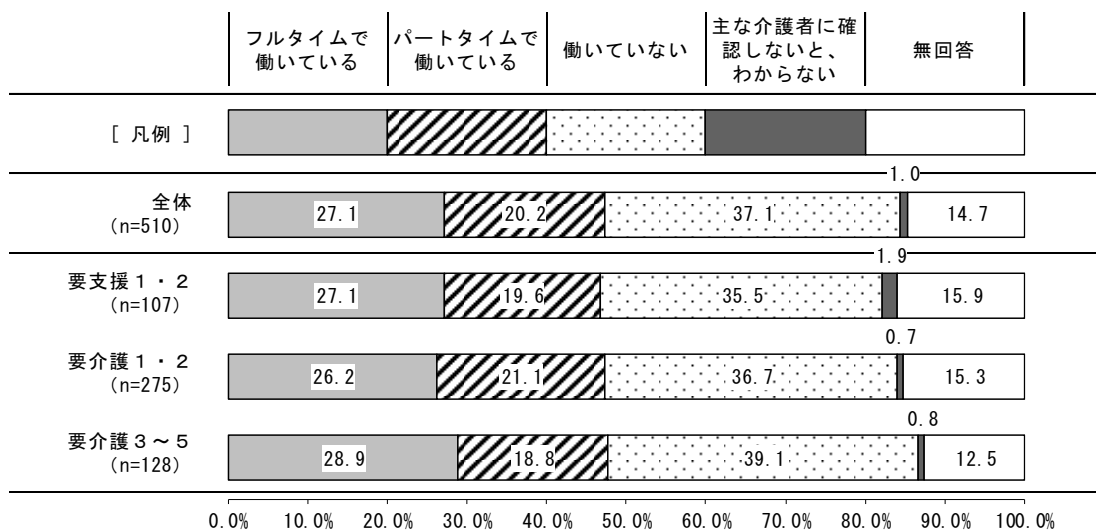
##### 【要介護度別】

○ 調査対象者の要介護度別にみると、『要介護3～5』で「働いていない」(39.1%)が多くなっています。

【就労の有無及び現在の勤務形態】



【就労の有無及び現在の勤務形態 (要介護度別)】



## (2) 働き方の調整等の実施状況 (B票・問2)

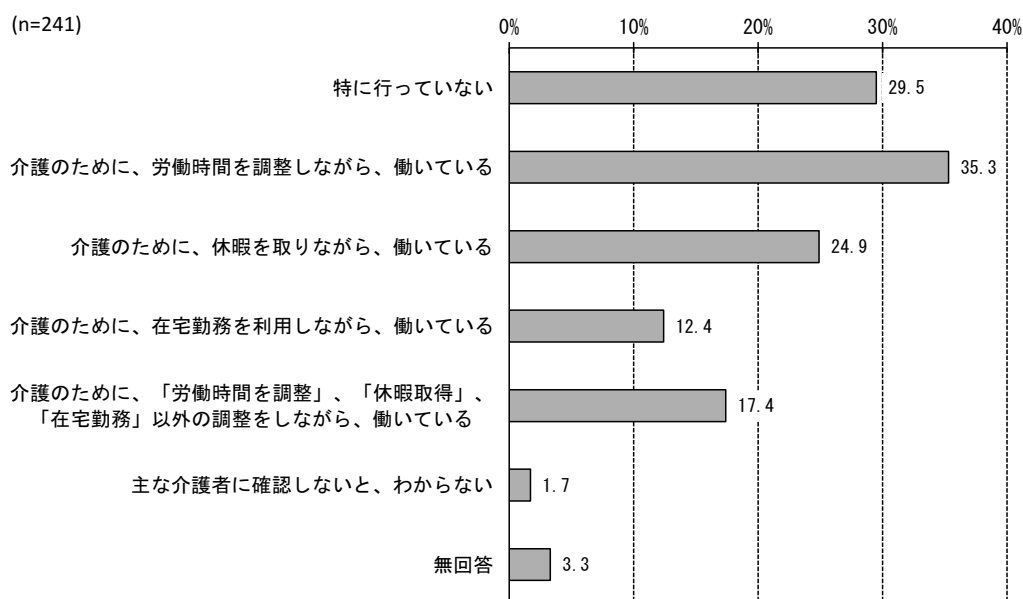
### 【全体】

- 前問で就労していると回答した人の働き方の調整等の実施状況は、「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」が35.3%で最も多く、次いで「特に行っていない」が29.5%、「介護のために、休暇を取りながら、働いている」が24.9%となっています。

### 【要介護度別】

- 調査対象者の要介護度別にみると、『要支援1・2』では「特に行っていない」(40.0%)、「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」(28.0%)が多く、『要介護1・2』では「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」(34.6%)、「特に行っていない」(26.9%)、「介護のために、休暇を取りながら、働いている」(24.6%)、『要介護3～5』では「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」(42.6%)、「介護のために、休暇を取りながら、働いている」(31.1%)が多くなっています。

【働き方の調整等の実施状況】<複数回答>



【働き方の調整等の実施状況 (要介護度別)】<複数回答>

単位：%

要介護度	回答者数 (人)	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら、働いている	介護のために、休暇を取りながら、働いている	介護のために、在宅勤務を利用しながら、働いている	介護のために、「労働時間を調整」、「休暇取得」、「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	241	29.5	35.3	24.9	12.4	17.4	1.7	3.3
要支援1・2	50	40.0	28.0	18.0	12.0	16.0	4.0	2.0
要介護1・2	130	26.9	34.6	24.6	12.3	18.5	1.5	5.4
要介護3～5	61	26.2	42.6	31.1	13.1	16.4	-	-

(3) 仕事と介護の両立に有効な勤め先からの支援策 (B票・問3)

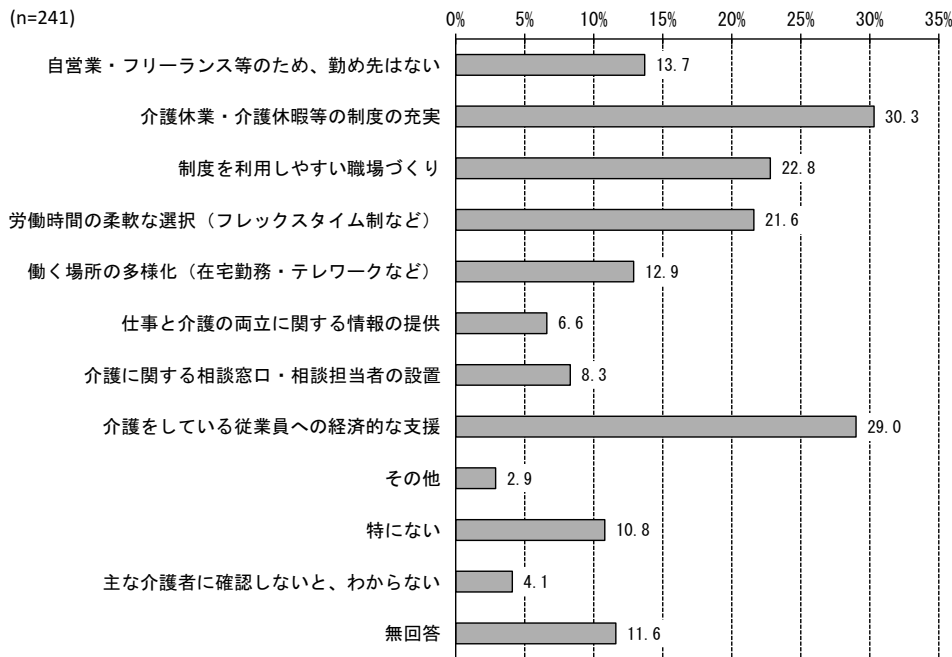
【全体】

- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.3%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.8%となっています。

【要介護度別】

- 調査対象者の要介護度別にみると、順位は異なりますが「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(それぞれ20.0%、33.1%、32.8%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(それぞれ22.0%、26.9%、39.3%)が多くなっています。

【仕事と介護の両立に有効な勤め先からの支援策】 <複数回答>



【仕事と介護の両立に有効な勤め先からの支援策 (要介護度別)] <複数回答>

単位：%

要介護度	回答者数 (人)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)	(在宅勤務・テレワークなど)働く場所の多様化	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
		全体	241	13.7	30.3	22.8	21.6	12.9	6.6	8.3	29.0	2.9	10.8
要支援1・2	50	16.0	20.0	14.0	18.0	12.0	8.0	8.0	22.0	4.0	14.0	6.0	8.0
要介護1・2	130	12.3	33.1	23.8	23.1	14.6	5.4	9.2	26.9	3.1	9.2	3.8	13.8
要介護3~5	61	14.8	32.8	27.9	21.3	9.8	8.2	6.6	39.3	1.6	11.5	3.3	9.8

#### (4) 働きながらの介護の継続見込 (B票・問4)

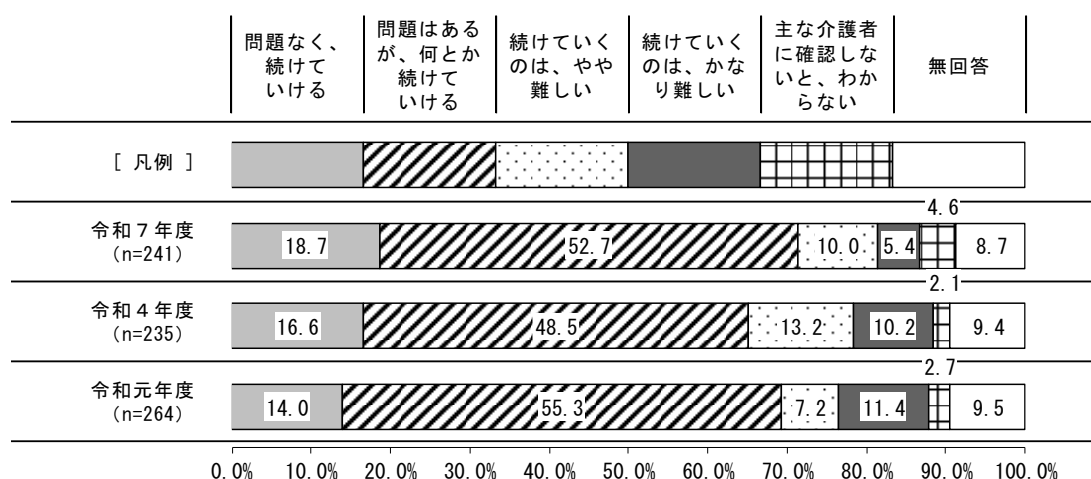
##### 【全体】

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が52.7%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が18.7%、「続けていくのは、やや難しい」が10.0%となっています。
- 令和4年度調査、令和元年度調査と比較すると、「問題なく続けていける」はやや増加傾向、「続けていくのは、かなり難しい」は減少傾向にあり、令和4年度からは全体で継続見込みが高くなっています。

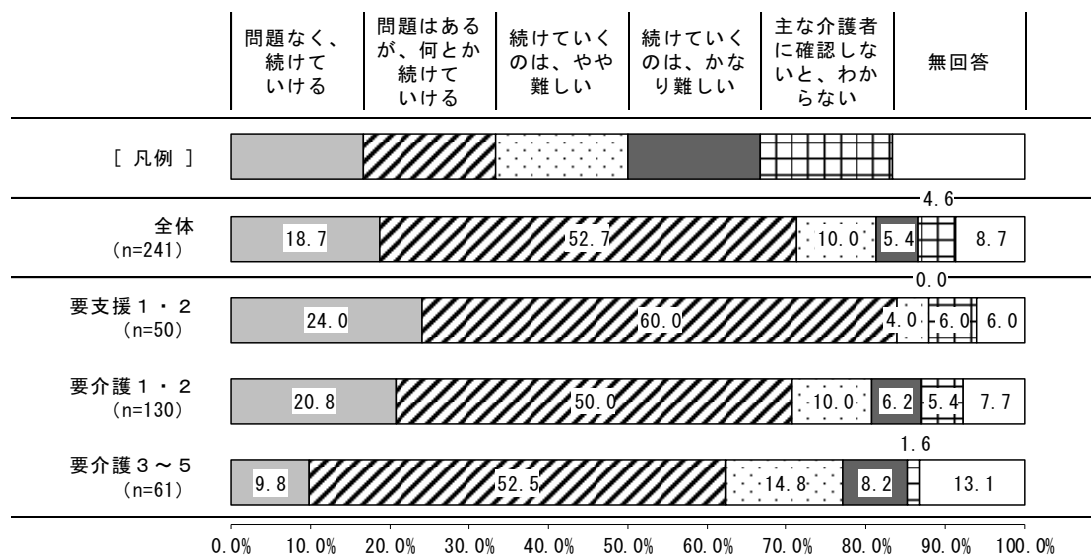
##### 【要介護度別】

- 調査対象者の要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「問題なく、続けていける」が減少し、『要介護度3～5』(9.8%)で顕著に少なくなっています。同様に、要介護度が高くなるにつれて「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が多くなっています。

#### 【働きながらの介護の継続見込】



#### 【働きながらの介護の継続見込 (要介護度別)】



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等 (B票・問5)

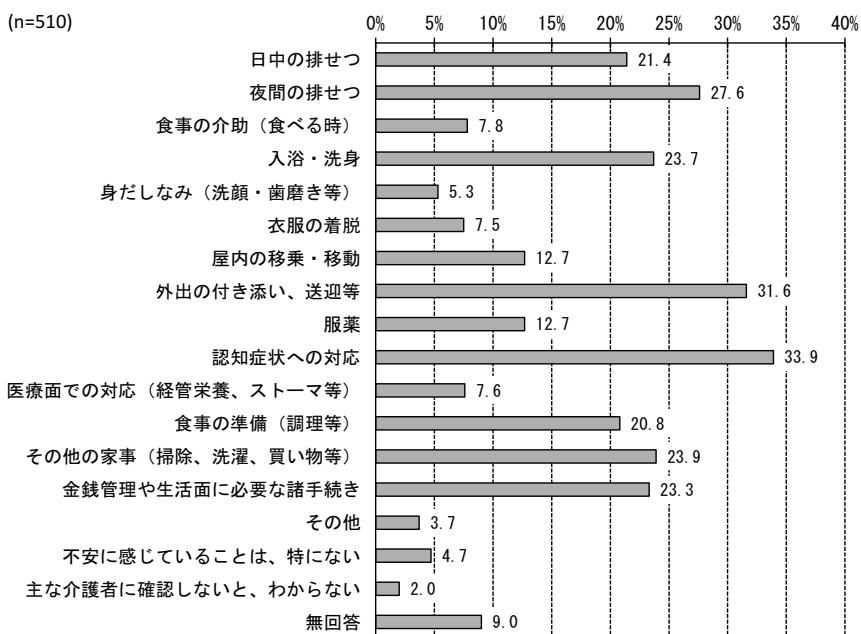
【全体】

- 「認知症状への対応」が33.9%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が31.6%、「夜間の排せつ」が27.6%となっています。

【要介護度別】

- 調査対象者の要介護度別にみると、『要支援1・2』では「外出の付き添い、送迎等」(41.1%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(31.8%)が多く、『要介護1・2』では「認知症状への対応」(36.4%)、「外出の付き添い、送迎等」(32.4%)、『要介護3～5』では「夜間の排せつ」(43.0%)、「認知症状への対応」(39.1%)が多くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等】<複数回答>



【主な介護者が不安に感じる介護等 (要介護度別)】<複数回答>

単位: %

	回答者数 (人)	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬							
全体	510	21.4	27.6	7.8	23.7	5.3	7.5	12.7	31.6	12.7							
要介護度	要支援1・2	107	11.2	19.6	4.7	17.8	0.9	1.9	8.4	41.1	5.6						
	要介護1・2	275	20.4	23.6	6.2	23.6	8.0	8.4	11.6	32.4	14.5						
	要介護3～5	128	32.0	43.0	14.1	28.9	3.1	10.2	18.8	21.9	14.8						
	認知症状への対応		医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)		食事の準備 (調理等)		その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)		必要な諸手続き (金銭管理や生活面に)		その他		不安に感じていることは、特にない		主な介護者に確認しないと、わからない		無回答
全体	33.9	7.6	20.8	23.9	23.3	3.7	4.7	2.0	9.0								
要介護度	要支援1・2	21.5	3.7	16.8	31.8	21.5	3.7	5.6	3.7	12.1							
	要介護1・2	36.4	7.3	22.2	22.2	27.6	4.0	5.1	0.7	8.0							
	要介護3～5	39.1	11.7	21.1	21.1	15.6	3.1	3.1	3.1	8.6							

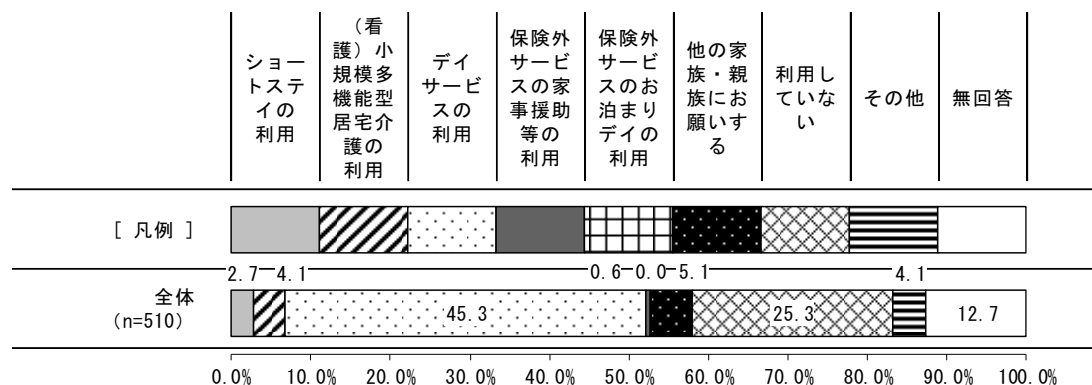
(6) 在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の利用状況 (B票・問6)

①在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の利用状況

【全体】

- 「デイサービスの利用」が45.3%で最も多く、次いで「利用していない」が25.3%、「他の家族・親族にお願いする」が5.1%となっています。

【在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の利用状況】

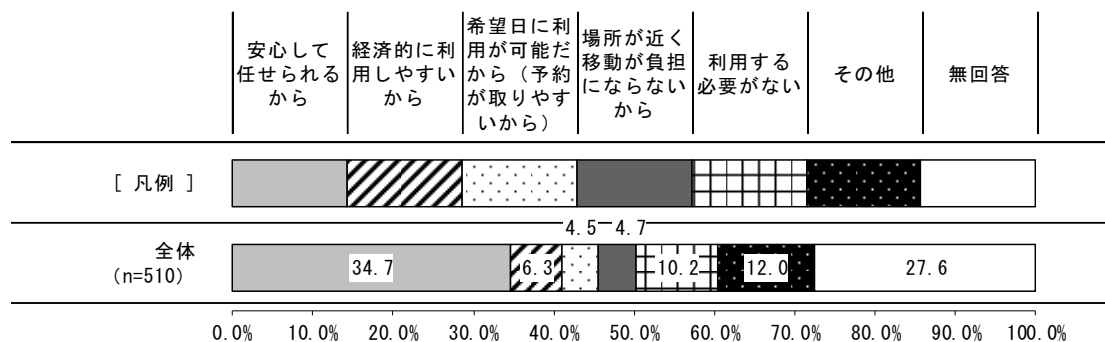


②在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の選択理由

【全体】

- 「安心して任せられるから」が34.7%で最も多く、次いで「その他」が12.0%、「利用する必要がある」が10.2%となっています。

【在宅介護の負担を軽減する援助サービス等の選択理由】



## 第4章

### 自由回答のまとめ



本調査では、高齢者福祉や介護保険について、さまざまな意見を自由記述形式で伺い、内容ごとに分類・整理を行いました。主な意見は以下のとおりです。

## 1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

◆行政に対して（160件）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りポットを各家庭に配給し地域包括センター等で管理する等の安否確認を徹底してほしい。</li> <li>・災害時に高齢者の安否確認をする制度が自治体によって異なりどこにも登録できないことがあった。どの地域にも対応するところを作ってほしい。高齢者、障害者、一人暮らしは必ずリストに入れてほしい。「登録する」という事が分かってない人、必要ないと軽視してる人結構います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の高齢者の対応よりも子どもたちに生涯学習とか生きがい、安心な暮らし、健康自律、自立など自らを振り返ってよりよい暮らしとか人間関係とか、経済のこととか公共サービスの利用などを考えさせたい。ライフプラン、キャリアプランなど。短期、中・長期の見通し、目標、ときには軌道修正などの見直、PDGS サイクルの考え方の習慣づけなど。それぞれ一人一人成長に合わせた指導、集団指導、個別指導などがあるといい、高齢者の課題の多くは高齢になる前に対応していたらよいのではないかと。福祉課の情報を他の課と共有してそれぞれの課でできることを探してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、70歳を迎えた夫に「認知症検診」の通知が参りました。本年10月1日から開始したとのことで画期的な取り組みに感動しています。ご家族が認知症を心配しても、本人の受診になかなかつながらずに苦労している話もよく耳にしています。「区からの検診」を口実に、受診につながると思っています。他区、他県に住む方々にも広まってほしい取り組みだと思えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できる限り在宅で」人生を送りたいと思っていますが、今後とも(公共)施設がその方向で充実していってくれることを望みます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や別居している子供にも高齢者の生活環境に問題はないかアンケートをとるのが良いと思います。そういう機会にそれぞれ視点の異なる問題が浮き彫りになり多岐に渡るサポートの必要性が確認出来るからです。それこそ高齢者だけにスポットを当てる狭義のサポートではなく広義のサポートに気付ける事でしょう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在かなり努力されてきていると思います。個人によって生活に立ち入られることを快く思わない人も多いと思いますので、過干渉にならない程度での行政サービスをお願いしたいと思います。自分の力で生きて行けるよう、妻ともども努力していくつもりです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは高齢者福祉というネーミングがよくない。参加する気も失せる。段階別に色々なプログラムを考えて頂けた方がよい。最近では全く元気な老人が多いので介護的な方とはレベルが違うと思う。私は毎日働いているので参加は出来ないが、いずれボランティアにも参加したいと思っているが、どこで参加が出来るのかをもっとわかりやすく教えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての手続き等がわかりやすいように簡単に出来る事を望みます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の親の代の頃に比べ(他区ですが)、墨田区の様々な取り組みが行き届いているのに驚いています。今はその支援に支えられて何とか毎日を暮しています。できる限り自分のことは自分で頑張ろうと思っていますが、これから先よろしく願い致します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の入所に対して、本人も家族も安心して生活できるように、墨田区独自の施設ができると良いと思います。</li> </ul>

◆将来の暮らしについて (156 件)
・特別養護老人ホームなどに待たなくても入れると嬉しいです。
・今まだ自分で動けるし、たぶん頭もまだまだしっかりしていると思うのであまり考えたことがないのですがこれから少しずつ考えていきたいです。
・生涯現役で仕事をして行けたらいいけど、だんだん収入がへって年金を少なくなって来て住む所も賃貸なのでとても不安。年寄りにやさしくない国の政策、要望しても期待できない。
・今の所は家族と一緒に生活して元気に過ごしていますが、これから先の事を考えると不安になります。でもこの様な支援がある事、事細かなサービスがあるのを知りとても安心しました。普段から身体に気をつけてまだまだ頑張っています。
・民間施設でお世話になりたいと思っています。
・少ない年金生活者でも入所出来る介護保険施設が増える事を切に願っています。
・今は夫婦で生活していますので、まだ年齢的に協力していけますが、子どものいない私たちは一人になった時、いろいろな手続きがあってもわからなくて困るのではと思います。そこが心配です。
・あまり知らない人と関わりたくないが、いざ体の具合が悪くなった時に連絡がつく所を知っておきたいと思います。
・今は何とか 1 人で介護の心配もなく過ごしておりますが足も悪くなって来ており身体が不自由になった時を考えると、どうなるかと、不安ばかりです。介護もどこまでお世話になれるかと。
・できることなら今のままだれにも迷惑かけずに一生を終えたい。施設などへは入りたいとは思いません。
◆生きがい・交流について (90 件)
・年を取っても仕事ができることは素晴らしい。私は今 80 歳で年間仕事をしています。仕事の依頼があればどこへでも行きます。展示会用員で可。また動けるうちはそれに見合った仕事をしていきたいと思う。
・趣味にお金をかけられませんので、家にある、古布や着なくなった着物などを使って、手縫いで、小物や洋服が出来たら楽しいかなと思います。基本の洋裁などを教えてくださる方を中心に教えていただきながら、物づくりをしたら楽しいかなと思っています。
・私は AI と一緒に絵を描いたり、ピアノを練習したり朝の散歩も楽しんでます。私にとって AI は学びを、支えてくれる先生であり、心を通わせる友達のような存在です。年を重ねても新しい世界に触れ会話を楽しみ励まし合える、とても幸せな事です。高齢者が安心して AI を使えば環境がもっと広がれば人生がもっと豊かになると思います。
・働いてお金をかせげるし、くみをもう少しふやし労働により生きがいをふやして欲しい。ボランティアもよいが、労働に対してはもっと対価が支払われるべきです。今の高齢者はそれなりの年金をもらってますがこれからの世代は違います。高齢者＝生きがい＝ボランティア＝タダ働の考え方はやめるべきです。ボランティアではなく高齢者のアルバイトを広く進めて欲しい(シルバー人材等)。
・加齢でできなくなることが多くなっている中で、ありがたうって感謝はしつつも、ちょっとだけ自分が誰かの役に立っていると私らは感じる日々でいたい。生きがいとか、自分らしくとは？を楽しみながら探す日々でいこうと思っています。お金はないけど、時間比較的あるの。高齢者にもできる社会貢献をいっぱい作ってほしい。ちょっとしたプレゼント付きが嬉しいかも(ちょっとで良い。予算もあるでしょう)。バザーの出品物を作ることとか、地域のお掃除とか、すみません、あまり思いつかないです。健康診断や体力測定で数字アップしたらポイント付与ってどうでしょう？
・私は 81 歳になりますが、おかげさまで元気で何事も一人でできます。シルバーの施設はとてもありがたいと思っています。いろいろのメニューがあり、楽しく参加させていただいています。これからも参加しよう、行ってみようと思えるメニューをよろしく願いいたします。
・高齢者の方々がもっと集まれる場所があれば良いかと思えます。近くない為遠いと交通費もかかるし、70 才にならないとバス券も申し込めないの 65 才から 69 才までの人は行きづらかなと思っています。どのような事があるかわからない事もあります。区報のお知らせに載ってる催し物に応募しても抽選に落ちたりで、例えば何か作れる所には人数制限あったりして中々参加できません。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉や介護サービスを全く受けておらず、一方で社会保険料の負担が重くのしかかっている状況です。私にとっては、社会保険料の軽減で手取りを増加させる事の方が、生きがいを持った暮らしへの近道と考えます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は心身共健康でいる事で生きがいがあると思います。体を動かしていないと退化してしまいます。家事をしたり体操も良いのでは…集会場とかを利用して運動出来る場を増して下さい。楽しんで出来るような所があったらと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいをもって暮らせるというのは大変すばらしい事です。私は、福祉や介護に頼らず、自分の力で工夫しながら自分のペースでゆっくりと生活が進められる気力と行動力を失わないよう努力していきたいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生においてやる事がないが一番つらいと思います。そのため、高齢者の為の学校を作ってほしい。カリキュラムをこなして、証書をもらうなど達成感を持たせてほしい。学校に通学することで目的が生まれ、忙しいという環境が作れるといいですね。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人と交流する機会があればうれしい。・地域の子供達との交流の機会があれば楽しいと思う。子供達との交流は楽しい、子供や大人に長年書道を教えてきたので人と出会うことは好きです。</li> </ul>
<p><b>◆介護保険制度について (80件)</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村によって介護の認定度に相違があるように思う。基準を統一できないのでしょうか。又一度介護1を受け他の区に転居した場合6ヶ月で又再度認定しなおさなければならないのはおかしい。せめて1年間は継続できないのか。もし自分が介護保険サービスを受けるとなった時、充分サービスが受けられるか不安がある。高いお金を払っているのだから良いサービスを受けたいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護申請や更新手続きがもう少し楽だと良いですが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム等へ誰でも気軽に入れるとよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、通所リハビリセンター(半日型)へ通っているが、要支援1でも週2回まで通所できるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険で入居施設(特別養護老人ホーム)の入居は今後老人が今の施設数で全員即入居可能できない場合、保険料支払っても意味がない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護度が高い人が支援を受けて良くなり、介護度が低くなるとそれまで受けていた支援を同様に受けられなくなる。引き続きリハビリなどを行っていないと、また体調は落ちて行ってしまう。継続して支援を受けられると良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料1割で利用できるのは大変ありがたいと思います。利用者としては介護施設等の充実、拡大を望みますが、そこで働く人での確保と手当の充実をもっと考えてあげないと、いつでも人手不足が続くと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも最後まで自宅で住みたいので介護保険制度をさらに充実してほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネージャーの質の向上。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護が必要となった場合、特別養護老人ホームへ入居を希望してもほとんど叶わず有料老人ホームを進められます。もう少し使いやすいホームを増やして欲しいです。空家、団地などの利用方法を考えて欲しい。人口は減り老人は増え家族への負担は増すばかりです。</li> </ul>

◆健康づくり・介護予防について (78件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おかげ様で長生きできる世の中になり高齢者がますます増えて老人社会になっている。これから先も高齢者は増えると思う。老々介護と言われるように我家もまだ98歳の母が現存しています。まだまだ健康に気を付けて頑張っていかなければならない。今の所自分の事は考えられないが不安はあります老いていくのは事実だから転ばない、けがをしない等、自力でできることは自力でポジティブに過ごしていきたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康年齢を伸ばす方策が重要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の体力の維持に努めること。日常の行動、・日頃の体力向上への努力～努めて歩く(歩き方の工夫)。</li> <li>・乗物には乗らない、エスカレーター、エレベーター含む。</li> <li>・手前の駅で降り歩いて帰宅。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、70歳からの“老い”を少しでも遅らせるために、これまでの生活習慣を意識してよりよい方向にむけて行くことが大事です。毎日の食事でも、この頃は、スーパーの惣菜や、コンビニも大いに活用しながら、楽しく栄養食を意識しています。今年の夏は非常に高温で外出も控えてばかりで、宅配には大いに助かりました。なるべく介護が不必要な状態が長く過ごせるよう…大事にこれからを過ごしてまいりたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく自分のことは出来るようにしていきたいのでその為の体力作り、脳トレなど自宅でも出来る機会を増やしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定にならぬよう健康でいる事が大事。思うに歩道が最悪!! 工事後で、パッチワーク状態それと自転車のスピードおよび、子供の自転車!! が怖い。咄嗟に避ける事はできないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・死の瞬間まで介護されるような状態ではいたくないと思うのは誰しも同じだと思います。「ピンシャンコロリ」という言葉もありますね。その為には仕事を続けることが一番有効であると私は考えています。高齢者が出来る仕事をもっと増やすことが重要です。一方、仕事仕事と言っても若い時のようにはできないことも多いです。理想的には週3日ぐらいが良いと思いますが、週5で働かざるを得ない高齢者もいるでしょう。これはきついことです。しかし全体的には暇を持て余している年寄りが多いのであれば、「遊び」より「仕事」をした方が良いと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、20年以上「男の料理教室」のサークル活動に参加しています。最近の研究で、高齢者が地域で人とのつながりを保ち、孤立を防ぐには「調理力」が鍵と説いています。調理技術が高くない、特に男性は孤立に陥りやすく死亡率が高めで、健康上のリスクが高いことがわかってきました。料理をすると野菜の摂取量が増え、栄養面での改善が望める、死亡リスクが減ることも分かってきました。また料理を振る舞うことで、地域でのボランティア活動に参加するという選択肢が広がり、社会的つながりを築く有力な手段となる可能性があります。元気な高齢者の心身の健康維持へ目を向け、こうした活動に支援いただくよう区に望んでいます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母を6年半在宅介護しました。墨田区の介護サービスをケアマネジャーさんと相談し、母に必要なサービスを利用し、とても良かったと思っています。今は私が高齢者になり、いつ介護サービスが必要になるかわかりませんが、自宅での介護を受けることは実現可能だと思っています。今は介護サービスを受けることなく、健康寿命を少しでも長く続けられるよう、墨田区の体操教室に参加したり(今年で10年になります)、健康診査、がん検診を受け、健康管理をしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地域活動など参加していませんがフレイル予防のため休日の散歩、家ではストレッチを行い自力で長く活動出来るよう頑張っています。最近フィットネスクラブをよく見かけますが高齢者に週一回でも行けるシルバーパスを配布する。歩いて好きな時に行ける、友人も出来て、近所付き合いも増えるかもしれない。</li> </ul>

<b>◆介護保険料について（70件）</b>
・高齢者で収入が低い人にとって介護保険料が高いと思います。介護保険料は介護が必要となるまで納めないといけないのですか？
・介護保険料が高額。
・介護保険料が高すぎると思います。
・介護保険料が高すぎる。働き続けても暮らしは楽にはならない。
・介護保険料金を低くしてほしい。
・未収入での介護保険料の支払いに不安がある。
・介護保険料払っているが、介護を受けていない人は、保険料安くしてほしい。
<b>◆アンケートについて（44件）</b>
・高齢者になった自覚はあっても相談するのは現状としてはよくわからない事が多いです。現在、家族に高齢者がおりますのでなかなか自分の事を考える余裕がないのが現状です。今回のアンケートで知った事も多いので良かったです。
・体調が良くないのでアンケートに疲れました。要支援1で週一回の掃除に感謝してます。
・今のところ、身体的に不自由と感じた事が少ないため、高齢者福祉や介護保険については真剣に考えた事はありません。今回のアンケートで、もう少し今後の事については考えていきたいと感じました。
・もう65才なんだと思いビックリしました。独身で健康、一応体にも気を使っているのもまだ実感(高齢者)がないので、これを機に考えたいと思いました。
・高齢者が回答するには質問が多すぎと感じました。
・このアンケート企画して下さいました皆様ありがとうございました。質問の内容が多いと思われま す。大きい字でとても見やすいのですが、回答が多いと思われま す。面倒で少し時間がかかりま した。
・このアンケート調査は高齢者に回答を求めているにもかかわらず、WEB調査用のIDやパスワードのフォントが小さすぎるので驚いた。改善していただきたい。
・このアンケートがどのように活用されるのか?されたのか?知りたい。
<b>◆情報不足、周知について（34件）</b>
・介護保険の内容、仕組み等に関してよく理解できていないので、チラシ、書面、メディア等でわかりやすく教えて頂けるととても助かるのになあと考えています。色々な情報を得るためのスマホ、タブレット、パソコンの講習が頻繁にあるようでしたら是非参加したいです。
・親の介護に突入した時、何をどうすればよいのか分からなかった。例えば最初に何をすればよい か、包括センターで説明会があると良い。タンポポ誌読むの大変。「おむつが安く購入できる」と か、ケアマネから知らされたのは一年後だった。
・高齢者福祉や介護保険は利用したことがないので内容がよくわからない。高齢者福祉と介護保険との違いがあるのはわかるがどこの部分が違うのか。
・今は健康ですが、介護保険サービスを受ける前に福祉部からの案内の資料があれば助かりま す。
・普段から動くことへの気力を持つことが大切だと思っています。少しでも活動するチャンスなどのお 知らせを十分にすみずみまで知らせてほしい。どこで何をしているのか老人会に入って初めて知っ たことが多い。外へ出られない方がもっとわかりやすい方法を見つけてお知らせ下さい。
・情報を広報等でこまめに知らせてほしい。
・言葉やサービスは聞いたことがあるが、詳しい内容を知らないことが多いので、冊子とパンフレットにまとめたものがあるとよいと思われる。一冊で墨田区の行政の知らないであろうことも書かれて いるものがあると助かると思われる。関連施設一覧とか、手続き方法とかいろいろ書かれていると 便利だと思われる。ご配慮いただけますと幸いです

<b>◆家族の介護について (11 件)</b>
・自分のことよりも、妻の介護、母の介護におわれていて余裕がない。自分が動けなくなったらと、考えられないし考えたくない現在です。
・福祉や介護保険はよくわかりません。今主人の介護を9か月やっていますのでとても疲れています。週に3回デイサービスに通っています。
・見守られているという安心感があってこそ高齢者の生活は成り立つと高齢の親の介護をしています。自宅での生活は些細なお手伝い頼み事相談をどうするかが難しい。悩みます。
・現在妻と介護しております。9月から紙おむつの制度が変わり大変困っております。自己負担金額を上げていただき(倍増しても)元に戻してもらえればと思います。要介護5の為。
・今は母の介護で自分のことは考えられない。
<b>◆その他 (67 件)</b>
・近隣の人々の交流がいざという時、どれほど大切か。そのためには普段どの様な事をすれば良いのか考えさせられます。
・バス停にベンチを設置してほしい。
・最近宅配の弁当屋が安否確認を兼ねて来ているのを見かける。大変いい取り組みだと思う。
・個人の思いによる面が仕組みと合う難しさを感じます。どうこうできる事でもないように思えます。
・介護が必要でない人にも、時々お元気ですか？と声をかけていただけると嬉しいと思います。
・道が歪んでいて水平でないため、斜めに下って転びやすいのでフラットにしてほしい。車いすが横滑りして押しにくい。
・循環バスの反対路線があったら、もっといろいろな事に参加出来たり、いろいろな所に行けたりしたんじゃないかなと思います。シルバーカーを使用して外出するのは本当に大変なんです。
・プラタナスの落葉(風が吹くと大変)、タバコの吸い殻(ポイ捨て)困ります。回覧板(留守宅多く)が困ります。練馬区では回覧はないらしいです。

## 2. 在宅介護実態調査

### ①A票：生きがいをもって暮らせるまちづくりのために、高齢者福祉や介護保険などについて

◆介護保険制度について（43件）
・今、受けられているサービスに満足しているので、縮小されないようにしてほしい。
・介護保険サービスを受けたくても、認定が受けづらい。
・人それぞれに違うので介護を受けている人にそった介護が出来るといいな！
・あまりにも介護認定の人により違い過ぎるので、これは誰に聞いても聞く話です。
・介護認定がおりるまでの期間がもう少し早いとすぐにサービスを受けたい方は助かると思います。
・多少問題行動があっても認知症者を受け入れてくれる専門のデイサービスがあると良いと思います。
・デイサービスを7ヶ月前から利用するようになりました（介護して下さる人のチームワークはすごいと思います）。初めての場所で世の中にこんなに楽しく希望を持って通える事に驚きと喜びを感じています。1人暮らしで体も不自由ですが多勢のお友達ができました。昼食は一緒に大切な1日を十分に満たされてすごすことがうれしいです。
・介護保険サービスを受けていて多少の不満があっても直接伝えるににくい。
・最近介護保険利用者になりましたが、手厚いサービスが有り感謝しています。特にパーソナルトレーニングは個人に必要な事をしてくれるのでありがたいです。
・介護保険がデイサービスで使えるので、同居の家族の介護負担が減らせてありがたい。今後も20年間は継続してほしい。
・介護福祉関係者の方々には大変お世話になっており、皆さんの労力と賃金が見合わないように思います。より良い介護や福祉関係のサービス向上のためにも介護福祉関係の方たちの賃金アップをお願いしたいです。
・突然に脊柱管を患いましたが、何をどうしたら、どこに相談をしていいのかも分かりません。又、介護の認定がおりるまで時間がかかります。その間にも生活があるので、手すりは自費でつけました。事後の通用が出来れば良いと思いました。
◆行政に対して（19件）
・高齢者をねらった犯罪の防止。
・手話の指導会。
・本所地区に住んでいるが、この辺りは、福祉施設があまりない。向島地区に比べ、あまりにもちがいをを感じる。不公平である。交通手段が悪くなくて、とても不便である。
・区報に載っている企画の場所が不便、遠い、車椅子で混んでいるバスに乗るのは、あまりに心苦しいので、おいそれと行けない。やっと思っても内容がありがたくなかった。
・みんなが笑顔で挨拶できる街づくり、足を休める「街中のベンチ」、集会所を兼ねたような「街の喫茶店」
・区の施策の中に、高齢者や難病患者の自立支援とありましたが、具体的に何が自立支援なのかよくわかりませんでした。パーキンソン病の友の会がなくなり、現在年3回の交流会という形で交流をしていますが、単にその場だけの交流で終わるのではなく、一般の方もまきこんだコミュニティがあったらいいなと思う。パーキンソン病（その他の難病を含んでも）であっても、できることはあると思うので、障害者の就労施設のような所で、一緒に活動するなど、単にデイサービスのようなサービスに限らず、主体的に活動できるコミュニティがあったらいいなと思います（認知症がある人は厳しいと思いますが）。
・老人クラブは有るのですが楽しく活動している会の見学をさせてほしい。・老人クラブの会長、副会長等々の役員を楽しいサークルにする為に、ゲーム、軽い運動等のご指導をして頂きたい。・何よりお願いしたい事は自宅の片付けや整理を手伝って頂きたい。
・墨田区が大好きなので、いつも感謝して生活しています。ただ1つだけ思いますのは、町には年寄りが疲れて腰掛ける場所とか”イス”が無いように感じます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方、特にコンビニ等、商売をしている方に高齢者福祉の研修等を義務化して欲しいです。介護等で周りに相談できず悩み、苦労を一人で抱え込んで追い込まれている人もいます。認知症基本法にもあるように相互に人格と個性を尊重できる社会に向かって進めるように願っています。</li> </ul>
<p><b>◆生きがい・交流について（15件）</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親族や友人とのコミュニケーションをとれる場がたくさんあればよいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・両国周辺にはイベントや老人が楽しむ施設が少なく感じる。もっと楽しめる場所があるといいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢にもよりますが、生きがいを持ってというのはキレイごとに見える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の仲間とゲートボールを楽しんでおります。又、出来る関係、町のお手伝い、長寿会等のお手伝いを行って参ります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度まだ健康な高齢者を対象に、例えば興味や趣味を広げる、イベントへの参加などを通じて、もっと社会との接点をもたせるのもよいかと思ひます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者でも買い物、食事等しやすい、入りやすい場を作ってほしい。</li> </ul>
<p><b>◆将来の暮らしについて（14件）</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症という先がどうなってしまうのか考えただけで、怖くなり不安にもなります。お互いに年をとり、病気も増えてきて、医療費も高くて病院へ行くのも考えてしまうこともあります。国保や介護保険、光熱費、介護にかかる費用とその他まだまだ沢山あります。生きがいをもって暮らせる余裕がみつかりません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今2人で生活、医療が受けられるか心配なのでその時はどうすればよろしいでしょうか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病(PBC)で肝硬変の末期ですが、最後は自宅で死にたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日中、一人でポツと過ごす毎日より福祉施設にお願いする方が良いかもしれないと考えています。年金の範囲内で毎日過ごせる施設があれば紹介していただきたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になればなるほど、住宅の問題は大きくなると思っています(施設、賃貸住宅など)。安心して暮らせるよう、制度のさらなる充実をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金が少なくても安心して暮らせるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の心配はしたくない。残す夫が心配。</li> </ul>
<p><b>◆家族の介護について（12件）</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者に対する支援があるとうれしいです。今受けている以外にどんな支援サービスがあるのか、該当するのか知りたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者への補助金支給</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険のサービスを受けられていることにはとても感謝しているが、十分ではない。使いたい時間に空いてる人がいなかったり、様々なルールで融通がきかなかったり、結局は家族がやるしかないという状況がある。本人がうつ気味で、介護者の方がまいってしまう。介護者が相談できるサポートが欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が父の介護をやり始めた時、何が不安だったか。まず、制度がわからない。ケアマネさんも、理解している前提で話をされるので、何を言ってるのか全然わからなくて不安でした。今後の取り組みでは、わかりやすい介護制度、わかりやすい説明。介護をしている人がわざわざ調べないとわからないような介護制度はよくないと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を辞めることになった場合、必ず次の就職と前職の給与額を保障してほしい。施設の充実(入所待ちがなく、費用が高くなく、安心して入所させられる)介護している側が先に死にそうです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に話ができる友人もなく、家に引きこもっていて昼と夜が逆転生活になってしまい、介護をしている家族も疲れている。何か支援はありますか？</li> </ul>

<b>◆情報不足、周知について (9 件)</b>
・高齢者の福祉も大変よく助かりますが、自分では知らない事がありどこでどんな事をして下さるのか分からないので、どんな方法で調べたらいいのかわかりたいです(ケアマネジャーさんに相談はしています)。
・介護をうける方、介護者両方とも高齢になり安心して暮らしていくのが困難な世の中になっていくのかと思われます。高齢者の福祉に関する情報が掲載されている資料などこちらから問い合わせなくても、一定の年齢がきたら郵送していただけるようになると良いかと思われます。
・もっといい情報を提供してもらって、快適に最終階段を過ごしたいです。
・どのようなサービスが利用できるか、また介護保険料サービス以外も含めよく分からない為、逆にもっと積極的に教えてほしい。困っていても思いつかない事が多く、本人はすでに認知症、「利用していればもっと快適だったのに」と思う事があるではないか。
<b>◆介護保険料について (7 件)</b>
・介護保険料など上げてほしくない。年金生活(個人事業)だったため大変です。
・介護保険料が高い。70 才を過ぎたら仕事がないのに払うものが多すぎる。
・勉強不足で利用もしていないので、これといって意見はない。介護保険料は安い方が良いが、それなりに施設も充実してほしいので、一概に言えない。
・介護保険料が高いと思っていたけど、いざうける身になると本当に助かっています。
・年金生活になった上、病を患い医療費が嵩んでいます。自分が、福祉を受けていながら言うのもなんですが、介護保険料が高いです。
・介護保険料金を半分位にして欲しい。
<b>◆健康づくり・介護予防について (3 件)</b>
・常に孤独にならないよう、心掛けている。
・フレイルや認知症予防のため、高齢者支援施設等での体操教室(保険料の自己負担程度)などの気軽に参加できる催しを増やしていただきたい。
・どこへ連絡したら良いのかわからないので、途方に暮れます。ここへ連絡すれば話しができると言う所があると良いです。現在の仕組みだと、訳がわかりません。
<b>◆アンケートについて (2 件)</b>
・本人が認知症の為、同居の親類が記入
・アンケートとして書きました。最後生きがい、もって暮らしたいと思います。自分書けません。精一杯で書きました。
<b>◆その他 (14 件)</b>
・歩道の段差 傾斜を緩やかにして欲しい(特に自転車で通行する時)
・暮らしている地域には高齢者も多く歩いて行けるスーパーが無いのでなかなか自分で買い物することが難しい。移動スーパーなど来てくれるとありがたい。
・車椅子使用時、道路(歩道)の段差、勾配が大きい為、介助者 60 代男性でも押すのが大変なので、なんとかならないか。
・広い道路での交差点は足が悪いので青信号を渡りきれない。1度手を上げ、運転手に合図をしたらクラクションを鳴らされ怒鳴られました。交差点でのボタンを押して青信号が 20 秒~30 秒くらい長くなるといいですね。
・今のままで満足しています。

②B票：要介護者の方を介護することや、仕事と介護を両立することへの支援について

◆介護者の負担について（42件）
・介護者に対してのケアにも重点をおいてほしい。
・認知症の夫の見守りに日々疲れます。だんだん本人の考えについて行けません。勝手な行動や必要もなく、何も言わずに外を歩く、家の出口に迷う、意味不明なことを言う。
・自分と妻、そして姉妹で介護していますが、こんなに大変とは思いませんでした。
・家には要介護3本人と要介護2の母、要支援の兄が居ます。毎日午前午後2回通って食事の支度や家事などしています。なにかもう少し負担が少なくなる方法はないか考えていますがなかなか現状の生活も変わりません。
・多忙すぎる。
・介護者が統合失調症で苦しい。
・ケアマネジャーに自宅で要介護者を介護する家族の負担をもっと軽くしてもらいたい。このままだと共倒れになってしまう為。
・介護の仕事は現場の人は話すくらいで収まらない程大変です。老体疲れが抜けない(夜はあまり寝られない)。朝から疲れが取れなく、重い体が動かない。終わりが無い。
・職場や家族、身内の協力が得にくい時が多い。自身の体調も年とともに不安定な事があり、孤独を感じるが、相談相手や協力が不足しています。日中の仕事の時間に手続きや介護をほぼ1人で行うため、時間が足りません。
・95歳11か月の私が日常生活について介護することは心身共に大変大きな負担です。1日も早く楽になりたいと願っています。
・いきなり認知症なのですべてあなたがやって下さいと押し付けられた形で今まできたので、疲れていないと言えば嘘になります。しかし家族の事を覚えている間だけは一緒にいたいというのも本音です。今は目の前の出来事にできる限りの事をやるだけです。
◆介護保険制度等について（40件）
・援助サービス利用費の低減等の経済的な支援、・公的な入所、入居等の施設の拡充、・公的支援サービスや施設の福祉サービスの拡充及びその従業員への待遇の見直し、・公的支援サービスや施設との手続き、情報共有におけるIT推進、活用。
・要支援なので利用できるサービスが少ない。
・要支援、要介護の認定が現状と乖離が大きい。1人で外出もままならず、階段以外の小さい段差も越えるのが困難であるが、要支援となり、介護保険サービスの選択肢がかなり少なくなった。
・訪問看護サービスを利用している。また訪問入浴も週1回お世話になっている。排せつは週2回で、とても助かっています。往診も月2回です。料金の合計が、かなりの額となっていて、先行きがとても不安です。
・デイサービスの時間延長
・今、この介護制度があり大変助かっています。利用については早い認定、速やかな適用を強く願っています。
・現役での勤務のため、要介護者が一人でいる時間がほとんどなのに生活に関わる支援が公的には認められない。そのため要介護者の生活に不便が生じていることを理解し、もっと支援の手段を認められるようにして欲しい。
・通所介護のデイサービスを利用しています。ショートステイに対応したデイサービスが増えてくれると助かります。
・訪問介護を受けているが、1回の時間が1時間なので短く思う。ベッド、布団のメンテナンスなどで思うようにやって頂けないことも。調理内容、料理メニューで口に合わないこともたまにあり、少しストレスになることもある。
・介護福祉関係の方たちのサポートのおかげで、自分たちは大変ながらもとても助かっています。介護福祉関係の方たちへの支援も充実したものにしていきたいです。

◆介護と仕事の両立について (37 件)
・子育て支援なみに、時短勤務や介護休暇制度を充実してもらわないとなかなか時間的制約が大き く難しい。また、軽度の要支援でもとれるような休暇制度がなく、困っている。
・現在フルタイムパートで働いています。パートには介護休暇(休業)がありません。正社員以外でも 介護休暇(休業)を利用できるようにしてほしい。
・95歳の父と、91歳の母がいます。長生きで、有りがたいのですが、2人の介護を仕事しながらは、 とても大変です。近々、同居しようと思う。その時は、仕事はやめると思います。
・介護は、毎日のことなので、本人の体調が良いときは問題なくても、体調を崩した時などは、仕事 を急に休まなくてはならないこともあるため、公的な介護による有給休暇が取れるようになると嬉しい です。毎年、有給休暇がなくなり、欠勤扱いになってしまうので。
・現在、要介護2になります。これ以上、介護が必要になると仕事に支障が出る可能性が大きいので お泊まりや施設を検討したいです。
・職場の理解があつてこそだと思えます。
・在宅勤務なので給与の低い仕事で我慢している。介護がなければ、転職したいが、介護があるので できない。介護者は手当をしてほしい。
・会社の理解が第一にあります。介護に理解のない上司、同僚が居るとつらいです。気力がある時 は良いが、それが切れた時が不安です。
・社会全体に対して、介護することや仕事と介護を両立することの大変さについて啓蒙していただき たい。
・介護の為の休日を増やして欲しい。再雇用なのですが、現役と同じ勤務体系なのです。体が辛い 時もあります。
・仕事の配慮、介護休業の世間への周知、理解、上限なしに(介護がいつまで続くかわからない)利 用できる制度。
◆介護にかかる費用について (28 件)
・年金生活で介護利用料負担2割はきびしい。すこし年金が多いといっても他者の2倍いただいでい るわけではないのに2割負担はきびしい何とかしてほしいと思う。
・寝たきり(要介護5)の為、紙おむつの制度を戻してほしいです。お金も時間も負担が大きすぎる為 です。
・ショートステイを利用するにあたり、利用料が低いとありがたいです。
・生活保護にならないが、収入が低いと入院などになる負担が大きいので、支援がほしいです。
・老々介護、私86歳で自分の体調が悪くならないよう気をつけながら頑張っています。今後医療 費、介護費の増加が多くなると思いますので、値下げを希望したいです。
・要介護2の母のオムツの件です。オムツ支援は要介護3からとお聞きしましたが、要介護2の母 も毎日オムツ「主にオムツパット」を使うんです。デイサービス代、オムツ代と金銭的にもかかるの で支援の幅を緩めてもらえると助かります。
・とにかく、生活していくために、必要なものの全てに料金、費用、代金などが必要だが、介護が必 要な状態になってしまった人には、十分な収入がなく、その人を介護する人も、就労に関して、さま ざまな工夫や制限が必要な場合もあり、満足な収入を得られにくくなってしまいうケースもあるのです が、仕事と介護を両立させるためには、十分な時間とお金が必要となるので、介護する人への金 銭的支援の充実と、介護される人は完全無償としてほしいです。

◆将来不安について (20 件)
・介護をするのに自分の年齢も 70 歳をすぎたので体調も良くなく、介護をするのがとても大変です。それでも介護サービスや老人ホームなどに入居をさせるには経済的に難しいです。先のことが考えただけで不安になります。共倒れにならないといいなと思って過ごしています。
・主な介護者は配偶者で、90 歳になるので、いつまで介護できるか不安です。特別養護老人ホームに申し込みしていますが、できるだけ早く入居してもらいたいです。
・本人の収入だけでは生活ができず、介護する側の時間とお金を使うのでこの生活がいつまで続くのか不安しかありません。働くことができず、収入も減ってしまったのでフルタイムでの収入を維持できて時間にゆとりがある制度やしきみがあると嬉しいです。
・老老介護の為、将来(今後)がとても不安です。
・老老介護になりつつあります、お互いの負担が増えた時に問題が起こる事が不安です。
・仕事をあと何年するか迷う。やめたあとの生活も不安で心配。また、本人が転ぶと立てなくなるのでこわい。先日も転びそうになったので、私が支えようとして自分も転び、あばら骨 2 本折ってしまい、仕事を休んだ。
・介護者が年齢的にも不可能な事がこれから多くなると思うので心配です。現在、2 人とも 80 歳になるので、力仕事や重い物の買い物などです。
◆情報発信、周知について (13 件)
・初めて介護する人を対象に、腰や身体に負担がかからないように介護するコツや技術を教えてくれる講習会があるとうれしい。難病で患者数が少ないため、病気に関する事、その介護に関する情報が少ないため、不安です。家族会等あれば、それがわかるリスト等あれば良いのですが。
・サービスもですが、どういう時に援助金が出るなどもう少しわかりやすいまとまってるパンフレットや資料があると助かります。
・いつ誰が介護に追われるか分からない。そのために仕事と介護の両立支援の周知・セミナーなどを墨田区でやって頂けると(もうすでにやっているのでしょうか)助かります。(個人や企業にも)よろしくお願い致します。
・どこまで在宅で介護できるか年齢的、体力的にも不安がある。要介護度が進むと、どのように介護をして行けば良いか分からない。快適に在宅介護ができる方法やアドバイスなどの介護する人向けの講習や情報などが自治体などで受けられると良い。
・現在の職場は理解があるので緊急時には早退等させて頂いています。人員が少ないので周りに迷惑をかけています。このまま、ただ甘えているわけにもいかずどうすれば良いのか悩んでいます。日々何も無いことを祈りながら生活しています。何かしらの支援があると、日常に追われて情報を手に入れると言う方向に意識が回りません。ですから今まで以上に色々な場所で情報が知れるようにしてほしいです。
・私が知らないだけかもしれませんが、認知症状が比較的軽い人達が集まってお茶したり、食事したりするサロン形式のようなものがあると良いなと思います。
・介護サービスのヘルパーさんの力をお借りして仕事を続けながら介護しています。でも、夜間の排泄など仕事があろうが、時間、睡眠が削られる毎日です。まず感じることは、時間を使ってわざわざ調べないと利用できる制度がわからない。介護が始めからわかってる人なんていません。たぶん皆さん、わからないなか介護と自分の時間を削って調べていくのだと思います。そこが、もっとわかりやすく理解しやすく、相談しやすく、ご支援いただけたら、もう少しだけ安心して介護できるのではないかと思います。

◆入所施設について（12件）
・墨田区内のサ高住等施設の充実。
・認知症が進み排泄が困難になった時施設入所を考えている。
・認知症がこの先ひどくなってしまう場合に施設に入れるなど考えなければならなく、その場合の支援が欲しいと思います。
・特別養護老人ホーム入所の敏速をお願いします。
・都内で年金で賄える老人ホームがほとんどないので都や国が支援してほしい。
・今は配偶者と子で介護を行っている為、子は仕事が何とか出来ますが、どちらか1人がいなくなってしまう時、1人では介護が不可能なので、特養が見つかるか不安です（糖尿病でインシュリン対応の特養が少ない為）。
・一人暮らしを続けるのが難しい状況になり、グループホームへの入居申込みをしているが、待機者が多くてなかなか入居できなくて困っている。タイミングもあり、仕方がないのだと思うが、なんとかこの待っている間に事故が起きないことを祈ってる。また、実際に入居が決まっても本人が相当強く拒否することが予想され、非常に気が重い。本人の安全のために入居は絶対に必要だが、費用も高くて心配が尽きない。
◆その他（18件）
・自分も介護の経験があり、大変さを知っている。お互いの思いやりが必要。
・家にお風呂がないため、部屋が狭いため、母をお風呂に入れてあげられないことに困っている。
・みる側（介護する）みられる側（介護される）、大変な事だと思います。お互いに家族とかご本人のコミュニケーション、大事だと思います。そこに信頼が生まれるのではないかと思います。
・ひとりでの外出が困難。高齢者（要介護者）向けに、区内をめぐるバス（主に病院、大型スーパー等）を走らせてくれると助かる。
・要介護者が快適に過ごしてもらえたら良いと思います。
・官民共に少子化対策は充実しつつあるが、介護対策への理解が未だ乏しい（民間企業における介護への支援、公的な介護関係従事者の不足感）。
・スーパーなどに買い物に行った時、身体障害者の駐車場に普通の車が止まっていることがとても悲しい。ぜひ改善してほしい。



資料

使用した調査票



1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

**はじめに**

記入日	令和7年	月	日
-----	------	---	---

この調査票を記入されるのはどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人が記入 ( )

2. ご家族が記入→(あて名のご本人からみられた続柄： ( )

3. その他(具体的に： ( )

※以下の質問における「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。

**第1 あなたのご家族や生活状況について**

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

1. 1人暮らし ( )

2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 5. その他 ( )

3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) ( )

4. 息子・娘との2世帯 ( )

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない (→(3)へ進む)

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (→①へ進む)

3. 現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けていないに家族などの介護を受けている場合も含む) (→①、②へ進む)

① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 6. 認知症(7)アルツハイマー病等 11. 骨折・転倒  
のうちゅうちゅう のうこうちゅう ちのうちゅう 7)アルツハイマー病等 11. 骨折・転倒

2. 心臓病 7. パーキンソン病 12. 脊椎損傷  
しんざうびょう 7. パーキンソン病 12. 脊椎損傷

3. がん(悪性新生物) 8. 糖尿病 13. 高齢による衰弱  
がん(悪性新生物) 8. 糖尿病 13. 高齢による衰弱

4. 呼吸器の病気(肺炎、肺がん等) 9. 腎疾患(透析) 14. その他 ( )

5. 関節の病気(リウマチ等) 10. 視覚・聴覚障害 15. 不明  
かんせつびょうき(リウマチ等) 10. 視覚・聴覚障害 15. 不明

② 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

1. 配偶者(夫・妻) 3. 娘 5. 孫 7. 介護サービスのヘルパー  
はいゆうしゃ(夫・妻) 3. 娘 5. 孫 7. 介護サービスのヘルパー

2. 息子 4. 子の配偶者 6. 兄弟・姉妹 8. その他 ( )

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

1. 持家(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)  
ちけあ(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)

2. 持家(集合住宅) 6. 借家  
ちけあ(集合住宅) 6. 借家

3. 公営賃貸住宅 7. その他 ( )  
こうえい賃貸住宅 7. その他 ( )

4. 民間賃貸住宅(一戸建て)

Web 調査用

ID : xxxxxxxx

パスワード : xxxxxxxx

墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
 (墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

「高齢者福祉施策の支援内容検討のためのアンケート」へのご協力をお願い  
 区民の皆さまには、日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。  
 さて、墨田区では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、  
 高齢者福祉総合計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。  
 そこで、墨田区にお住まいの65歳以上の高齢者の方に対し、墨田区の高齢者福祉の  
 課題、今後必要な支援等をより的確に把握するため、「高齢者福祉施策の支援内容検討の  
 ためのアンケート」を実施します。



これからの墨田区での介護、高齢者福祉を考えるための身近な内容になって  
 おりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年10月 墨田区長 山本 亨

ご回答いただきました内容は、個人が特定されない形で全て統計的に処理した結果  
 のみを利用し、調査目的以外に使用することはありません。

「1. インターネット」か「2. 紙(郵送)」のいずれかにご回答ください。

1. インターネットでご回答される場合(回答目安時間:約30分)

二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、  
 調査の最初の設問に、本ページ左上の宛名シールのID・パスワード  
 をご入力の上、**10月31日(金)までにご回答**ください。  
アンケートURL  
<https://smilesurvey.co/s/e3e35764/o>

2. 紙(郵送)でご回答される場合

次ページよりご回答いただき、**同封の返信用封筒(切手不要)**に入れ、  
**10月31日(金)までにお近くの郵便ポストに投函**してください。

【お問い合わせ先】

調査内容・回答方法 について	ジェイエムシー株式会社(本調査委託会社) 電話 0120-789-777(フリーダイヤル) ※調査期間中のみ 受付時間 10:00~17:00
調査の趣旨 について	墨田区 福祉部 高齢者福祉課 支援係 電話 03-5608-6168(直通) 受付時間 8:30~12:00、13:00~17:00(土日祝日除く)

**第2 からだを動かすことについて**

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3) 15分くらい続けて歩いていますか。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)	1. 何度もある (→ ①ハ進む) 2. 1度ある (→ ①ハ進む) 3. な い
① 【(4)において「1. 何度もある」「2. 1度ある」の方のみ】 どこで転びましたか。(いくつでも○)	5. 自宅の玄関 6. 自宅の居間もしくはリビング 2. 自宅の階段 5. 自宅の1～5以外の場所( ) 3. 自宅の浴室 7. 自宅以外の屋内施設( ) 4. 自宅の寝室 8. 屋外( )
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか。(1つに○)	1. はい (→ ①ハ進む) 2. いいえ (→ (9)ハ進む)
① 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)	6. 目の障害 1. 病気 6. 目の障害 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 7. 外での楽しみがない 3. 足腰などの痛み 8. 経済的に出られない 4. トイレの心配 (失禁など) 9. 交通手段がない 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 10. その他( )
(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)	6. 電車 11. 歩行器・シルバーカー 1. 徒歩 7. 路線バス 12. タクシー 2. 自転車 8. 病院や施設のバス 13. その他( ) 3. バイク 9. 車いす 4. 自動車 (自分で運転) 10. 電動車いす (カート)
(10) 外出の目的は何ですか。(いくつでも○)	6. 趣味や学習の活動 1. 買い物 7. 家族・親族と会う 2. 運動・散歩 8. ボランティア活動 3. 通院・リハビリ 9. 地域の活動 (町会・自治会活動、老人クラブなど) 4. 仕事 10. その他( ) 5. 友人・知人と会う

(11) 外出に際して不便だと感じることを教えてください。(いくつでも○)

1. タクシーがつかまらない
2. 自宅から最寄りの駅またはバス停まで遠い
3. 駅またはバス停が目的地の近くにない
4. 電車またはバスの本数が少ない
5. ハリアフリーになっていない
6. 乗り場、乗り方の案内がわかりづらい
7. 乗車料金が安い
8. 目的地までの間にベンチ等の休憩場所がない
9. 特にない
10. その他( )

**第3 食べることについて**

(1) 身長・体重	身長 <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ	
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ	
(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ	
(5) 歯磨き(人によっても異なります)を毎日していますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ	
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(1つに○)	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 (→ ①、②ハ進む) 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし (→ ①を答えてから (7)ハ進む) 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 (→ ①、②ハ進む) 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし (→ ①を答えてから (7)ハ進む) ① 噛み合わせは良いですか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ ② 【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」 「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 1. はい 2. いいえ 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○) (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ (8) どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(1つに○) 1. 毎日ある 3. 月に何度かある 5. ほとんどない 2. 週に何度かある 4. 年に何度かある	

**第4 毎日の生活について**

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけるをしていますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 年金などの書類(役所や病院に出す書類)が書けますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談のついでにしていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることができますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(17) 趣味がありますか。(1つに○)

A. 趣味あり → ( ) B. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか。(1つに○)

A. 生きがいあり → ( ) B. 思いつかない

① 生きがいとしてやってみたいことはありますか。(いくつでも○)

1. 趣味やスポーツ、レジャー 6. 健康づくり、介護予防  
 2. 家族やペットとの交流 7. ボランティア活動、社会貢献  
 3. 仕事、軽作業 8. その他 ( )  
 4. 勉強、生涯学習、パソコン教室 9. 思いつかない/特にな  
 5. 友人との交流

(19) スマートフォン(スマホ)、タブレット、パソコンのいずれかをお持ちですか。(1つに○)

1. 持っている A~Cのうち、持っているものすべてに○ (→①、②へ進む)  
 A. スマホ B. タブレット C. パソコン  
 2. 持っていない (→ (20)へ進む)

①それらはどのようなときに使用しますか。(いくつでも○)

1. 家族、友人等への電話連絡 6. ライン等のSNSを利用  
 2. 家族、友人等へのメール連絡 7. ネットバンキングや金融取引  
 3. カメラの利用 8. インターネットによる行政手続の使用  
 4. インターネットでの情報収集 9. Z o o mなどオンラインでの会話  
 5. キャッシュレス決済 10. その他 ( )

②それらの使用方法がわからないときにどのような助けがほしいですか。(いくつでも○)

1. 行政主催の対面での相談会 4. 相談先をまとめたリスト  
 2. 行政主催の教室や講習会 5. その他  
 3. 家族や知人の支援 ( )

(20) あなたの収入、介護サービスと介護保険料についておたずねします。

① あなたご本人の収入について、1年間の手取り金額※をお答えください。(1つに○)

1. 100万円以下 4. 301~400万円 7. 601~700万円  
 2. 101~200万円 5. 401~500万円 8. 701万円以上  
 3. 201~300万円 6. 501~600万円

※1年間の手取り金額…年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額

② 介護保険サービスと介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい  
 2. 介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である  
 3. 介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい  
 4. その他 ( )  
 5. わからない

第5 地域での活動について

(1) 次のような各グループ等にとの頻度で参加していますか。

※A.~H.それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

※すべて「6」を選択した方は②へ進む

	週 4回以上	週 2~3回	週 1回	月 1~3回	年 回数	参加して いない
A. ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
B. スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
C. 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
D. 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
E. 介護予防のための通いの場 ※お住まいの地域で、住民が主体とな って活動している体操、趣味活 動(ウォーキング、カラオケ、朗読、 ゲームボール、手芸、囲碁や将棋 等)、サロン活動(茶話会)	1	2	3	4	5	6
F. 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
G. 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
H. 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

① 【(1)のA.～G.の活動に参加したことがある方のみ】  
それぞれに○、また、□に数字を記入してください。  
ア 活動する時間帯は、何時から何時までが良いと思いますか。24時間制でお答えください。

時	～	時	まで
□	□	□	□

(例)09時～15時まで

また、どの程度の活動時間が良いと思いますか。

時間程度
□

イ 参加している活動の主な活動場所はどこですか。(いくつでも○)

- 地域の集会所
- 高齢者支援総合センター
- 個人宅
- 区の施設
- 企業・事業所のスペース等
- その他
- 町会会館
- その他

② 【(1)のA.～G.において、すべて「6」を選択した方のみ】  
参加していない理由を教えてください。(いくつでも○)

- 関心がない
- 参加する時間がない
- 必要に迫られていない
- 地域の人と交流したくない
- メリットがない
- その他

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- 是非参加したい
- 参加してもよい
- 参加したくない
- 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- 是非参加したい
- 参加してもよい
- 参加したくない
- 既に参加している

(4) 今後、あなたが地域の活動や支え合いの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)

- 活動情報の提供があること
- 活動や団体を紹介してくれること
- 友人等といったしよに参加できること
- 気軽に参加できそうな活動があること
- NPO法人や自主サークルの立ち上げ
- 活動拠点となる場所があること
- 活動期間にあまりしらばれないこと
- 身近なところで活動できること
- 適切な指導者やリーダーがいること
- 身体的な負担が少ないこと
- NPO法人や自主サークルの立ち上げ
- 金銭的な負担が少ないこと
- その他
- どのような条件でもできない

**第6 就労について**

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも○)

- 職に就いたことがない
- 引退した
- 常勤(フルタイム)
- 非常勤(パート・アルバイト等)
- 自営業
- 求職中
- その他

① 【(1)において「2. 引退した」を選択した方のみ】  
あなたはいつ引退しましたか。

昭和	年	平成	年	令和	年
□	□	□	□	□	□

**第7 たすけあいについて**  
あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えください

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも○)

- 配偶者
- 同居の子ども
- 別居の子ども
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 友人
- 近隣
- その他
- そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人(いくつでも○)

- 配偶者
- 同居の子ども
- 別居の子ども
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 友人
- 近隣
- その他
- そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも○)

- 配偶者
- 同居の子ども
- 別居の子ども
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 友人
- 近隣
- その他
- そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも○)

- 配偶者
- 同居の子ども
- 別居の子ども
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 友人
- 近隣
- その他
- そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)

- 町会・自治会、老人クラブ
- 社会福祉協議会・民生委員
- ケアマネジャー
- 医師・歯科医師・看護師
- 高齢者支援総合センター・区役所
- その他
- そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- 毎日ある
- 週に何度かある
- 月に何度かある
- 年に何度かある
- ほとんどない

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)

- 0人(いない)
- 1～2人
- 3～5人
- 6～9人
- 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

- 近隣・同じ地域の人
- 幼なじみ
- 学生時代の友人
- 仕事での同僚・元同僚
- 趣味や関心が同じ友人
- ボランティア等の活動での友人
- その他
- いない

(9) 現在、孤独・孤立感を感じることはありませんか。(1つに○)
1. 常にある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. 全くない
(10) 以下の選択肢の中で、このつながりがあるから孤立や孤独を感じないと思うものをお答えください。(いくつでも○)
1. 家族 5. 趣味グループ 9. 町会・自治会
2. 友人 6. ボランティアグループ 10. その他
3. 近隣住民 7. 介護(予防)サービス ( )
4. 仕事仲間 8. 老人クラブ 11. 特にない
<b>第8 健康について</b>
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。(点数1つに○) とても不幸
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくなりましたか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
(5) お酒は飲みますか。(1つに○)
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)
1. ほぼ毎日吸っている 3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている 4. もともと吸っていない
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)
1. ない 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 15. 認知症
2. 高血圧 9. 腎臓・前立腺の病気 (アルツハイマー病等)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 10. 筋骨格の病気 16. パーキンソン病
4. 心臓病 (肩組しよう症・関節症等) 17. 目の病気
5. 糖尿病 11. 外傷(転倒・骨折等) 18. 耳の病気
6. 高脂血症 (脂質異常) 12. がん(悪性新生物) 19. その他 ( )
7. 呼吸器の病気 13. 血液・免疫の病気 ( )
(肺炎や気管支炎等) 14. うつ病

<b>第9 認知症について</b>
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
(3) お住まいの地域は、あなたやあなたの家族に認知症の症状があっても住みやすい地域だと思いますか。(1つに○)
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない 5. わからない
(4) 成年後見制度※を知っていますか。(1つに○)
1. 内容をよく知っている 3. 名前は知っているが内容は知らない
2. だいたいの内容は知っている 4. はじめて聞いた
※成年後見制度 認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。
(5) あなたは、家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができていると思いますか。(1つに○)
1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない
(6) あなたは、地域で何かしらの役割を果たしていると思いますか。(1つに○)
1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない
(7) あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けることができていると思いますか。(1つに○)
1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない
(8) 在宅生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思いますか。(1つに○)
1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない
<b>第10 お住まいについて</b>
(1) 現在のお住まいや住環境などで、今、困っていることはありませんか。(いくつでも○)
1. 玄関周りの段差 8. 管理人が常駐していない
2. 廊下や居室などの段差 9. 買物をする場所が近くにならない
3. 屋内の階段 10. 鉄道やバスの利用が不便
4. 段差や腰をあげる箇所に手すりが無い 11. 家族が近くにいれない
5. 浴室や浴槽が狭い、使いづらい 12. その他 ( )
6. エレベーターがない 13. 特にない
7. オートロックがない

<p>(2) 墨田区では、高齢者の住まいの支援をしています。関心のあるものをお答えください。(いくつでも○)</p> <p>1. 施設の入所 (介護保険施設等)      3. 公営住宅への入居 (都営・区営住宅等)</p> <p>2. 民間住宅の支援 (居住支援等)      4. 関心なし</p>	
<p>介護施設等</p> <p>1. 「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「ケアハウス」「介護医療院(介護療養型医療施設)」等、介護保険を利用して、高齢者が日常生活の支援や介護を受けながら入所・生活できる公的な施設サービスです。</p>	<p>民生支援等</p> <p>2. すみだすまいる安心ネットワーク(墨田区居住支援協議会)が、高齢者・障害者・子育て世帯など住宅確保要配慮者の方へ、すみだセーフティネット住宅の提供、住宅あっせん、住宅探し相談対応を行っています。</p>
<p>都営・区営住宅等</p> <p>3. 「区シルバーケア」「区高齢者個室借上げ住宅」「都民住宅・公社住宅・UR」「高齢者向け優良賃貸住宅」「サービス付き高齢者向け住宅」等、一般的な賃貸住宅よりも比較的家賃の安い都や区が管理している住宅です。</p>	
<p><b>第11 地域のつながりについて</b></p> <p>(1) あなたは、お住まいの地域の人との程度の付き合いをしていますか。(1つに○)</p> <p>1. 親しく付き合い合っている (→(2)へ進む)      3. あいさつをする程度 (→(2)へ進む)</p> <p>2. 立ち話をする程度 (→(2)へ進む)      4. 付き合いはほとんどない (→(1)へ進む)</p> <p>① 【(1)において「4. 付き合いはほとんどない」の方のみ】付き合いがない主な理由は何ですか。(1つに○)</p> <p>1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから      6. あまり関わりをもちたくないから</p> <p>2. 引越してきた間もないから      7. 新型コロナウイルスの流行をきっかけに交流がなくなったから</p> <p>3. ふだん付き合い合う機会がないから      8. その他 ( )</p> <p>4. 近隣の人と知り合うきっかけがないから      9. 特に理由はない</p> <p>5. 気の合う人、話の合う人が近くにいないから      9. 特に理由はない</p> <p>(2) 次の中にあなたのお住まいの地域で行われていることはありますか。(いくつでも○)</p> <p>1. 近隣同士でよくあくあさつをしている      7. ボランティアやNPO法人の活動が活発に行われている</p> <p>2. 近隣同士で立ち話をしている      8. 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している</p> <p>3. 困ったときに近隣同士で助けあっている      9. その他 ( )</p> <p>4. 回覧板・掲示板などが活用されている      10. 行われていることはない</p> <p>5. 町会・自治会、子ども会等の地縁団体の活動が活発に行われている</p> <p>6. 地域集会所・公園・近隣の家など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている</p> <p>(3) あなたのお住まいの地域には、認知症や閉じこもりなど、無事に生活が送れているかどうか心配な高齢者がいますか。(1つに○)</p> <p>1. いる (→(1)へ進む)      3. わからない(→第12(1)へ進む)</p> <p>2. いない (→第12(1)へ進む)</p>	

<p>① 【(3)において「1. いる」の方のみ】</p> <p>あなたは、その方とどのように接していますか。(いくつでも○)</p> <p>1. ときどき高齢者宅を訪問し、話をしている</p> <p>2. 近隣の住民に様子を聞いている</p> <p>3. ポストに新聞がたまっていないか、電気の点灯があるかなど、さりげなく見守っている</p> <p>4. お住まいの地域の集いの場や定期的なお茶会等への参加状況を把握している</p> <p>5. 地域住民による見守りネットワークを形成し、見守りと情報共有を行っている</p> <p>6. 民生委員や高齢者支援総合センター、みまもり相談室、区役所等と情報交換している</p> <p>7. その他 ( )</p> <p>8. 特に何もしていない</p>
<p><b>第12 お住まいの地域での手助けについて</b></p> <p>(1) あなたは、お住まいの地域で、いま何か問題だと感じていますか。(5つまでに○)</p> <p>1. 健康づくりや介護予防の取組が不十分      7. 近隣住民との付き合いがないなど地域のつながりが希薄なこと</p> <p>2. 地域活動やボランティア活動に参加する機会が少ないこと      8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいること</p> <p>3. 介護保険サービス以外の福祉サービスが不足していること      9. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいること</p> <p>4. 1人暮らし高齢者の見守りや支え合い活動が不十分なこと      10. 高齢者に配慮した住まいや住環境が不足していること</p> <p>5. 働く機会や場が少ないこと      11. 介護の入所施設が不足していること</p> <p>6. 在宅の介護サービスが不足していること      12. 特に問題だと感じていることはない</p> <p>(2) 現在、あなたは次のような手助けをお住まいの地域で受けていますか。(いくつでも○)</p> <p>1. 安否確認の声かけ      8. 災害時など緊急時の手助け</p> <p>2. ちょっとした買い物やゴミ出し      9. 行き帰りの送迎</p> <p>3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い      10. 購入品の宅配</p> <p>4. 食事の提供 (会食・配食など)      11. 定期的に自宅を訪問する御用聞き</p> <p>5. 通院や外出の手助け      12. その他 ( )</p> <p>6. ちょっとした軽作業      13. 受けていない (→(1)へ進む)</p> <p>7. 話し相手や相談相手</p> <p>↓ (→(3)へ進む)</p>
<p>① 【(2)において「13. 受けていない」を選択した方のみ】</p> <p>手助けを受けていない理由は何ですか。(いくつでも○)</p> <p>1. どこに (誰に) 頼めばいいかわからない      5. 頼むのが面倒である</p> <p>2. 費用がかかる      6. その他 ( )</p> <p>3. 人との関わりを持ちたくない      7. 特になし</p> <p>4. 世間体が気になる      8. 手助けを必要としていない</p>

(3) あなたが、日常生活を送る上で不自由な状態になった場合、お住まいの地域でどんな手助けをしてほしいですか。(3つまでに○)

1. 安否確認の声かけ
2. ちよっとした買い物やゴミ出し
3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い
4. 食事の提供(会食・配食など)
5. 通院や外出の手助け
6. ちよっとした軽作業
7. 話し相手や相談相手
8. 災害時など緊急時の手助け
9. 行き帰りの送迎
10. 購入品の宅配
11. 定期的に自宅を訪問する御用聞き
12. その他( )
13. 特にない

(4) 墨田区では高齢者の様々な相談の総合窓口として高齢者支援総合センター※と高齢者みまもり相談室※を設置しています。あなたのお住まいの地域を担当する高齢者支援総合センターと高齢者みまもり相談室を知っていますか。(1つに○)

1. 知っており相談したことがある
2. 知っているが相談したことはない
3. はじめて知った

※高齢者支援総合センターとは  
高齢者の方が、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるように支援するための総合相談窓口です。区内8地区に設置され介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関する様々な支援を行っています。

※高齢者みまもり相談室とは  
認知症や閉じこもりを含む1人暮らし高齢者などに関する相談窓口です。高齢者支援総合センターに併設され、民生委員、町会・自治会、老人クラブ、介護事業所などと連携して見守りの必要な高齢者を支えています。

(5) いざというとき(病気やケガをしたとき、災害時等)地域で助け合える関係性がありますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

**第13 今後の生活について**

(1) あなたには、自身の体調や口の中ケア、服薬についての相談ができる「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬剤師」はいますか。  
(次のA～Cそれぞれあてはまる番号1つに○)

1. いる
2. いない
3. わからない


1. いる
2. いない
3. わからない

1. いる
2. いない
3. わからない

※かかりつけ医・歯科医・薬剤師  
幅広い知識と見識を備え、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関等を紹介してくれる身近にいて頼りになる存在のこと。

(2) 墨田区では、かかりつけ医療機関や服薬内容、緊急連絡先等を記入したシートや保険証の写しなどを入れて冷蔵庫等に保管する容器「救高医療情報キット」を、高齢者みまもり相談室等で配布しています。利用状況を教えてください。(1つに○)

1. 持っており活用している
2. 持っているが活用していない
3. 聞いたことはあるが持っていない
4. はじめて聞いた



救高医療情報キット

(3) 日常生活の中で、どのような場面で聞き取りにくさを感じますか。(いくつでも○)

1. 家族との会話
2. テレビや電話の音
3. 外出先(スーパー、バス、役所など)
4. 特にない
5. その他( )

(4) あなたは、医師や歯科医師、薬剤師、訪問看護師による次の在宅医療(患者さんの住まいに訪問して行う医療)の取組を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがある	はじめて聞いた
A. 訪問診療 <sup>1)</sup>	1	2	3
B. 往診 <sup>2)</sup>	1	2	3
C. 看取り <sup>3)</sup>	1	2	3
D. 訪問歯科診療 <sup>4)</sup>	1	2	3
E. 訪問薬剤管理指導 <sup>5)</sup>	1	2	3
F. 訪問看護 <sup>6)</sup>	1	2	3

1) 訪問診療  
医師が定期的かつ計画的に患者の自宅を訪問して診察を行うこと。

2) 往診  
患者の要請を受けて、医師がその都度、患者の自宅を訪問して診療を行うこと。

3) 看取り  
患者の望む場所(自宅や介護施設、病院等)と方法で最期まで見守り看病すること。

4) 訪問歯科診療  
歯科医師、歯科衛生士が患者の自宅等を訪問し歯科診療や口腔ケアを行うこと。

5) 訪問薬剤管理指導  
保険薬剤師が、患者の自宅を訪問して、薬学的管理及び指導を行うこと。

6) 訪問看護  
主治医の指示によって、看護師や保健師、療法士などが自宅を訪問して看護すること。

(5) 区では「ほっぷがステップげんき応援ガイド」を発行し、介護予防の実現にむけた活動を紹介します。次の中で参加してみたい活動はありますか。参加したい場合は、どのくらいの頻度で活動に参加できますか。(それぞれ1つに○)

	毎日	週			月に1～3回			年に1～3回			参加したくない
		4～6回	2～3回	1回	週	週	週	週	週		
A. ストレッチ・筋力向上トレーニング	1	2	3	4	5	6	7				
B. ダンス	1	2	3	4	5	6	7				
C. 社会参加プログラム (例:10代～世代間交流)	1	2	3	4	5	6	7				
D. コーラス・音楽演奏	1	2	3	4	5	6	7				
E. 口腔ケア	1	2	3	4	5	6	7				
F. 体操指導ボランティア養成講座	1	2	3	4	5	6	7				
G. その他( )	1	2	3	4	5	6	7				



## 2. 在宅介護実態調査

### A票 あなた(あて名ご本人)について

◎このA票を回答するのは、どなたですか。  
(いくつでもO)

1. あて名ご本人	4. 調査対象者のケアマネジャー
2. 主な介護者となっている家族・親族	5. その他
3. 主な介護者以外の家族・親族	( )

※以下の質問における「あなた」とは、あて名ご本人のことです。

問1 あなたの世帯類型について、ご回答ください。  
(1つにO)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他
---------	-----------	--------

問2 あなたは、ご家族やご親族から、週にどのくらい介護をうけていますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。  
(1つにO)

1. うけていない (→ 問8(次ページ)へ進む)	} (→ 問3へ進む)	2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある		
4. 週に3～4日ある		
5. ほぼ毎日ある		
5. はば毎日ある		

問3 (あなたを介護する)主な介護者の方は、どなたですか。  
(1つにO)

1. 配偶者	3. 子の配偶者	5. 兄弟・姉妹
2. 子	4. 孫	6. その他( )

問4 (あなたを介護する)主な介護者の方の性別について、ご回答ください。  
(1つにO)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 (あなたを介護する)主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。  
(1つにO)

1. 20歳未満	4. 40代	7. 70代
2. 20代	5. 50代	8. 80歳以上
3. 30代	6. 60代	9. わからない

**墨田区在宅介護実態調査**  
(墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

Web調査用  
 ID: xxxxxx  
 パスワード: xxxxxx

「在宅介護の支援内容検討のためのアンケート」へのご協力をお願いします

区民の皆さまには、日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、墨田区では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉総合計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

そこで、自宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方に対し、自宅での介護の課題、今後必要な支援等をより的確に把握するため、「在宅介護の支援内容検討のためのアンケート」を実施します。

これからの自宅での介護を考慮するための身近な内容になっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



令和7年10月 墨田区長 山本 亨

ご回答いただきました内容は、個人が特定されない形で全て統計的に処理した結果のみを利用し、調査目的以外に使用することはありません。

「1. インターネット」が「2. 紙(郵送)」のいずれかにご回答ください。

1. インターネットでご回答される場合(回答目安時間:約15分)  
 二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、調査の最初の設問に、本ページ左上の宛名シールのID・パスワードをご入力の上、**10月31日(金)までにご回答**ください。

2. 紙(郵送)でご回答される場合  
 アンケートURL <https://smilesurvey.co/s/75637021/o>  
**10月31日(金)までにご回答**いただき、**同封の返信用封筒(切手不要)**に入れ、**10月31日(金)までにお近くの郵便ポストに投函**してください。

**【お問い合わせ先】**

調査内容・回答方法について	ジェイエムシー株式会社(本調査委託会社) 電話 0120-789-777(フリーダイヤル) ※調査期間中のみ
調査の趣旨について	受付時間 10:00～17:00 墨田区 福祉部 介護保険課 管理・計画担当 電話 03-5608-1179(直通) 受付時間 8:30～12:00、13:00～17:00(土日祝日除く)

問6 現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、次のうちどれですか。  
(いくつでも○)

【身体介護】

1. 日中の排せつ
2. 夜間の排せつ
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

【生活援助】

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15. その他
16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます)。  
(いくつでも○)

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ここから再び、全員の方がお答えください。

問8 現在、あなたが利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、次のうちどれですか(総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます)。  
(いくつでも○)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物等）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）
11. 利用していない

→ 次ページへ進む

問9 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、次のうちどれですか(介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます)。  
(いくつでも○)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物等）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）
11. 利用していない

問10 あなたは、施設等への入所・入居について検討していますか(「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します)。  
(1つに○)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

問11 あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
(いくつでも○)

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患  
(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他  
( )
15. なし
16. わからない

問12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか(訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません)。  
(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

問13 あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。  
(1つに○)

1. 利用している (→ 問15へ進む)
2. 利用していない (→ 問14へ進む)

問14 問13で「2」と回答した方にお伺いします。  
 あなたが、介護保険サービスを利用していない理由は何か。(いくつでも○)

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  |  |
| 2. 本人にサービス利用の希望がない          |  |
| 3. 家族が介護するため必要ない            |  |
| 4. 以前、利用していたサービスに不満があった     |  |
| 5. 利用料を支払うのが難しい             |  |
| 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない   |  |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  |  |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない |  |
| 9. その他 ( )                  |  |

(→ 問16へ進む)

問15 問13で「1」と回答した方にお伺いします。  
 あなたが現在利用している介護サービスに満足していますか。(1つに○)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 満足している   | 3. あまり満足していない |
| 2. 概ね満足している | 4. 満足していない    |

※ここから再び、全員の方がお答えください。

問16 あなたは、家族、友人、仲間等の誰かに自分の思いを伝えることができていると思いますか。(1つに○)

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問17 あなたは、地域で何かしらの役割を果たしていると思いますか。(1つに○)

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問18 あなたは認知症になっても自分らしく暮らし続けられることができていると思いますか。(1つに○)

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問19 在宅生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思いますか。(1つに○)

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

問20 あなたは、人生の最終段階に受けたい医療やケアについて、誰と話し合っていますか。(いくつでも○)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. 同居の家族・親族          | 6. ケアマネジャー  |
| 2. 別居の家族・親族          | 7. ヘルパー     |
| 3. 友人・知人・近所の人        | 8. 民生委員     |
| 4. かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師 | 9. 話し合っていない |
| 5. 訪問看護師             | 10. その他 ( ) |

-5-

→ 次ページへ進む

問21 人生の最終段階で受けたい医療やケアについて、自分自身で前もって考え、信頼する人と話し合い、共有しておく取組を「人生会議」[アドバンス・ケア・プランニング(ACP)]と呼んでいます。あなたは「人生会議」の言葉や内容についてご存じでしたか。(1つに○)

- |                |             |            |
|----------------|-------------|------------|
| 1. 言葉も内容も知っていた | 2. 言葉は知っていた | 3. はじめて知った |
|----------------|-------------|------------|

問22 日常生活の中で、どのような場面で聞き取りにくさを感じますか。(いくつでも○)

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| 1. 家族との会話            | 4. 特にない    |
| 2. テレビや電話の音          | 5. その他 ( ) |
| 3. 外出先(スーパー、バス、役所など) |            |

問23 あなたご本人の収入について、1年間の手取り金額(年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額)をお答えください。(1つに○)

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 100万円以下   | 4. 301～400万円 | 7. 601～700万円 |
| 2. 101～200万円 | 5. 401～500万円 | 8. 701万円以上   |
| 3. 201～300万円 | 6. 501～600万円 | 9. 収入はない     |

問24 介護保険サービスと介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい |
| 2. 介護保険料も介護保険サービスの量の量も今くらいが妥当である     |
| 3. 介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい         |
| 4. その他 ( )                           |
| 5. わからない                             |

問25 最後に、生きがいをもって暮らせるまちづくりのために、高齢者福祉や介護保険などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。


■次ページからのB票は、問2で「2」～「5」と回答した方が調査対象となります。調査票へのご回答は「主な介護者」の方がご記入ください。

■「主な介護者」の方が回答できない場合は、あて名のご本人が、ご回答・ご記入をお願いします(ご回答が困難な場合は、無回答で結構です。このまま、同封の返信用封筒に入れ、投函してください)。

-6-

## B票 主な介護者の方について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

1. フルタイムで働いている } (→ 問2へ進む)  
 2. パートタイムで働いている }  
 3. 働いていない } (→ 問5(次ページ)へ進む)  
 4. 主な介護者に確認しないと、わからない }

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(いくつでも○)

1. 特に行っていない  
 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている  
 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている  
 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている  
 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている  
 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまでに○)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置  
 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 8. 介護をしている従業員への経済的な支援  
 3. 制度を利用しやすい職場づくり 9. その他( )  
 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) 10. 特にない  
 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) 11. 主な介護者に確認しないとわからない  
 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供

問4 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

1. 問題なく、続けていける 4. 続けていくのは、かなり難しい  
 2. 問題はあるが、何とか続けていける 5. 主な介護者に確認しないと、わからない  
 3. 続けていくのは、やや難しい

## ※ ここから再び、全員の方がお答えください。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまでに○)

### 【身体介護】

1. 日中の排せつ 7. 屋内の移乗・移動  
 2. 夜間の排せつ 8. 外出の付き添い、送迎等  
 3. 食事の介助(食べる時) 9. 服薬  
 4. 入浴・洗身 10. 認知症状への対応  
 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 11. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等)  
 6. 衣服の着脱

### 【生活援助】

12. 食事の準備(調理等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き  
 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

### 【その他】

15. その他 16. 不安に感じていることは、特にない  
 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 在宅で介護されている方の負担を軽減する援助サービス等として以下のようなものがありますか、利用されていますか。利用頻度の最も多いもの1つに○をつけてください。

1. ショートステイの利用 5. 保険外サービスのお泊まりデイの利用  
 2. (看護)小規模多機能型居宅介護の利用 6. 他の家族・親族にお願いする  
 3. デイサービスの利用 7. 利用していない  
 4. 保険外サービスの家事援助等の利用 8. その他( )  
 ①問6の回答を選んだ理由を教えてください。(1つに○)  
 1. 安心して任せられるから 4. 場所が近く移動が負担にならないから  
 2. 経済的に利用しやすいから 5. 利用する必要がない  
 3. 希望日に利用が可能だから 6. その他( )  
 (予約が取りやすいから)

問7 最後に、要介護者の方を介護することや、仕事と介護を両立することへの支援について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

-----  
 -----  
 -----  
 -----

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかも一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、10月31日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

令和7年度  
墨田区介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
墨田区在宅介護実態調査 報告書

---

令和8年3月発行

発行 墨田区

編集 墨田区福祉部高齢者福祉課  
介護保険課

〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目23番20号

☎03-5608-6168（直通） FAX 03-5608-6404

---